

**南伊勢町男女共同参画
基本計画策定促進アンケート調査
報告書**

平成22年12月

目 次

調査の概要及び回答者の属性	1
1 調査の目的	1
2 調査対象及び調査方法	1
3 回収の結果	1
4 分析上の留意点	1
5 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	3
(3) 家族構成	4
(4) 職業	6
(5) 婚姻状況	8
調査結果	10
1 男女平等について	10
(1) 各分野での男女の地位	10
(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	28
2 家庭生活について	31
(1) 男女のしつけや教育	31
(2) 子育てについて	33
(3) 乳児や就学前の幼児について	48
(4) 手助けが必要な高齢者の有無	50
(5) 介護が必要になった場合の介護者	52
(6) 家庭生活の現実と希望	54
(7) 家庭内の仕事の分担	60
3 職業生活について	87
(1) 女性の職業で望ましい形態	87
(2) 女性は働きやすい状況にあるか	89
(3) 働きやすい理由	92
(4) 制度の認知状況及び取得状況	93
(5) 職場での男女の地位	103
(6) 男女平等だと思わない理由	105
4 社会活動等について	106
(1) 地域活動の参加状況	106
(2) 男性の参加促進に必要なこと	107
5 女性の人権、DVなどの男女間の暴力について	108
(1) DV防止法の認知	108
(2) 発見した際の通報の認知	110
(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無及び暴力の内容	112
(4) 暴力を受けた際の相談先	139
(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由	140
(6) 知っているDV相談窓口	141
6 自由意見	142

調査の概要及び回答者の属性

1 調査の目的

本調査は、南伊勢町の男女共同参画社会の形成に関する住民の考え等を把握し、南伊勢町の男女共同参画基本計画策定等の基礎資料とするために実施した。

2 調査対象及び調査方法

調査方法：平成 22 年 6 月現在、南伊勢町に居住する 20 歳以上の男女 1,500 名

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法

調査方法：郵送により配布・回収

調査期間：平成 22 年 8 月

3 回収の結果

配布数：1,500 件

有効回収数：703 件

回収率：46.9%

4 分析上の留意点

回答は全て百分率で表し、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合がある。

表作成において、無回答者の処理により、性合計と性年齢別の合計が合致しない箇所がある。

「複数回答」の設問は回答比率の合計が 100% を超える。

集計結果の表やグラフでは、スペース等の都合上、回答の選択肢の言葉を簡略化して表現している場合がある。

今回の調査は、標本調査であるため、回答者のデータが町民の意識として充分信頼のおけるものであるかどうかをみる。

調査精度として、比率の推定の標本誤差をみるが、信頼度 95% レベルにおいた場合、これは統計学理論から次のように与えられる。

$$E = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

E：標本誤差

N：母集団の大きさ

n：標本の大きさ

P：あるカテゴリについての、母集団での回答率

この式の意味は、求める母集団におけるあるカテゴリ（注目した特性、多くの場合、調査項目と一致）の比率 P が、標本調査で得られた比率 P の前後 $\pm E$ の範囲に入っていると判断して 95% 間違いがないということである。

主な標本における比率の標本誤差 E（信頼度 95% レベル）

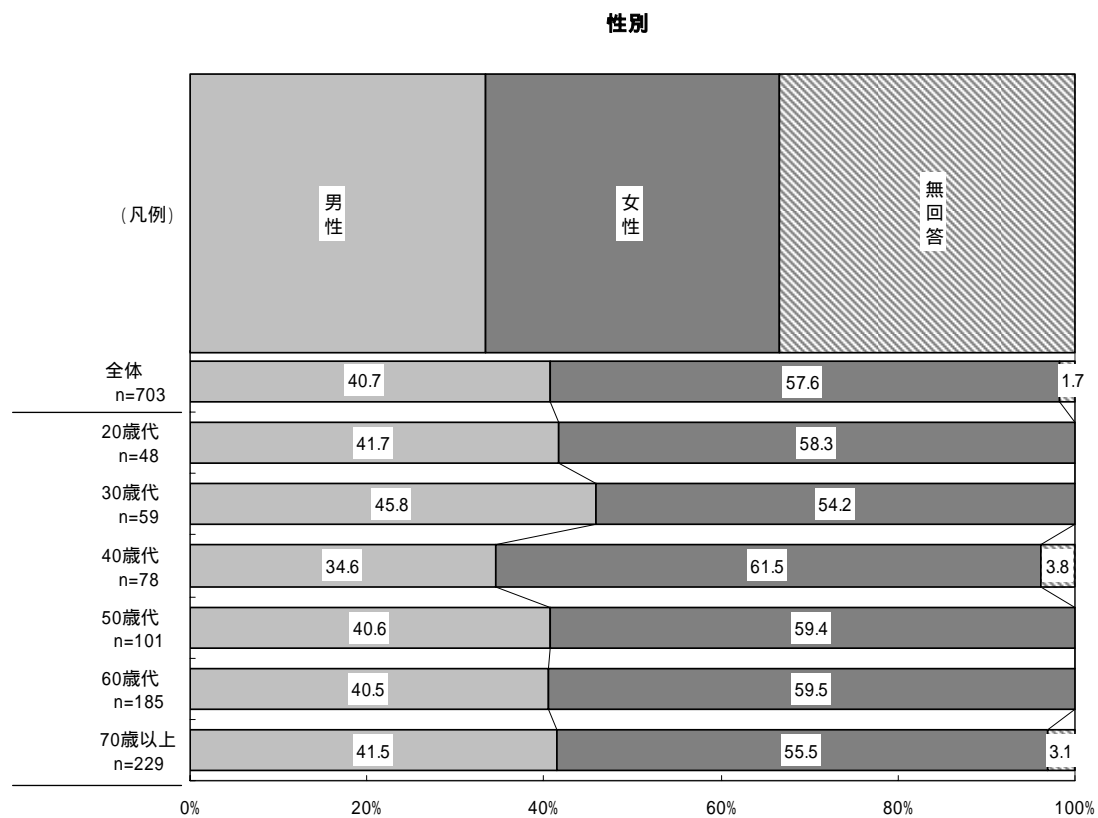
回答比率(P)	5.0% (95.0%)	10.0% (90.0%)	15.0% (85.0%)	20.0% (80.0%)	25.0% (75.0%)	30.0% (70.0%)	35.0% (65.0%)	40.0% (60.0%)	45.0% (55.0%)	50.0%
標本数(n)	703	703	703	703	703	703	703	703	703	703
	±1.6	±2.3	±2.7	±3.0	±3.3	±3.5	±3.6	±3.7	±3.8	±3.8

5 回答者の属性

あなたご自身のことについておたずねします。

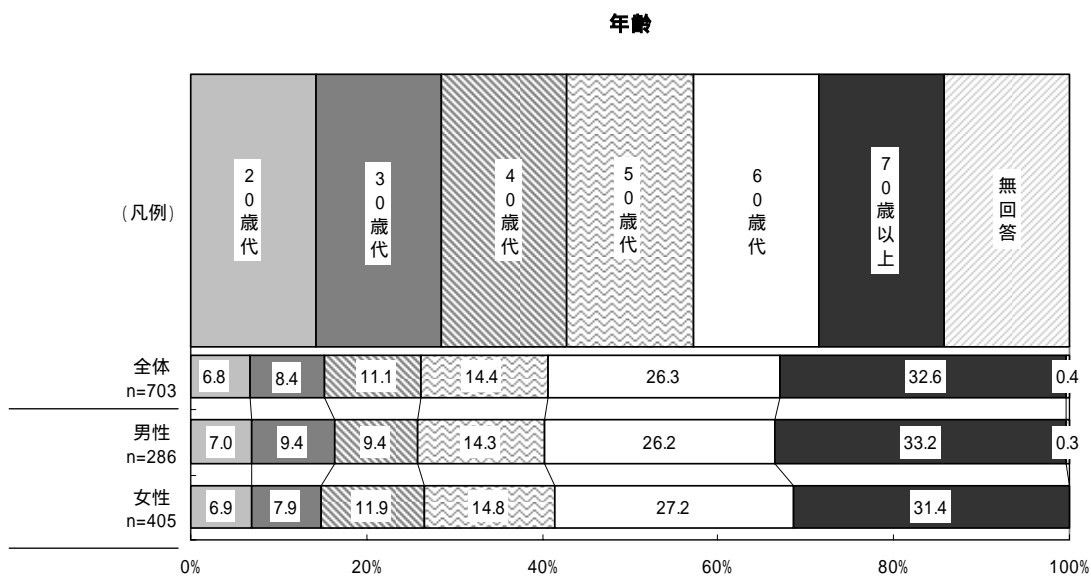
(1) 性別

- 「女性」が57.6%、「男性」が40.7%である。



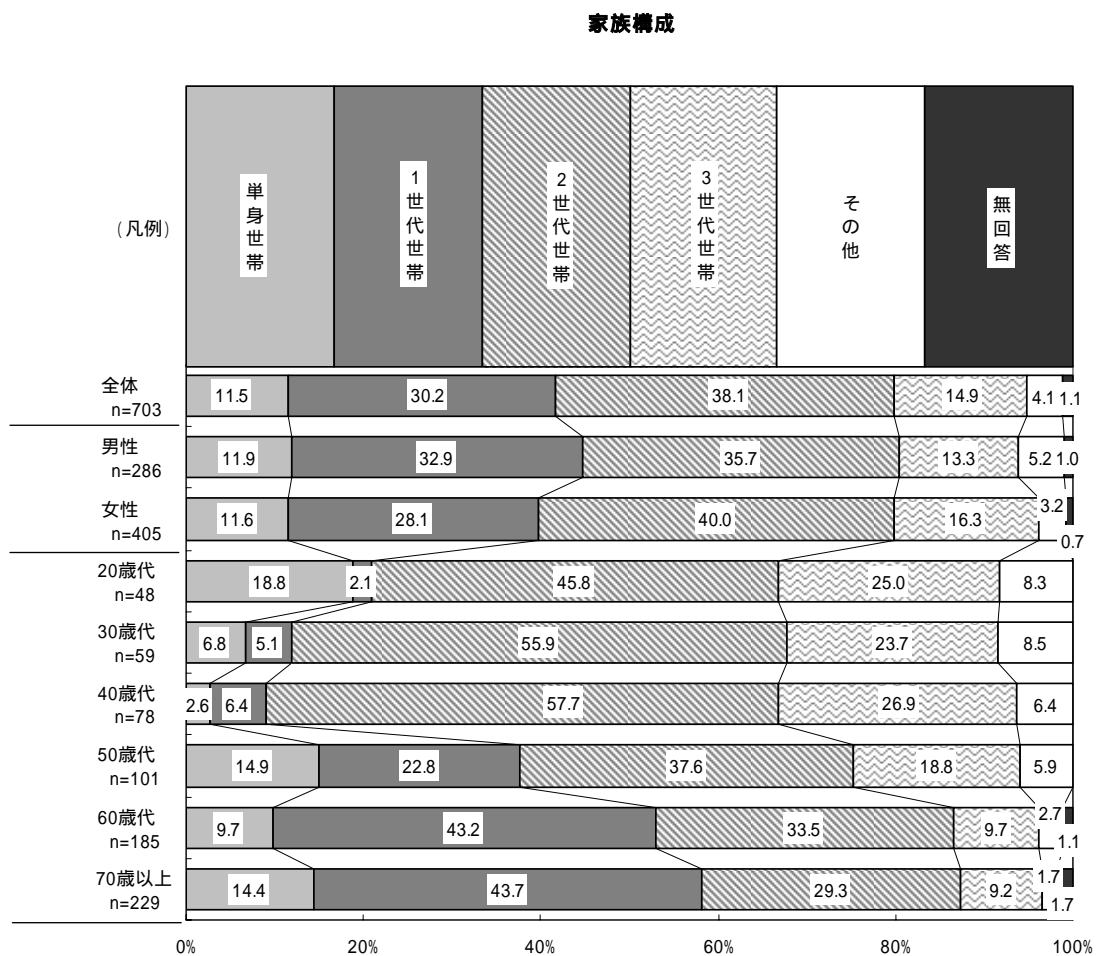
(2) 年齢

- 「70歳以上」が32.6%と最も高く、以下「60歳代」(26.3%)、「50歳代」(14.4%)、「40歳代」(11.1%)、「30歳代」(8.4%)、「20歳代」(6.8%)である。



(3) 家族構成

- 「2世代世帯」が38.1%と最も高く、以下「1世代世帯」(30.2%)、「3世代世帯」(14.9%)、「単身世帯」(11.5%)である。

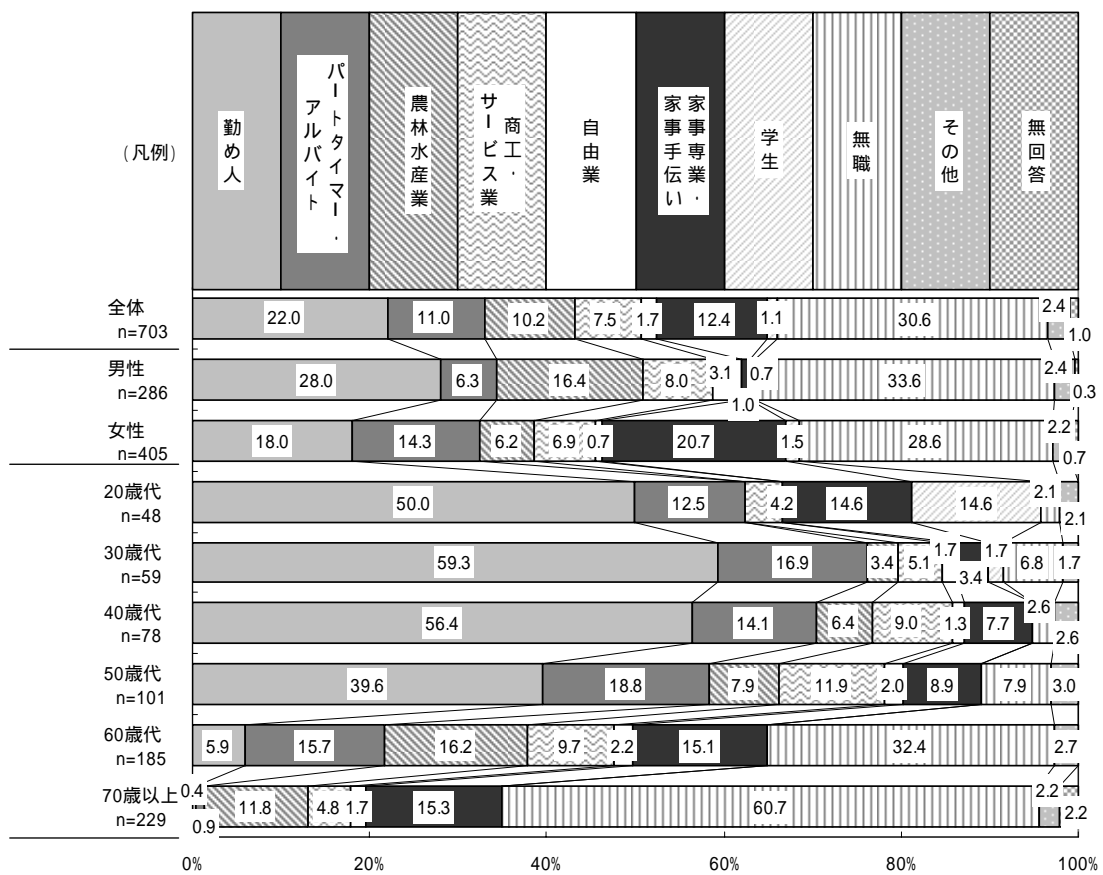


		家族構成 (%)						
		全体	単身世帯	1世代世帯	2世代世帯	3世代世帯	その他	無回答
全体		703	81	212	268	105	29	8
		100.0	11.5	30.2	38.1	14.9	4.1	1.1
性 年 齢 別	男性計	286	34	94	102	38	15	3
		100.0	11.9	32.9	35.7	13.3	5.2	1.0
	20歳代	20	5	-	9	5	1	-
		100.0	25.0	-	45.0	25.0	5.0	-
	30歳代	27	2	1	15	6	3	-
		100.0	7.4	3.7	55.6	22.2	11.1	-
	40歳代	27	2	-	15	7	3	-
		100.0	7.4	-	55.6	25.9	11.1	-
	50歳代	41	9	6	17	5	4	-
		100.0	22.0	14.6	41.5	12.2	9.8	-
	60歳代	75	8	32	24	8	1	2
		100.0	10.7	42.7	32.0	10.7	1.3	2.7
	70歳以上	95	8	55	21	7	3	1
		100.0	8.4	57.9	22.1	7.4	3.2	1.1
	女性計	405	47	114	162	66	13	3
		100.0	11.6	28.1	40.0	16.3	3.2	0.7
	20歳代	28	4	1	13	7	3	-
		100.0	14.3	3.6	46.4	25.0	10.7	-
	30歳代	32	2	2	18	8	2	-
		100.0	6.3	6.3	56.3	25.0	6.3	-
40歳代	48	-	5	29	13	1	-	
	100.0	-	10.4	60.4	27.1	2.1	-	
50歳代	60	6	17	21	14	2	-	
	100.0	10.0	28.3	35.0	23.3	3.3	-	
60歳代	110	10	48	38	10	4	-	
	100.0	9.1	43.6	34.5	9.1	3.6	-	
70歳以上	127	25	41	43	14	1	3	
	100.0	19.7	32.3	33.9	11.0	0.8	2.4	

(4) 職業

- 「無職」が30.6%と最も高く、以下「勤め人」(22.0%)、「家事専業・家事手伝い」(12.4%)、「パートタイマー・アルバイト」(11.0%)、「農林水産業」(10.2%)である。
- 性別では、男女ともに「無職」が最も高く、男性が33.6%、女性が28.6%である。以下、男性は「勤め人」(28.0%)、「農林水産業」(16.4%)、女性は「家事専業・家事手伝い」(20.7%)、「勤め人」(18.0%)である。また、男性は「勤め人」の割合が女性よりも10.0ポイント高く、女性は「パートタイマー・アルバイト」が14.3%と男性(6.3%)よりも8.0ポイント高くなっている。
- 年齢別では、20歳代から50歳代は「勤め人」の割合が最も高く、60歳代以上は「無職」の割合が最も高い。

職業

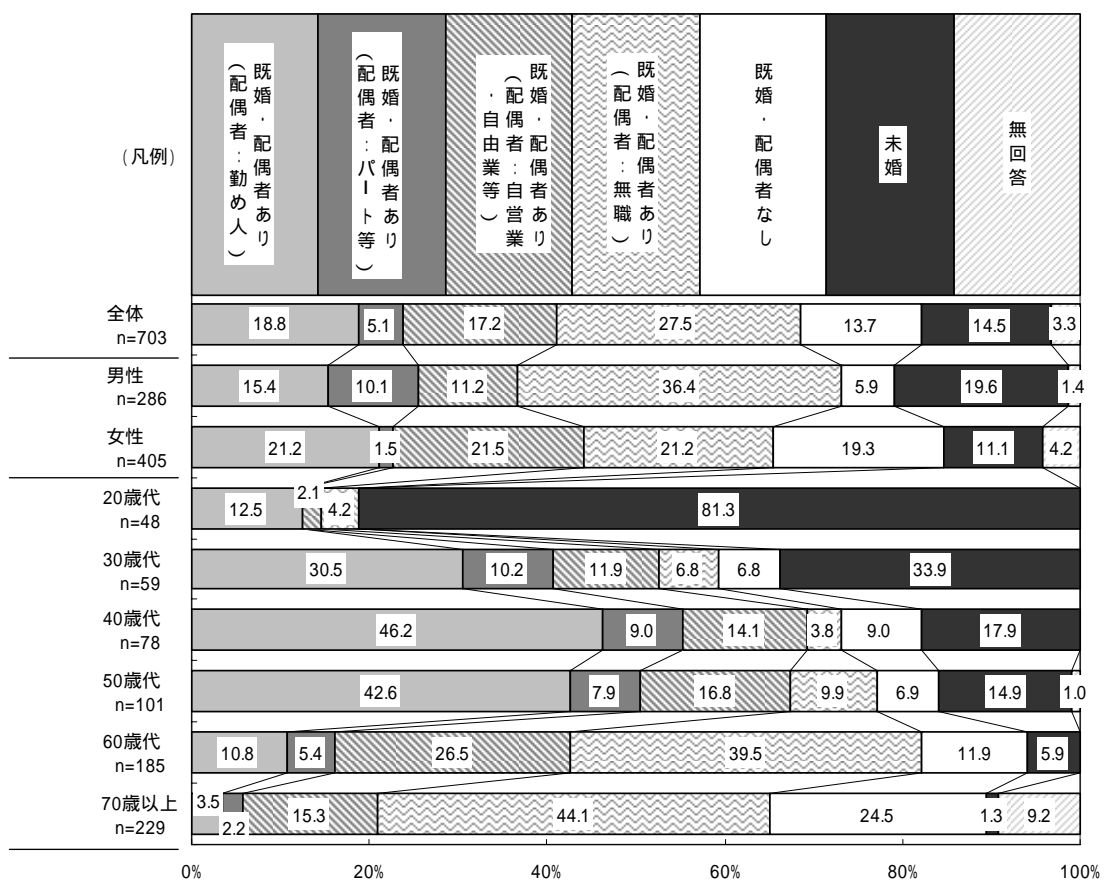


		職業 [%]										
		全体	勤め人	パートタイ マー・アル バイト	農林水産業	商工・サー ビス業	自由業	家事専業・ 家事手伝い	学生	無職	その他	無回答
全体		703	155	77	72	53	12	87	8	215	17	7
		100.0	22.0	11.0	10.2	7.5	1.7	12.4	1.1	30.6	2.4	1.0
性 年 齢 別	男性計	286	80	18	47	23	9	3	2	96	7	1
		100.0	28.0	6.3	16.4	8.0	3.1	1.0	0.7	33.6	2.4	0.3
	20歳代	20	14	3	-	-	-	-	1	1	1	-
		100.0	70.0	15.0	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	-
	30歳代	27	21	-	2	-	1	-	1	2	-	-
		100.0	77.8	-	7.4	-	3.7	-	3.7	7.4	-	-
	40歳代	27	19	-	2	4	1	-	-	1	-	-
		100.0	70.4	-	7.4	14.8	3.7	-	-	3.7	-	-
	50歳代	41	20	3	5	6	2	-	-	2	3	-
		100.0	48.8	7.3	12.2	14.6	4.9	-	-	4.9	7.3	-
	60歳代	75	5	11	19	9	2	-	-	27	2	-
		100.0	6.7	14.7	25.3	12.0	2.7	-	-	36.0	2.7	-
	70歳以上	95	1	1	19	4	3	3	-	62	1	1
		100.0	1.1	1.1	20.0	4.2	3.2	3.2	-	65.3	1.1	1.1
	女性計	405	73	58	25	28	3	84	6	116	9	3
		100.0	18.0	14.3	6.2	6.9	0.7	20.7	1.5	28.6	2.2	0.7
	20歳代	28	10	3	-	2	-	7	6	-	-	-
		100.0	35.7	10.7	-	7.1	-	25.0	21.4	-	-	-
	30歳代	32	14	10	-	3	-	2	-	2	1	-
		100.0	43.8	31.3	-	9.4	-	6.3	-	6.3	3.1	-
40歳代	48	23	11	3	2	-	6	-	1	2	-	
	100.0	47.9	22.9	6.3	4.2	-	12.5	-	2.1	4.2	-	
50歳代	60	20	16	3	6	-	9	-	6	-	-	
	100.0	33.3	26.7	5.0	10.0	-	15.0	-	10.0	-	-	
60歳代	110	6	18	11	9	2	28	-	33	3	-	
	100.0	5.5	16.4	10.0	8.2	1.8	25.5	-	30.0	2.7	-	
70歳以上	127	-	-	8	6	1	32	-	74	3	3	
	100.0	-	-	6.3	4.7	0.8	25.2	-	58.3	2.4	2.4	

(5) 婚姻状況

- 「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が27.5%と最も高く、以下「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」(18.8%)、「既婚・配偶者あり(配偶者：自営業・自由業等)」(17.2%)である。
- 性別では、男性は「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が36.4%と最も高く、女性は「既婚・配偶者あり(配偶者：自営業・自由業等)」(21.5%)、「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」(21.2%)、「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」(21.2%)の割合が高くなっている。
- 年齢別では、「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」は40歳代(46.2%)、50歳代(42.6%)で高くなっており、60歳代以上では「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が高くなっている。

婚姻状況



		婚姻状況 (%)								
		全体	既婚・配偶者あり(配偶者:勤め人)	既婚・配偶者あり(配偶者:パート等)	既婚・配偶者あり(配偶者:自営業・自由業等)	既婚・配偶者あり(配偶者:無職)	既婚・配偶者なし	未婚	無回答	
全体		703	132	36	121	193	96	102	23	
		100.0	18.8	5.1	17.2	27.5	13.7	14.5	3.3	
性 年 齢 別	男性計	286	44	29	32	104	17	56	4	
		100.0	15.4	10.1	11.2	36.4	5.9	19.6	1.4	
	20歳代	20	1	-	-	-	-	-	19	-
		100.0	5.0	-	-	-	-	-	95.0	-
	30歳代	27	6	6	-	3	1	11	-	
		100.0	22.2	22.2	-	11.1	3.7	40.7	-	
	40歳代	27	8	5	1	2	2	9	-	
		100.0	29.6	18.5	3.7	7.4	7.4	33.3	-	
	50歳代	41	15	5	3	6	1	11	-	
		100.0	36.6	12.2	7.3	14.6	2.4	26.8	-	
	60歳代	75	8	8	12	36	6	5	-	
		100.0	10.7	10.7	16.0	48.0	8.0	6.7	-	
	70歳以上	95	5	5	16	57	7	1	4	
		100.0	5.3	5.3	16.8	60.0	7.4	1.1	4.2	
	女性計	405	86	6	87	86	78	45	17	
		100.0	21.2	1.5	21.5	21.2	19.3	11.1	4.2	
	20歳代	28	5	-	1	2	-	20	-	
		100.0	17.9	-	3.6	7.1	-	71.4	-	
	30歳代	32	12	-	7	1	3	9	-	
		100.0	37.5	-	21.9	3.1	9.4	28.1	-	
40歳代	48	27	1	10	1	5	4	-		
	100.0	56.3	2.1	20.8	2.1	10.4	8.3	-		
50歳代	60	28	3	14	4	6	4	1		
	100.0	46.7	5.0	23.3	6.7	10.0	6.7	1.7		
60歳代	110	12	2	37	37	16	6	-		
	100.0	10.9	1.8	33.6	33.6	14.5	5.5	-		
70歳以上	127	2	-	18	41	48	2	16		
	100.0	1.6	-	14.2	32.3	37.8	1.6	12.6		

調査結果

1 男女平等について

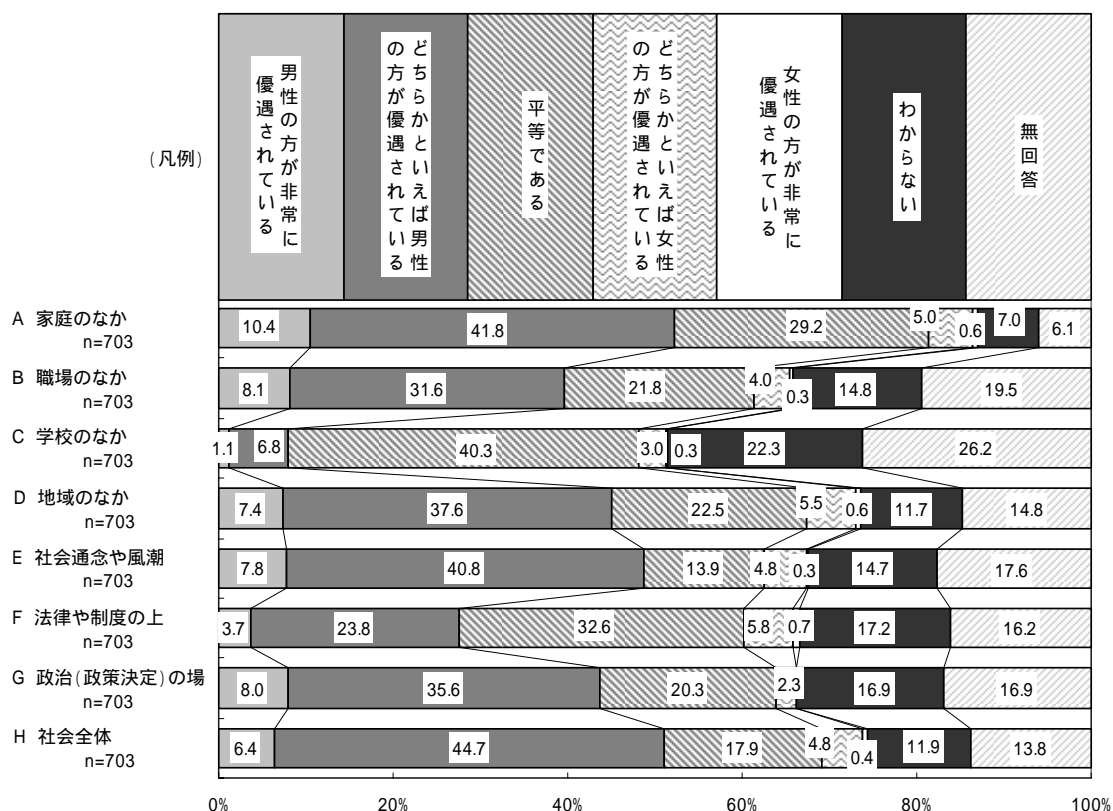
問1. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

(1) 各分野での男女の地位

【全体】(A～H)

- 「平等である」は、「C 学校のなか」が40.3%と最も高く、「F 法律や制度の上」(32.6%)、「A 家庭のなか」(29.2%)と続いている。一方、「E 社会通念や風潮」(13.9%)や「H 社会全体」(17.9%)では低くなっている。また、「A 家庭のなか」、「H 社会全体」では『男性の方が優遇されている』が5割を超えている。

各分野での男女の地位【全体】(A～H)

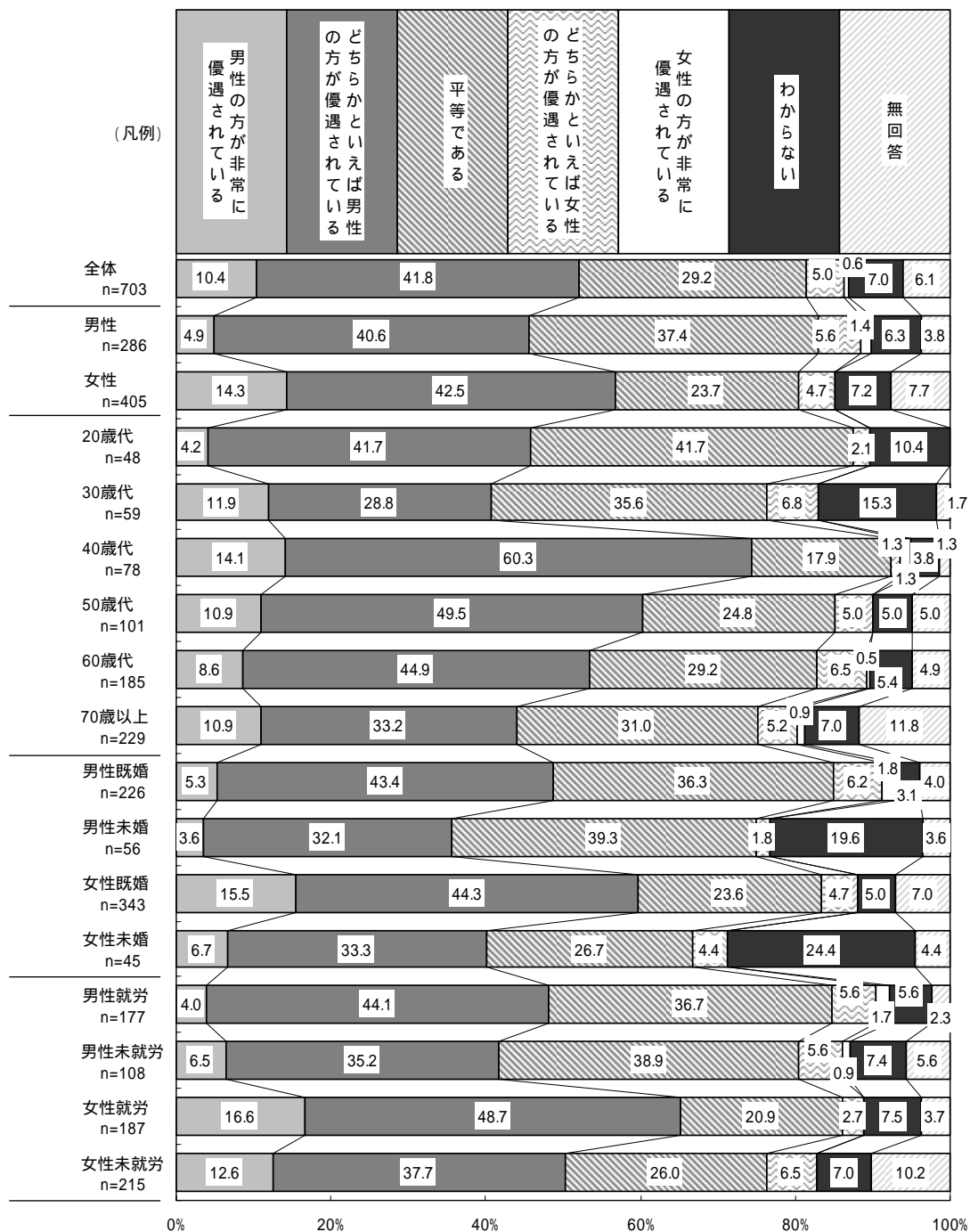


『男性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計している。『女性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 家庭のなか】

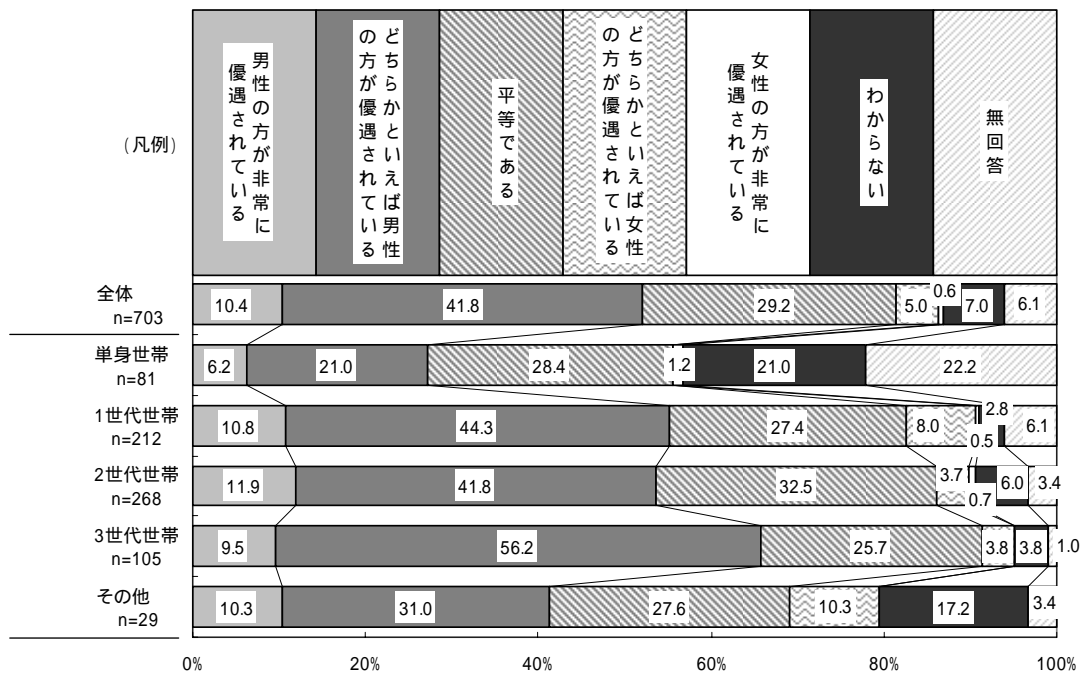
- 「平等である」が29.2%となり、『男性の方が優遇されている』は52.2%である。
- 性別では、男性は「平等である」が37.4%と女性（23.7%）よりも13.7ポイント高い。
- 年齢別では、20歳代は「平等である」の割合が41.7%と高い。40歳代は『男性の方が優遇されている』が74.4%に上る。
- 婚姻状況別では、『男性の方が優遇されている』は女性既婚者が59.8%と最も高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』の割合が65.3%と高い。
- 世帯別では、『男性の方が優遇されている』は3世代世帯が65.7%と最も高く、1世代世帯、2世代世帯でも5割を超えている。

A 家庭のなか



		A 家庭のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	73	294	205	35	4	49	43
		100.0	10.4	41.8	29.2	5.0	0.6	7.0	6.1
男性計		286	14	116	107	16	4	18	11
		100.0	4.9	40.6	37.4	5.6	1.4	6.3	3.8
20歳代		20	1	9	7	-	-	3	-
		100.0	5.0	45.0	35.0	-	-	15.0	-
30歳代		27	-	7	11	3	-	6	-
		100.0	-	25.9	40.7	11.1	-	22.2	-
40歳代		27	2	15	9	-	1	-	-
		100.0	7.4	55.6	33.3	-	3.7	-	-
50歳代		41	1	18	15	3	-	2	2
		100.0	2.4	43.9	36.6	7.3	-	4.9	4.9
60歳代		75	3	31	30	4	1	4	2
		100.0	4.0	41.3	40.0	5.3	1.3	5.3	2.7
70歳以上		95	6	36	35	6	2	3	7
		100.0	6.3	37.9	36.8	6.3	2.1	3.2	7.4
女性計		405	58	172	96	19	-	29	31
		100.0	14.3	42.5	23.7	4.7	-	7.2	7.7
20歳代		28	1	11	13	1	-	2	-
		100.0	3.6	39.3	46.4	3.6	-	7.1	-
30歳代		32	7	10	10	1	-	3	1
		100.0	21.9	31.3	31.3	3.1	-	9.4	3.1
40歳代		48	9	29	5	1	-	3	1
		100.0	18.8	60.4	10.4	2.1	-	6.3	2.1
50歳代		60	10	32	10	2	-	3	3
		100.0	16.7	53.3	16.7	3.3	-	5.0	5.0
60歳代		110	13	52	24	8	-	6	7
		100.0	11.8	47.3	21.8	7.3	-	5.5	6.4
70歳以上		127	18	38	34	6	-	12	19
		100.0	14.2	29.9	26.8	4.7	-	9.4	15.0

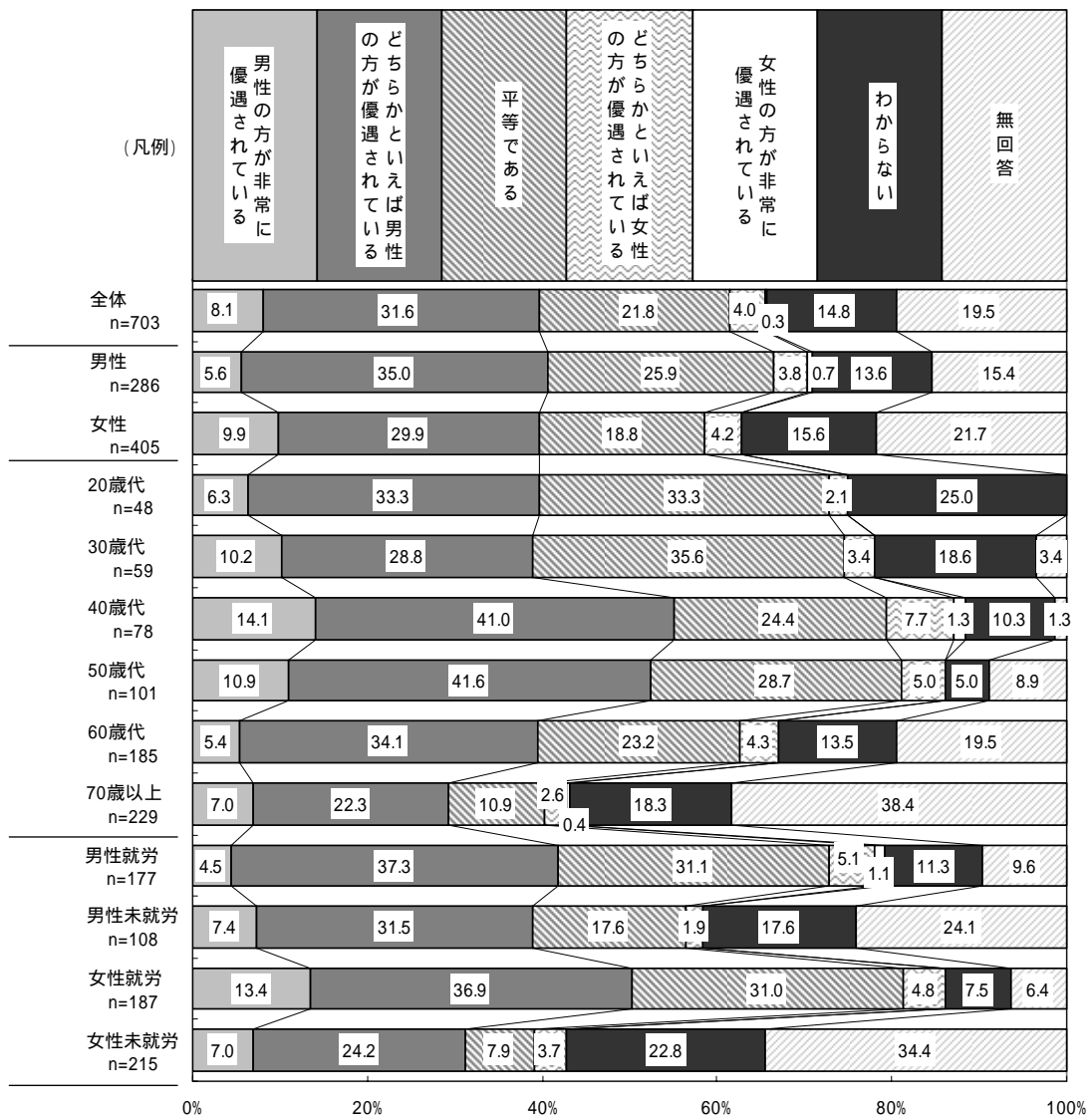
A 家庭のなか



【B 職場のなか】

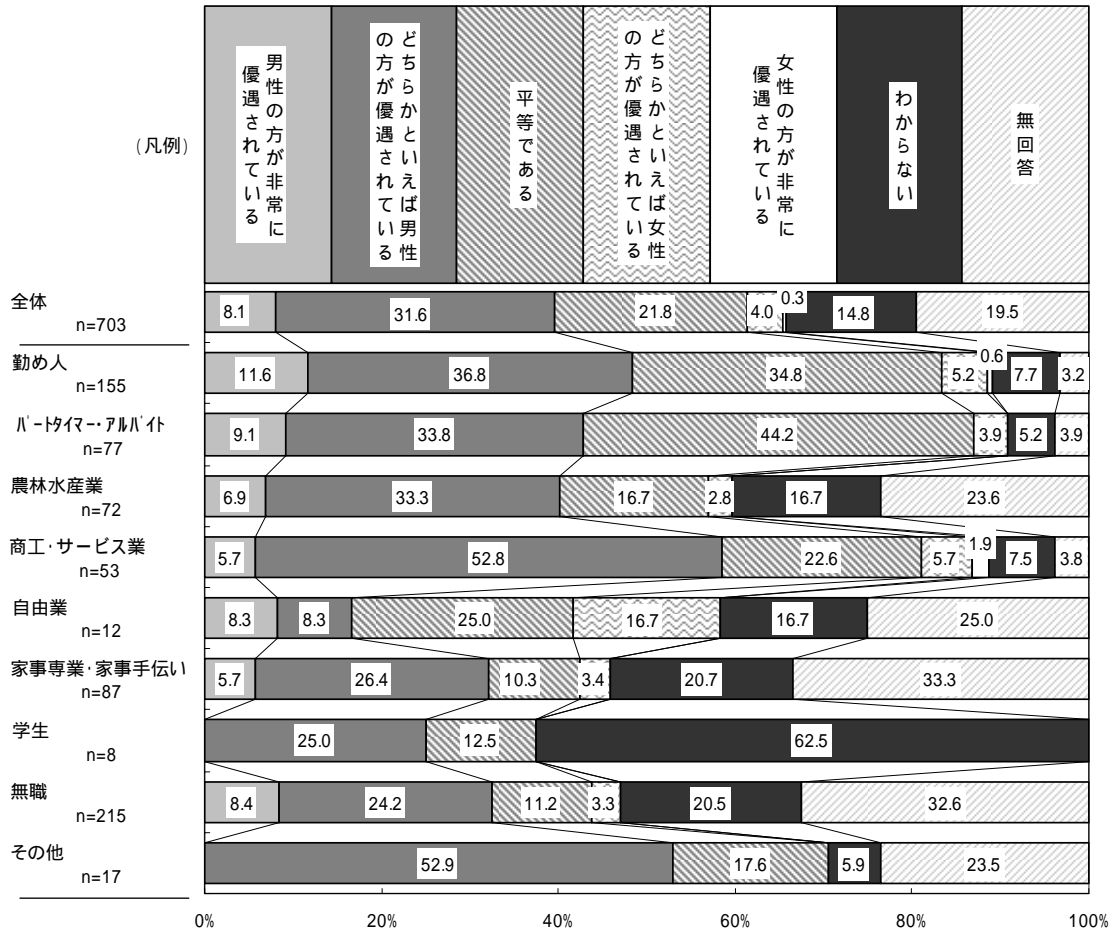
- 「平等である」が21.8%となり、『男性の方が優遇されている』は39.7%である。
- 性別では、男性は「平等である」が25.9%と女性（18.8%）よりも高い。
- 年齢別では、40歳代、50歳代で『男性の方が優遇されている』がそれぞれ55.1%、52.5%と高くなっている。「平等である」は30歳代（35.6%）、20歳代（33.3%）がやや高い。
- 性別・就労別では、男女とも就労者は『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が4割を超えており、特に女性就労者では50.3%と高い。
- 職業別では、「平等である」はパートタイマー・アルバイトが44.2%と最も高くなっている。商工・サービス業では『男性の方が優遇されている』が58.5%と特に高くなっている。

B 職場のなか



		B 職場のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	57	222	153	28	2	104	137
		100.0	8.1	31.6	21.8	4.0	0.3	14.8	19.5
男性計		286	16	100	74	11	2	39	44
		100.0	5.6	35.0	25.9	3.8	0.7	13.6	15.4
20歳代		20	-	11	7	-	-	2	-
		100.0	-	55.0	35.0	-	-	10.0	-
30歳代		27	1	8	10	1	-	7	-
		100.0	3.7	29.6	37.0	3.7	-	25.9	-
40歳代		27	4	10	6	4	1	2	-
		100.0	14.8	37.0	22.2	14.8	3.7	7.4	-
50歳代		41	2	18	12	3	-	2	4
		100.0	4.9	43.9	29.3	7.3	-	4.9	9.8
60歳代		75	1	25	25	2	-	10	12
		100.0	1.3	33.3	33.3	2.7	-	13.3	16.0
70歳以上		95	8	27	14	1	1	16	28
		100.0	8.4	28.4	14.7	1.1	1.1	16.8	29.5
女性計		405	40	121	76	17	-	63	88
		100.0	9.9	29.9	18.8	4.2	-	15.6	21.7
20歳代		28	3	5	9	1	-	10	-
		100.0	10.7	17.9	32.1	3.6	-	35.7	-
30歳代		32	5	9	11	1	-	4	2
		100.0	15.6	28.1	34.4	3.1	-	12.5	6.3
40歳代		48	6	21	12	2	-	6	1
		100.0	12.5	43.8	25.0	4.2	-	12.5	2.1
50歳代		60	9	24	17	2	-	3	5
		100.0	15.0	40.0	28.3	3.3	-	5.0	8.3
60歳代		110	9	38	18	6	-	15	24
		100.0	8.2	34.5	16.4	5.5	-	13.6	21.8
70歳以上		127	8	24	9	5	-	25	56
		100.0	6.3	18.9	7.1	3.9	-	19.7	44.1

B 職場のなか

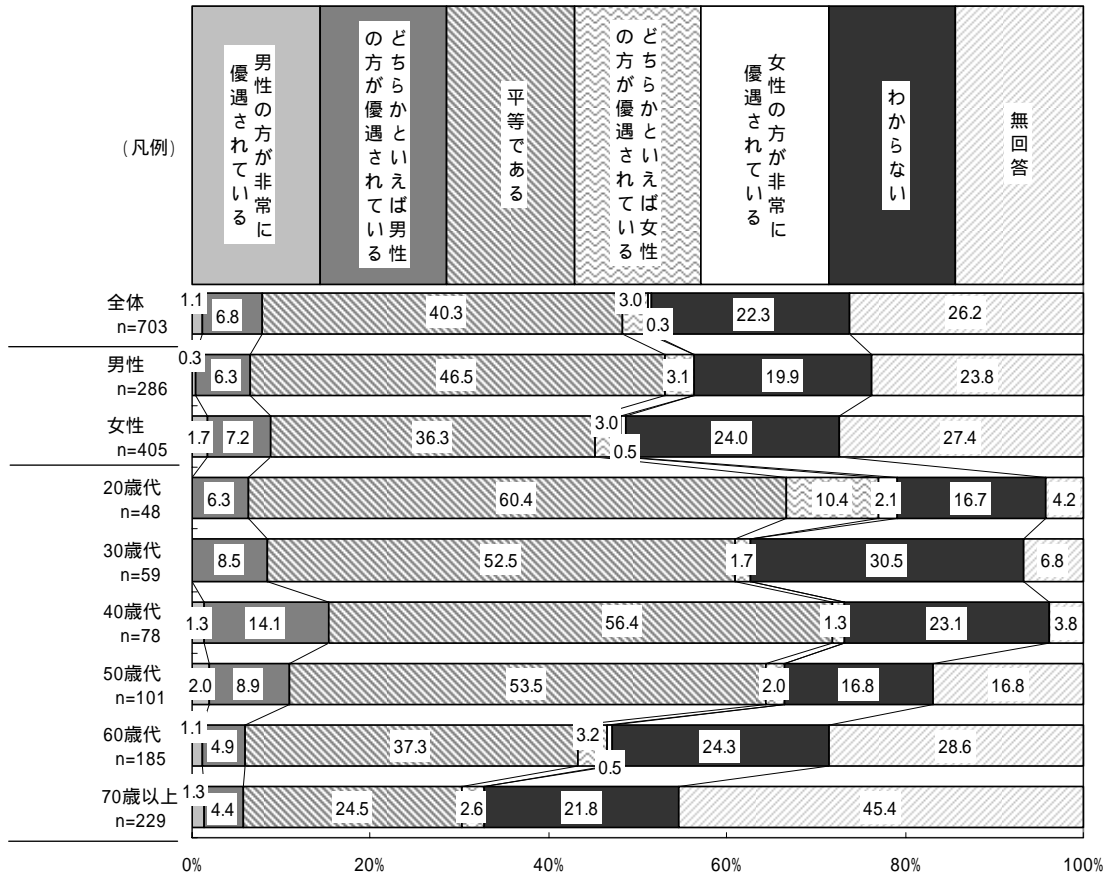


自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

【C 学校のなか】

- 「平等である」が40.3%と最も高く、『男性の方が優遇されている』は7.9%である。
- 性別では、男性は「平等である」が46.5%と、女性（36.3%）よりも10.2ポイント高い。
- 年齢別では、20歳代は「平等である」（60.4%）、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（10.4%）の割合が他の年代に比べ高い。

C 学校のなか

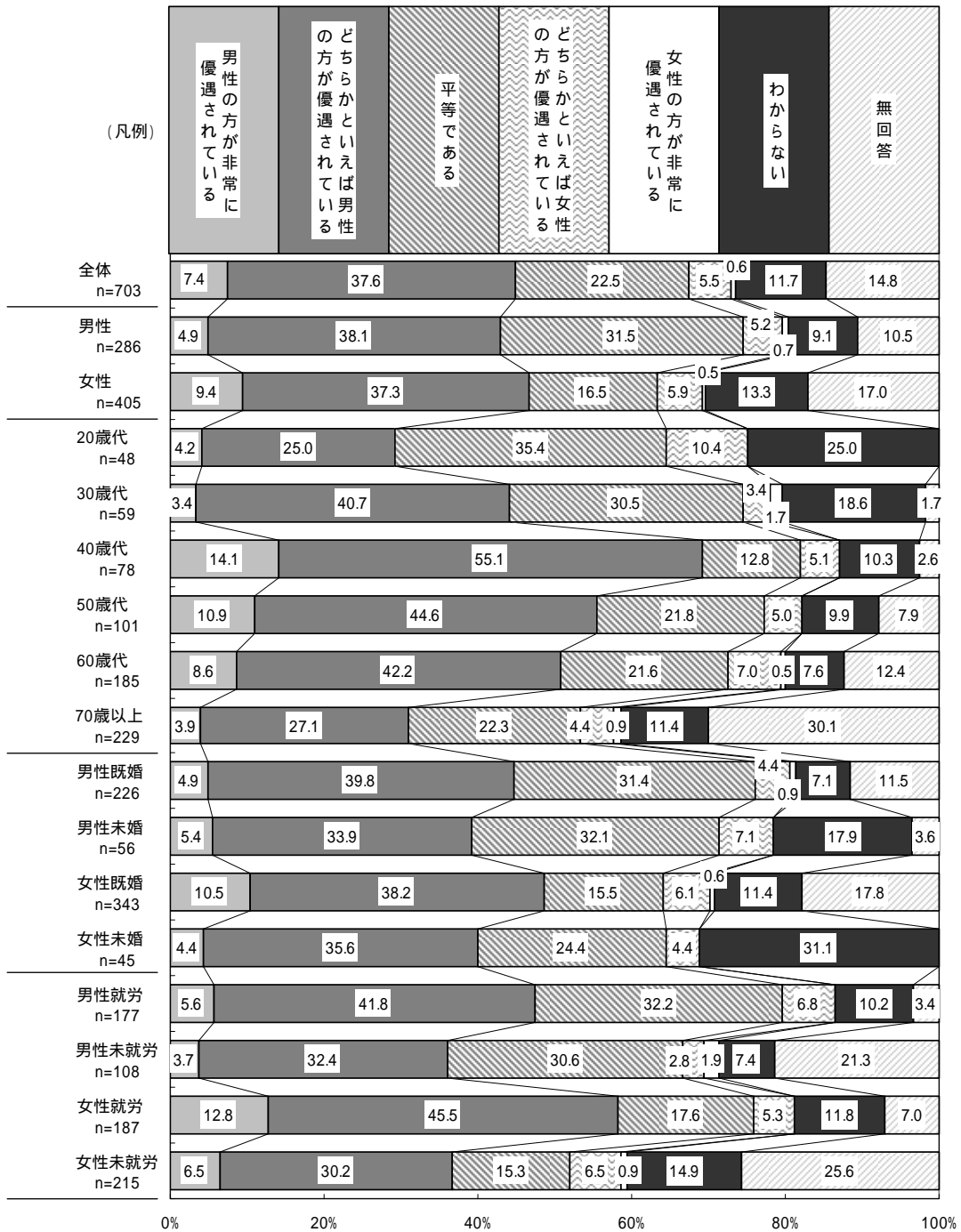


		C 学校のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	8	48	283	21	2	157	184
		100.0	1.1	6.8	40.3	3.0	0.3	22.3	26.2
性 年 齢 別	男性計	286	1	18	133	9	-	57	68
		100.0	0.3	6.3	46.5	3.1	-	19.9	23.8
	20歳代	20	-	2	14	1	-	2	1
		100.0	-	10.0	70.0	5.0	-	10.0	5.0
	30歳代	27	-	3	13	1	-	8	2
		100.0	-	11.1	48.1	3.7	-	29.6	7.4
	40歳代	27	-	2	18	1	-	4	2
		100.0	-	7.4	66.7	3.7	-	14.8	7.4
	50歳代	41	-	2	25	-	-	9	5
		100.0	-	4.9	61.0	-	-	22.0	12.2
	60歳代	75	-	3	36	2	-	15	19
		100.0	-	4.0	48.0	2.7	-	20.0	25.3
	70歳以上	95	1	5	27	4	-	19	39
		100.0	1.1	5.3	28.4	4.2	-	20.0	41.1
	女性計	405	7	29	147	12	2	97	111
		100.0	1.7	7.2	36.3	3.0	0.5	24.0	27.4
	20歳代	28	-	1	15	4	1	6	1
		100.0	-	3.6	53.6	14.3	3.6	21.4	3.6
	30歳代	32	-	2	18	-	-	10	2
		100.0	-	6.3	56.3	-	-	31.3	6.3
40歳代	48	1	8	25	-	-	13	1	
	100.0	2.1	16.7	52.1	-	-	27.1	2.1	
50歳代	60	2	7	29	2	-	8	12	
	100.0	3.3	11.7	48.3	3.3	-	13.3	20.0	
60歳代	110	2	6	33	4	1	30	34	
	100.0	1.8	5.5	30.0	3.6	0.9	27.3	30.9	
70歳以上	127	2	5	27	2	-	30	61	
	100.0	1.6	3.9	21.3	1.6	-	23.6	48.0	

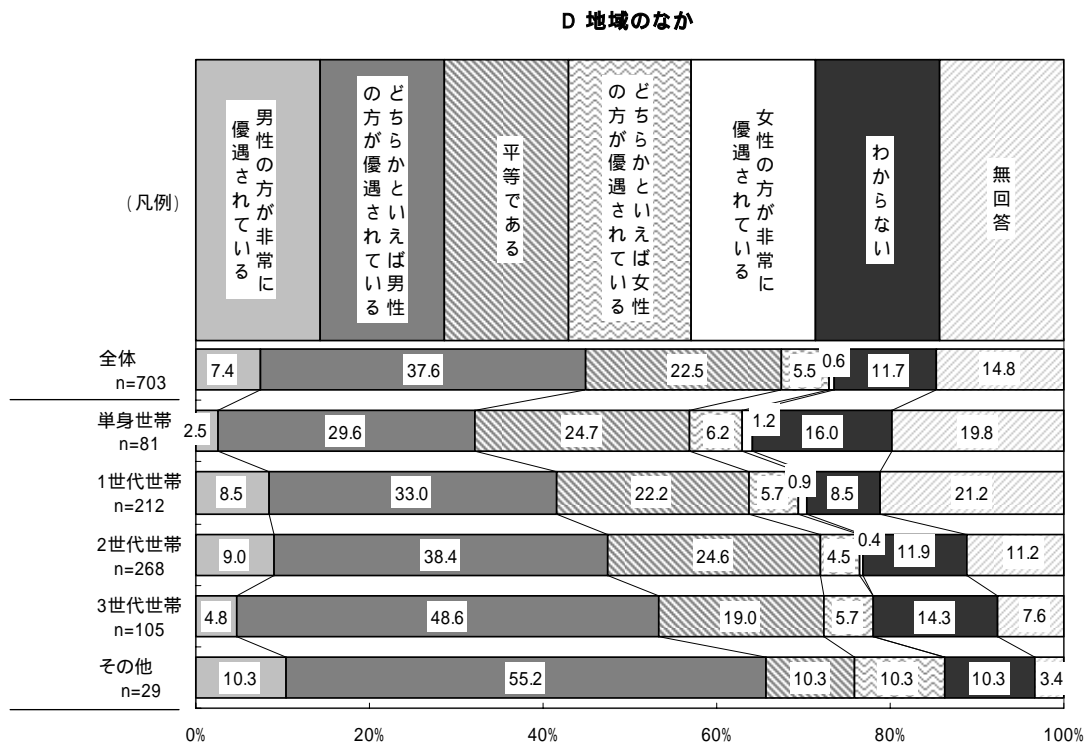
【D 地域のなか】

- 「平等である」が22.5%となり、『男性の方が優遇されている』は45.0%である。
- 性別では、男性は「平等である」が31.5%と女性（16.5%）よりも15.0ポイント高い。
- 年齢別では、「平等である」は20歳代が35.4%と最も高い。40歳代は『男性の方が優遇されている』が69.2%に上る。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が58.3%に上る。そのうち「男性の方が非常に優遇されている」は12.8%となっている。
- 世帯別では、『男性の方が優遇されている』は世帯の構成世代が多いほど高くなっている。

D 地域のなか



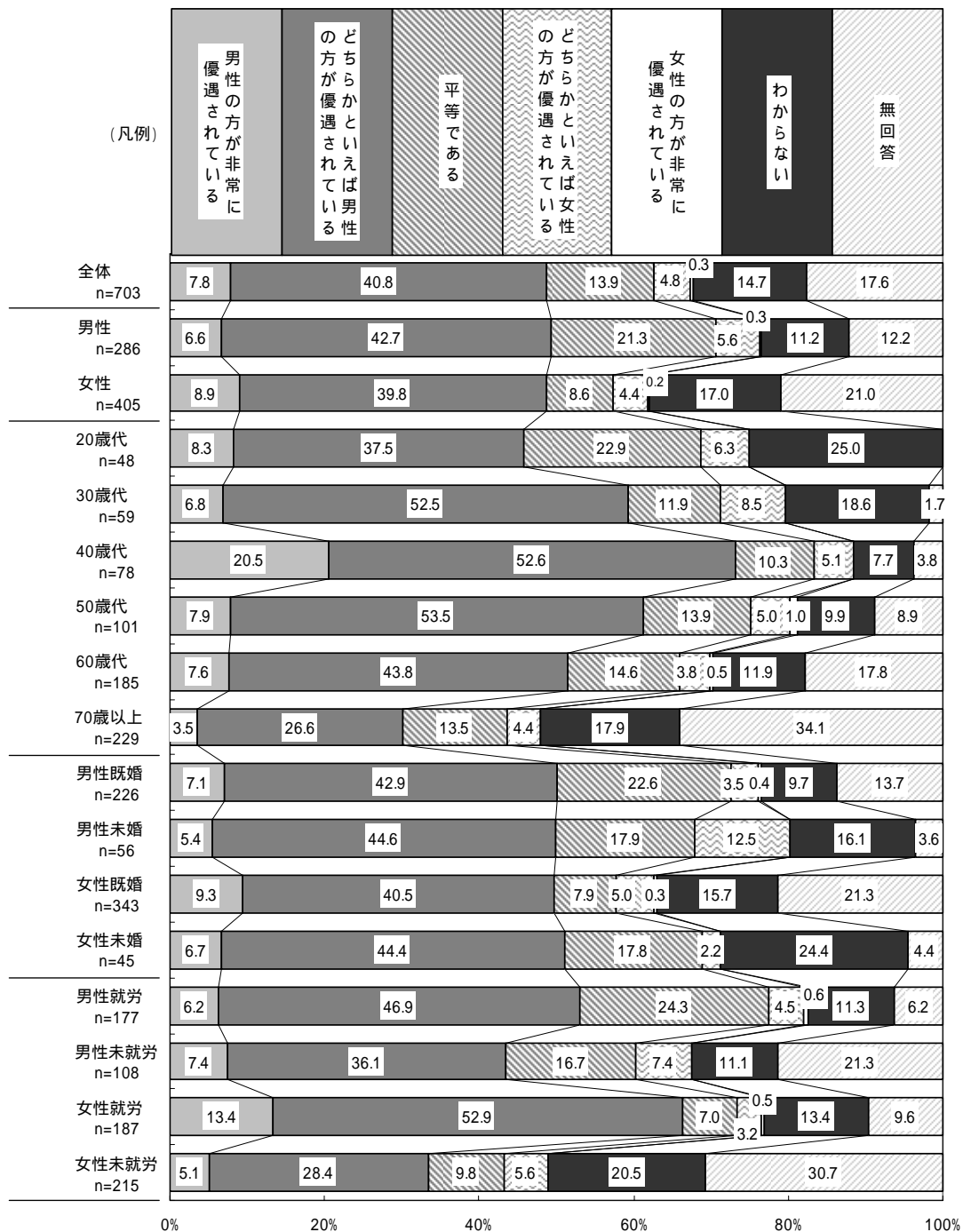
		D 地域のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	52	264	158	39	4	82	104
		100.0	7.4	37.6	22.5	5.5	0.6	11.7	14.8
男性計		286	14	109	90	15	2	26	30
		100.0	4.9	38.1	31.5	5.2	0.7	9.1	10.5
20歳代		20	-	6	8	2	-	4	-
		100.0	-	30.0	40.0	10.0	-	20.0	-
30歳代		27	1	10	10	1	1	4	-
		100.0	3.7	37.0	37.0	3.7	3.7	14.8	-
40歳代		27	2	13	6	3	-	3	-
		100.0	7.4	48.1	22.2	11.1	-	11.1	-
50歳代		41	4	15	12	4	-	4	2
		100.0	9.8	36.6	29.3	9.8	-	9.8	4.9
60歳代		75	3	38	23	2	-	3	6
		100.0	4.0	50.7	30.7	2.7	-	4.0	8.0
70歳以上		95	3	27	31	3	1	8	22
		100.0	3.2	28.4	32.6	3.2	1.1	8.4	23.2
女性計		405	38	151	67	24	2	54	69
		100.0	9.4	37.3	16.5	5.9	0.5	13.3	17.0
20歳代		28	2	6	9	3	-	8	-
		100.0	7.1	21.4	32.1	10.7	-	28.6	-
30歳代		32	1	14	8	1	-	7	1
		100.0	3.1	43.8	25.0	3.1	-	21.9	3.1
40歳代		48	9	27	4	1	-	5	2
		100.0	18.8	56.3	8.3	2.1	-	10.4	4.2
50歳代		60	7	30	10	1	-	6	6
		100.0	11.7	50.0	16.7	1.7	-	10.0	10.0
60歳代		110	13	40	17	11	1	11	17
		100.0	11.8	36.4	15.5	10.0	0.9	10.0	15.5
70歳以上		127	6	34	19	7	1	17	43
		100.0	4.7	26.8	15.0	5.5	0.8	13.4	33.9



【 E 社会通念や風潮】

- 「平等である」が13.9%となり、『男性の方が優遇されている』は48.6%である。
- 性別では、男性は「平等である」が21.3%と女性（8.6%）よりも12.7ポイント高い。
- 年齢別では、40歳代は「男性のほう非常に優遇されている」が20.5%と高く、『男性の方が優遇されている』においても73.1%と特に高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「平等である」が7.9%と特に低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が66.3%に上る。一方、男性就労者は「平等である」の割合が24.3%とやや高い。

E 社会通念や風潮

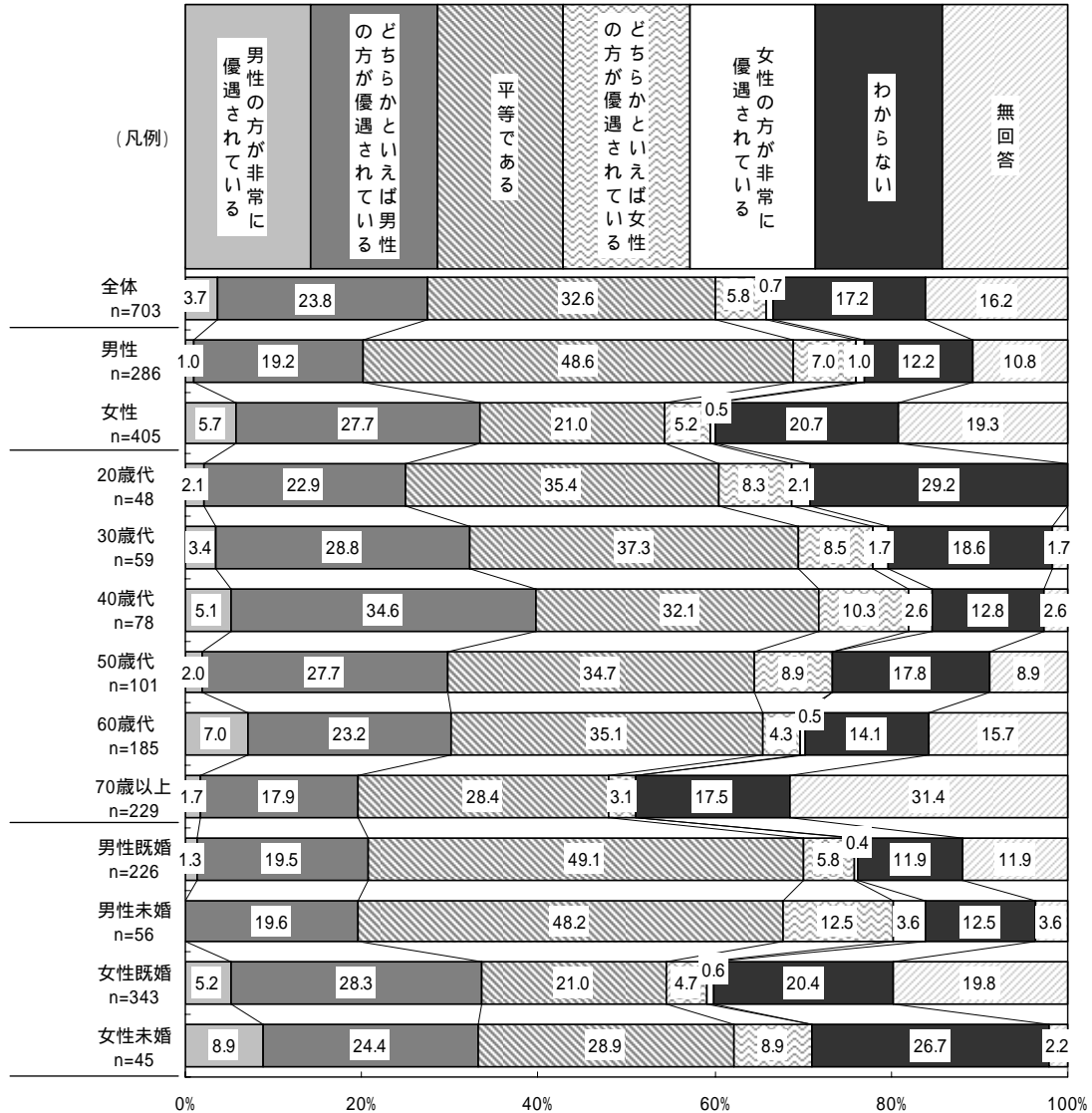


		E 社会通念や風潮(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	55	287	98	34	2	103	124
		100.0	7.8	40.8	13.9	4.8	0.3	14.7	17.6
男性計		286	19	122	61	16	1	32	35
		100.0	6.6	42.7	21.3	5.6	0.3	11.2	12.2
20歳代		20	2	8	5	2	-	3	-
		100.0	10.0	40.0	25.0	10.0	-	15.0	-
30歳代		27	1	13	5	3	-	5	-
		100.0	3.7	48.1	18.5	11.1	-	18.5	-
40歳代		27	4	14	4	4	-	1	-
		100.0	14.8	51.9	14.8	14.8	-	3.7	-
50歳代		41	2	20	10	1	1	4	3
		100.0	4.9	48.8	24.4	2.4	2.4	9.8	7.3
60歳代		75	4	35	20	2	-	6	8
		100.0	5.3	46.7	26.7	2.7	-	8.0	10.7
70歳以上		95	5	32	17	4	-	13	24
		100.0	5.3	33.7	17.9	4.2	-	13.7	25.3
女性計		405	36	161	35	18	1	69	85
		100.0	8.9	39.8	8.6	4.4	0.2	17.0	21.0
20歳代		28	2	10	6	1	-	9	-
		100.0	7.1	35.7	21.4	3.6	-	32.1	-
30歳代		32	3	18	2	2	-	6	1
		100.0	9.4	56.3	6.3	6.3	-	18.8	3.1
40歳代		48	12	25	3	-	-	5	3
		100.0	25.0	52.1	6.3	-	-	10.4	6.3
50歳代		60	6	34	4	4	-	6	6
		100.0	10.0	56.7	6.7	6.7	-	10.0	10.0
60歳代		110	10	46	7	5	1	16	25
		100.0	9.1	41.8	6.4	4.5	0.9	14.5	22.7
70歳以上		127	3	28	13	6	-	27	50
		100.0	2.4	22.0	10.2	4.7	-	21.3	39.4

【F 法律や制度の上】

- 「平等である」が32.6%と最も高く、『男性の方が優遇されている』は27.5%となっている。
- 性別では、「平等である」と回答した割合の男女差が質問項目の中で最も大きく、男性は48.6%と女性（21.0%）を27.6ポイント上回っている。
- 年齢別では、40歳代は『男性の方が優遇されている』が39.7%とやや高くなっている。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「平等である」が49.1%と女性既婚者（21.0%）より28.1ポイント高くなっている。

F 法律や制度の上

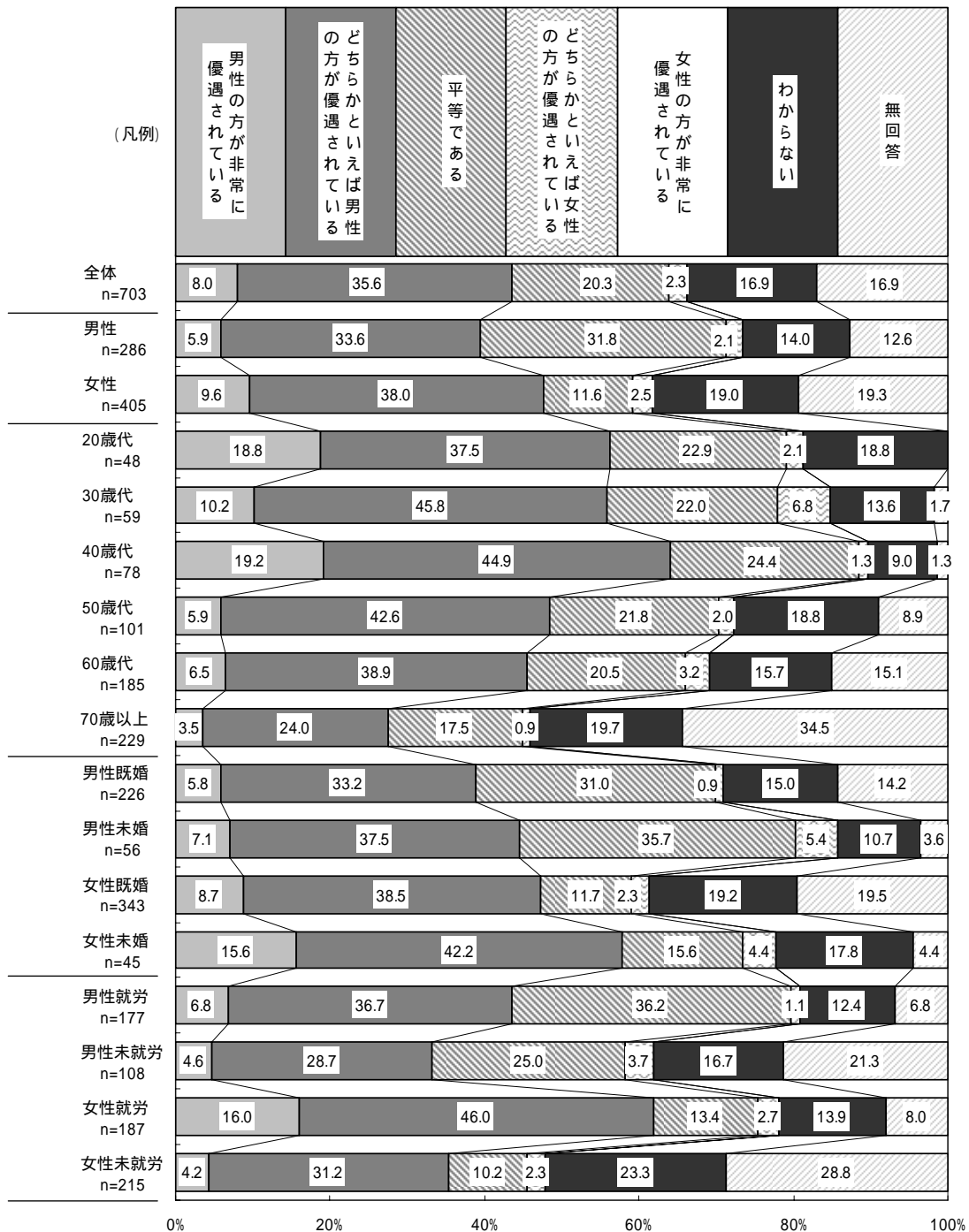


		F 法律や制度の上[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	26	167	229	41	5	121	114
		100.0	3.7	23.8	32.6	5.8	0.7	17.2	16.2
男性計		286	3	55	139	20	3	35	31
		100.0	1.0	19.2	48.6	7.0	1.0	12.2	10.8
20歳代		20	-	6	9	1	1	3	-
		100.0	-	30.0	45.0	5.0	5.0	15.0	-
30歳代		27	-	5	14	2	1	5	-
		100.0	-	18.5	51.9	7.4	3.7	18.5	-
40歳代		27	-	6	12	7	1	1	-
		100.0	-	22.2	44.4	25.9	3.7	3.7	-
50歳代		41	-	8	21	5	-	5	2
		100.0	-	19.5	51.2	12.2	-	12.2	4.9
60歳代		75	1	13	43	3	-	8	7
		100.0	1.3	17.3	57.3	4.0	-	10.7	9.3
70歳以上		95	2	17	40	2	-	12	22
		100.0	2.1	17.9	42.1	2.1	-	12.6	23.2
女性計		405	23	112	85	21	2	84	78
		100.0	5.7	27.7	21.0	5.2	0.5	20.7	19.3
20歳代		28	1	5	8	3	-	11	-
		100.0	3.6	17.9	28.6	10.7	-	39.3	-
30歳代		32	2	12	8	3	-	6	1
		100.0	6.3	37.5	25.0	9.4	-	18.8	3.1
40歳代		48	4	21	10	1	1	9	2
		100.0	8.3	43.8	20.8	2.1	2.1	18.8	4.2
50歳代		60	2	20	14	4	-	13	7
		100.0	3.3	33.3	23.3	6.7	-	21.7	11.7
60歳代		110	12	30	22	5	1	18	22
		100.0	10.9	27.3	20.0	4.5	0.9	16.4	20.0
70歳以上		127	2	24	23	5	-	27	46
		100.0	1.6	18.9	18.1	3.9	-	21.3	36.2

【G 政治（政策決定）の場】

- 「平等である」が20.3%となり、『男性の方が優遇されている』は43.6%である。
- 性別では、男性は「平等である」が31.8%と女性（11.6%）を20.2ポイント上回る。
- 年齢別では、『男性の方が優遇されている』は、40歳代が64.1%と最も高く、20歳代（56.3%）、30歳代（56.0%）でも5割を超えている。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「平等である」が、11.7%にとどまっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が62.0%と特に高い。一方、男性就労者は「平等である」が36.2%と高い。

G 政治（政策決定）の場

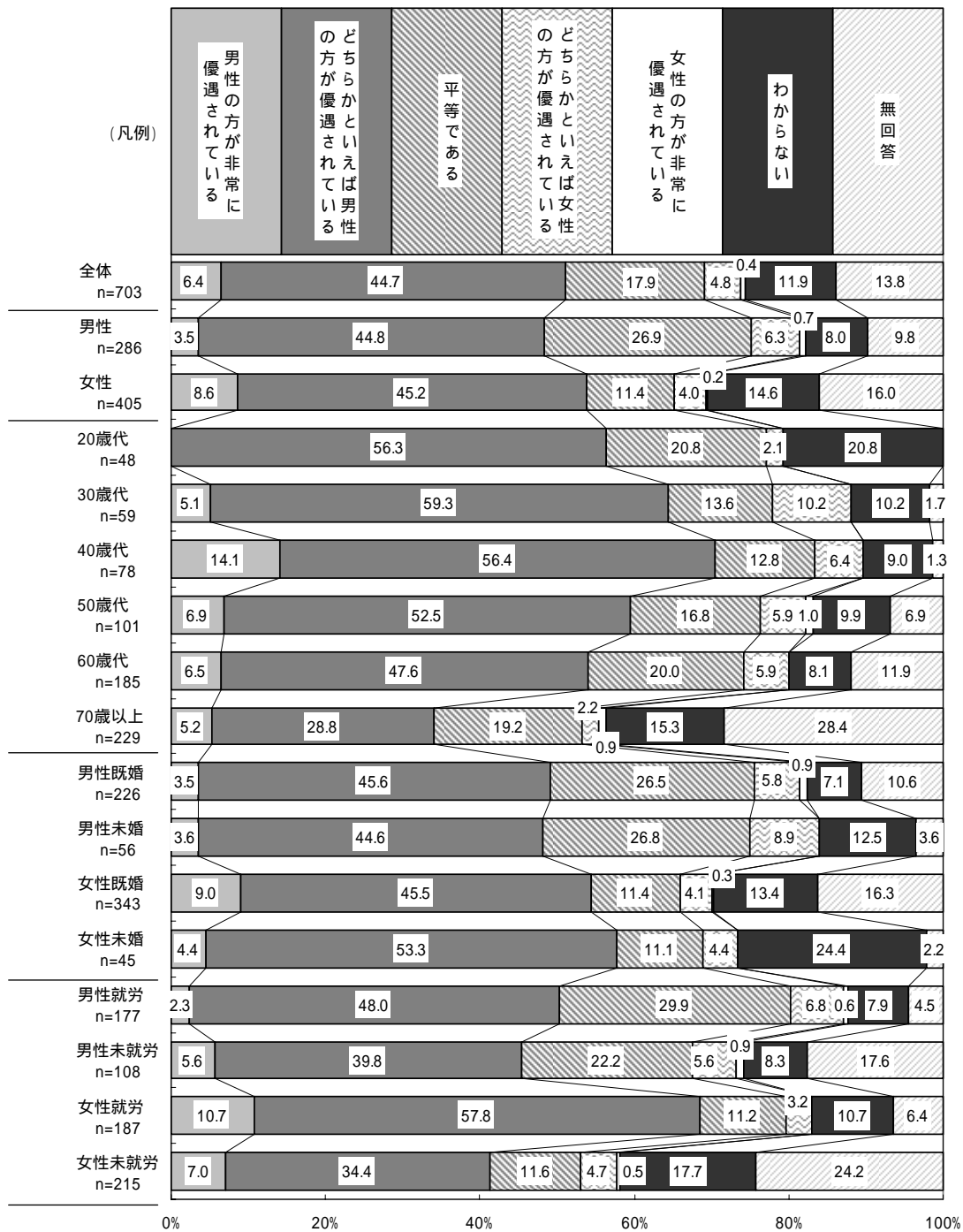


		G 政治(政策決定)の場[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	56	250	143	16	0	119	119
		100.0	8.0	35.6	20.3	2.3	0.0	16.9	16.9
男性計		286	17	96	91	6	-	40	36
		100.0	5.9	33.6	31.8	2.1	-	14.0	12.6
20歳代		20	2	11	6	-	-	1	-
		100.0	10.0	55.0	30.0	-	-	5.0	-
30歳代		27	2	11	7	1	-	6	-
		100.0	7.4	40.7	25.9	3.7	-	22.2	-
40歳代		27	4	9	12	1	-	1	-
		100.0	14.8	33.3	44.4	3.7	-	3.7	-
50歳代		41	2	16	15	1	-	5	2
		100.0	4.9	39.0	36.6	2.4	-	12.2	4.9
60歳代		75	3	26	28	1	-	9	8
		100.0	4.0	34.7	37.3	1.3	-	12.0	10.7
70歳以上		95	4	23	23	2	-	17	26
		100.0	4.2	24.2	24.2	2.1	-	17.9	27.4
女性計		405	39	154	47	10	-	77	78
		100.0	9.6	38.0	11.6	2.5	-	19.0	19.3
20歳代		28	7	7	5	1	-	8	-
		100.0	25.0	25.0	17.9	3.6	-	28.6	-
30歳代		32	4	16	6	3	-	2	1
		100.0	12.5	50.0	18.8	9.4	-	6.3	3.1
40歳代		48	11	26	4	-	-	6	1
		100.0	22.9	54.2	8.3	-	-	12.5	2.1
50歳代		60	4	27	7	1	-	14	7
		100.0	6.7	45.0	11.7	1.7	-	23.3	11.7
60歳代		110	9	46	10	5	-	20	20
		100.0	8.2	41.8	9.1	4.5	-	18.2	18.2
70歳以上		127	4	32	15	-	-	27	49
		100.0	3.1	25.2	11.8	-	-	21.3	38.6

【H 社会全体】

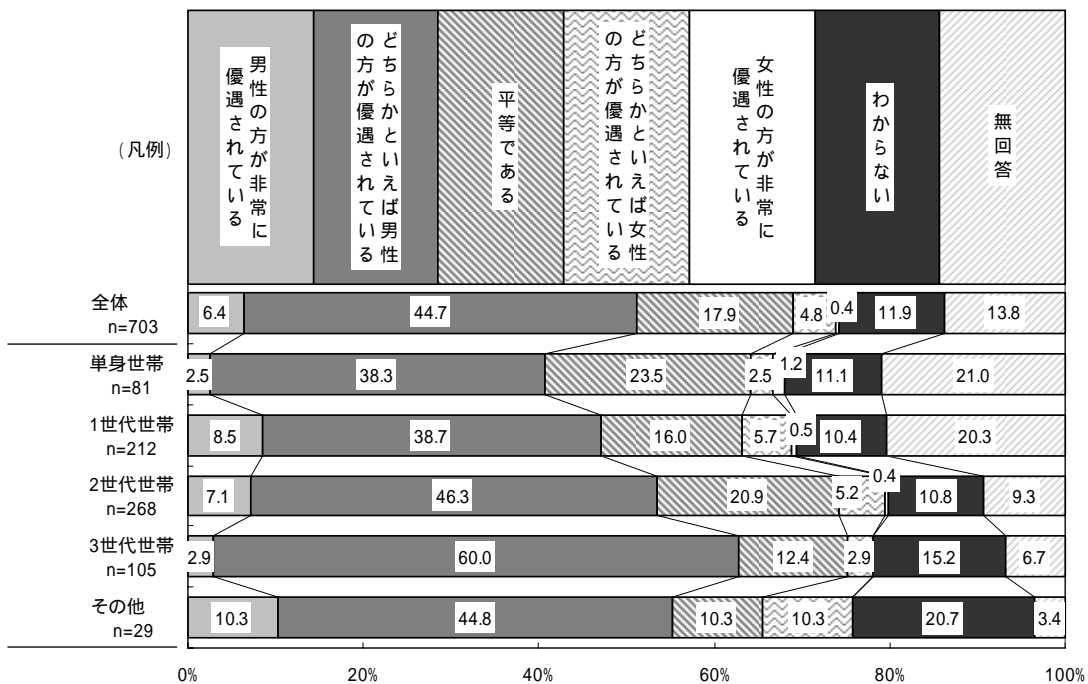
- 「平等である」が17.9%となり、『男性の方が優遇されている』は51.1%である。
- 性別では、男性は「平等である」が26.9%と女性（11.4%）よりも15.5ポイント高い。
- 年齢別では、70歳以上を除くいずれの年齢層でも『男性の方が優遇されている』が5割を超えている。そのうち40歳代が70.5%と最も高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が特に68.5%と高い。
- 世帯別では、「平等である」と回答した割合が最も高いのは単身世帯（23.5%）である。また、3世代世帯では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が60.0%と特に高い。

H 社会全体



		H 社会全体[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		703	45	314	126	34	3	84	97
		100.0	6.4	44.7	17.9	4.8	0.4	11.9	13.8
男性計		286	10	128	77	18	2	23	28
		100.0	3.5	44.8	26.9	6.3	0.7	8.0	9.8
20歳代		20	-	13	6	-	-	1	-
		100.0	-	65.0	30.0	-	-	5.0	-
30歳代		27	-	14	5	4	-	4	-
		100.0	-	51.9	18.5	14.8	-	14.8	-
40歳代		27	2	13	7	4	-	1	-
		100.0	7.4	48.1	25.9	14.8	-	3.7	-
50歳代		41	1	18	12	3	1	4	2
		100.0	2.4	43.9	29.3	7.3	2.4	9.8	4.9
60歳代		75	2	36	24	3	-	4	6
		100.0	2.7	48.0	32.0	4.0	-	5.3	8.0
70歳以上		95	5	33	23	4	1	9	20
		100.0	5.3	34.7	24.2	4.2	1.1	9.5	21.1
女性計		405	35	183	46	16	1	59	65
		100.0	8.6	45.2	11.4	4.0	0.2	14.6	16.0
20歳代		28	-	14	4	1	-	9	-
		100.0	-	50.0	14.3	3.6	-	32.1	-
30歳代		32	3	21	3	2	-	2	1
		100.0	9.4	65.6	9.4	6.3	-	6.3	3.1
40歳代		48	9	29	2	1	-	6	1
		100.0	18.8	60.4	4.2	2.1	-	12.5	2.1
50歳代		60	6	35	5	3	-	6	5
		100.0	10.0	58.3	8.3	5.0	-	10.0	8.3
60歳代		110	10	52	13	8	-	11	16
		100.0	9.1	47.3	11.8	7.3	-	10.0	14.5
70歳以上		127	7	32	19	1	1	25	42
		100.0	5.5	25.2	15.0	0.8	0.8	19.7	33.1

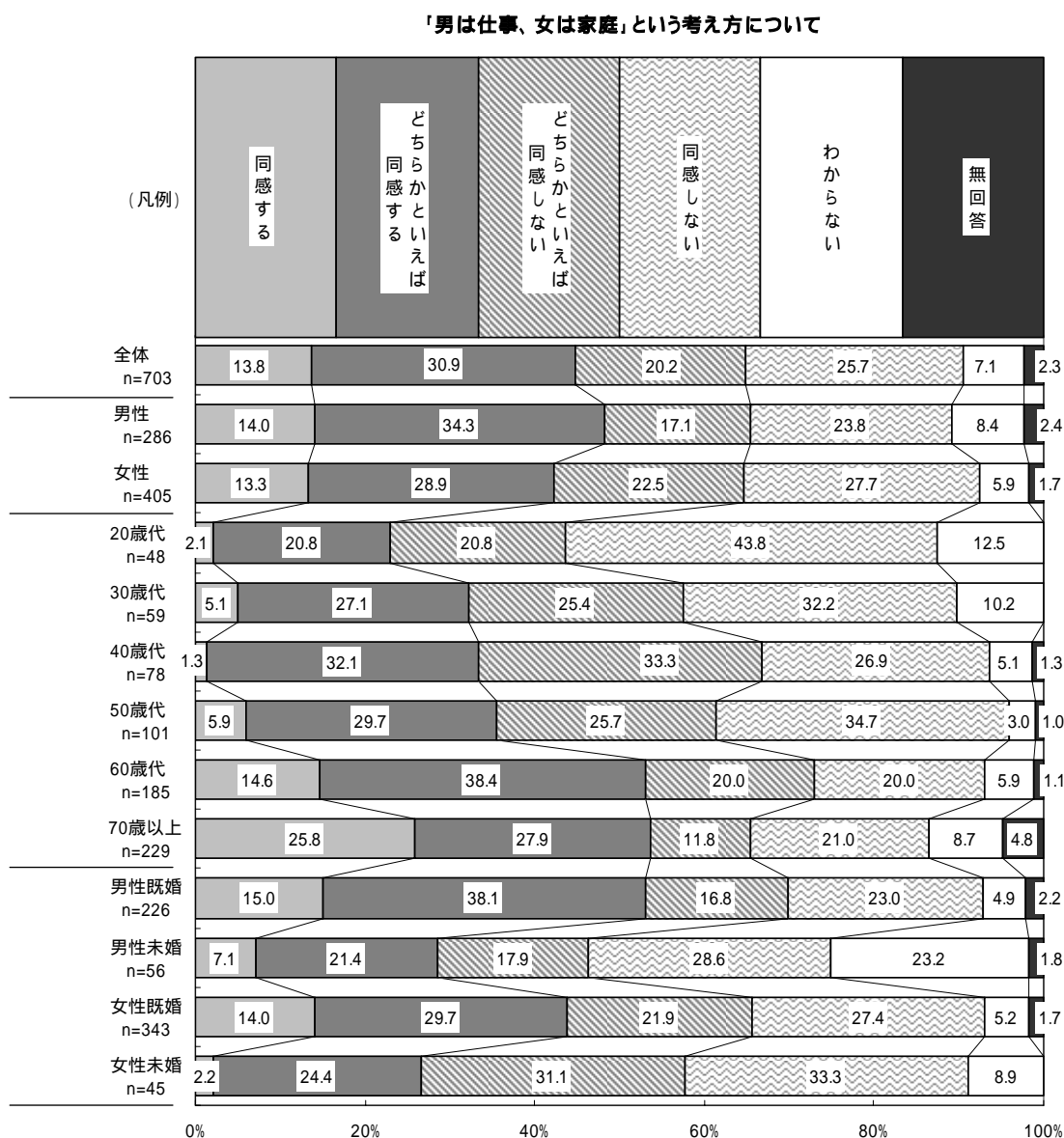
H 社会全体



(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

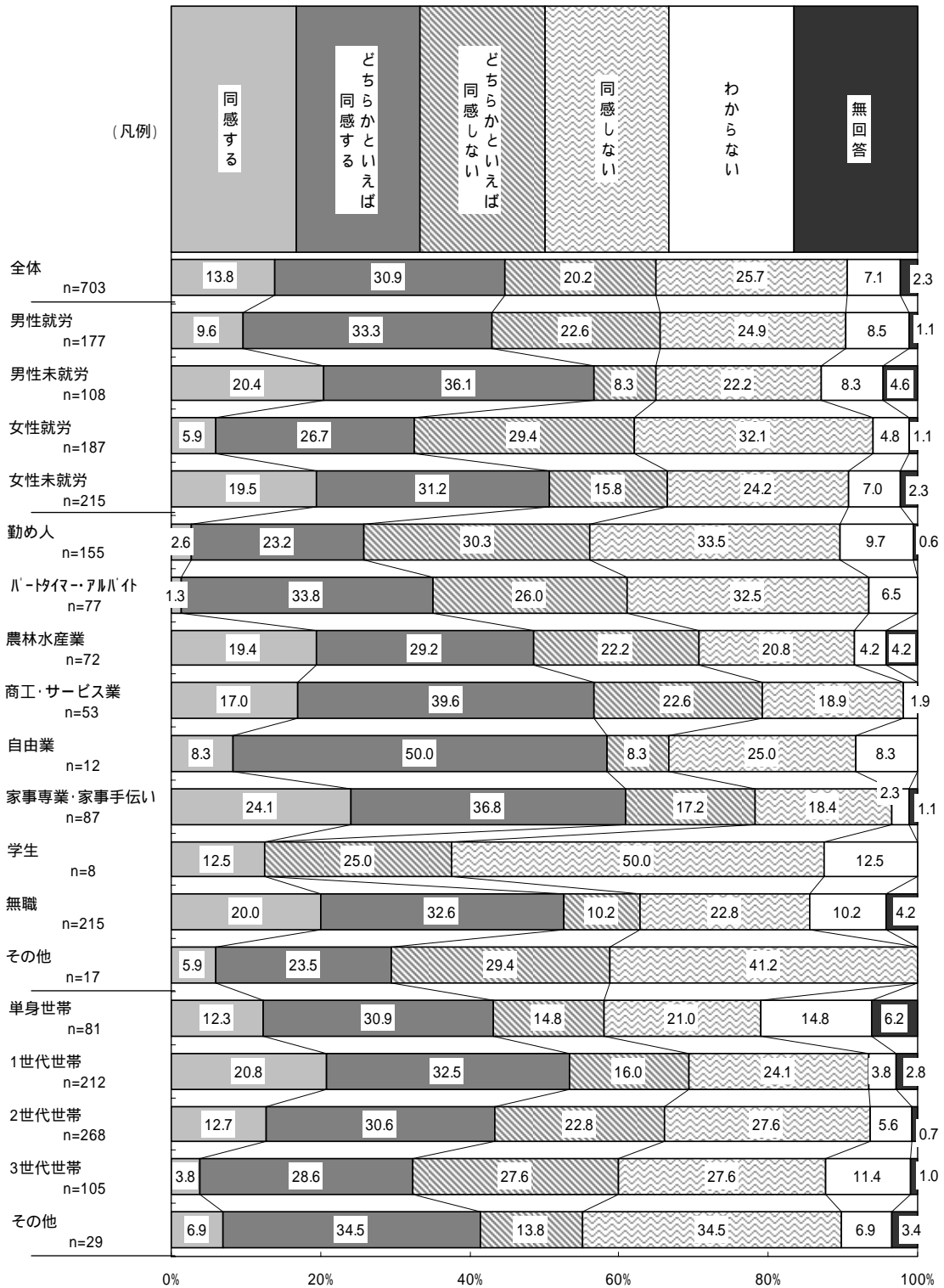
- 「どちらかといえば同感する」が30.9%と最も高く、「同感する」(13.8%)と合わせた『同感する』は44.7%となる。一方、『同感しない』は45.9%である。
- 性別では、女性は『同感しない』が50.2%と男性(40.9%)よりも高い。
- 年齢別では、20歳代は『同感しない』が64.6%を占め、そのうち「同感しない」が43.8%と特に高い。60歳代以上では『同感する』が5割を超える。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『同感しない』が64.4%と高く、そのうち「同感しない」が33.3%である。
- 性別・就労別では、女性就労者は『同感しない』が61.5%と高い。
- 職業別では、勤め人は『同感する』が25.8%と低い。
- 世帯別では、1世代世帯で『同感する』が53.3%と最も高く、3世代世帯で32.4%と低い。



『同感する』は、本来の選択肢の「同感する」と「どちらかといえば同感する」の割合を合計したものである。『同感しない』は、本来の選択肢の「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

		「男は仕事、女は家庭」という考え方について〔%〕						
		全体	同感する	どちらかといえは同感する	どちらかといえは同感しない	同感しない	わからない	無回答
全体		703	97	217	142	181	50	16
		100.0	13.8	30.9	20.2	25.7	7.1	2.3
性 年 齢 別	男性計	286	40	98	49	68	24	7
		100.0	14.0	34.3	17.1	23.8	8.4	2.4
	20歳代	20	-	4	2	10	4	-
		100.0	-	20.0	10.0	50.0	20.0	-
	30歳代	27	2	8	5	7	5	-
		100.0	7.4	29.6	18.5	25.9	18.5	-
	40歳代	27	1	11	8	5	2	-
		100.0	3.7	40.7	29.6	18.5	7.4	-
	50歳代	41	4	6	12	17	1	1
		100.0	9.8	14.6	29.3	41.5	2.4	2.4
	60歳代	75	10	35	12	10	7	1
		100.0	13.3	46.7	16.0	13.3	9.3	1.3
	70歳以上	95	23	34	9	19	5	5
		100.0	24.2	35.8	9.5	20.0	5.3	5.3
	女性計	405	54	117	91	112	24	7
		100.0	13.3	28.9	22.5	27.7	5.9	1.7
	20歳代	28	1	6	8	11	2	-
		100.0	3.6	21.4	28.6	39.3	7.1	-
	30歳代	32	1	8	10	12	1	-
		100.0	3.1	25.0	31.3	37.5	3.1	-
40歳代	48	-	13	17	15	2	1	
	100.0	-	27.1	35.4	31.3	4.2	2.1	
50歳代	60	2	24	14	18	2	-	
	100.0	3.3	40.0	23.3	30.0	3.3	-	
60歳代	110	17	36	25	27	4	1	
	100.0	15.5	32.7	22.7	24.5	3.6	0.9	
70歳以上	127	33	30	17	29	13	5	
	100.0	26.0	23.6	13.4	22.8	10.2	3.9	

「男は仕事、女は家庭」という考え方について



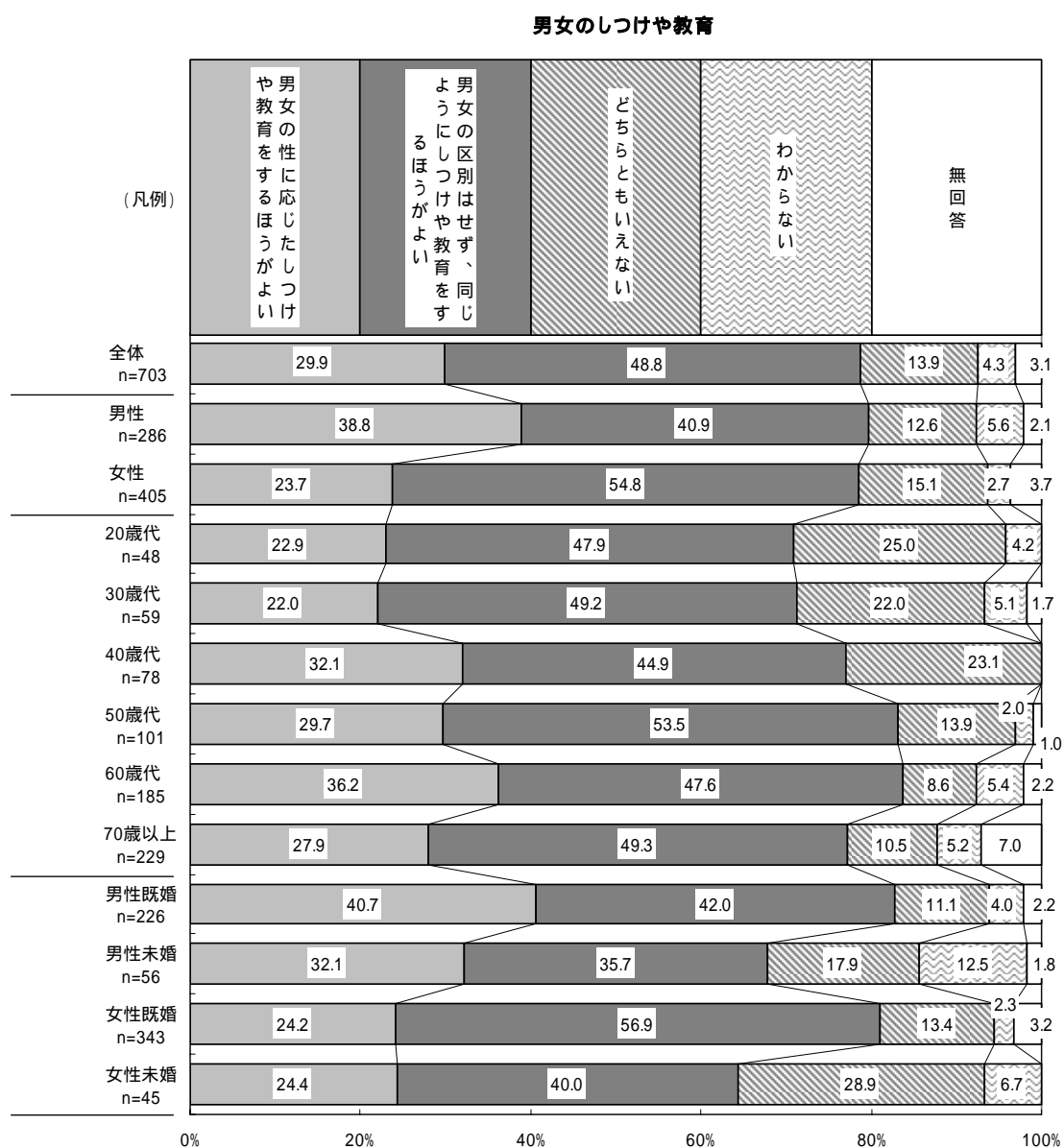
自由業、学生、その他（職業）、その他（世帯）の回答者は少数のため、分析から除いている。

2 家庭生活について

(1) 男女のしつけや教育

問3. あなたは、男の子と女の子のしつけや教育についてどう思いますか。

- 「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が48.8%と最も高く、以下「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」(29.9%)、「どちらともいえない」(13.9%)である。
- 性別では、女性は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が54.8%と男性(40.9%)よりも13.9ポイント高い。
- 年齢別では、60歳代は「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」が36.2%とやや高く、30歳代(22.0%)、20歳代(22.9%)ではやや低い。また、40歳代以下では「どちらともいえない」がやや高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が56.9%と特に高くなっている。男性既婚者は「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」が40.7%と高い。



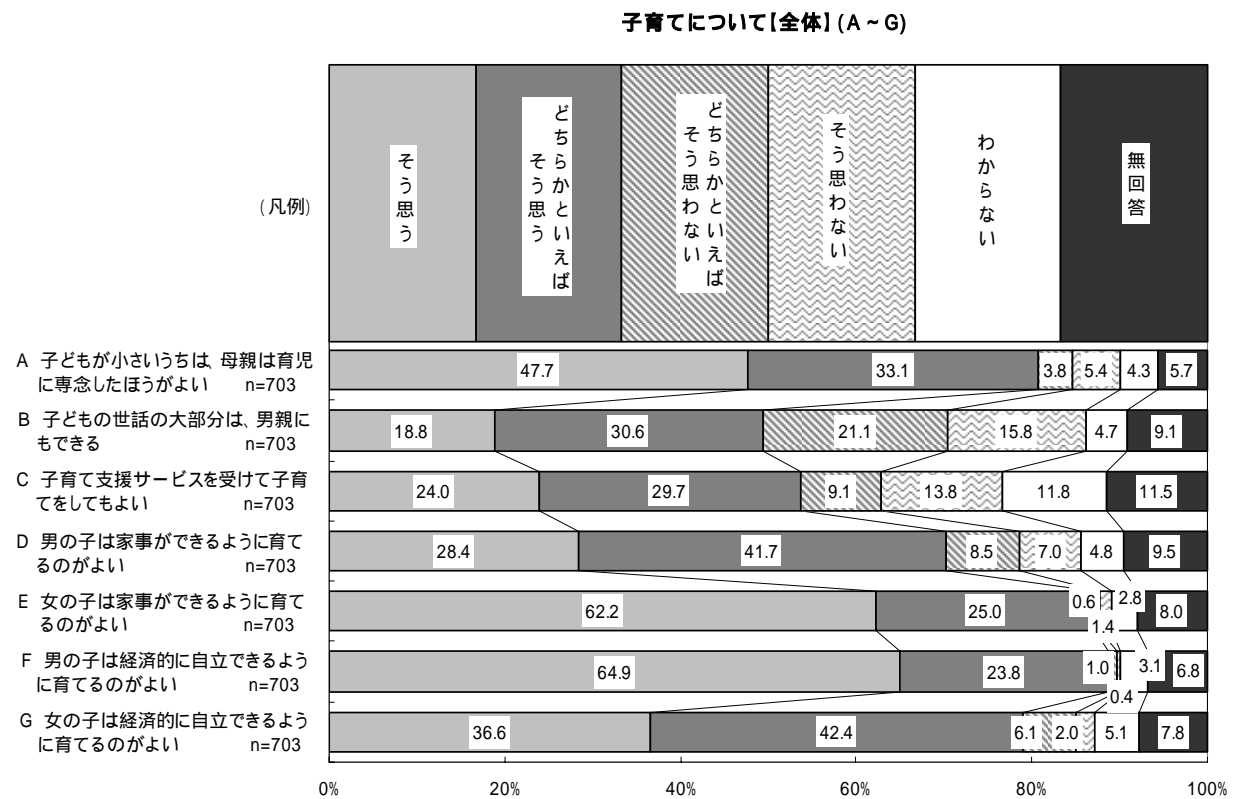
		男女のしつけや教育〔%〕					
		全体	男女の性に 応じたしつ けや教育を するほうが よい	男女の区別 はせず、同 じようにしつ けや教育を するほうが よい	どちらともい えない	わからない	無回答
全体		703	210	343	98	30	22
		100.0	29.9	48.8	13.9	4.3	3.1
男性計		286	111	117	36	16	6
		100.0	38.8	40.9	12.6	5.6	2.1
20歳代		20	4	12	3	1	-
		100.0	20.0	60.0	15.0	5.0	-
30歳代		27	8	9	8	2	-
		100.0	29.6	33.3	29.6	7.4	-
40歳代		27	12	8	7	-	-
		100.0	44.4	29.6	25.9	-	-
50歳代		41	14	21	4	2	-
		100.0	34.1	51.2	9.8	4.9	-
60歳代		75	39	21	7	6	2
		100.0	52.0	28.0	9.3	8.0	2.7
70歳以上		95	34	46	6	5	4
		100.0	35.8	48.4	6.3	5.3	4.2
女性計		405	96	222	61	11	15
		100.0	23.7	54.8	15.1	2.7	3.7
20歳代		28	7	11	9	1	-
		100.0	25.0	39.3	32.1	3.6	-
30歳代		32	5	20	5	1	1
		100.0	15.6	62.5	15.6	3.1	3.1
40歳代		48	11	26	11	-	-
		100.0	22.9	54.2	22.9	-	-
50歳代		60	16	33	10	-	1
		100.0	26.7	55.0	16.7	-	1.7
60歳代		110	28	67	9	4	2
		100.0	25.5	60.9	8.2	3.6	1.8
70歳以上		127	29	65	17	5	11
		100.0	22.8	51.2	13.4	3.9	8.7

(2) 子育てについて

問4. 子育てについて、あなたのご意見に近いものはどれですか。

【全体】(A~G)

- 「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」、「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」は「そう思う」がそれぞれ 62.2%、64.9%と特に高く、「どちらかといえばそう思う」を加えるとそれぞれ 87.2%、88.7%に上る。また、「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」の「そう思う」(62.2%)は、「D 男の子は家事ができるように育てるのがよい」の「そう思う」(28.4%)に比べ 33.8ポイント高く、大きな差がみられる。「B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる」と「C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」は『そう思う』がそれぞれ 49.4%、53.7%と他の項目に比べて低い。

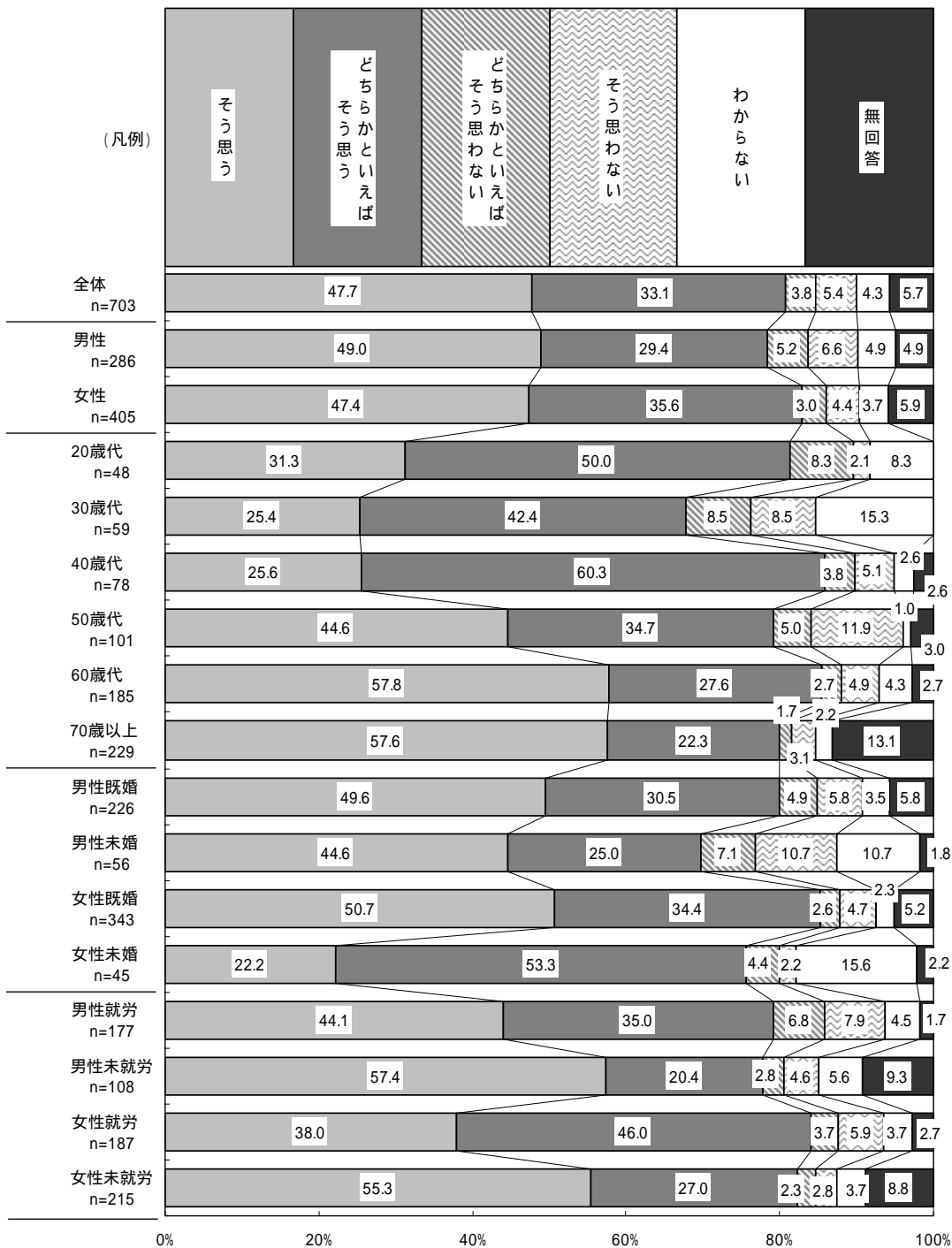


『そう思う』は、本来の選択肢の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計したものである。また、『そう思わない』は、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい】

- 『そう思う』が80.8%と高く、『そう思わない』は9.2%と1割に満たない。
- 性別では、女性は『そう思う』が83.0%と男性(78.4%)よりも高い。
- 年齢別では、全ての年齢層で『そう思う』が大きな割合を占めている。また、「そう思う」は30歳代(25.4%)、40歳代(25.6%)で低く、60歳代以上では5割を超えて高くなっている。
- 婚姻状況別では、「そう思う」は女性既婚者が50.7%と高いが、女性未婚者は22.2%と低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「そう思う」の割合は38.0%と低い、「どちらかといえばそう思う」と併せた『そう思う』が84.0%となっている。

A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい

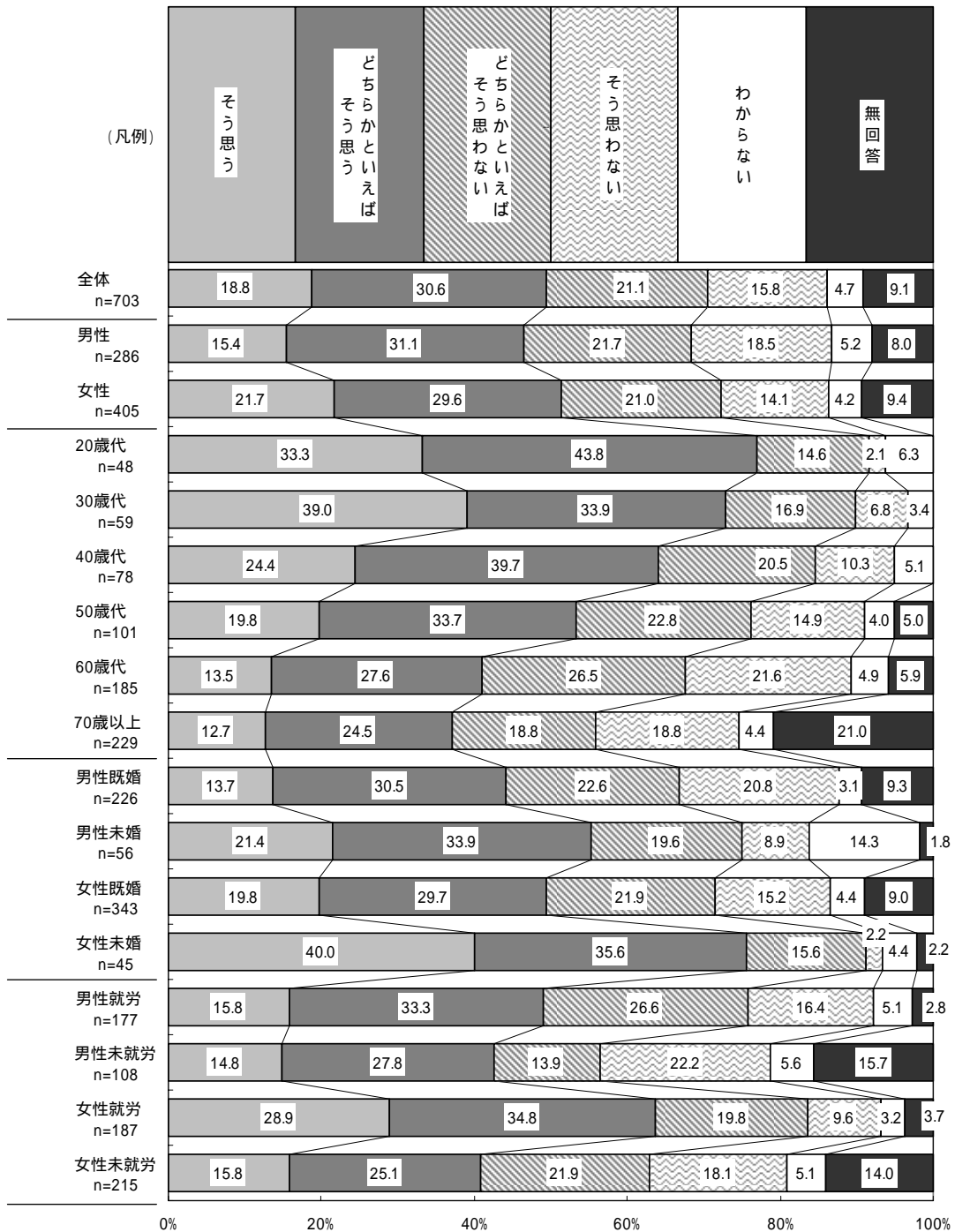


		A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	335	233	27	38	30	40
		100.0	47.7	33.1	3.8	5.4	4.3	5.7
性 年 齢 別	男性計	286	140	84	15	19	14	14
		100.0	49.0	29.4	5.2	6.6	4.9	4.9
	20歳代	20	10	5	3	1	1	-
		100.0	50.0	25.0	15.0	5.0	5.0	-
	30歳代	27	9	7	4	3	4	-
		100.0	33.3	25.9	14.8	11.1	14.8	-
	40歳代	27	9	16	1	1	-	-
		100.0	33.3	59.3	3.7	3.7	-	-
	50歳代	41	18	12	3	7	-	1
		100.0	43.9	29.3	7.3	17.1	-	2.4
	60歳代	75	38	22	2	4	7	2
		100.0	50.7	29.3	2.7	5.3	9.3	2.7
	70歳以上	95	56	22	1	3	2	11
		100.0	58.9	23.2	1.1	3.2	2.1	11.6
	女性計	405	192	144	12	18	15	24
		100.0	47.4	35.6	3.0	4.4	3.7	5.9
	20歳代	28	5	19	1	-	3	-
		100.0	17.9	67.9	3.6	-	10.7	-
	30歳代	32	6	18	1	2	5	-
		100.0	18.8	56.3	3.1	6.3	15.6	-
40歳代	48	10	30	2	2	2	2	
	100.0	20.8	62.5	4.2	4.2	4.2	4.2	
50歳代	60	27	23	2	5	1	2	
	100.0	45.0	38.3	3.3	8.3	1.7	3.3	
60歳代	110	69	29	3	5	1	3	
	100.0	62.7	26.4	2.7	4.5	0.9	2.7	
70歳以上	127	75	25	3	4	3	17	
	100.0	59.1	19.7	2.4	3.1	2.4	13.4	

【B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる】

- 『そう思う』が49.4%を占め、『そう思わない』は36.9%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が51.3%と男性(46.5%)よりも高い。
- 年齢別では、『そう思う』は20歳代が77.1%と最も高く、年齢層が上がるほどその割合は低くなっている。また、30歳代では「そう思う」が39.0%と高くなっている。
- 婚姻状況別では、未婚女性は「そう思う」が40.0%と特に高い。一方、既婚男性は『そう思わない』が43.4%と高く、そのうち「そう思わない」が20.8%となっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』の割合が63.7%と特に高い。

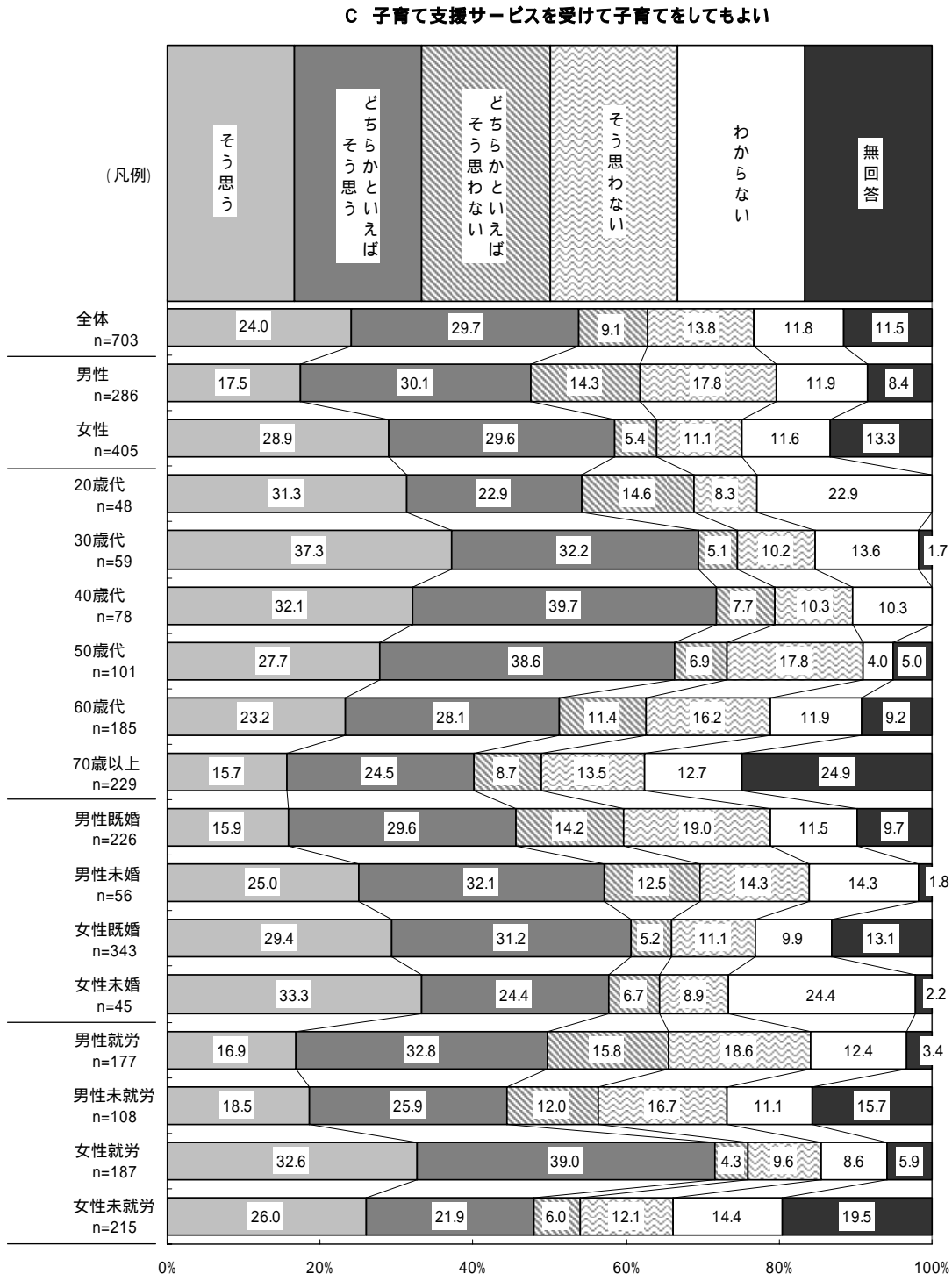
B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる



		B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる〔%〕						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	132	215	148	111	33	64
		100.0	18.8	30.6	21.1	15.8	4.7	9.1
性 年 齢 別	男性計	286	44	89	62	53	15	23
		100.0	15.4	31.1	21.7	18.5	5.2	8.0
	20歳代	20	4	9	5	-	2	-
		100.0	20.0	45.0	25.0	-	10.0	-
	30歳代	27	7	10	6	2	2	-
		100.0	25.9	37.0	22.2	7.4	7.4	-
	40歳代	27	6	9	5	6	1	-
		100.0	22.2	33.3	18.5	22.2	3.7	-
	50歳代	41	4	15	11	9	1	1
		100.0	9.8	36.6	26.8	22.0	2.4	2.4
	60歳代	75	9	21	17	19	5	4
		100.0	12.0	28.0	22.7	25.3	6.7	5.3
	70歳以上	95	14	24	18	17	4	18
		100.0	14.7	25.3	18.9	17.9	4.2	18.9
	女性計	405	88	120	85	57	17	38
		100.0	21.7	29.6	21.0	14.1	4.2	9.4
	20歳代	28	12	12	2	1	1	-
		100.0	42.9	42.9	7.1	3.6	3.6	-
	30歳代	32	16	10	4	2	-	-
		100.0	50.0	31.3	12.5	6.3	-	-
40歳代	48	13	20	10	2	3	-	
	100.0	27.1	41.7	20.8	4.2	6.3	-	
50歳代	60	16	19	12	6	3	4	
	100.0	26.7	31.7	20.0	10.0	5.0	6.7	
60歳代	110	16	30	32	21	4	7	
	100.0	14.5	27.3	29.1	19.1	3.6	6.4	
70歳以上	127	15	29	25	25	6	27	
	100.0	11.8	22.8	19.7	19.7	4.7	21.3	

【C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい】

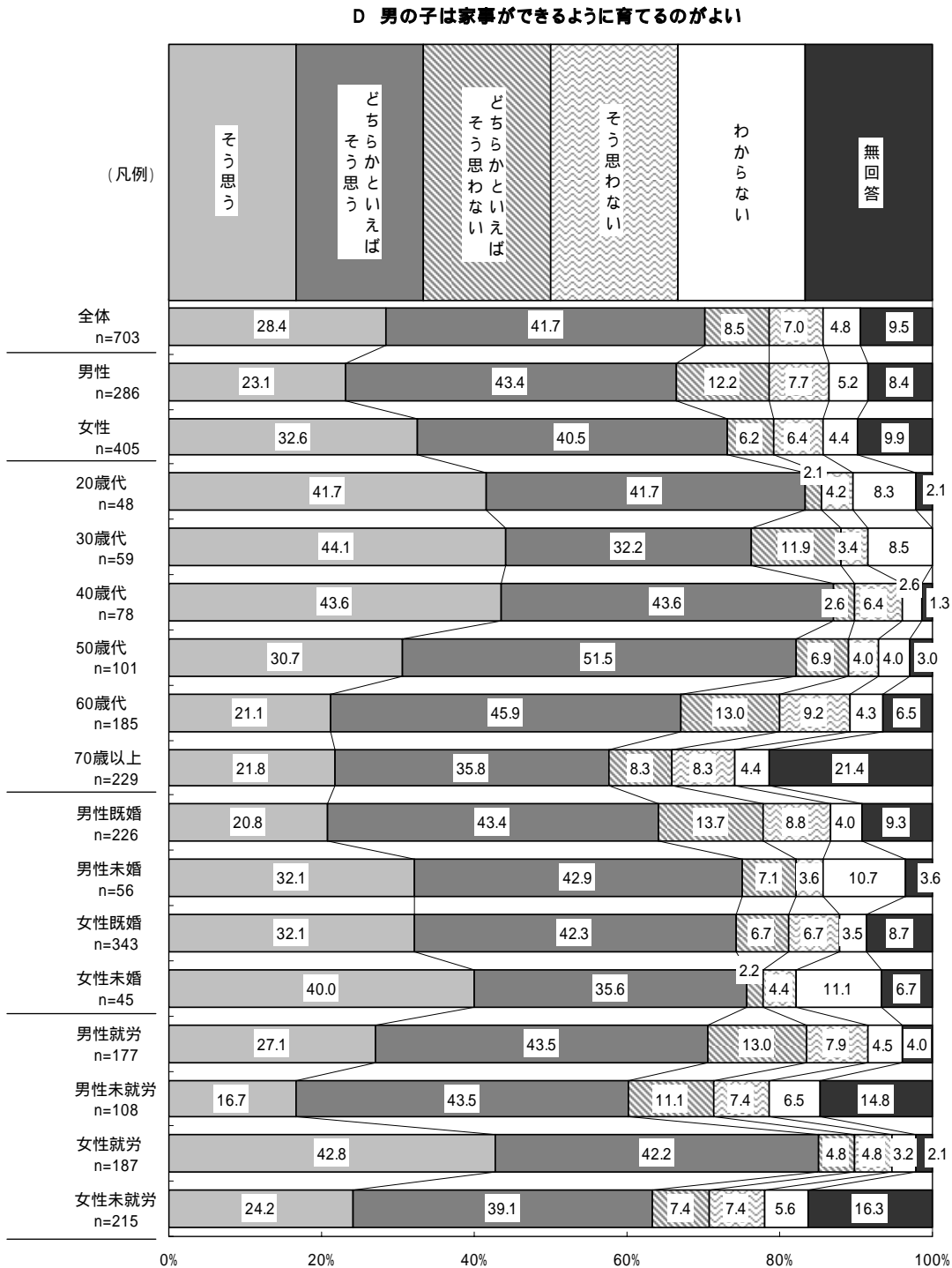
- 『そう思う』が53.7%と過半数を占め、『そう思わない』は22.9%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が58.5%と男性(47.6%)よりも高い。
- 年齢別では、『そう思う』は40歳代(71.8%)、30歳代(69.5%)、50歳代(66.3%)で高くなっている。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は『そう思う』の割合が45.5%とやや低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が71.6%と特に高い。一方、男性就労者は『そう思わない』の割合が34.4%とやや高い。



		C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	169	209	64	97	83	81
		100.0	24.0	29.7	9.1	13.8	11.8	11.5
性 年 齢 別	男性計	286	50	86	41	51	34	24
		100.0	17.5	30.1	14.3	17.8	11.9	8.4
	20歳代	20	6	4	5	3	2	-
		100.0	30.0	20.0	25.0	15.0	10.0	-
	30歳代	27	8	7	2	5	5	-
		100.0	29.6	25.9	7.4	18.5	18.5	-
	40歳代	27	5	10	4	5	3	-
		100.0	18.5	37.0	14.8	18.5	11.1	-
	50歳代	41	5	16	6	11	2	1
		100.0	12.2	39.0	14.6	26.8	4.9	2.4
	60歳代	75	12	20	13	12	13	5
		100.0	16.0	26.7	17.3	16.0	17.3	6.7
	70歳以上	95	14	28	11	15	9	18
		100.0	14.7	29.5	11.6	15.8	9.5	18.9
	女性計	405	117	120	22	45	47	54
		100.0	28.9	29.6	5.4	11.1	11.6	13.3
	20歳代	28	9	7	2	1	9	-
		100.0	32.1	25.0	7.1	3.6	32.1	-
	30歳代	32	14	12	1	1	3	1
		100.0	43.8	37.5	3.1	3.1	9.4	3.1
40歳代	48	20	19	2	2	5	-	
	100.0	41.7	39.6	4.2	4.2	10.4	-	
50歳代	60	23	23	1	7	2	4	
	100.0	38.3	38.3	1.7	11.7	3.3	6.7	
60歳代	110	31	32	8	18	9	12	
	100.0	28.2	29.1	7.3	16.4	8.2	10.9	
70歳以上	127	20	27	8	16	19	37	
	100.0	15.7	21.3	6.3	12.6	15.0	29.1	

【D 男の子は家事ができるように育てるのがよい】

- 『そう思う』が70.1%と高く、『そう思わない』は15.5%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が73.1%と男性（66.5%）よりも高い。
- 年齢別では、『そう思う』は40歳代が87.2%と最も高く、20歳代、50歳代でも8割を超える。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は『そう思う』が64.2%とやや低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が85.0%と高く、そのうち「そう思う」が42.8%と高い。

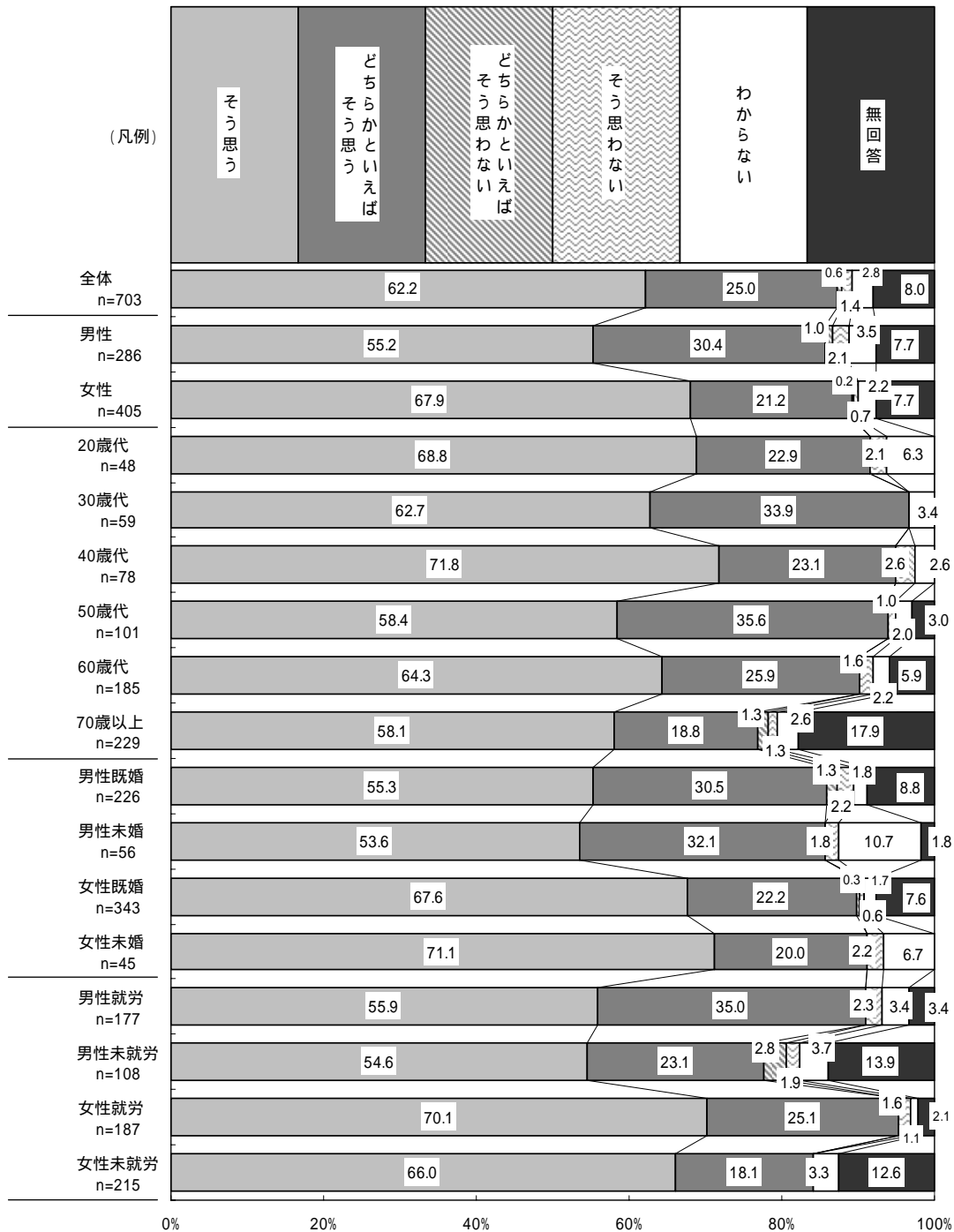


		D 男の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	200	293	60	49	34	67
		100.0	28.4	41.7	8.5	7.0	4.8	9.5
性 年 齢 別	男性計	286	66	124	35	22	15	24
		100.0	23.1	43.4	12.2	7.7	5.2	8.4
	20歳代	20	9	10	-	-	1	-
		100.0	45.0	50.0	-	-	5.0	-
	30歳代	27	8	9	6	1	3	-
		100.0	29.6	33.3	22.2	3.7	11.1	-
	40歳代	27	11	12	1	2	-	1
		100.0	40.7	44.4	3.7	7.4	-	3.7
	50歳代	41	8	21	4	4	3	1
		100.0	19.5	51.2	9.8	9.8	7.3	2.4
	60歳代	75	11	37	12	7	5	3
		100.0	14.7	49.3	16.0	9.3	6.7	4.0
	70歳以上	95	19	34	12	8	3	19
		100.0	20.0	35.8	12.6	8.4	3.2	20.0
	女性計	405	132	164	25	26	18	40
		100.0	32.6	40.5	6.2	6.4	4.4	9.9
	20歳代	28	11	10	1	2	3	1
		100.0	39.3	35.7	3.6	7.1	10.7	3.6
	30歳代	32	18	10	1	1	2	-
		100.0	56.3	31.3	3.1	3.1	6.3	-
40歳代	48	22	21	1	2	2	-	
	100.0	45.8	43.8	2.1	4.2	4.2	-	
50歳代	60	23	31	3	-	1	2	
	100.0	38.3	51.7	5.0	-	1.7	3.3	
60歳代	110	28	48	12	10	3	9	
	100.0	25.5	43.6	10.9	9.1	2.7	8.2	
70歳以上	127	30	44	7	11	7	28	
	100.0	23.6	34.6	5.5	8.7	5.5	22.0	

【E 女の子は家事ができるように育てるのがよい】

- 『そう思う』が87.2%を占め、『そう思わない』は2.0%にとどまっている。
- 性別では、女性は「そう思う」が67.9%と男性（55.2%）よりも12.7ポイント高い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「そう思う」が71.1%と高い。
- 性別・就労別では、『そう思う』は女性就労者が95.2%、男性就労者が90.9%となっており、就労者が未就労者を上回っている。

E 女の子は家事ができるように育てるのがよい

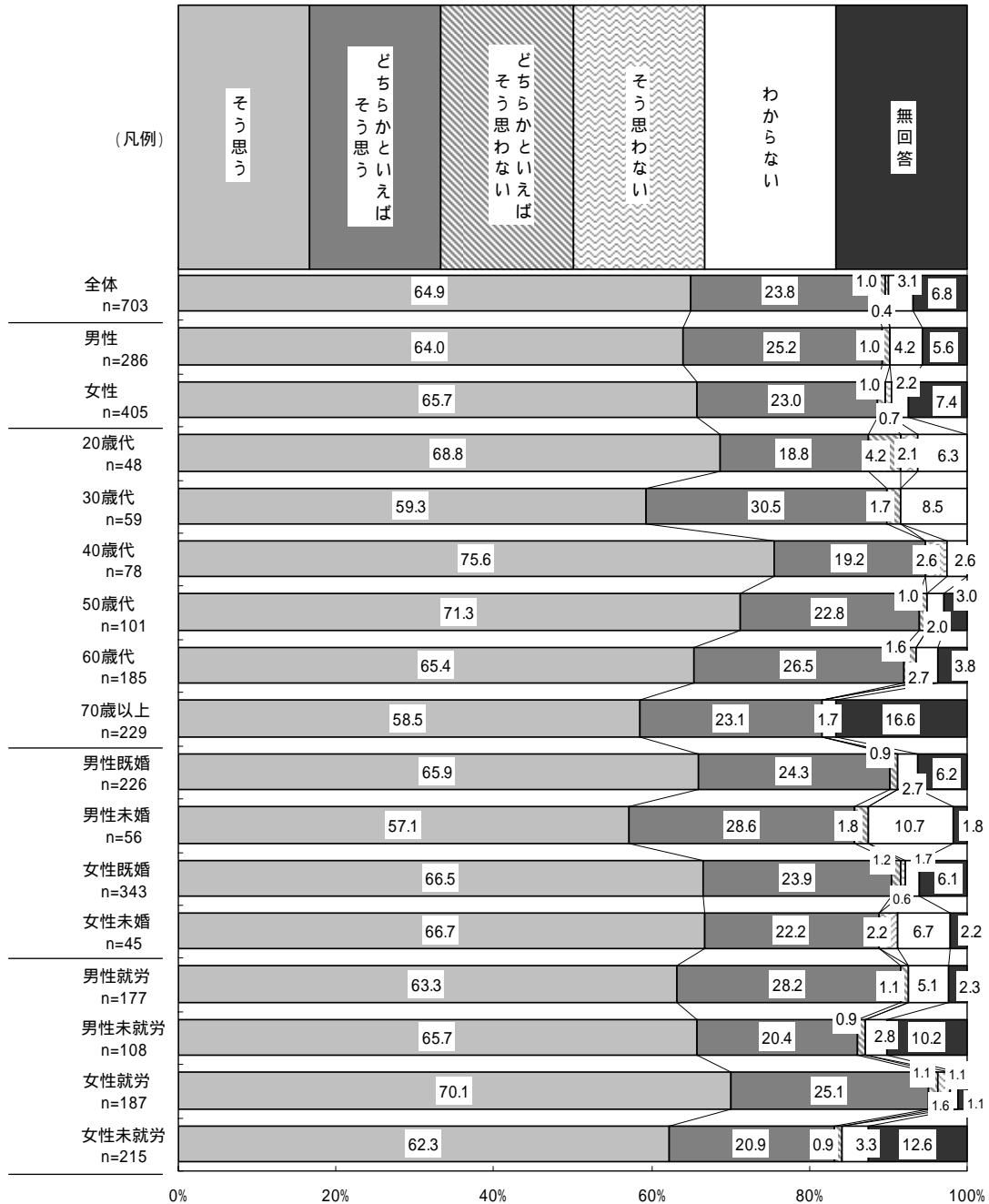


		E 女の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	437	176	4	10	20	56
		100.0	62.2	25.0	0.6	1.4	2.8	8.0
性 年 齢 別	男性計	286	158	87	3	6	10	22
		100.0	55.2	30.4	1.0	2.1	3.5	7.7
	20歳代	20	13	6	-	-	1	-
		100.0	65.0	30.0	-	-	5.0	-
	30歳代	27	13	12	-	-	2	-
		100.0	48.1	44.4	-	-	7.4	-
	40歳代	27	22	5	-	-	-	-
		100.0	81.5	18.5	-	-	-	-
	50歳代	41	17	20	-	1	2	1
		100.0	41.5	48.8	-	2.4	4.9	2.4
	60歳代	75	41	25	-	2	3	4
		100.0	54.7	33.3	-	2.7	4.0	5.3
	70歳以上	95	52	19	2	3	2	17
		100.0	54.7	20.0	2.1	3.2	2.1	17.9
	女性計	405	275	86	1	3	9	31
		100.0	67.9	21.2	0.2	0.7	2.2	7.7
	20歳代	28	20	5	-	1	2	-
		100.0	71.4	17.9	-	3.6	7.1	-
	30歳代	32	24	8	-	-	-	-
		100.0	75.0	25.0	-	-	-	-
40歳代	48	33	12	-	1	2	-	
	100.0	68.8	25.0	-	2.1	4.2	-	
50歳代	60	42	16	-	-	-	2	
	100.0	70.0	26.7	-	-	-	3.3	
60歳代	110	78	23	-	1	1	7	
	100.0	70.9	20.9	-	0.9	0.9	6.4	
70歳以上	127	78	22	1	-	4	22	
	100.0	61.4	17.3	0.8	-	3.1	17.3	

【F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

- 『そう思う』が88.7%を占め、『そう思わない』は1.4%である。
- 年齢別では、全ての年齢層で『そう思う』が8割以上を占めており、「そう思う」に限ってみると、40歳代、50歳代で7割を超えている。
- 婚姻状況別では、男性未婚者は「そう思う」が57.1%とやや低くなっている。
- 性別・就労別では、『そう思う』は女性就労者が95.2%、男性就労者が91.5%となっており、就労者が未就労者を上回っている。

F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい

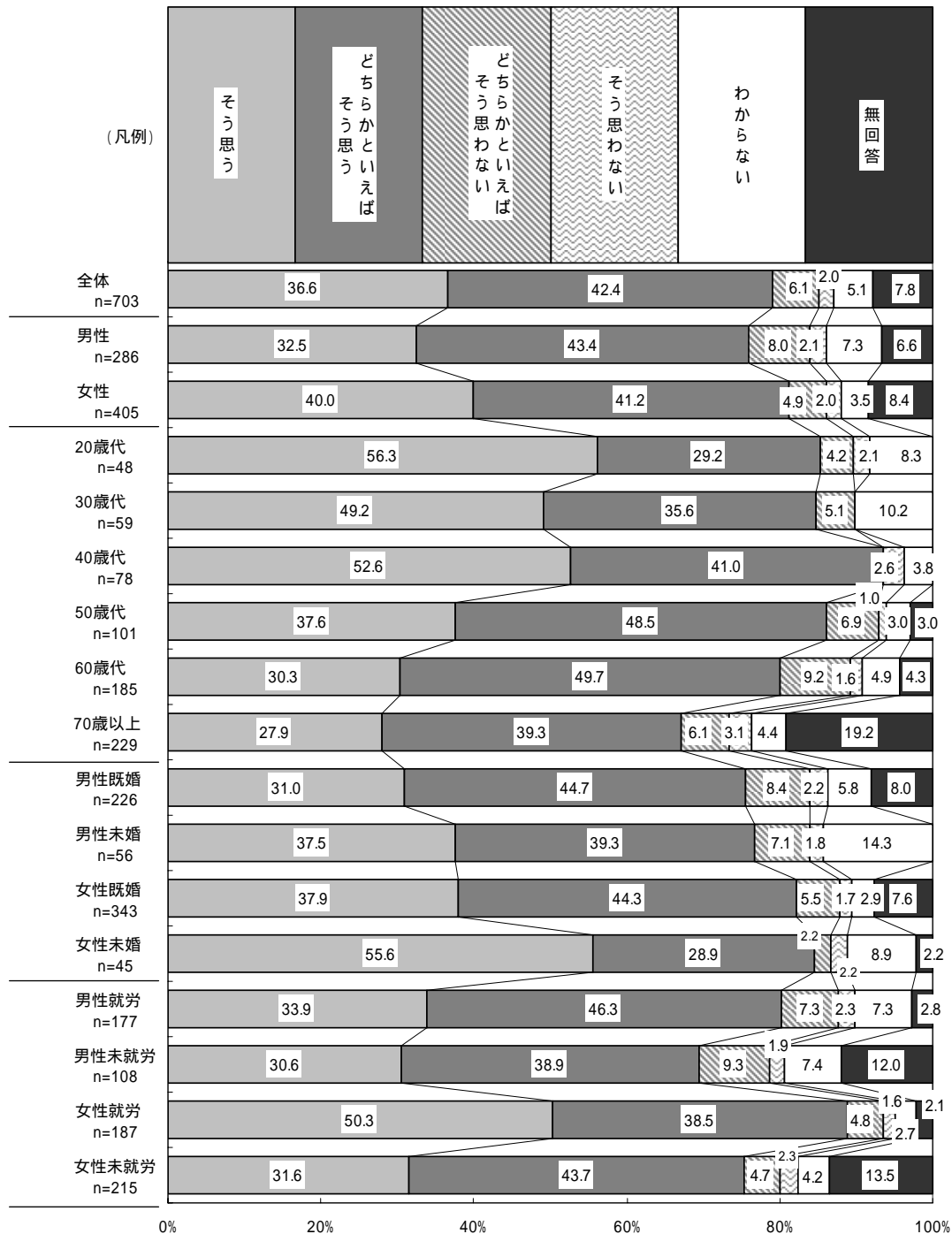


		F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	456	167	7	3	22	48
		100.0	64.9	23.8	1.0	0.4	3.1	6.8
性 年 齢 別	男性計	286	183	72	3	-	12	16
		100.0	64.0	25.2	1.0	-	4.2	5.6
	20歳代	20	13	6	1	-	-	-
		100.0	65.0	30.0	5.0	-	-	-
	30歳代	27	12	9	1	-	5	-
		100.0	44.4	33.3	3.7	-	18.5	-
	40歳代	27	23	4	-	-	-	-
		100.0	85.2	14.8	-	-	-	-
	50歳代	41	27	10	1	-	2	1
		100.0	65.9	24.4	2.4	-	4.9	2.4
	60歳代	75	49	20	-	-	4	2
		100.0	65.3	26.7	-	-	5.3	2.7
	70歳以上	95	58	23	-	-	1	13
		100.0	61.1	24.2	-	-	1.1	13.7
	女性計	405	266	93	4	3	9	30
		100.0	65.7	23.0	1.0	0.7	2.2	7.4
	20歳代	28	20	3	1	1	3	-
		100.0	71.4	10.7	3.6	3.6	10.7	-
	30歳代	32	23	9	-	-	-	-
		100.0	71.9	28.1	-	-	-	-
40歳代	48	34	10	-	2	2	-	
	100.0	70.8	20.8	-	4.2	4.2	-	
50歳代	60	45	13	-	-	-	2	
	100.0	75.0	21.7	-	-	-	3.3	
60歳代	110	72	29	3	-	1	5	
	100.0	65.5	26.4	2.7	-	0.9	4.5	
70歳以上	127	72	29	-	-	3	23	
	100.0	56.7	22.8	-	-	2.4	18.1	

【G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

- 『そう思う』が79.0%を占め、『そう思わない』は8.1%である。
- 年齢別では、70歳以上を除く全ての年齢層で『そう思う』が8割以上を占めており、40歳代で93.6%と特に高い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「そう思う」が55.6%と高い。
- 性別・就労別では、就労者は男女ともに『そう思う』が8割以上であり、女性就労者は「そう思う」の割合が50.3%と特に高い。

G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい



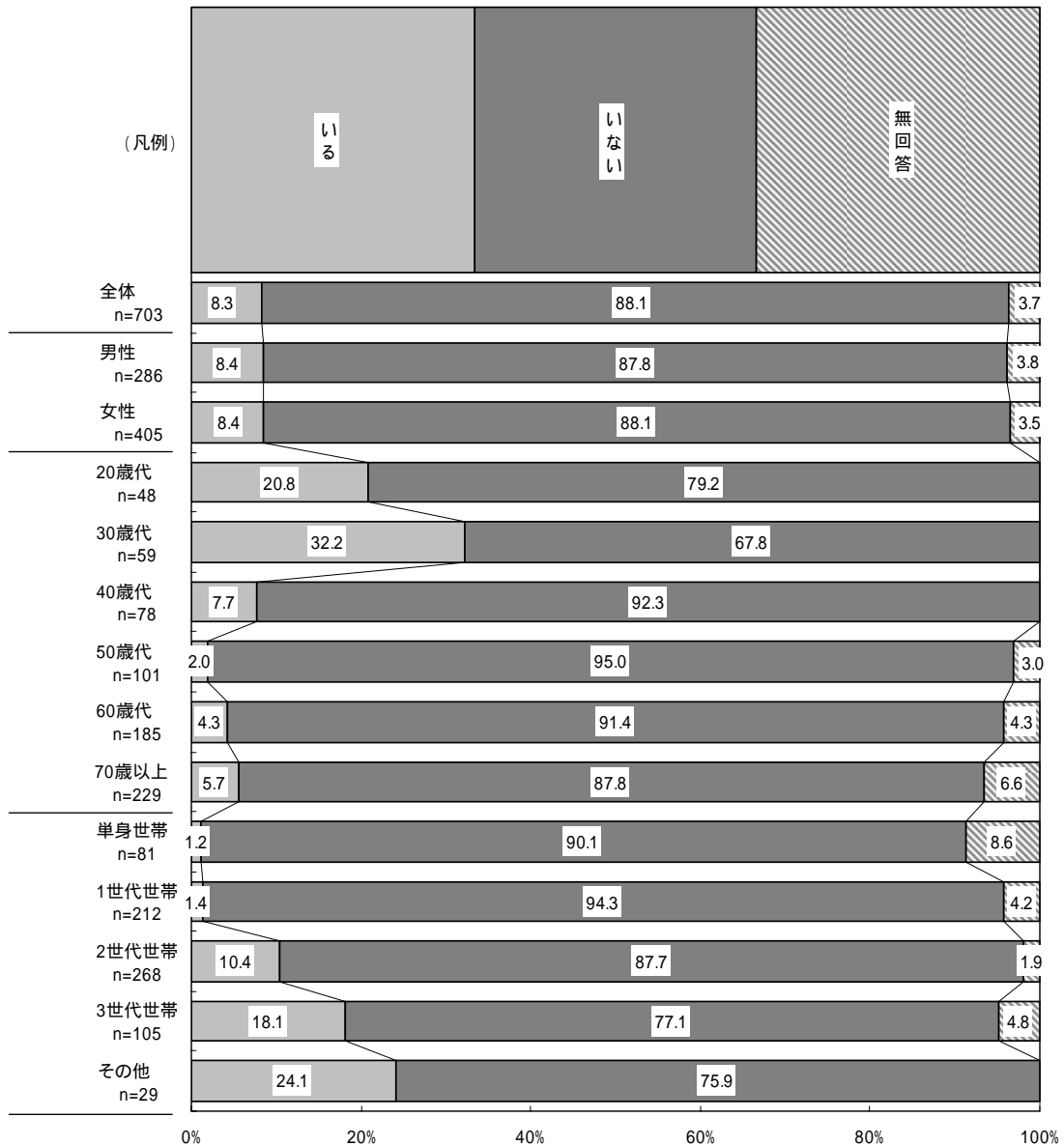
		G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	257	298	43	14	36	55
		100.0	36.6	42.4	6.1	2.0	5.1	7.8
性 年 齢 別	男性計	286	93	124	23	6	21	19
		100.0	32.5	43.4	8.0	2.1	7.3	6.6
	20歳代	20	9	9	1	-	1	-
		100.0	45.0	45.0	5.0	-	5.0	-
	30歳代	27	8	11	3	-	5	-
		100.0	29.6	40.7	11.1	-	18.5	-
	40歳代	27	15	11	-	1	-	-
		100.0	55.6	40.7	-	3.7	-	-
	50歳代	41	16	18	4	-	3	-
		100.0	39.0	43.9	9.8	-	7.3	-
	60歳代	75	16	39	9	2	6	3
		100.0	21.3	52.0	12.0	2.7	8.0	4.0
	70歳以上	95	28	36	6	3	6	16
		100.0	29.5	37.9	6.3	3.2	6.3	16.8
	女性計	405	162	167	20	8	14	34
		100.0	40.0	41.2	4.9	2.0	3.5	8.4
	20歳代	28	18	5	1	1	3	-
		100.0	64.3	17.9	3.6	3.6	10.7	-
	30歳代	32	21	10	-	-	1	-
		100.0	65.6	31.3	-	-	3.1	-
40歳代	48	25	19	-	1	3	-	
	100.0	52.1	39.6	-	2.1	6.3	-	
50歳代	60	22	31	3	1	-	3	
	100.0	36.7	51.7	5.0	1.7	-	5.0	
60歳代	110	40	53	8	1	3	5	
	100.0	36.4	48.2	7.3	0.9	2.7	4.5	
70歳以上	127	36	49	8	4	4	26	
	100.0	28.3	38.6	6.3	3.1	3.1	20.5	

(3) 乳児や就学前の幼児について

問5. あなたの家庭には、乳児や就学前の幼児がいますか。

- 「いない」が88.1%を占め、「いる」は8.3%となっている。
- 年齢別では、「いる」は30歳代が32.2%と最も高い。
- 世帯別では、「いる」は3世代世帯が18.1%と最も高く、2世代世帯(10.4%)、1世代世帯(1.4%)となっている。

乳児・就学前児童

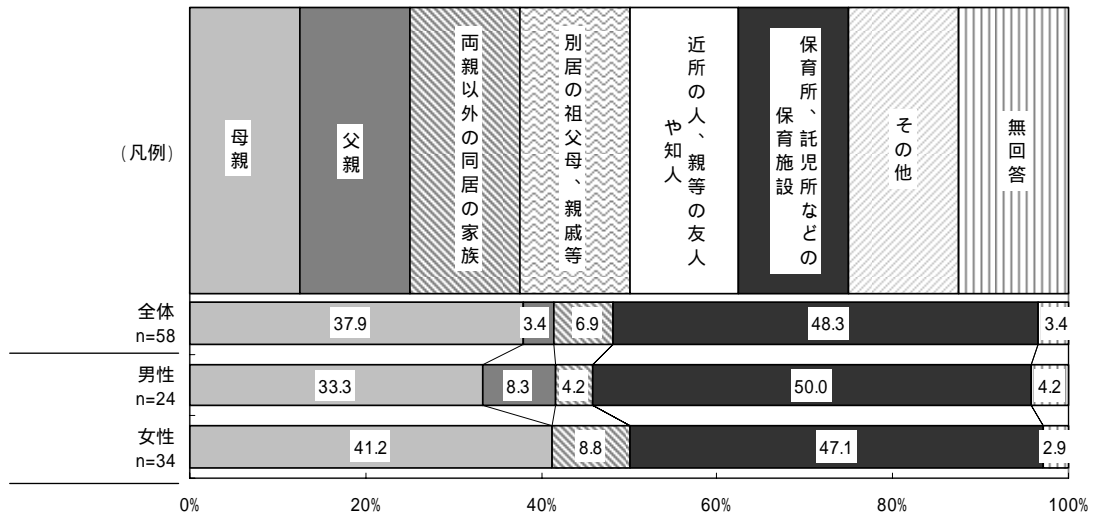


前問で「いる」と回答した方を対象

問5 - 1. 平日の日中、その乳幼児の世話は主に誰がしていますか。

- 「保育所、託児所などの保育施設」が 48.3%と最も高く、以下「母親」(37.9%)、「両親以外の同居の家族」(6.9%)と続く。

乳幼児の主な育児者

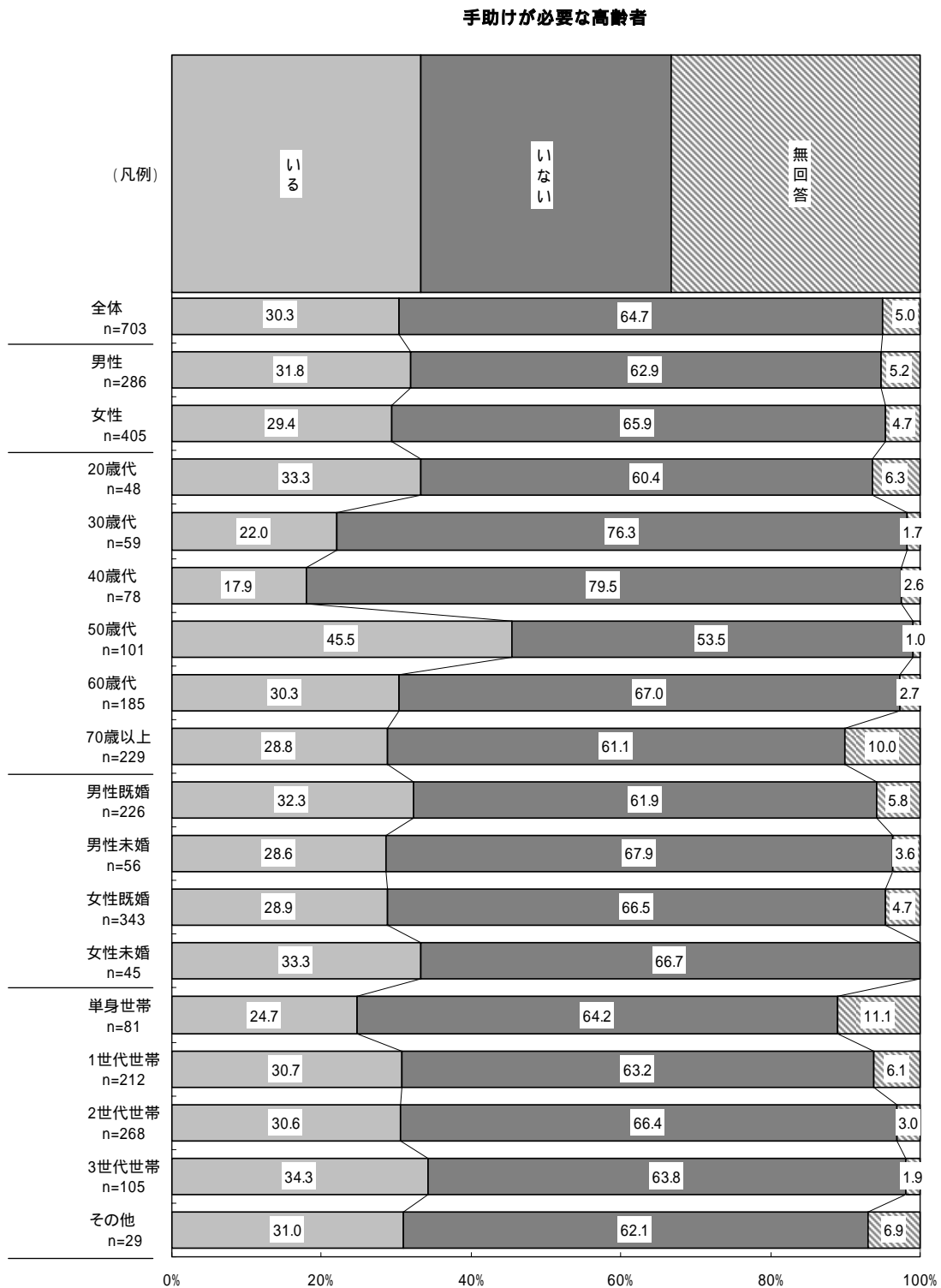


		乳幼児の主な育児者 [%]								
		全体	母親	父親	両親以外の同居の家族	別居の祖父母、親戚等	近所の人、親等の友人や知人	保育所、託児所などの保育施設	その他	無回答
全体	全体	58	22	2	4	0	0	28	0	2
		100.0	37.9	3.4	6.9	0.0	0.0	48.3	0.0	3.4
男性計	男性計	24	8	2	1	-	-	12	-	1
		100.0	33.3	8.3	4.2	-	-	50.0	-	4.2
20歳代	20歳代	1	-	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-
30歳代	30歳代	8	2	1	-	-	-	4	-	1
		100.0	25.0	12.5	-	-	-	50.0	-	12.5
40歳代	40歳代	3	2	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-
50歳代	50歳代	1	-	-	1	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
60歳代	60歳代	3	1	-	-	-	-	2	-	-
		100.0	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-
70歳以上	70歳以上	8	3	1	-	-	-	4	-	-
		100.0	37.5	12.5	-	-	-	50.0	-	-
女性計	女性計	34	14	-	3	-	-	16	-	1
		100.0	41.2	-	8.8	-	-	47.1	-	2.9
20歳代	20歳代	9	6	-	1	-	-	2	-	-
		100.0	66.7	-	11.1	-	-	22.2	-	-
30歳代	30歳代	11	2	-	-	-	-	9	-	-
		100.0	18.2	-	-	-	-	81.8	-	-
40歳代	40歳代	3	1	-	1	-	-	1	-	-
		100.0	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-
50歳代	50歳代	1	-	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-
60歳代	60歳代	5	2	-	1	-	-	1	-	1
		100.0	40.0	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0
70歳以上	70歳以上	5	3	-	-	-	-	2	-	-
		100.0	60.0	-	-	-	-	40.0	-	-

(4) 手助けが必要な高齢者の有無

問6. あなたの身近な身内に日常的に手助けが必要な高齢者等がいますか。

- 「いない」が64.7%となり、「いる」は30.3%となっている。
- 年齢別では、「いる」は50歳代が45.5%と最も高く、40歳代が17.9%と最も低くなっている。
- 世帯別では、「いる」は単身世帯が24.7%とやや低く、他の世帯では約3割強となっている。

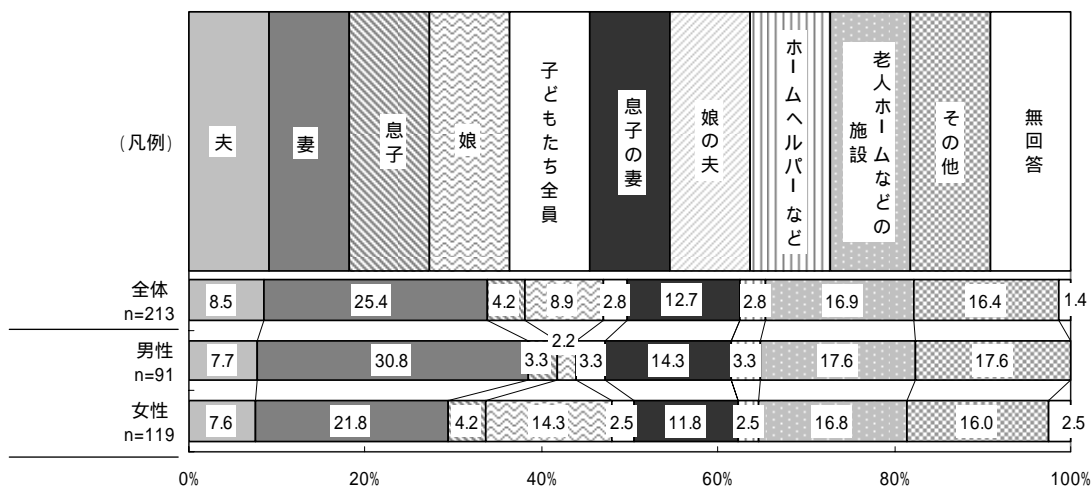


前問で「いる」と回答した方を対象

問6 - 1. その高齢者等の世話は、主に誰がしていますか。

- 「妻」が25.4%と最も高く、以下「老人ホームなどの施設」(16.9%)、「その他」(16.4%)、「息子の妻」(12.7%)と続く。

高齢者の主な介護者



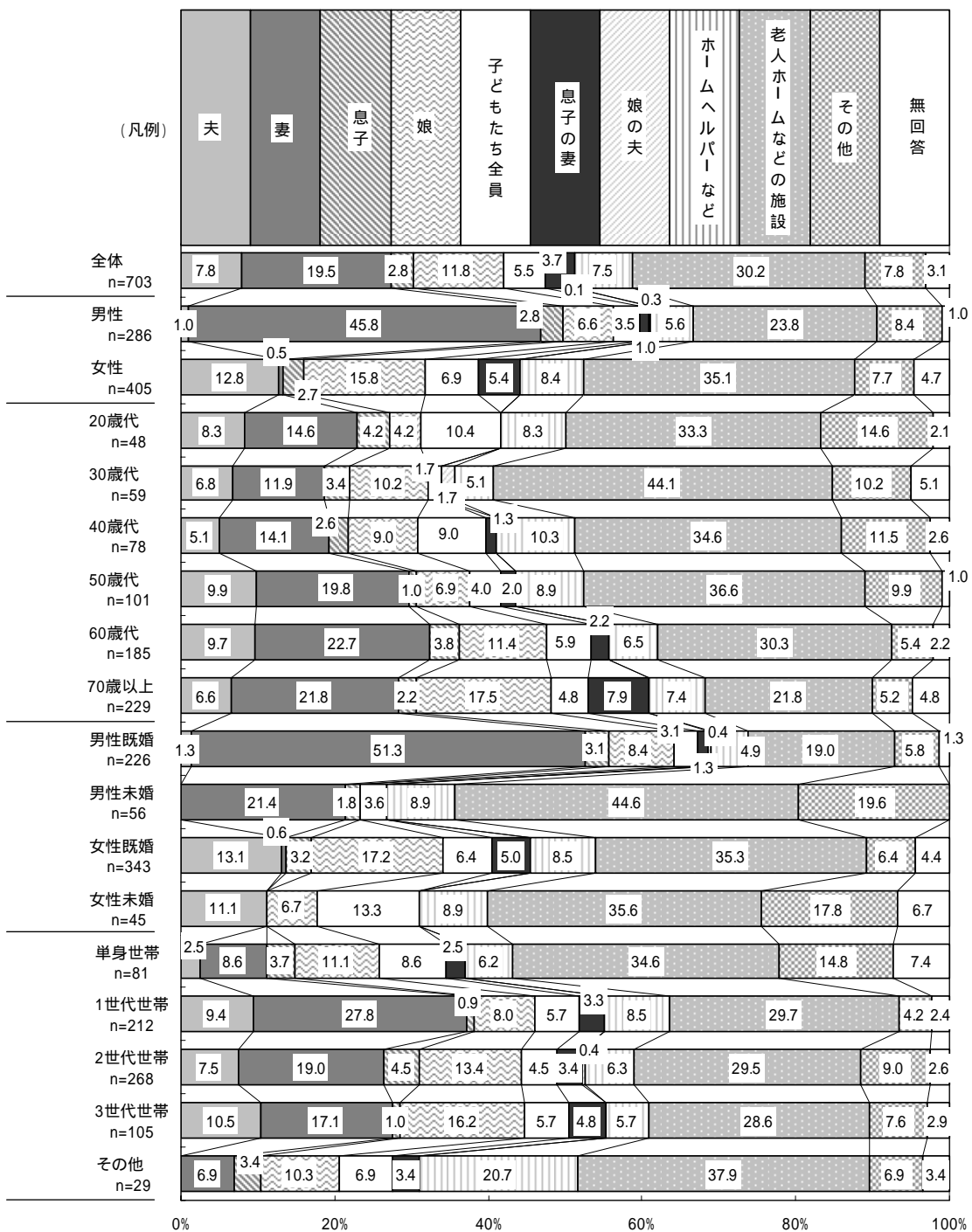
		高齢者の主な介護者 [%]											
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち 全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘル パーなど	老人ホーム などの施設	その他	無回答
性 年 齢 別	全体	213	18	54	9	19	6	27	0	6	36	35	3
		100.0	8.5	25.4	4.2	8.9	2.8	12.7	0.0	2.8	16.9	16.4	1.4
	男性計	91	7	28	3	2	3	13	-	3	16	16	-
		100.0	7.7	30.8	3.3	2.2	3.3	14.3	-	3.3	17.6	17.6	-
	20歳代	7	1	1	-	1	1	-	-	-	2	1	-
		100.0	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	28.6	14.3	-
	30歳代	7	-	1	1	-	-	2	-	1	1	1	-
		100.0	-	14.3	14.3	-	-	28.6	-	14.3	14.3	14.3	-
	40歳代	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-
		100.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	50歳代	16	1	5	2	-	1	1	-	1	1	4	-
		100.0	6.3	31.3	12.5	-	6.3	6.3	-	6.3	6.3	25.0	-
	60歳代	21	1	6	-	1	-	4	-	-	6	3	-
		100.0	4.8	28.6	-	4.8	-	19.0	-	-	28.6	14.3	-
	70歳以上	35	3	14	-	-	1	5	-	1	6	5	-
		100.0	8.6	40.0	-	-	2.9	14.3	-	2.9	17.1	14.3	-
	女性計	119	9	26	5	17	3	14	-	3	20	19	3
		100.0	7.6	21.8	4.2	14.3	2.5	11.8	-	2.5	16.8	16.0	2.5
	20歳代	9	1	-	1	1	1	2	-	-	-	1	2
	100.0	11.1	-	11.1	11.1	11.1	22.2	-	-	-	11.1	22.2	
30歳代	6	-	-	-	1	-	-	-	-	4	1	-	
	100.0	-	-	-	16.7	-	-	-	-	66.7	16.7	-	
40歳代	9	1	3	-	1	1	1	-	-	-	1	1	
	100.0	11.1	33.3	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-	11.1	11.1	
50歳代	30	-	4	1	6	1	3	-	-	7	8	-	
	100.0	-	13.3	3.3	20.0	3.3	10.0	-	-	23.3	26.7	-	
60歳代	35	2	9	1	5	-	5	-	2	6	5	-	
	100.0	5.7	25.7	2.9	14.3	-	14.3	-	5.7	17.1	14.3	-	
70歳以上	30	5	10	2	3	-	3	-	1	3	3	-	
	100.0	16.7	33.3	6.7	10.0	-	10.0	-	3.3	10.0	10.0	-	

(5) 介護が必要になった場合の介護者

問7. あなたは将来、主に誰に介護をしてほしいと思いますか。

- 「老人ホームなどの施設」が30.2%と最も高く、以下「妻」(19.5%)、「娘」(11.8%)である。
- 性別では、男性は「妻」が45.8%を占めるのに対して、女性は「老人ホームなどの施設」(35.1%)、「娘」(15.8%)の割合が高い。
- 年齢別では、30歳代は、「老人ホームなどの施設」が44.1%と特に高い。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「妻」が51.3%を占めるが、男性未婚者は「老人ホームなどの施設」が44.6%と高くなっている。
- 世帯別では、単身世帯で「老人ホームなどの施設」が34.6%とやや高い。また、1世代世帯では「妻」(27.8%)の割合も高くなっている。

介護が必要になった場合の介護者

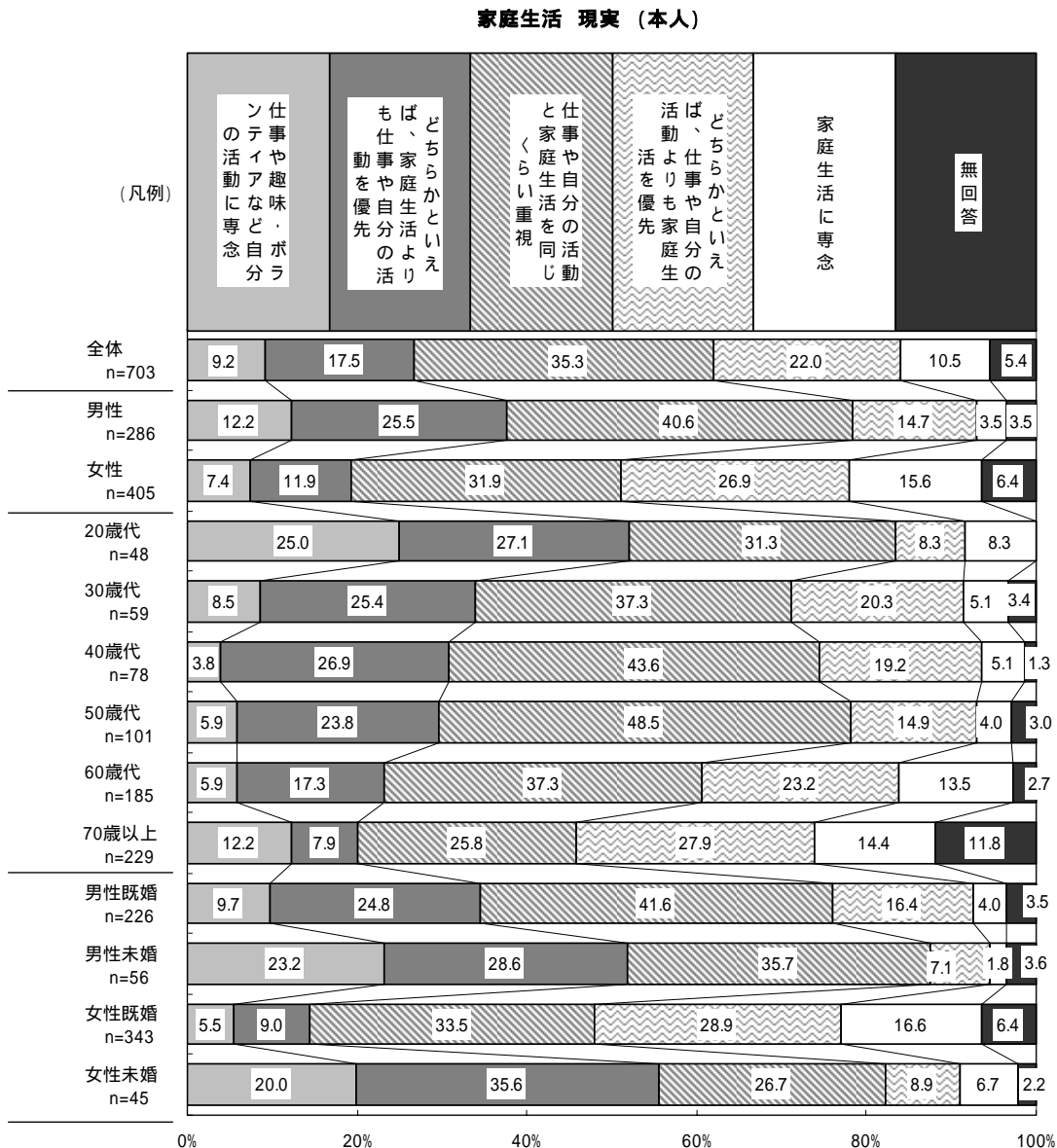


		介護が必要になった場合の介護者 (%)												
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち 全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘル パーなど	老人ホーム などの施設	その他	無回答	
全体		703	55	137	20	83	39	26	1	53	212	55	22	
		100.0	7.8	19.5	2.8	11.8	5.5	3.7	0.1	7.5	30.2	7.8	3.1	
性 年 齢 別	男性計	286	3	131	8	19	10	3	1	16	68	24	3	
		100.0	1.0	45.8	2.8	6.6	3.5	1.0	0.3	5.6	23.8	8.4	1.0	
	20歳代	20	-	7	1	-	-	-	-	-	1	8	3	-
		100.0	-	35.0	5.0	-	-	-	-	-	5.0	40.0	15.0	-
	30歳代	27	-	7	1	4	1	-	1	1	1	8	4	-
		100.0	-	25.9	3.7	14.8	3.7	-	3.7	3.7	29.6	14.8	-	
	40歳代	27	-	10	1	1	1	1	-	-	3	6	4	-
		100.0	-	37.0	3.7	3.7	3.7	3.7	-	11.1	22.2	14.8	-	
	50歳代	41	-	20	1	2	1	-	-	-	3	10	4	-
		100.0	-	48.8	2.4	4.9	2.4	-	-	-	7.3	24.4	9.8	-
	60歳代	75	-	41	2	3	1	1	-	-	3	20	4	-
		100.0	-	54.7	2.7	4.0	1.3	1.3	-	-	4.0	26.7	5.3	-
	70歳以上	95	3	46	2	9	6	1	-	-	5	16	4	3
		100.0	3.2	48.4	2.1	9.5	6.3	1.1	-	-	5.3	16.8	4.2	3.2
	女性計	405	52	2	11	64	28	22	-	-	34	142	31	19
		100.0	12.8	0.5	2.7	15.8	6.9	5.4	-	-	8.4	35.1	7.7	4.7
	20歳代	28	4	-	1	2	5	-	-	-	3	8	4	1
		100.0	14.3	-	3.6	7.1	17.9	-	-	-	10.7	28.6	14.3	3.6
	30歳代	32	4	-	1	2	-	-	-	-	2	18	2	3
		100.0	12.5	-	3.1	6.3	-	-	-	-	6.3	56.3	6.3	9.4
40歳代	48	4	-	1	6	6	-	-	-	4	20	5	2	
	100.0	8.3	-	2.1	12.5	12.5	-	-	-	8.3	41.7	10.4	4.2	
50歳代	60	10	-	-	5	3	2	-	-	6	27	6	1	
	100.0	16.7	-	-	8.3	5.0	3.3	-	-	10.0	45.0	10.0	1.7	
60歳代	110	18	1	5	18	10	3	-	-	9	36	6	4	
	100.0	16.4	0.9	4.5	16.4	9.1	2.7	-	-	8.2	32.7	5.5	3.6	
70歳以上	127	12	1	3	31	4	17	-	-	10	33	8	8	
	100.0	9.4	0.8	2.4	24.4	3.1	13.4	-	-	7.9	26.0	6.3	6.3	

(6) 家庭生活の現実と希望

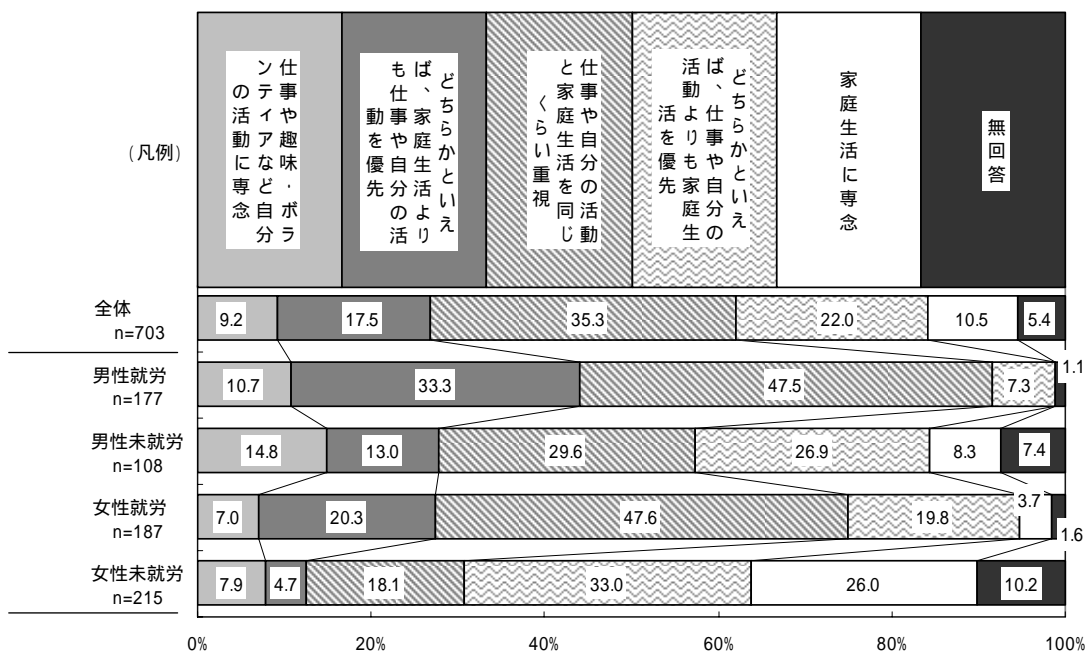
問8. 家庭生活と自分の活動について、あなたの「現実」に最も近いものを選んでください。

- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が35.3%と最も高く、以下「どちらかといえば、仕事や自分の活動より家庭生活を優先」(22.0%)、「どちらかといえば、家庭生活より仕事や自分の活動を優先」(17.5%)である。
- 性別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が男女ともに最も高い。また、男性は「どちらかといえば、家庭生活より仕事や自分の活動を優先」(25.5%)、「仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念」(12.2%)の割合が女性に比べ高く、一方、女性は「どちらかといえば、仕事や自分の活動より家庭生活を優先」(26.9%)、「家庭生活に専念」(15.6%)の割合が男性に比べて高くなっている。
- 年齢別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」は、50歳代(48.5%)、40歳代(43.6%)で特に高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は、「どちらかといえば、仕事や自分の活動より家庭生活を優先」(28.9%)、「家庭生活に専念」(16.6%)が高い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は「家庭生活に専念」が26.0%と高い。



		家庭生活 現実 (本人) [%]						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		703	65	123	248	155	74	38
		100.0	9.2	17.5	35.3	22.0	10.5	5.4
男性計		286	35	73	116	42	10	10
		100.0	12.2	25.5	40.6	14.7	3.5	3.5
20歳代		20	8	5	5	2	-	-
		100.0	40.0	25.0	25.0	10.0	-	-
30歳代		27	2	9	12	4	-	-
		100.0	7.4	33.3	44.4	14.8	-	-
40歳代		27	3	14	7	3	-	-
		100.0	11.1	51.9	25.9	11.1	-	-
50歳代		41	3	13	23	-	-	2
		100.0	7.3	31.7	56.1	-	-	4.9
60歳代		75	8	18	34	11	2	2
		100.0	10.7	24.0	45.3	14.7	2.7	2.7
70歳以上		95	11	14	35	21	8	6
		100.0	11.6	14.7	36.8	22.1	8.4	6.3
女性計		405	30	48	129	109	63	26
		100.0	7.4	11.9	31.9	26.9	15.6	6.4
20歳代		28	4	8	10	2	4	-
		100.0	14.3	28.6	35.7	7.1	14.3	-
30歳代		32	3	6	10	8	3	2
		100.0	9.4	18.8	31.3	25.0	9.4	6.3
40歳代		48	-	5	26	12	4	1
		100.0	-	10.4	54.2	25.0	8.3	2.1
50歳代		60	3	11	26	15	4	1
		100.0	5.0	18.3	43.3	25.0	6.7	1.7
60歳代		110	3	14	35	32	23	3
		100.0	2.7	12.7	31.8	29.1	20.9	2.7
70歳以上		127	17	4	22	40	25	19
		100.0	13.4	3.1	17.3	31.5	19.7	15.0

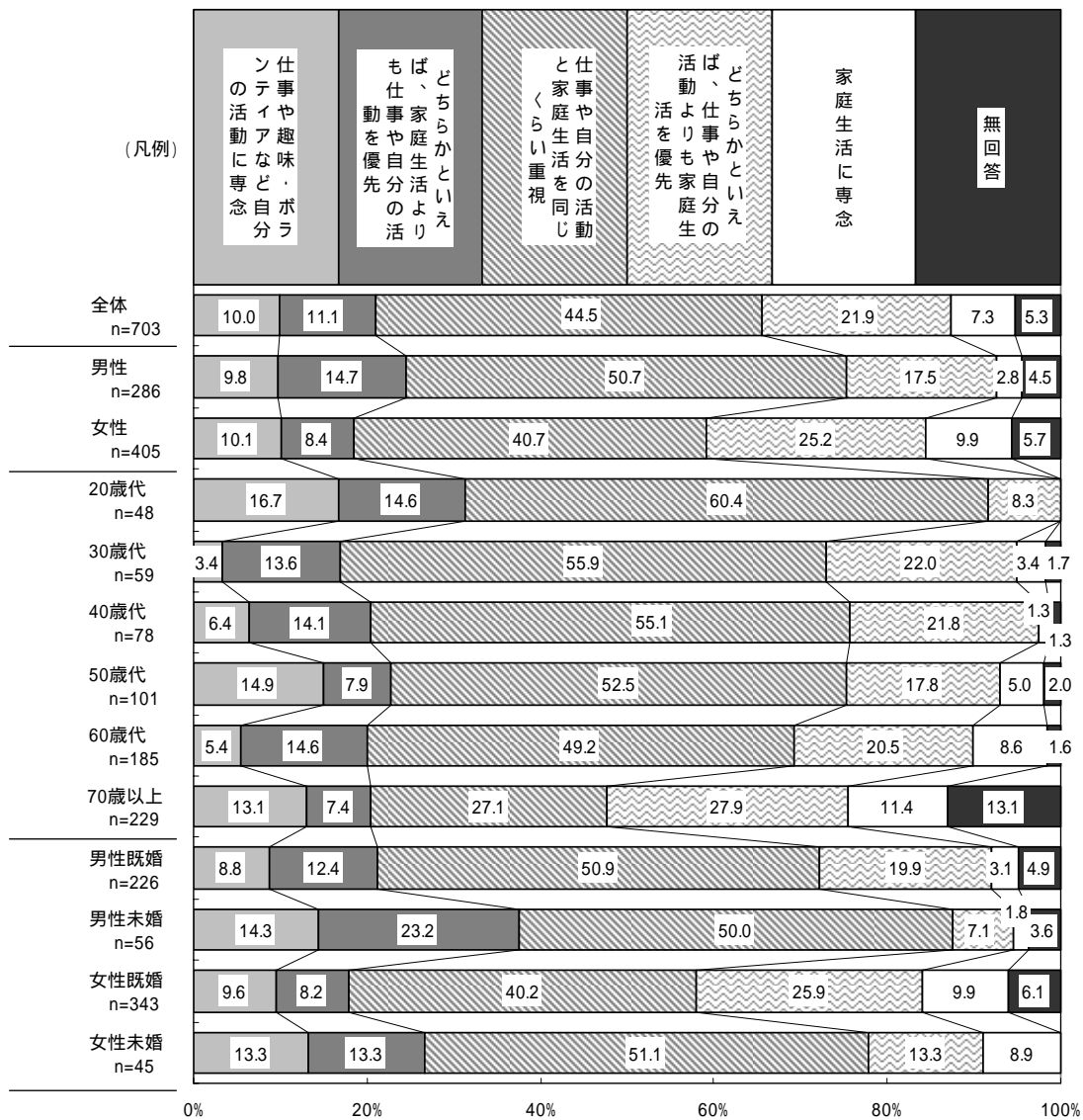
家庭生活 現実 (本人)



問8 - 1. 家庭生活と自分の活動について、あなたの「希望」に最も近いものを選んでください。

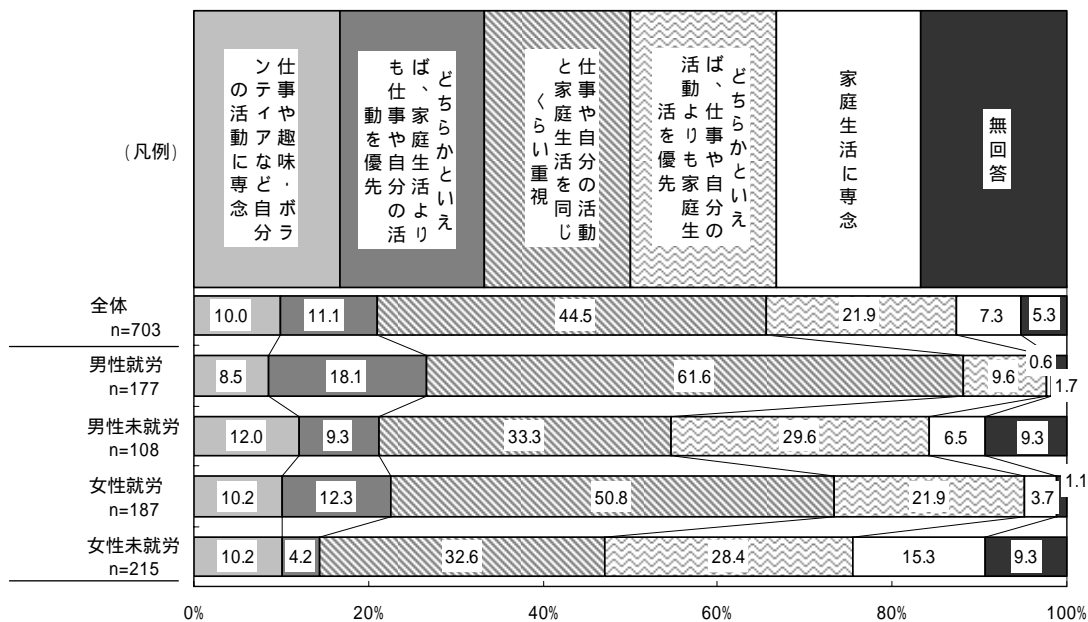
- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が44.5%と最も高く、前述の【問8 家庭生活の現実】と比べると、9.2ポイント高い。以下「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(21.9%)、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(11.1%)である。
- 年齢別では、20歳代は現実と大きく異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(60.4%)が【現実】より29.1ポイント高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は現実と大きく異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(51.1%)が【現実】より24.4ポイント高く、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(13.3%)が22.3ポイント低くなっている。
- 性別・就労別では、男性就労者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」の割合が61.6%と高く、「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」が9.6%と低い。

家庭生活 希望 (本人)



		家庭生活 希望 (本人) (%)						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		703	70	78	313	154	51	37
		100.0	10.0	11.1	44.5	21.9	7.3	5.3
男性計		286	28	42	145	50	8	13
		100.0	9.8	14.7	50.7	17.5	2.8	4.5
20歳代		20	6	4	9	1	-	-
		100.0	30.0	20.0	45.0	5.0	-	-
30歳代		27	1	5	16	5	-	-
		100.0	3.7	18.5	59.3	18.5	-	-
40歳代		27	1	5	17	4	-	-
		100.0	3.7	18.5	63.0	14.8	-	-
50歳代		41	3	3	28	4	1	2
		100.0	7.3	7.3	68.3	9.8	2.4	4.9
60歳代		75	7	14	39	12	2	1
		100.0	9.3	18.7	52.0	16.0	2.7	1.3
70歳以上		95	10	11	35	24	5	10
		100.0	10.5	11.6	36.8	25.3	5.3	10.5
女性計		405	41	34	165	102	40	23
		100.0	10.1	8.4	40.7	25.2	9.9	5.7
20歳代		28	2	3	20	3	-	-
		100.0	7.1	10.7	71.4	10.7	-	-
30歳代		32	1	3	17	8	2	1
		100.0	3.1	9.4	53.1	25.0	6.3	3.1
40歳代		48	3	4	26	13	1	1
		100.0	6.3	8.3	54.2	27.1	2.1	2.1
50歳代		60	12	5	25	14	4	-
		100.0	20.0	8.3	41.7	23.3	6.7	-
60歳代		110	3	13	52	26	14	2
		100.0	2.7	11.8	47.3	23.6	12.7	1.8
70歳以上		127	20	6	25	38	19	19
		100.0	15.7	4.7	19.7	29.9	15.0	15.0

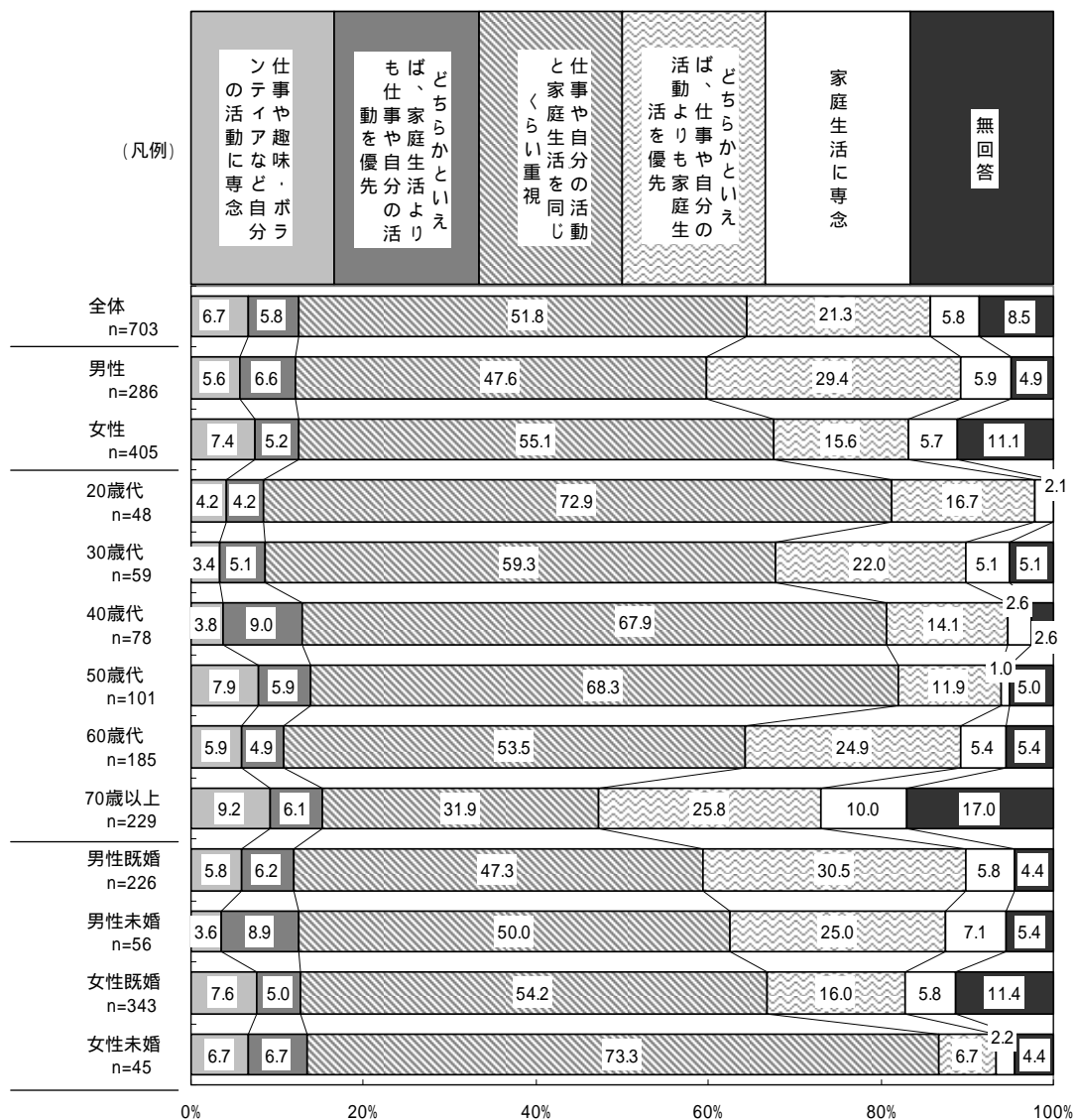
家庭生活 希望 (本人)



問8 - 2. 配偶者・パートナーにどのような家庭生活を望むか、未婚・既婚にかかわらずお答えください。

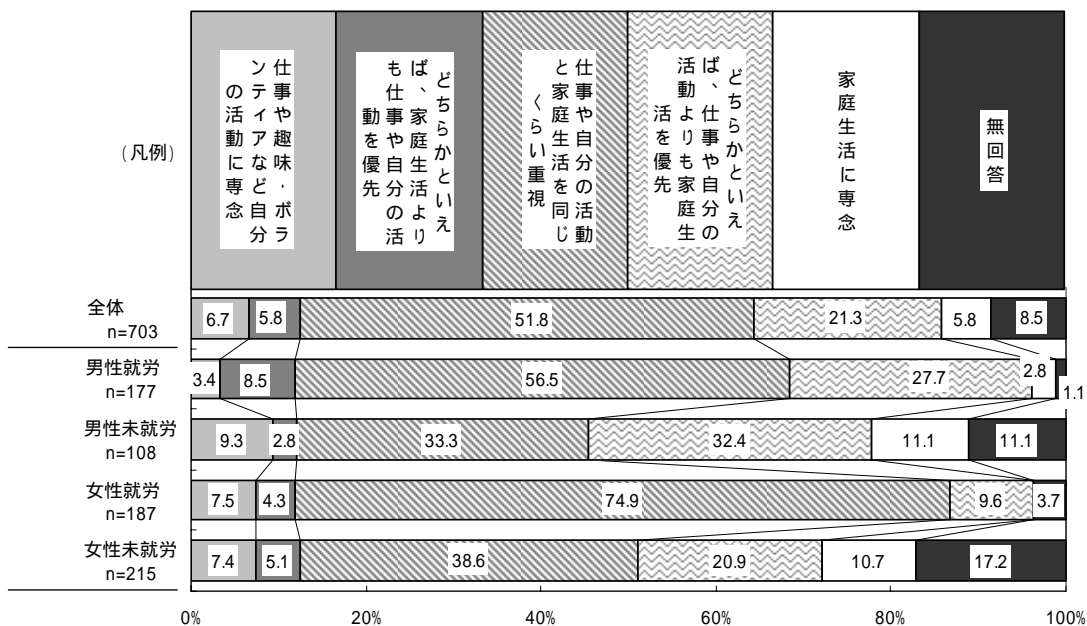
- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が51.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(21.3%)である。
- 性別では、女性は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が55.1%と男性(47.6%)よりも7.5ポイント高い。一方、「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」は男性(29.4%)が女性(15.6%)よりも13.8ポイント高い。
- 年齢別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」は20歳代が72.9%と最も高く、50歳代(68.3%)、40歳代(67.9%)でも高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が73.3%と特に高い。また、男性既婚者は「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」の割合が30.5%と高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が74.9%と特に高い。

家庭生活 希望 (配偶者)



		家庭生活 希望 (配偶者) (%)						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		703	47	41	364	150	41	60
		100.0	6.7	5.8	51.8	21.3	5.8	8.5
男性計		286	16	19	136	84	17	14
		100.0	5.6	6.6	47.6	29.4	5.9	4.9
20歳代		20	2	-	10	7	1	-
		100.0	10.0	-	50.0	35.0	5.0	-
30歳代		27	1	2	12	9	3	-
		100.0	3.7	7.4	44.4	33.3	11.1	-
40歳代		27	-	2	15	8	2	-
		100.0	-	7.4	55.6	29.6	7.4	-
50歳代		41	1	3	26	8	1	2
		100.0	2.4	7.3	63.4	19.5	2.4	4.9
60歳代		75	4	6	37	23	3	2
		100.0	5.3	8.0	49.3	30.7	4.0	2.7
70歳以上		95	8	6	36	28	7	10
		100.0	8.4	6.3	37.9	29.5	7.4	10.5
女性計		405	30	21	223	63	23	45
		100.0	7.4	5.2	55.1	15.6	5.7	11.1
20歳代		28	-	2	25	1	-	-
		100.0	-	7.1	89.3	3.6	-	-
30歳代		32	1	1	23	4	-	3
		100.0	3.1	3.1	71.9	12.5	-	9.4
40歳代		48	3	4	36	3	-	2
		100.0	6.3	8.3	75.0	6.3	-	4.2
50歳代		60	7	3	43	4	-	3
		100.0	11.7	5.0	71.7	6.7	-	5.0
60歳代		110	7	3	62	23	7	8
		100.0	6.4	2.7	56.4	20.9	6.4	7.3
70歳以上		127	12	8	34	28	16	29
		100.0	9.4	6.3	26.8	22.0	12.6	22.8

家庭生活 希望 (配偶者)



(7) 家庭内の仕事の分担

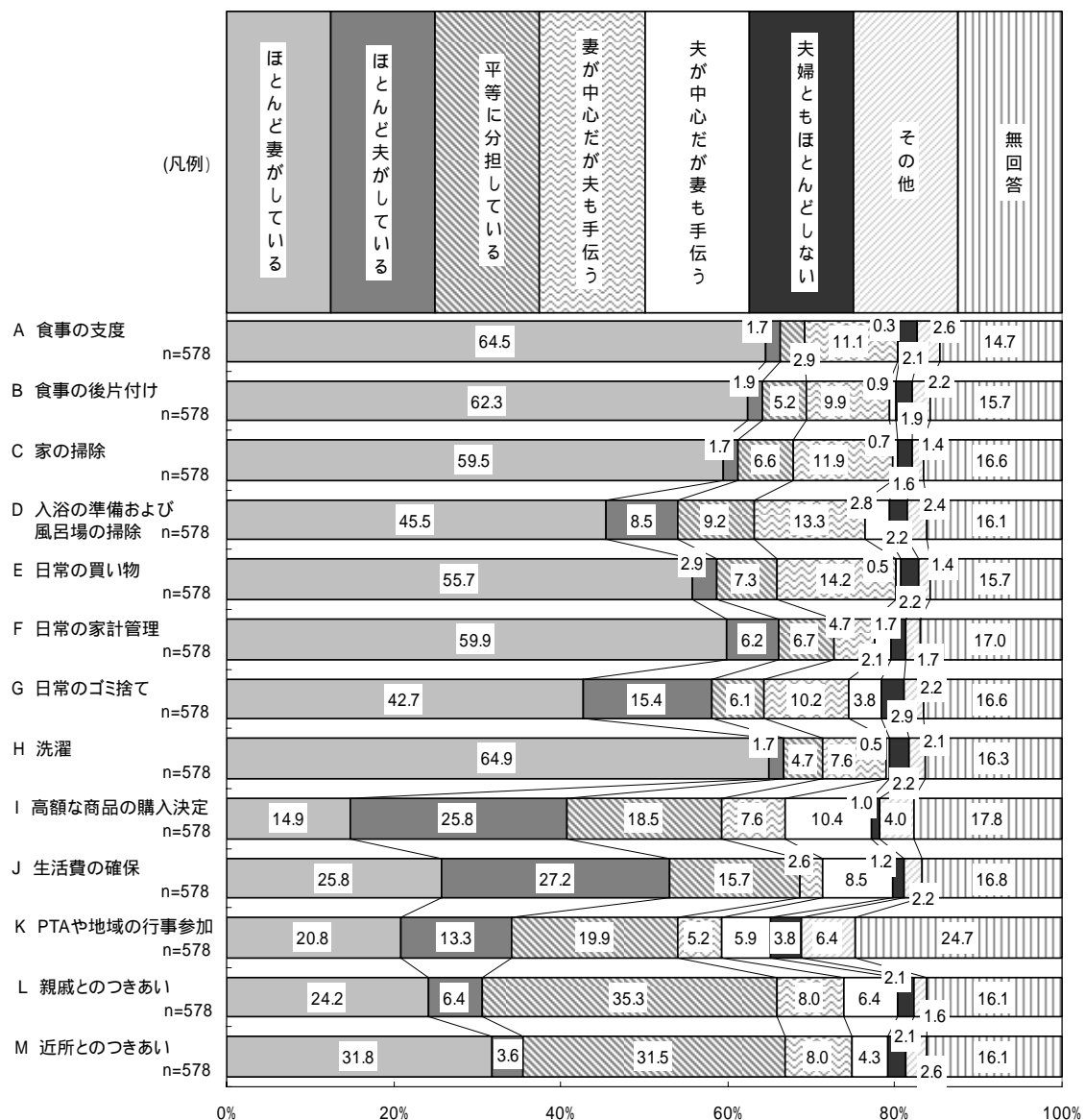
現在、結婚している方を対象

問9. あなたの家庭では、A～Mのそれぞれについて、夫婦の間でどのように行っていますか。

【全体】(A～M)

- A～Hの日常的な家事等の項目は「ほとんど妻がしている」の割合が高く、なかでも「H 洗濯」(64.9%)、「A 食事の支度」(64.5%)、「B 食事の後片付け」(62.3%)が高い。一方、「L 親戚とのつきあい」(35.3%)、「M 近所とのつきあい」(31.5%)は「平等に分担している」の割合が高い。また、「ほとんど夫がしている」割合は、「J 生活費の確保」(27.2%)、「I 高額な商品の購入決定」(25.8%)では「ほとんど妻がしている」より高くなっている。

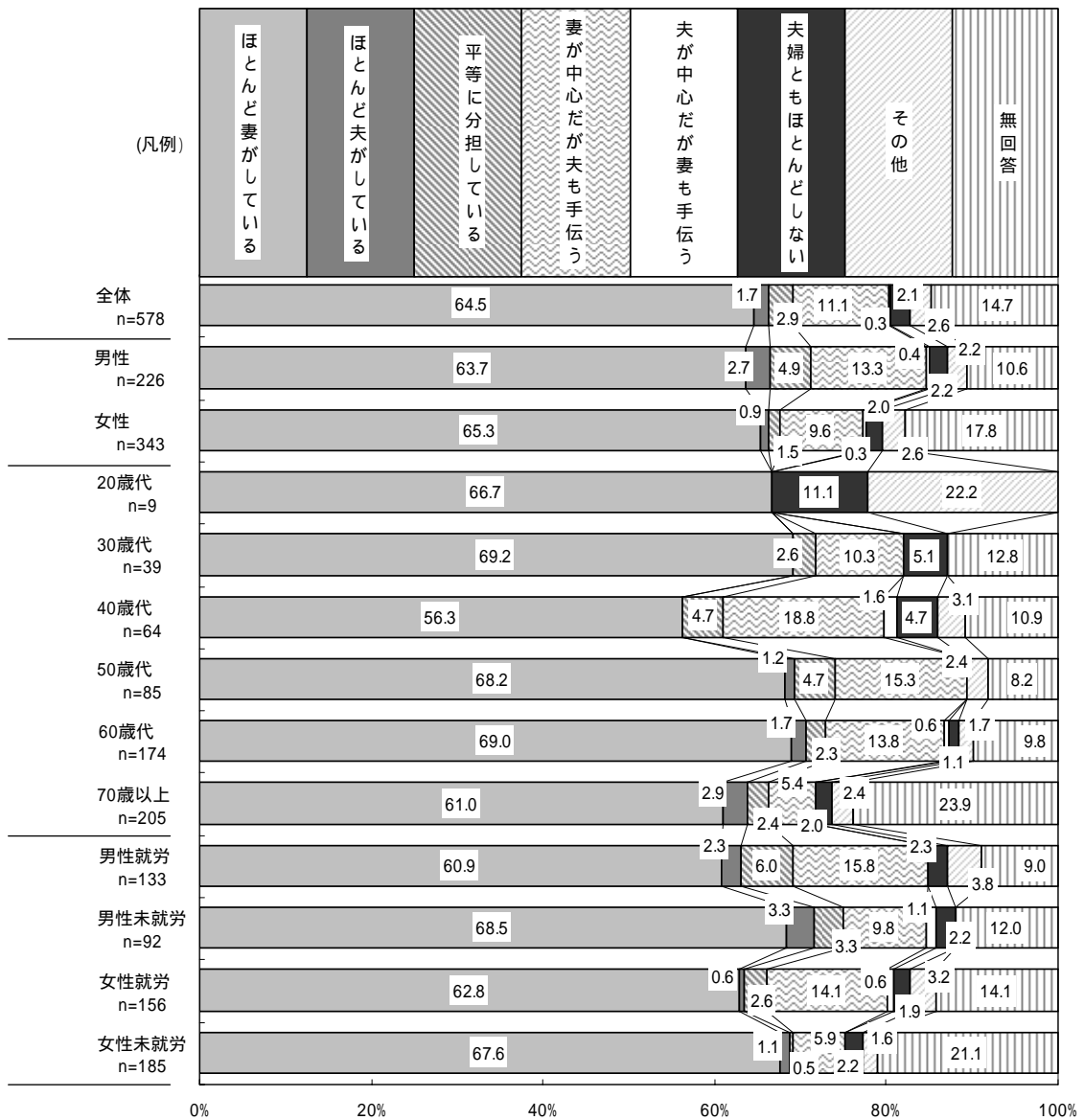
家庭内の仕事の分担【全体】(A～M)



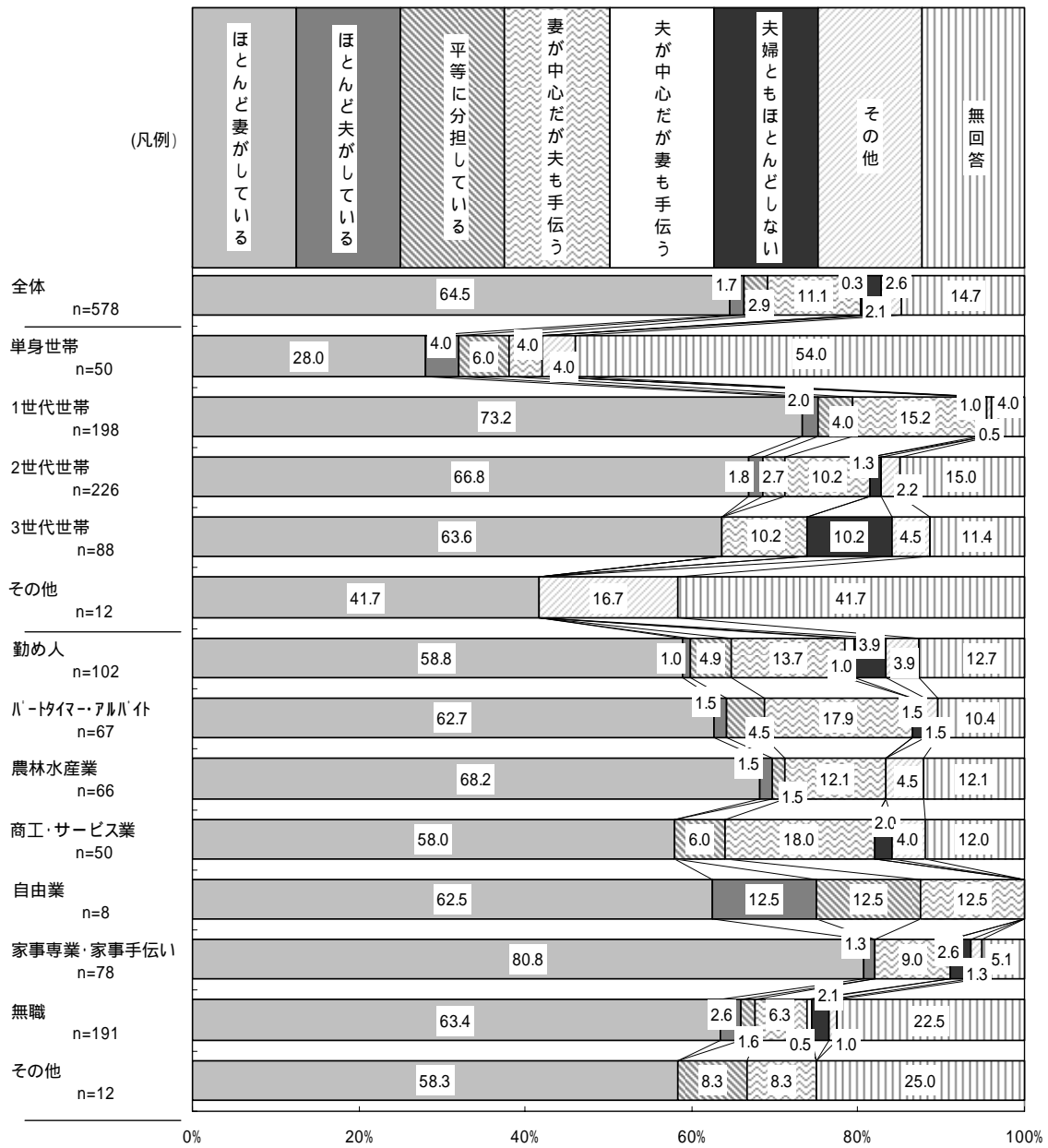
【A 食事の支度】

- 「ほとんど妻がしている」が64.5%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(11.1%)である。
- 年齢別では、40歳代は「ほとんど妻がしている」の割合が56.3%とやや低くなっている。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は男性未就労者が68.5%、女性未就労者が67.6%と未就労者の割合がやや高い。
- 職業別では、家事専業・家事手伝いは「ほとんど妻がしている」が80.8%と特に高い。

A 食事の支度



A 食事の支度

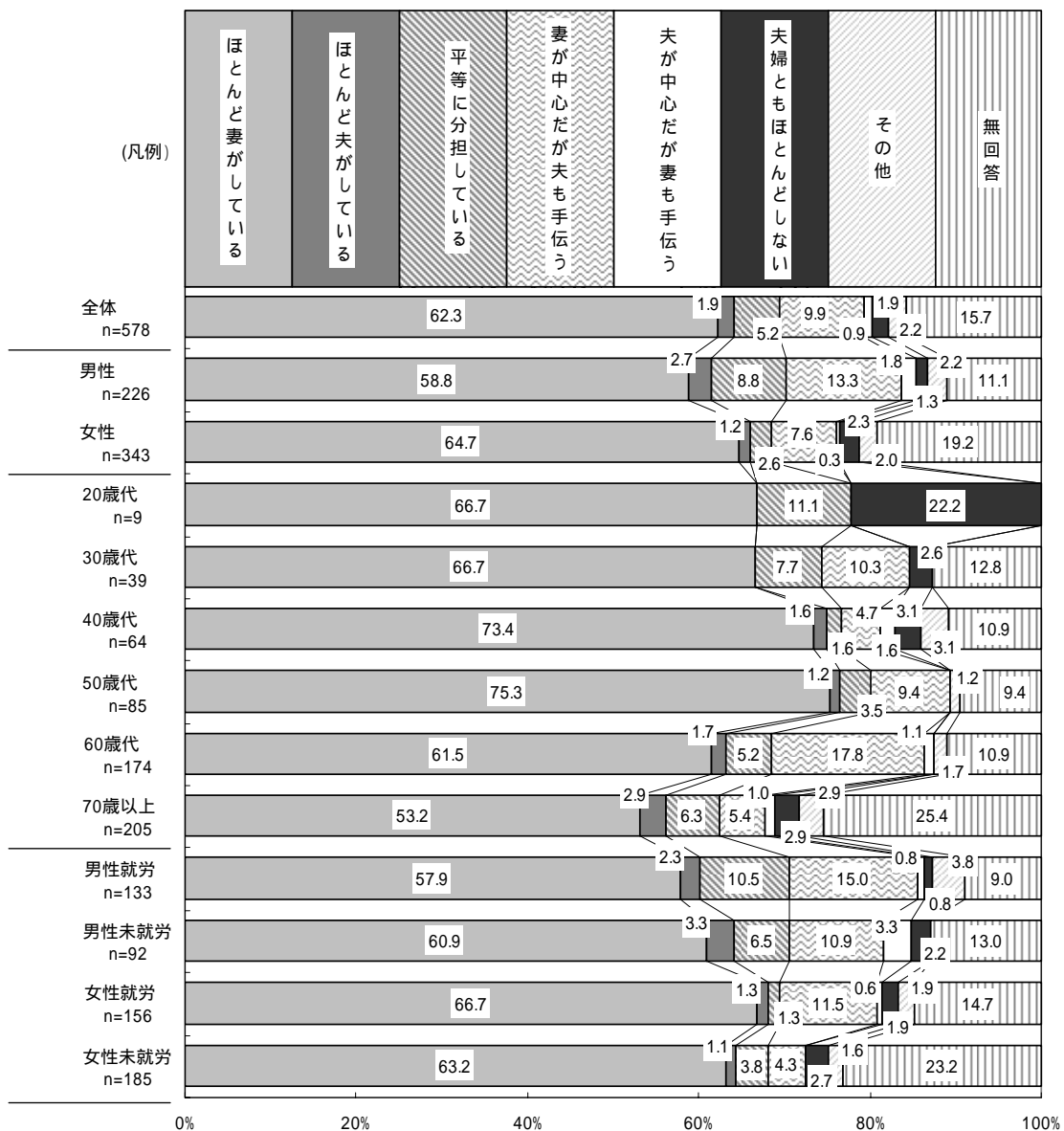


20 歳代、その他（世帯）自由業、その他（職業）の回答者は少数のため、分析から除いている。学生は回答数が 0 件のため、表記していない。以降のページも同様。

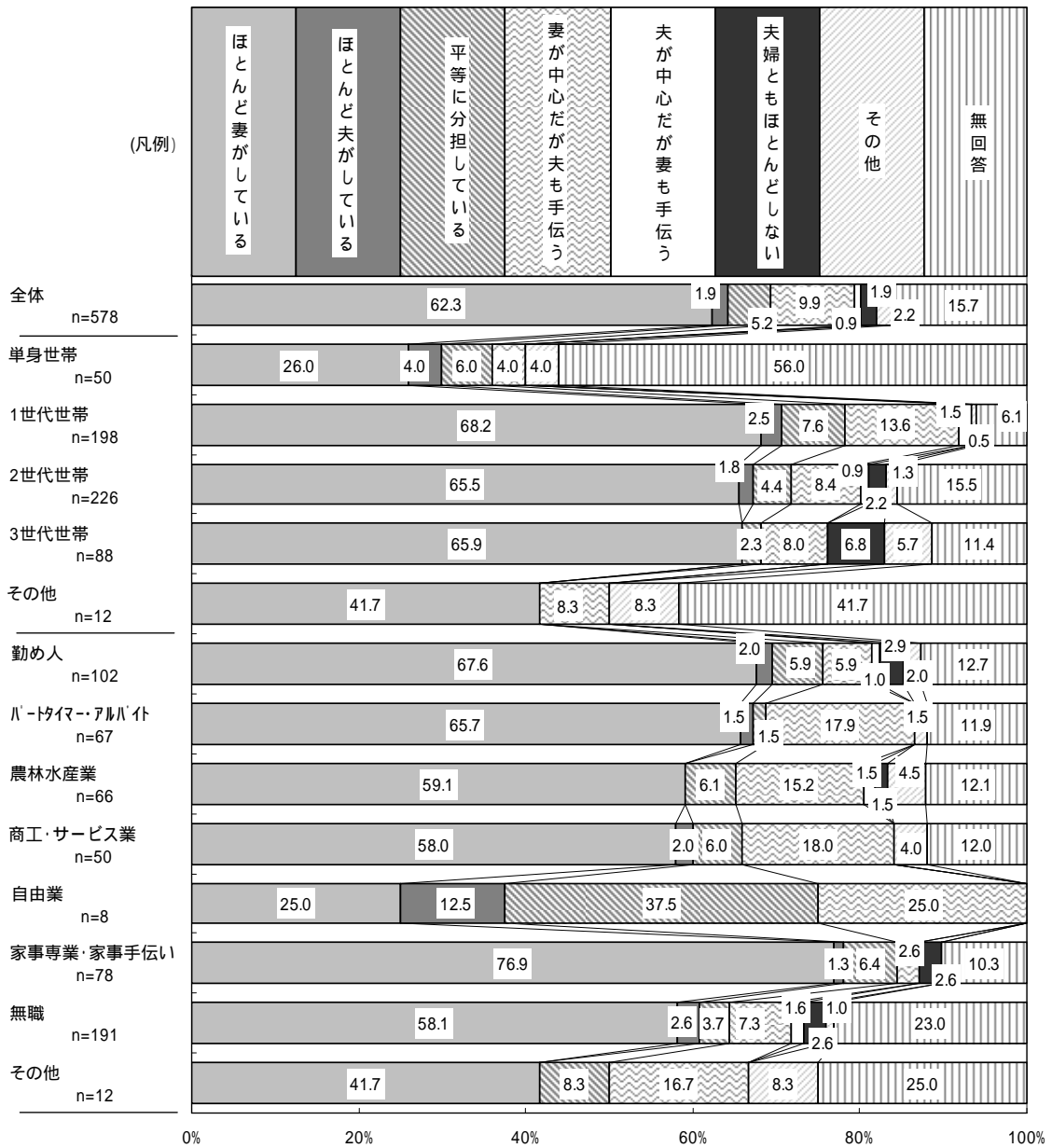
【B 食事の後片付け】

- 「ほとんど妻がしている」が62.3%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(9.9%)である。
- 性別では、「ほとんど妻がしている」は女性が64.7%と男性(58.8%)を上回っている一方、「妻が中心だが夫も手伝う」、「平等に分担している」は男性の割合がやや高い。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」の割合が53.2%とやや低い。また、60歳代では、「妻が中心だが夫も手伝う」が17.8%とやや高い。
- 性別・就労別では、男性就労者は「ほとんど妻がしている」が57.9%とやや低く、「妻が中心だが夫も手伝う」(15.0%)、「平等に分担している」(10.5%)がやや高い。
- 職業別では、家事専業・家事手伝いは「ほとんど妻がしている」が76.9%と特に高く、商工・サービス業、パートタイマー・アルバイトでは「妻が中心だが夫も手伝う」の割合がそれぞれ18.0%、17.9%とやや高い。

B 食事の後片付け



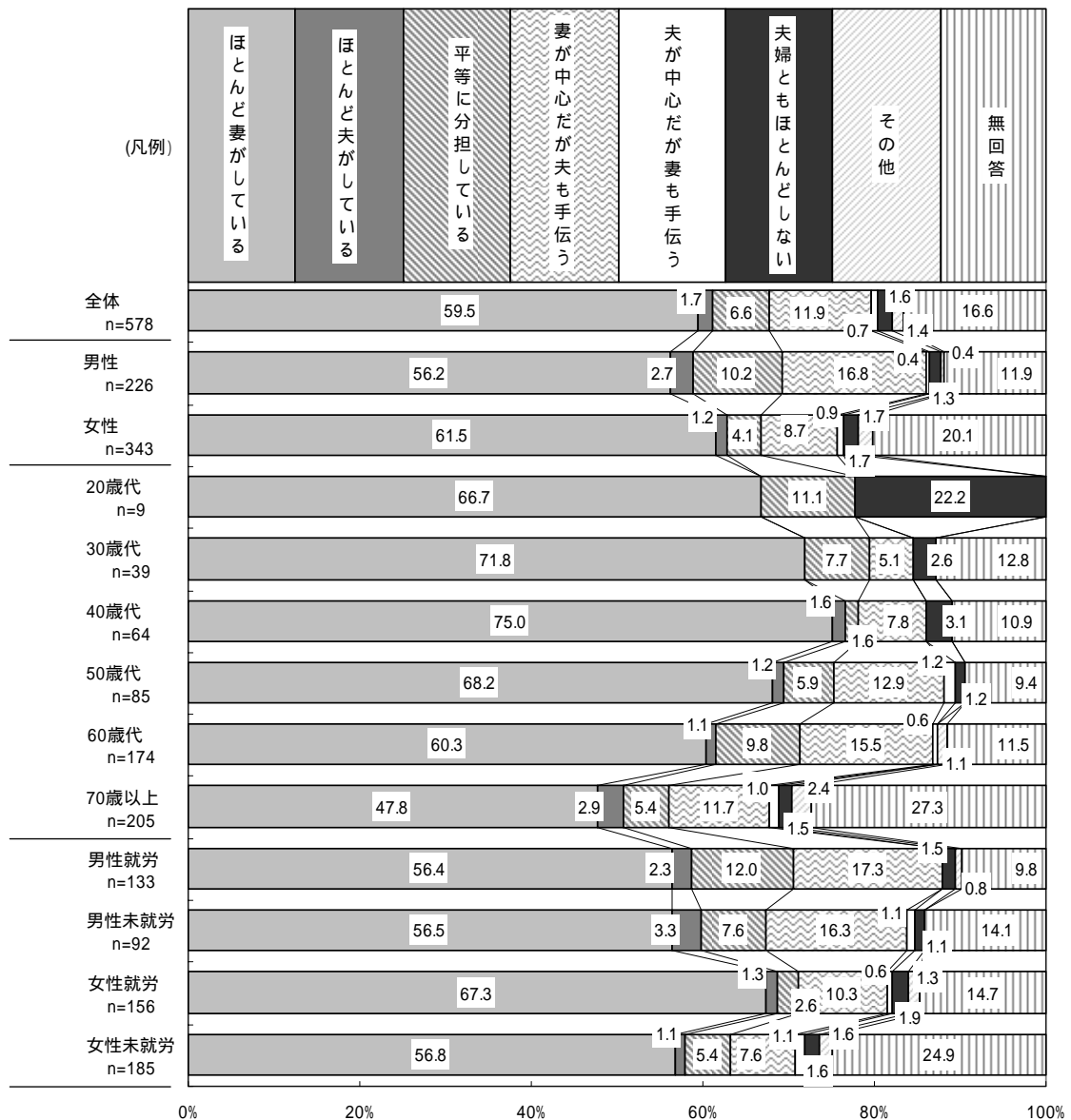
B 食事の後片付け



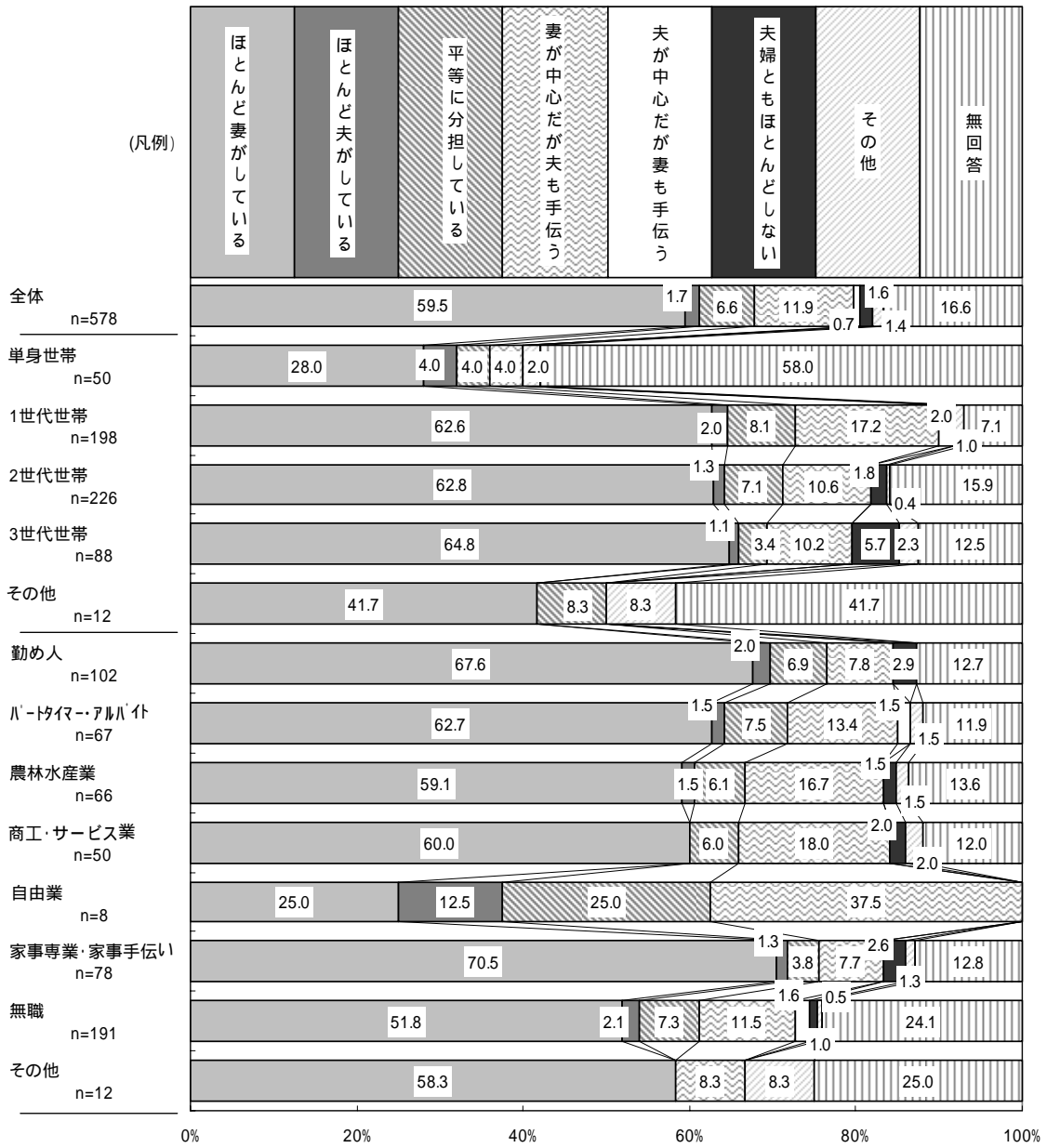
【C 家の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が59.5%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(11.9%)である。
- 性別では、男性は「妻が中心だが夫も手伝う」が16.8%、「平等に分担している」が10.2%となり、女性をそれぞれ8.1ポイント、6.1ポイント上回っている。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」の割合が47.8%と低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「ほとんど妻がしている」が67.3%と特に高く、男性就労者は「妻が中心だが夫も手伝う」(17.3%)、「平等に分担している」(12.0%)がやや高い。
- 職業別では、家事専業・家事手伝いは「ほとんど妻がしている」が70.5%と高い。また、商工・サービス業、農林水産業では「妻が中心だが夫も手伝う」がそれぞれ18.0%、16.7%とやや高い。

C 家の掃除



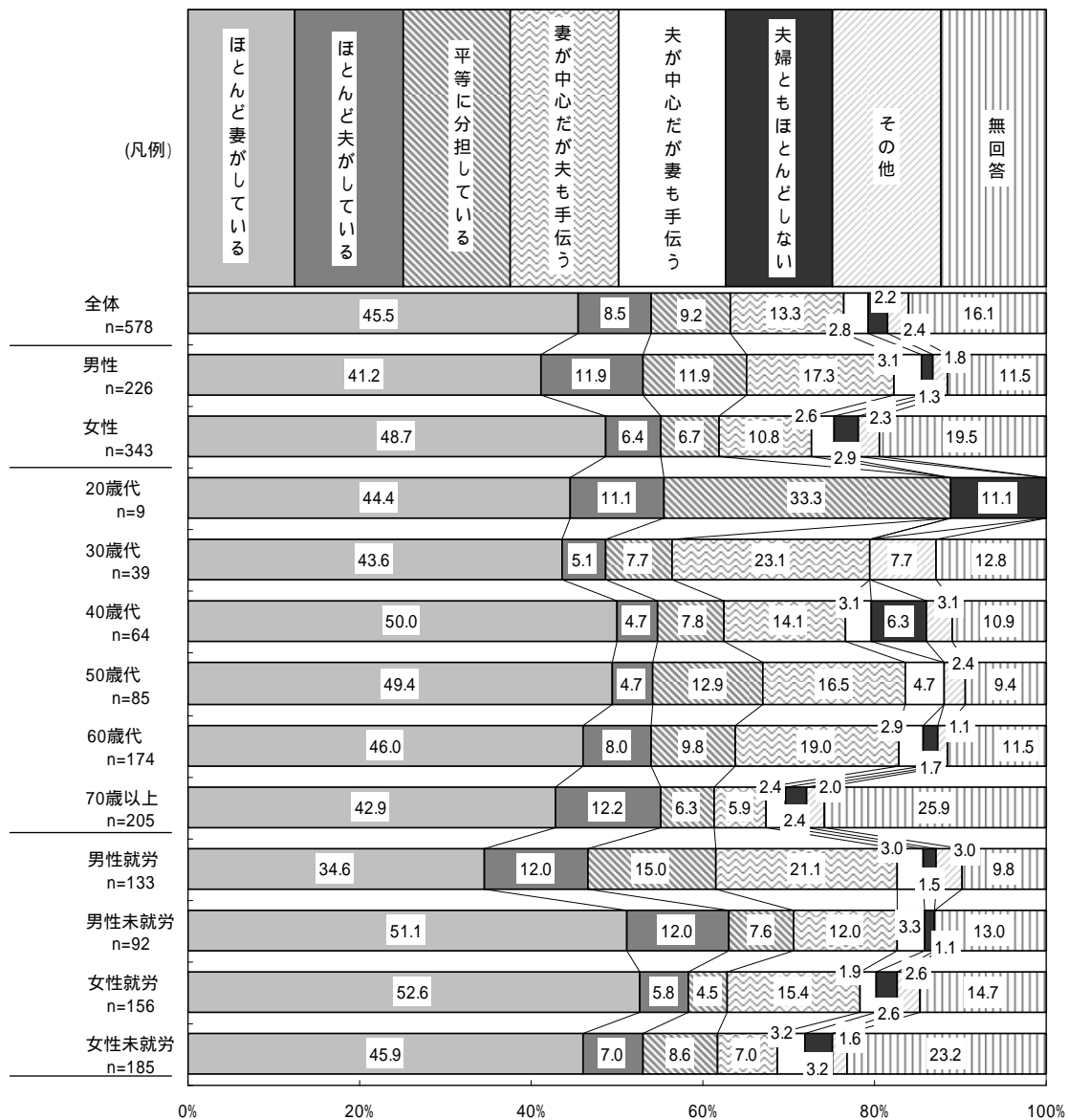
C 家の排除



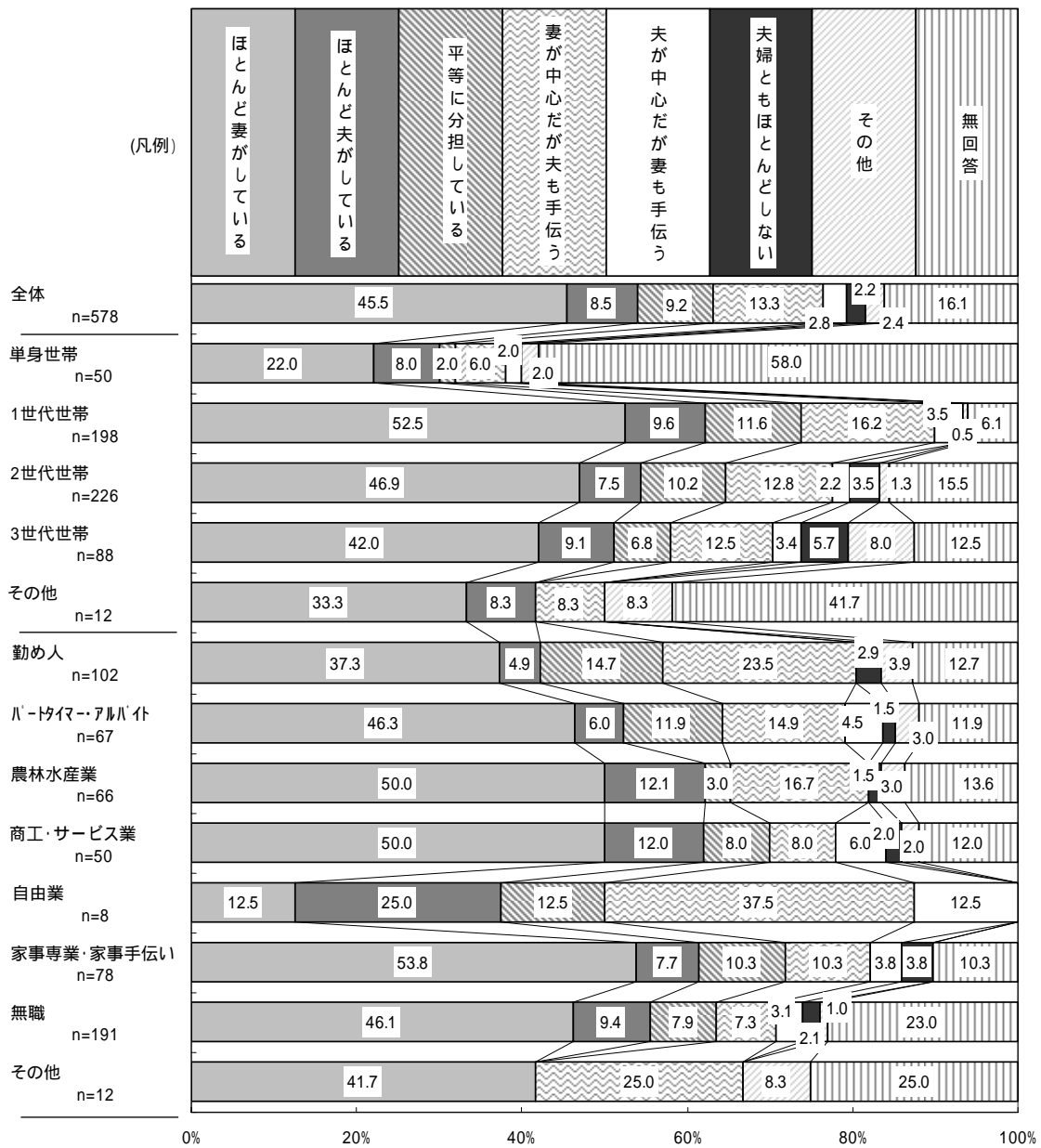
【D 入浴の準備および風呂場の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が45.5%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(13.3%)、「平等に分担している」(9.2%)である。
- 性別では、男性は「ほとんど妻がしている」が41.2%と女性(48.7%)を下回っているが、「ほとんど夫がしている」、「平等に分担している」、「妻が中心だが夫も手伝う」、「夫が中心だが妻も手伝う」のいずれにおいても、女性を上回っている。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」(42.9%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(5.9%)が他の年代に比べて低く、一方で「ほとんど夫がしている」(12.2%)がやや高い。
- 性別・就労別では、男性就労者は「ほとんど妻がしている」が34.6%と低く、「妻が中心だが夫も手伝う」が21.1%とやや高い。
- 職業別では、勤め人は「ほとんど妻がしている」が37.3%とやや低い。

D 入浴の準備および風呂場の掃除



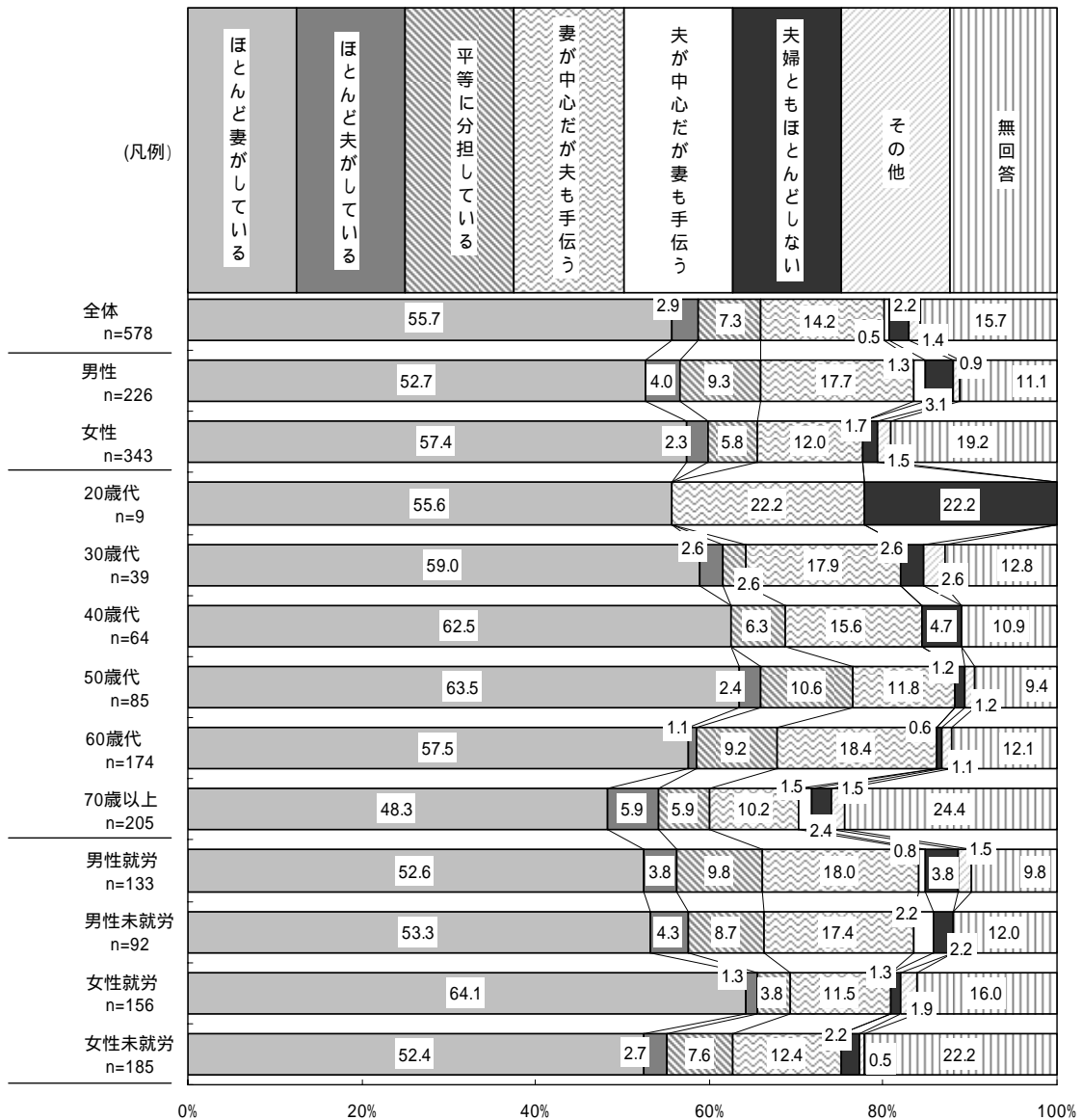
D 入浴の準備および風呂場の掃除



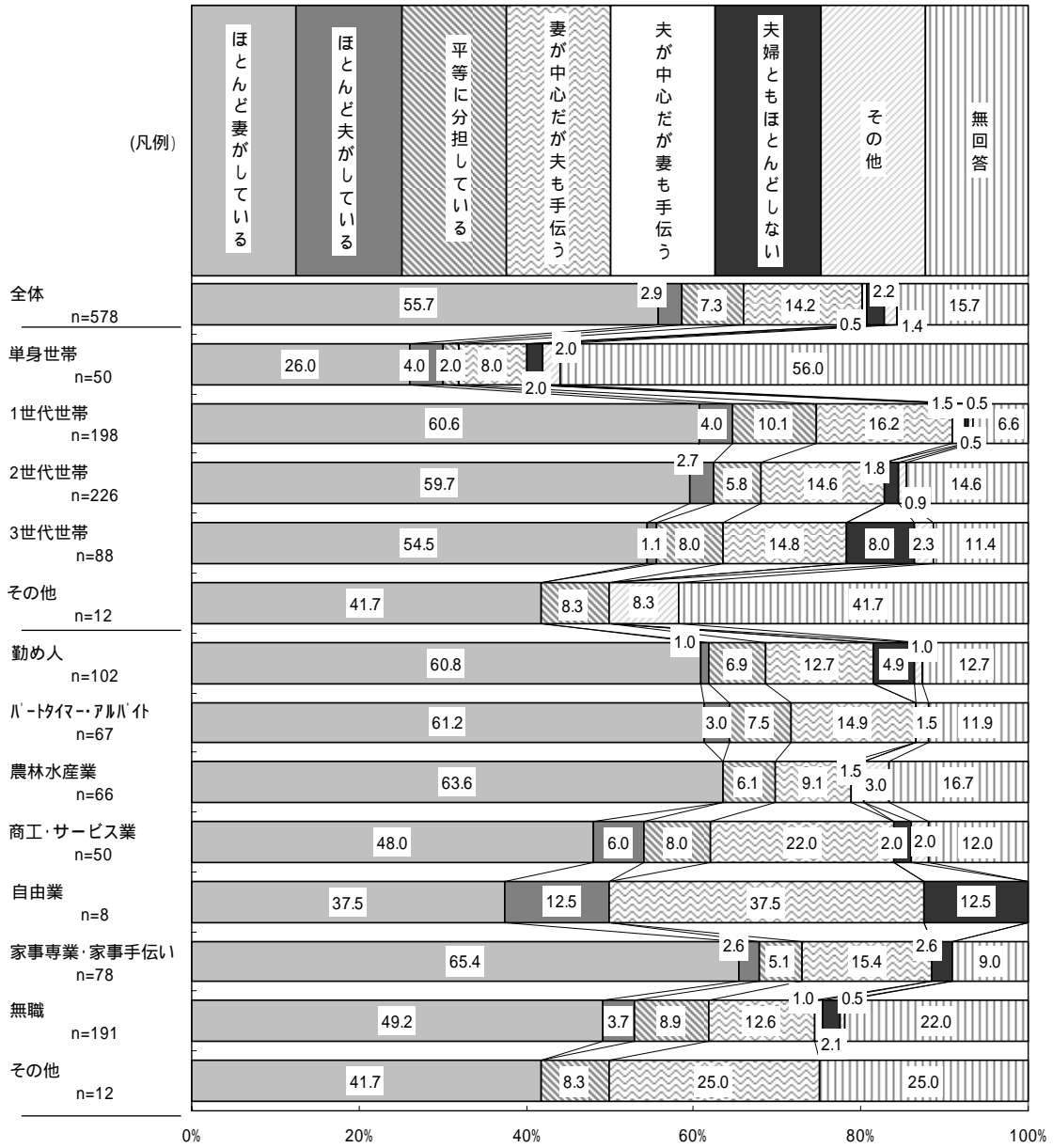
【E 日常の買い物】

- 「ほとんど妻がしている」が55.7%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(14.2%)、「平等に分担している」(7.3%)である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が48.3%と低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「ほとんど妻がしている」が64.1%と高い。

E 日常の買い物



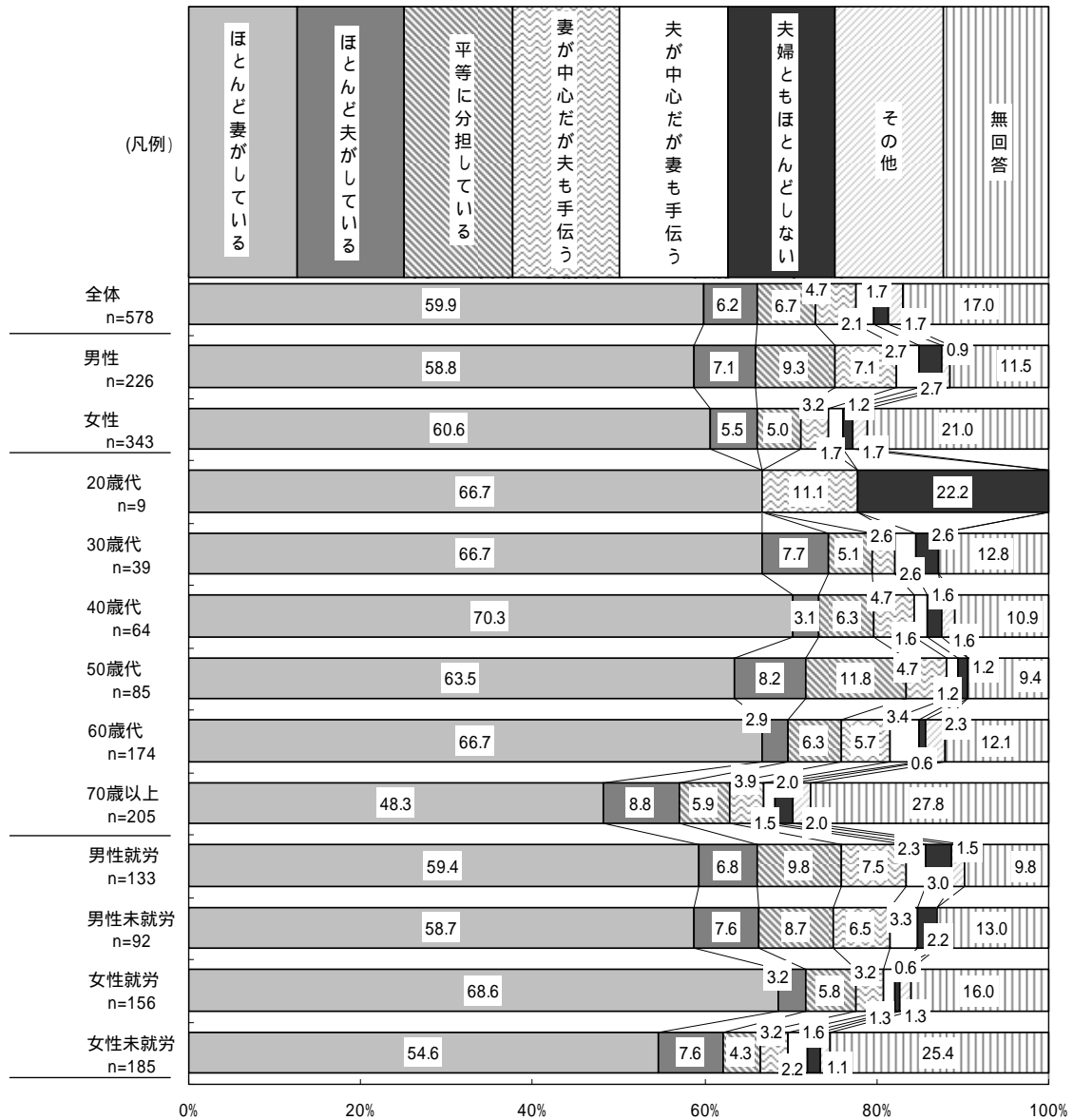
E 日常の買い物



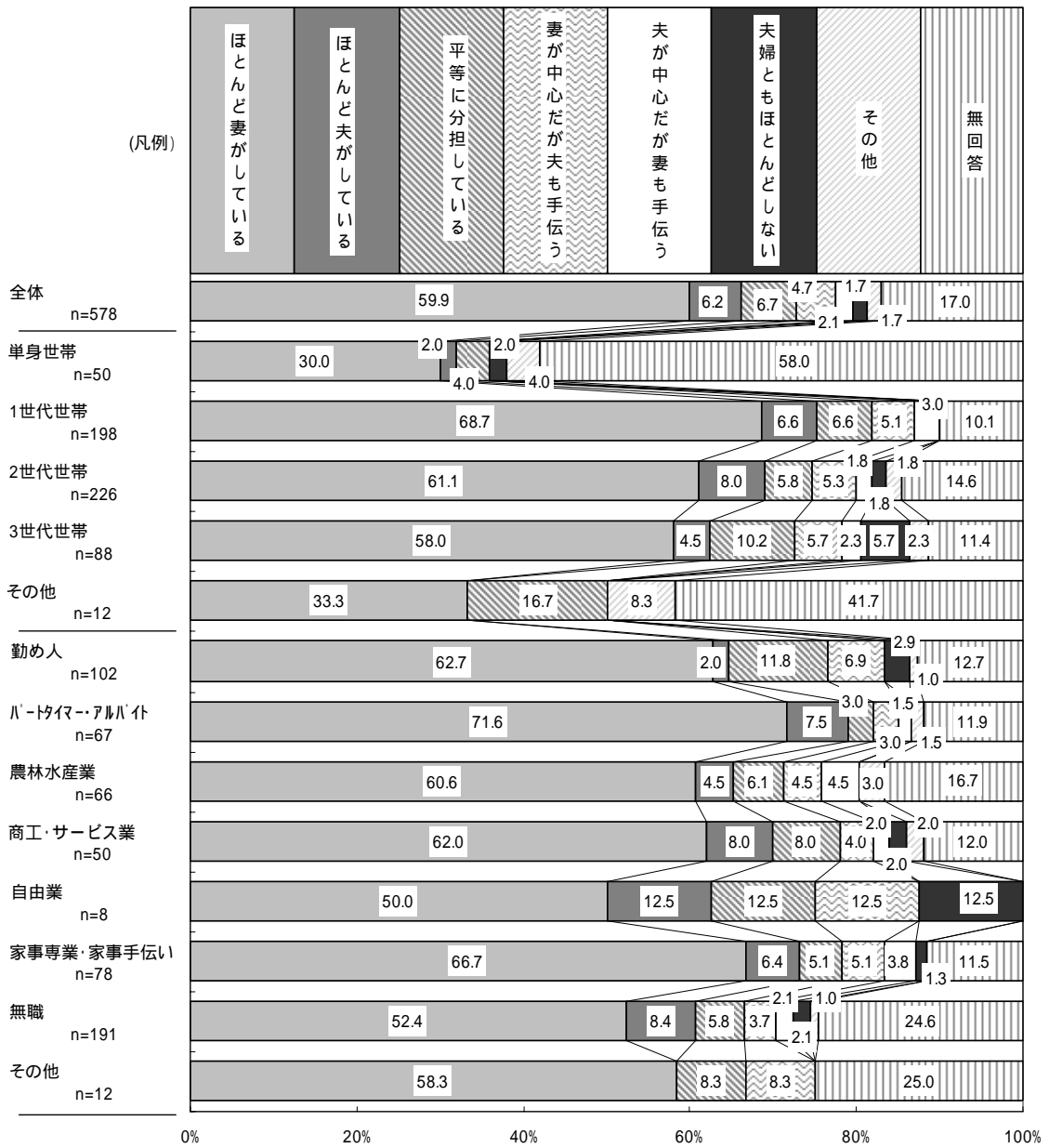
【F 日常の家計管理】

- 「ほとんど妻がしている」が59.9%と最も高く、以下「平等に分担している」(6.7%)、「ほとんど夫がしている」(6.2%)である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が48.3%と低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「ほとんど妻がしている」が68.6%と高い。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイトは「ほとんど妻がしている」が71.6%とやや高い。

F 日常の家計管理



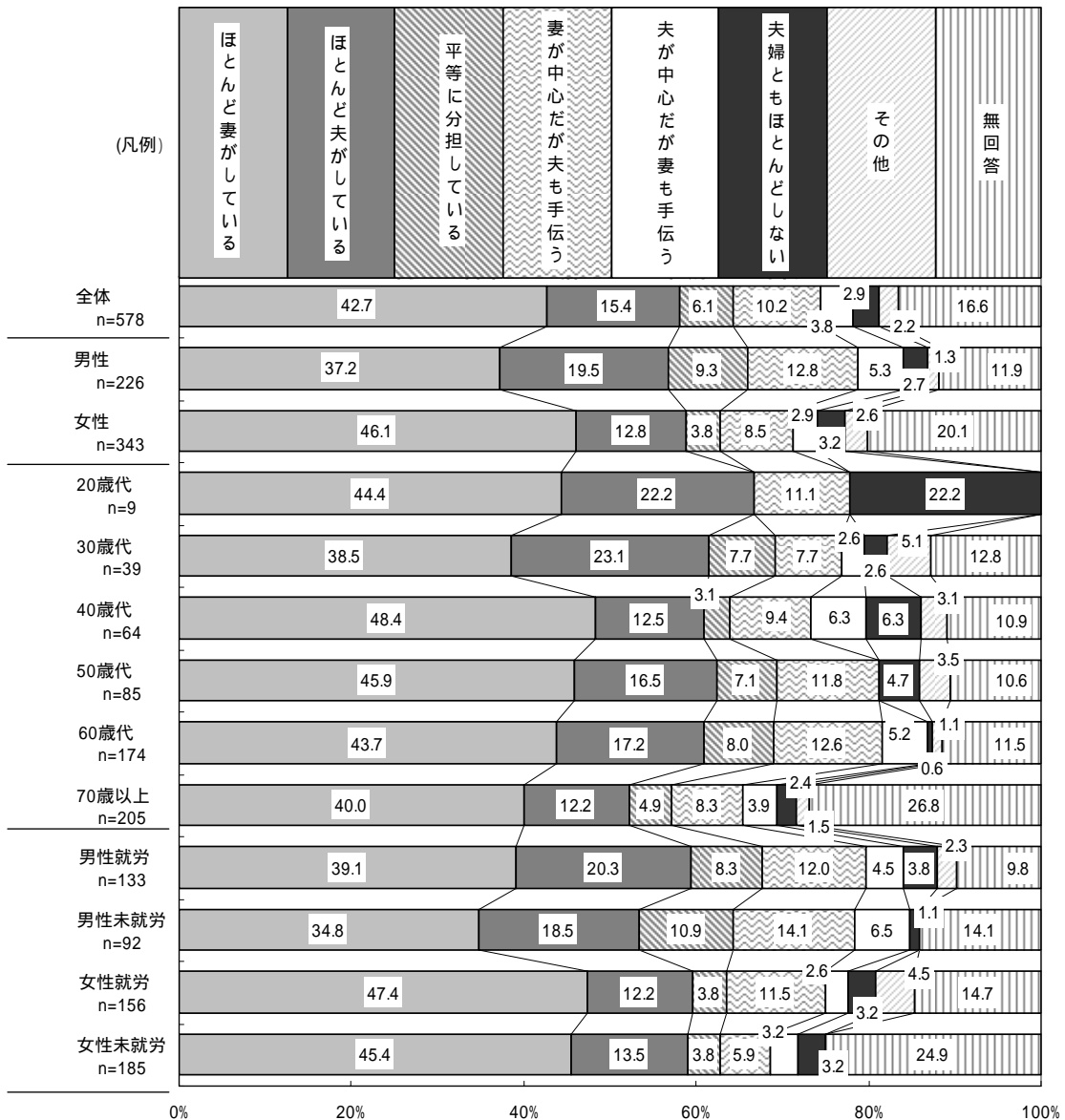
F 日常の家計管理



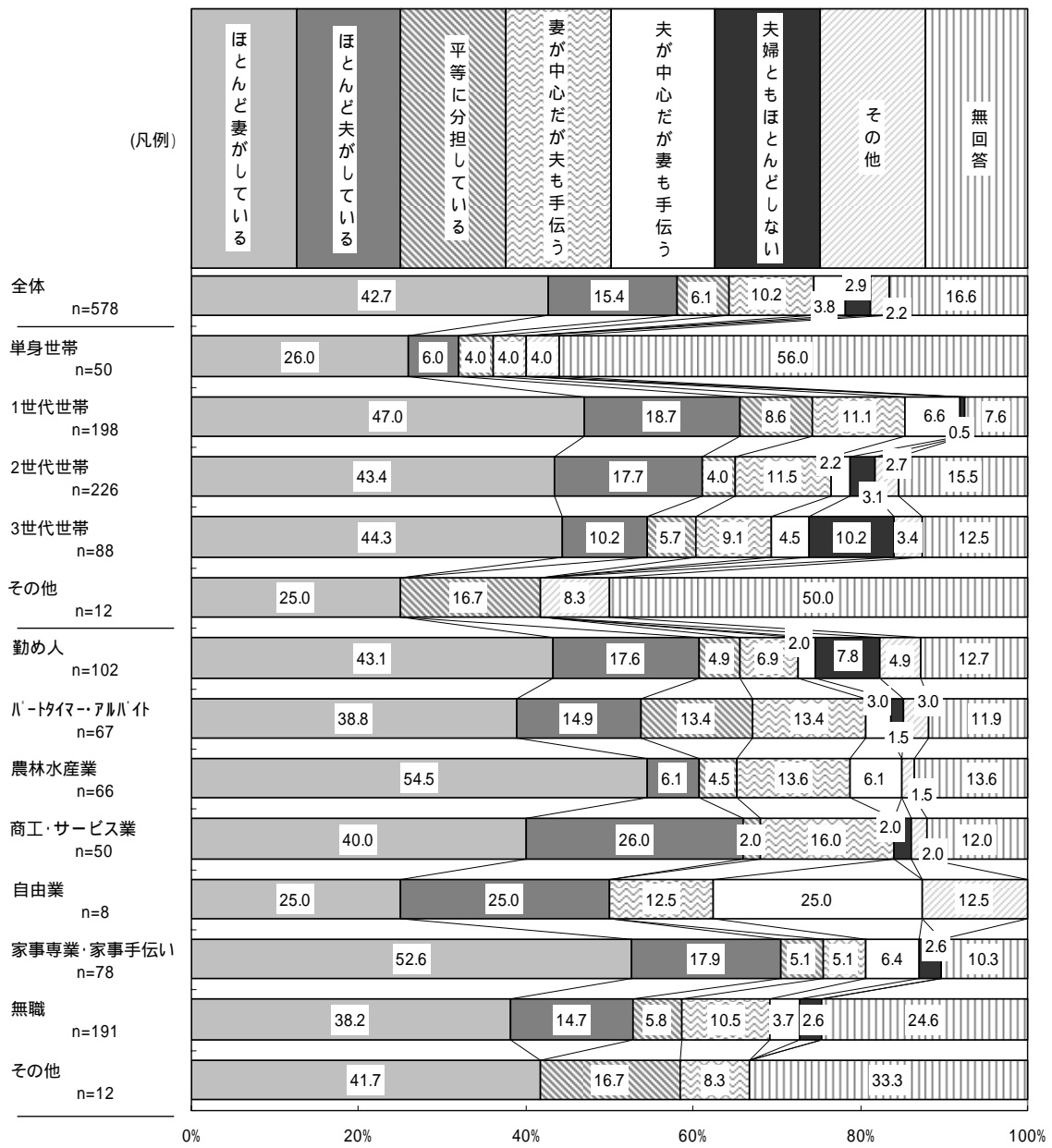
【G 日常のゴミ捨て】

- 「ほとんど妻がしている」が42.7%と最も高く、以下「ほとんど夫がしている」(15.4%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(10.2%)である。
- 性別では、女性は「ほとんど妻がしている」が46.1%と男性(37.2%)よりも高い。
- 年齢別では、30歳代は「ほとんど妻がしている」が38.5%と、他の年代に比べると低い。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は男性未就労者で34.8%とやや低い。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」が農林水産業(54.5%)と家事専業・家事手伝い(52.6%)で特に高い。

G 日常のゴミ捨て



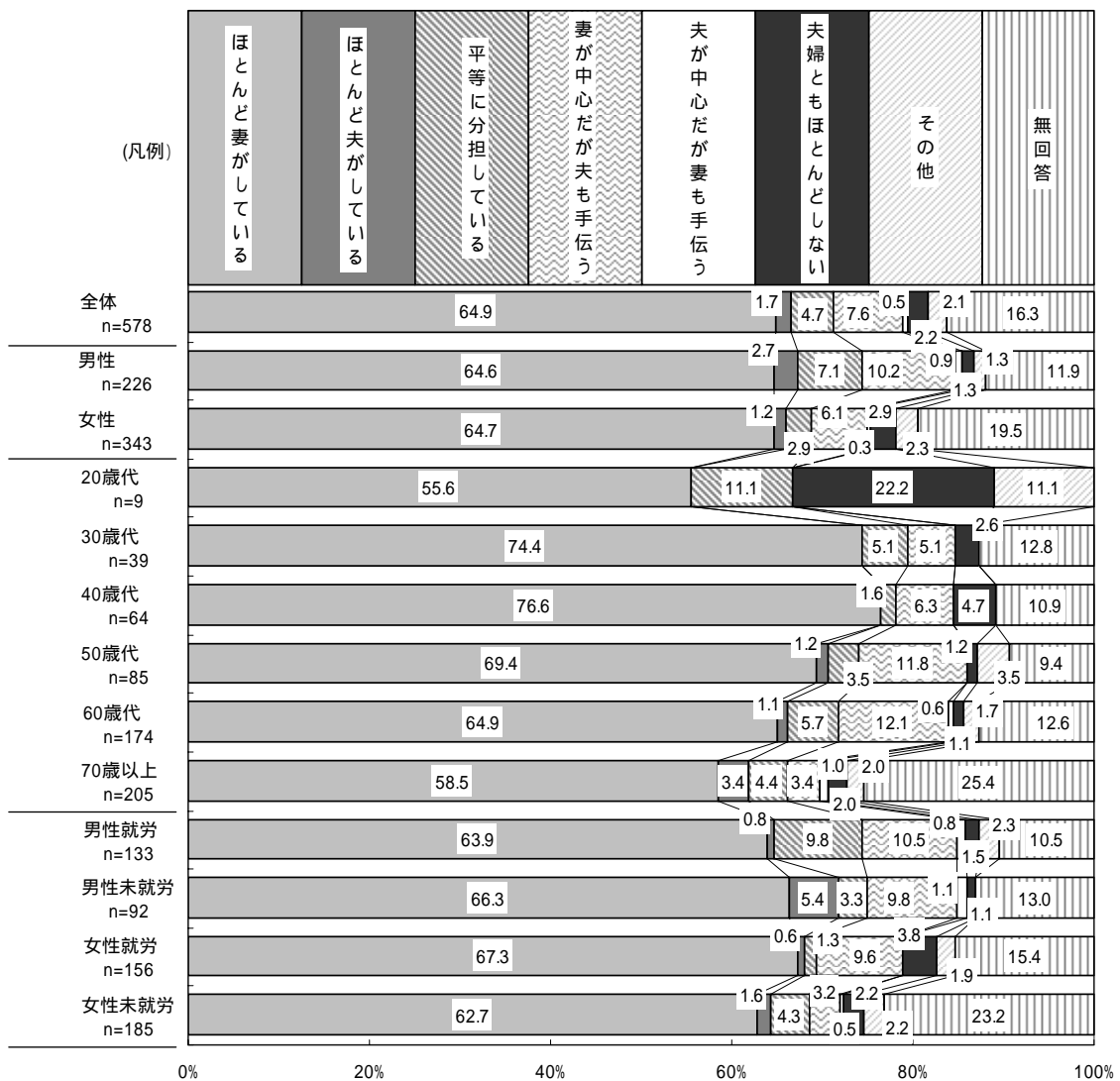
G 日常のゴミ捨て



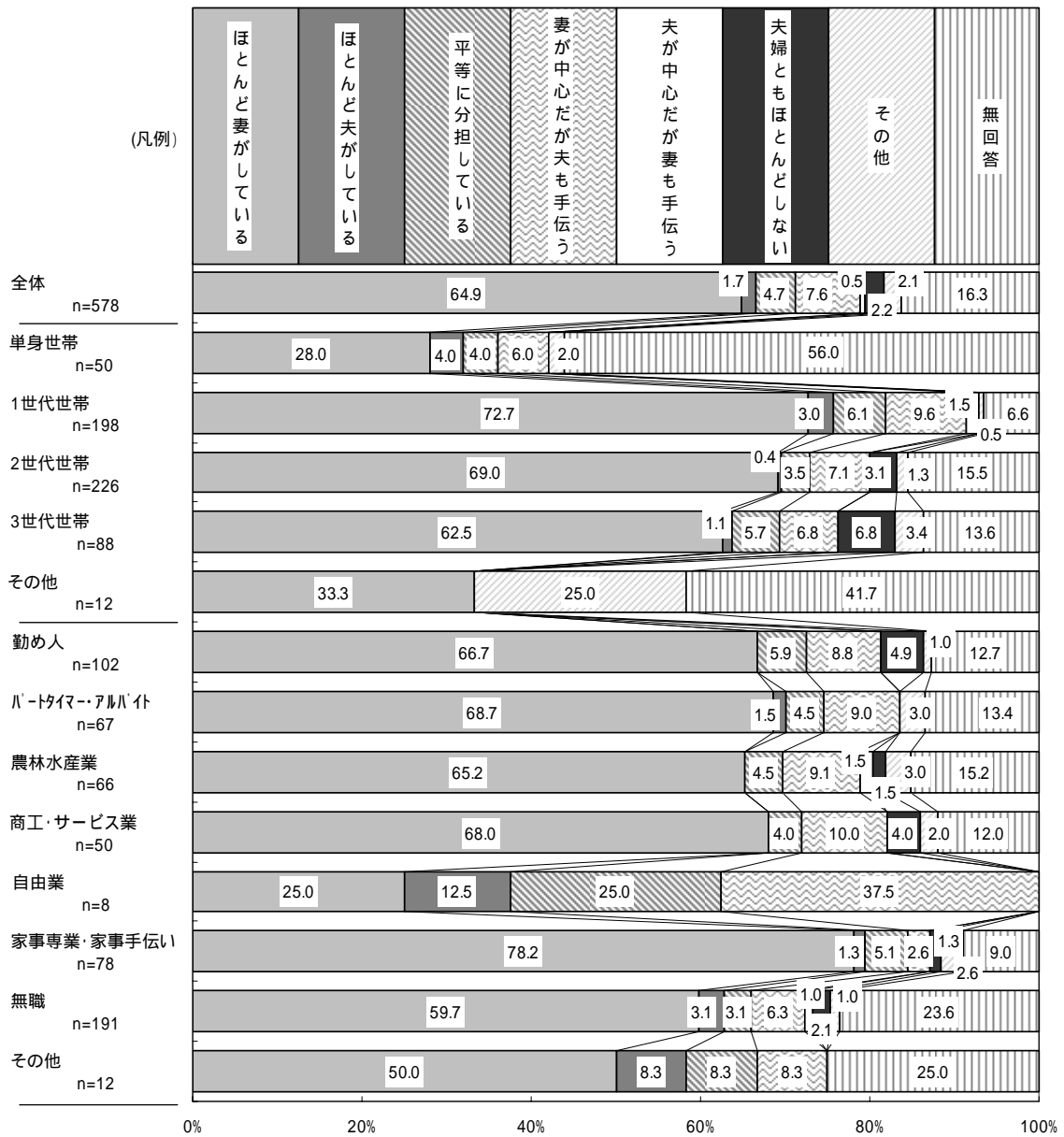
【H 洗濯】

- 「ほとんど妻がしている」が64.9%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(7.6%)、「平等に分担している」(4.7%)である。
- 性別では、「ほとんど妻がしている」は男女ともほぼ同率であるが、「平等に分担している」は男性が7.1%に対して女性は2.9%となっている。
- 年齢別では、「ほとんど妻がしている」は40歳代(76.6%)、30歳代(74.4%)が高く、40歳代以上では、年齢が上がるほどその割合は低くなっている。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は女性就労者が67.3%と最も高い。男性就労者では、「平等に分担している」が9.8%とやや高い。
- 職業別では、家事専業・家事手伝いは「ほとんど妻がしている」が78.2%と特に高い。

H 洗濯



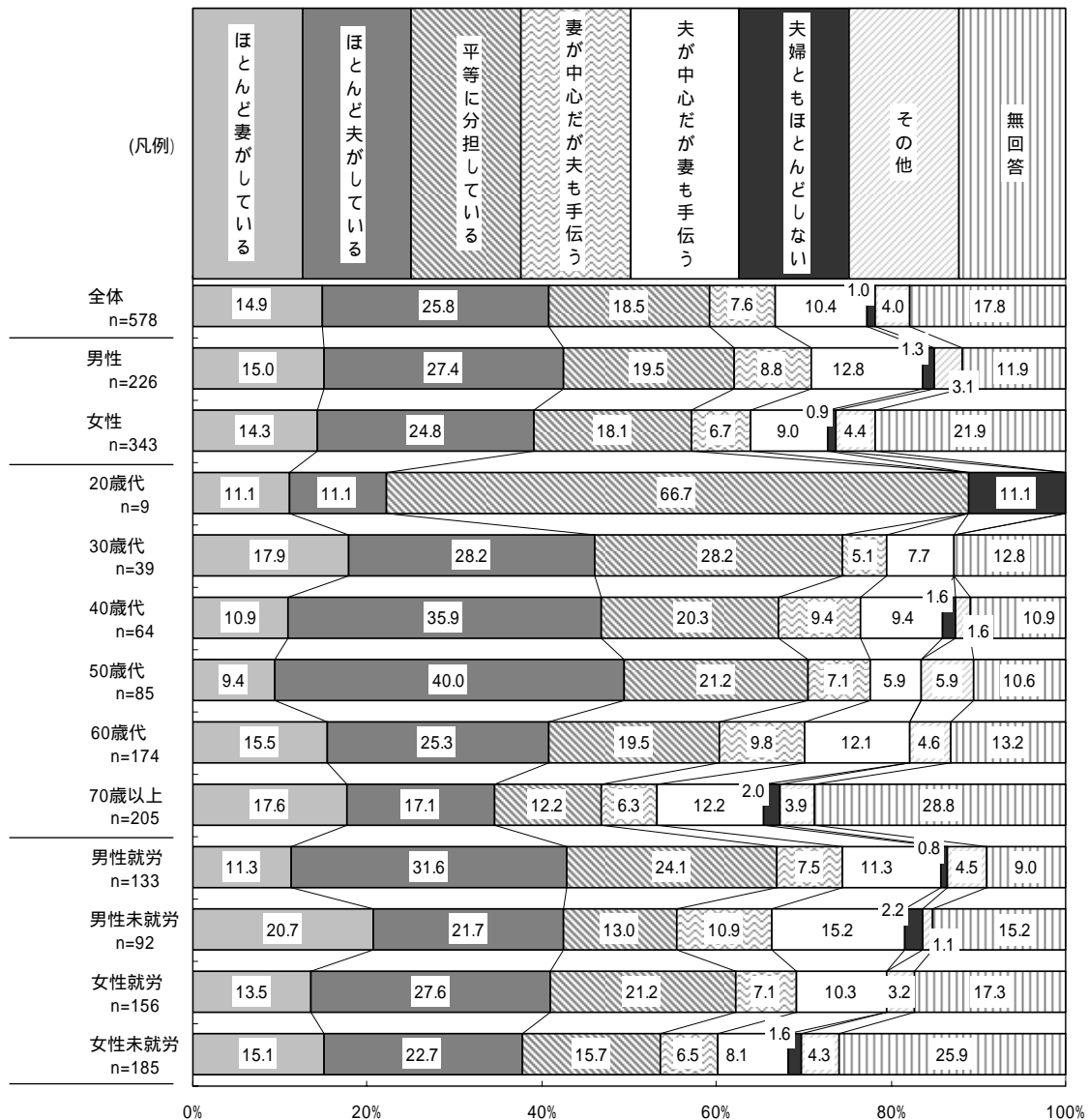
H 洗濯



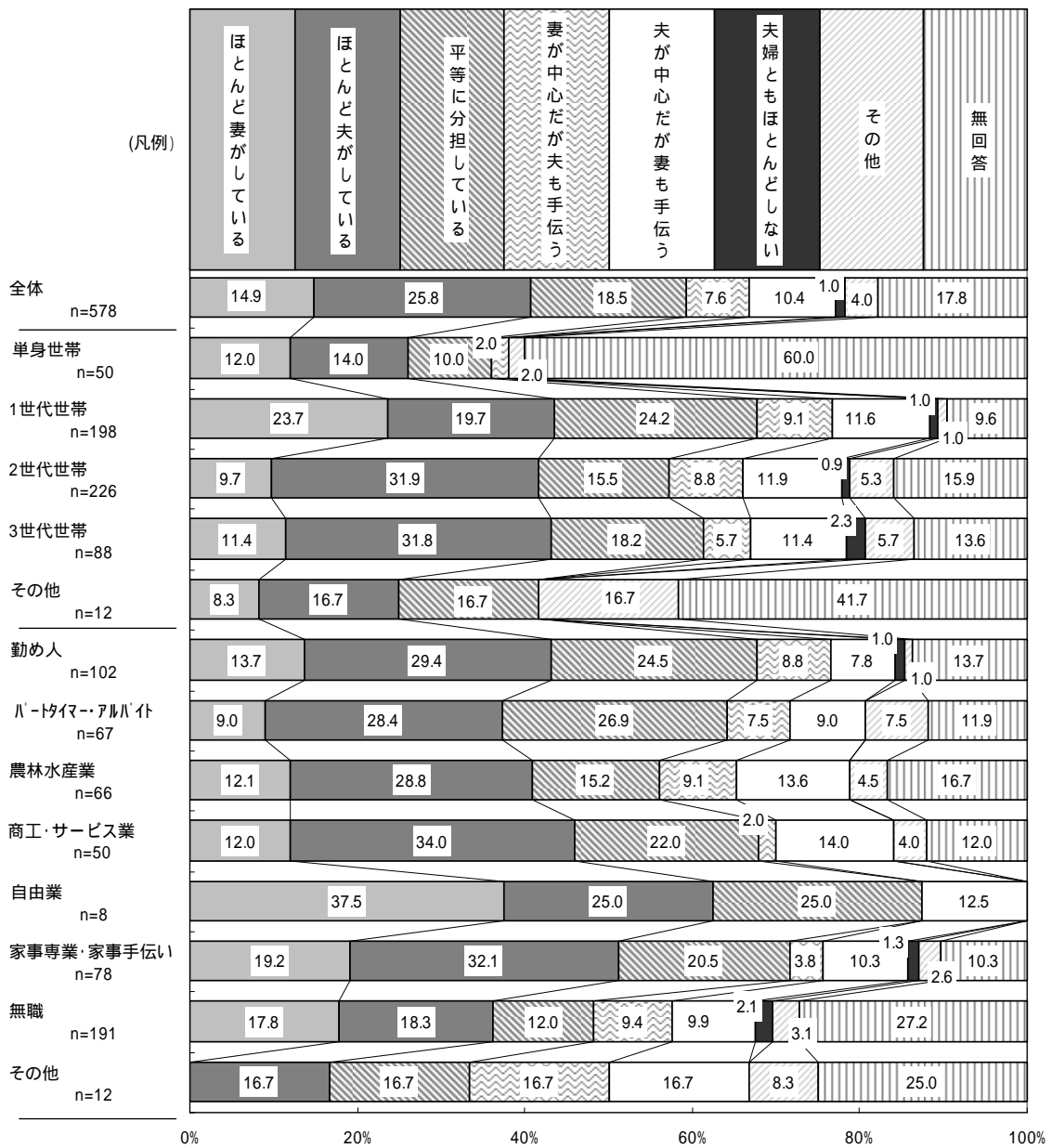
【 I 高額な商品の購入決定】

- 「ほとんど夫がしている」が25.8%と最も高く、以下「平等に分担している」(18.5%)、「ほとんど妻がしている」(14.9%)、「夫が中心だが妻も手伝う」(10.4%)である。
- 年齢別では、「ほとんど夫がしている」は50歳代(40.0%)、40歳代(35.9%)で高い。
- 性別・就労別では、男性就労者は「ほとんど夫がしている」(31.6%)、「平等に分担している」(24.1%)が高く、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」(20.7%)がやや高い。
- 世帯別では、1世代世帯は「平等に分担している」(24.2%)、「ほとんど妻がしている」(23.7%)の割合が高く、2世代世帯、3世代世帯は「ほとんど夫がしている」が高くなっている。

I 高額な商品の購入決定



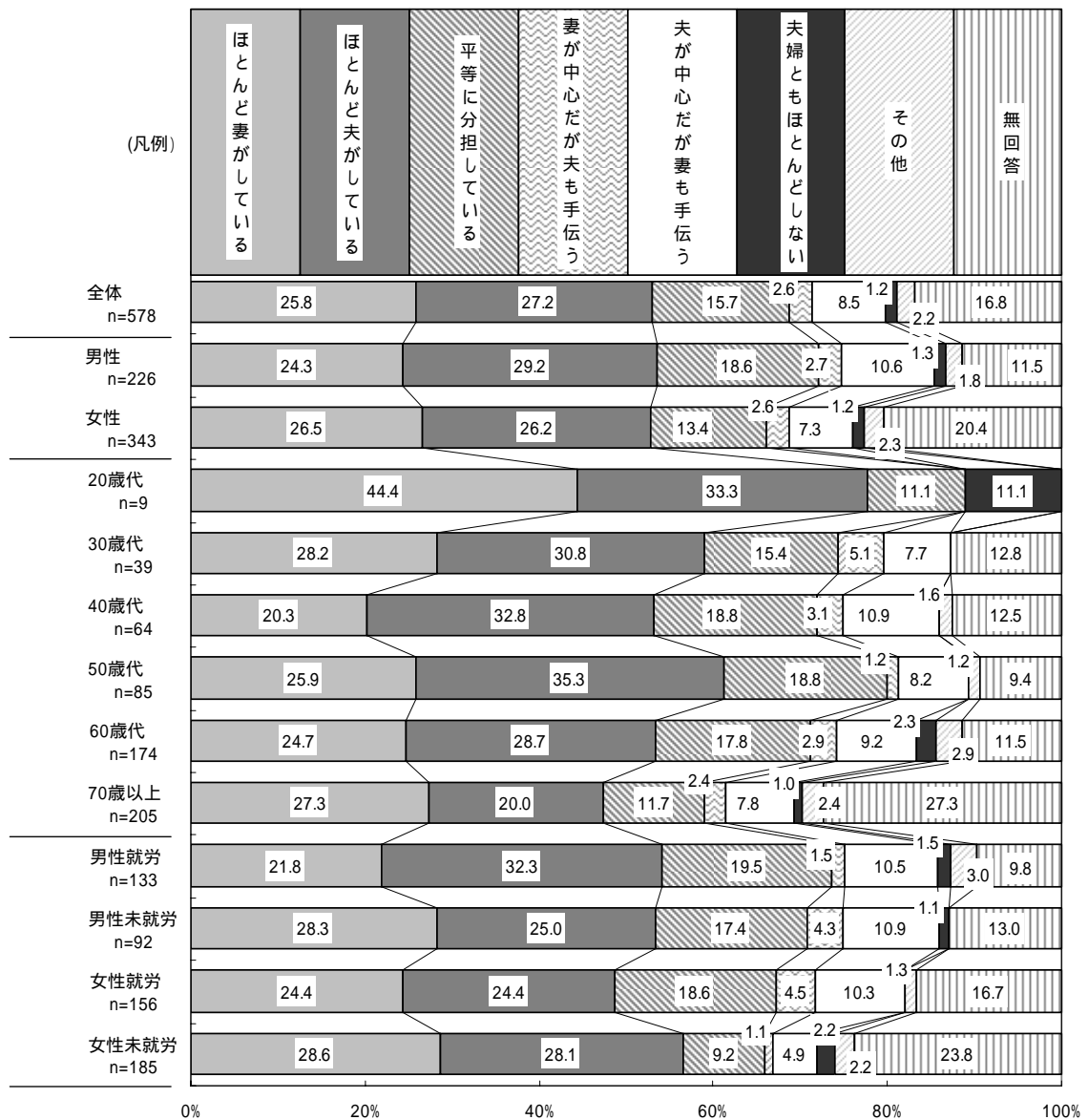
Ⅰ 高額な商品の購入決定



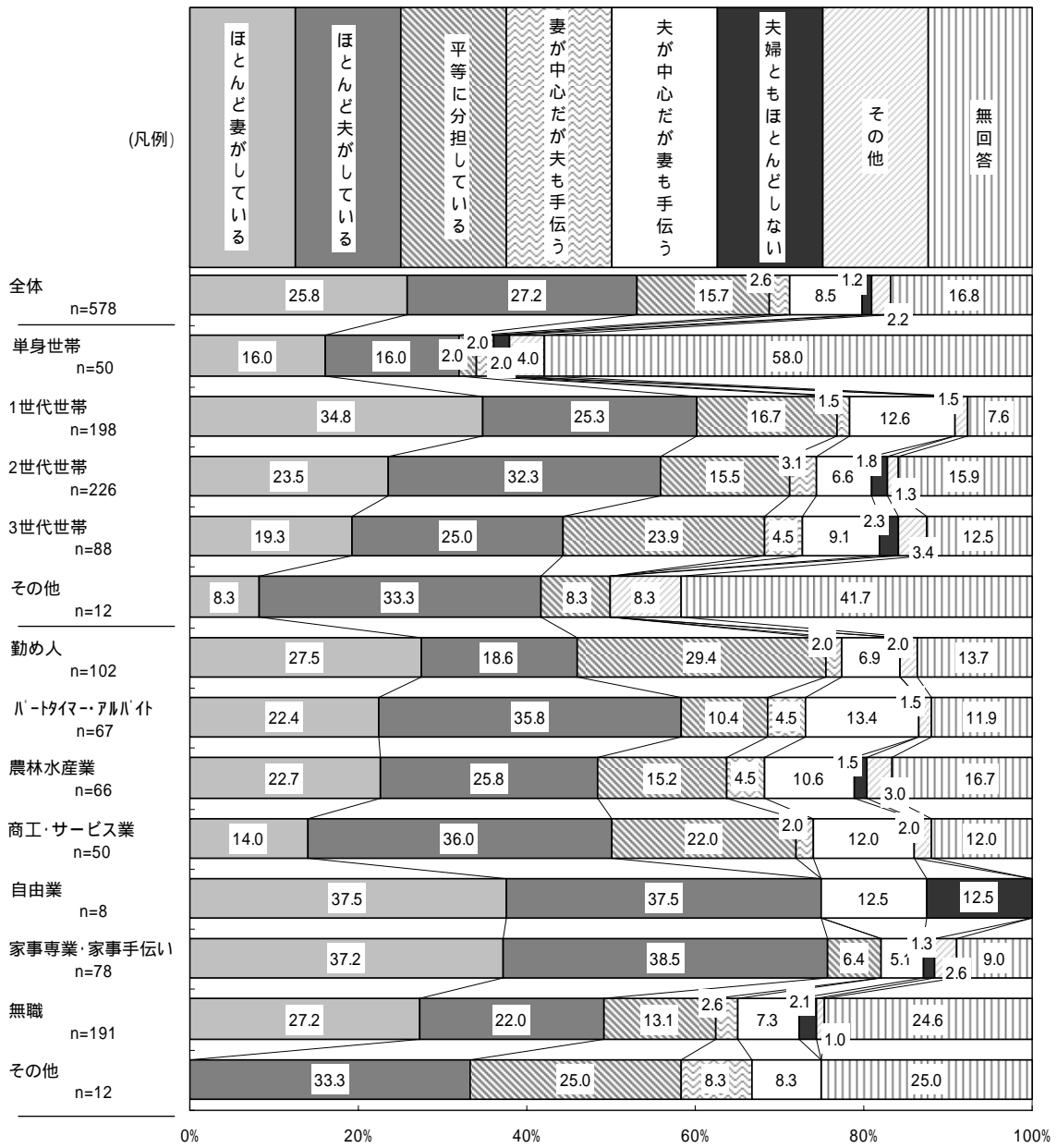
【J】生活費の確保

- 「ほとんど夫がしている」が27.2%と最も高く、以下「ほとんど妻がしている」(25.8%)、「平等に分担している」(15.7%)、「夫が中心だが妻も手伝う」(8.5%)となっている。
- 年齢別では、40歳代は「ほとんど妻がしている」が20.3%と他の年代に比べてやや低くなっている。
- 世帯別では、1世代世帯は「ほとんど妻がしている」が34.8%と最も高い。3世代世帯は「平等に分担している」の割合が23.9%と、他の世帯に比べ高くなっている。
- 職業別では、勤め人は「平等に分担している」が29.4%と高く、「ほとんど夫がしている」が18.6%と低い。

J 生活費の確保



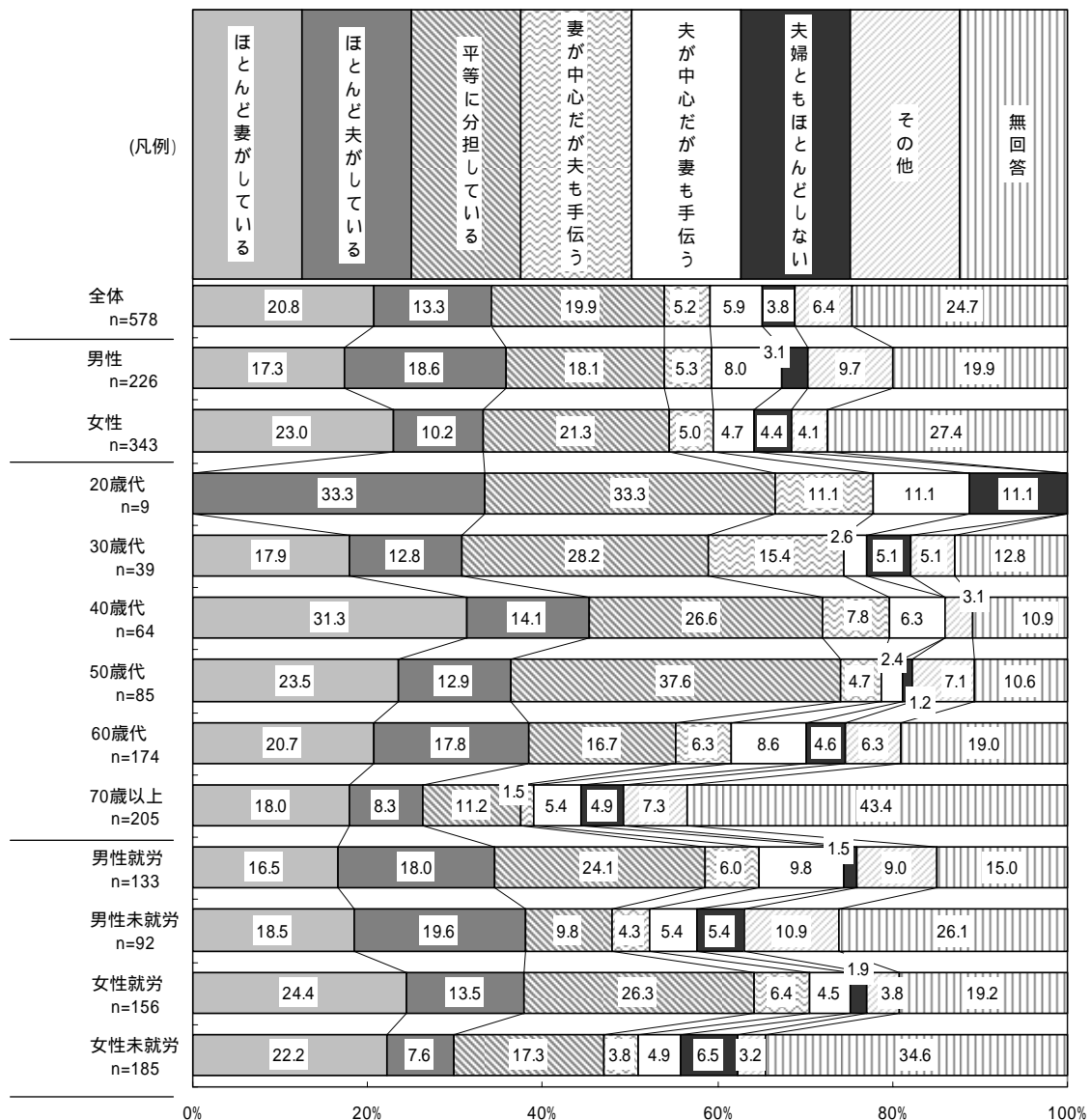
J 生活費の確保



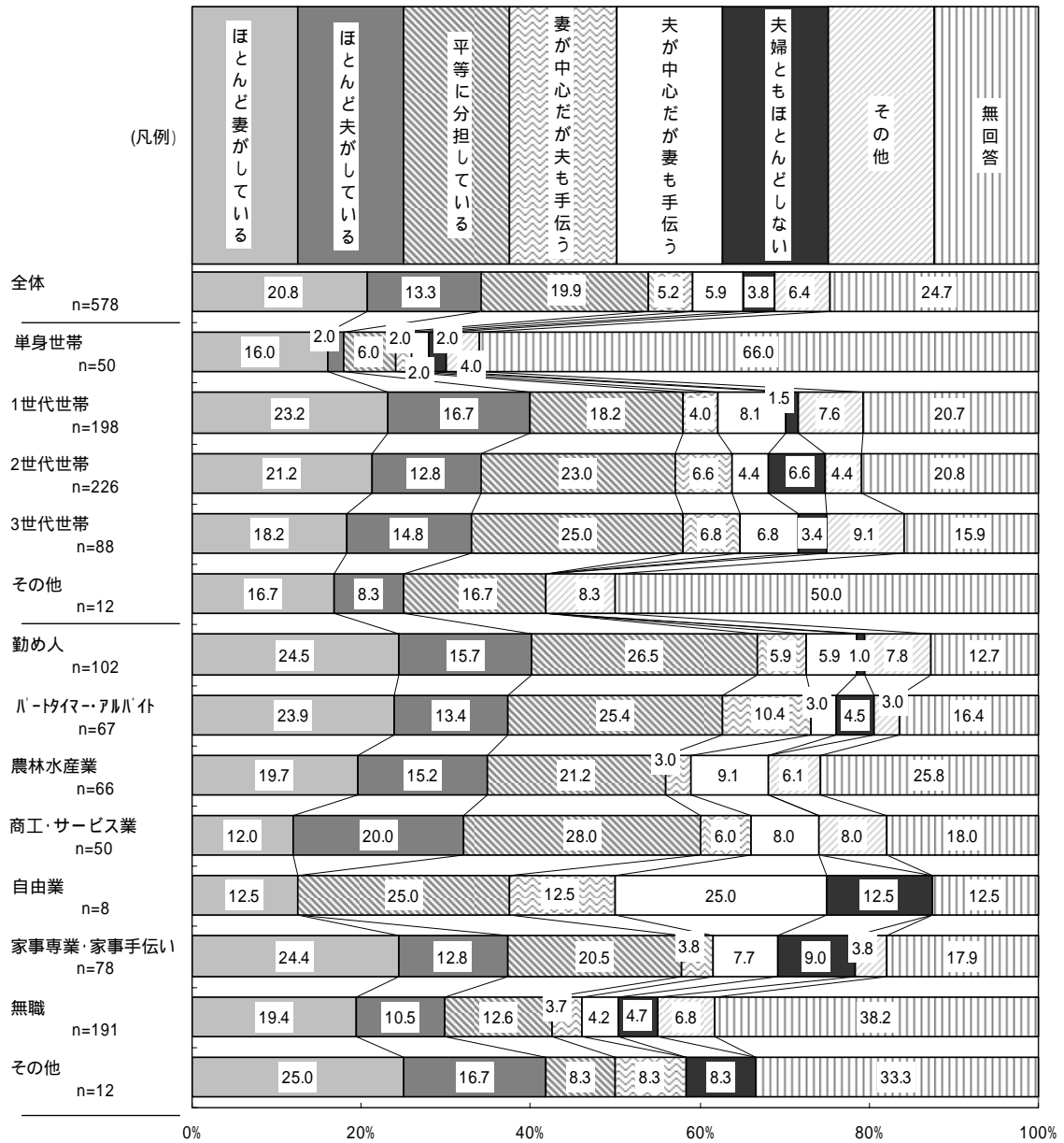
【K PTAや地域の行事参加】

- 「ほとんど妻がしている」が20.8%と最も高く、以下「平等に分担している」(19.9%)「ほとんど夫がしている」(13.3%)となっている。
- 年齢別では、「平等に分担している」は50歳代が37.6%と最も高い。また、「ほとんど妻がしている」は40歳代で31.3%と高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は「平等に分担している」(26.3%)「ほとんど妻がしている」(24.4%)が高い。また、女性未就労者は「ほとんど夫がしている」が7.6%と低い。
- 職業別では、商工・サービス業は「ほとんど妻がしている」が12.0%と低く、「平等に分担している」が28.0%と高い。

K PTAや地域の行事参加



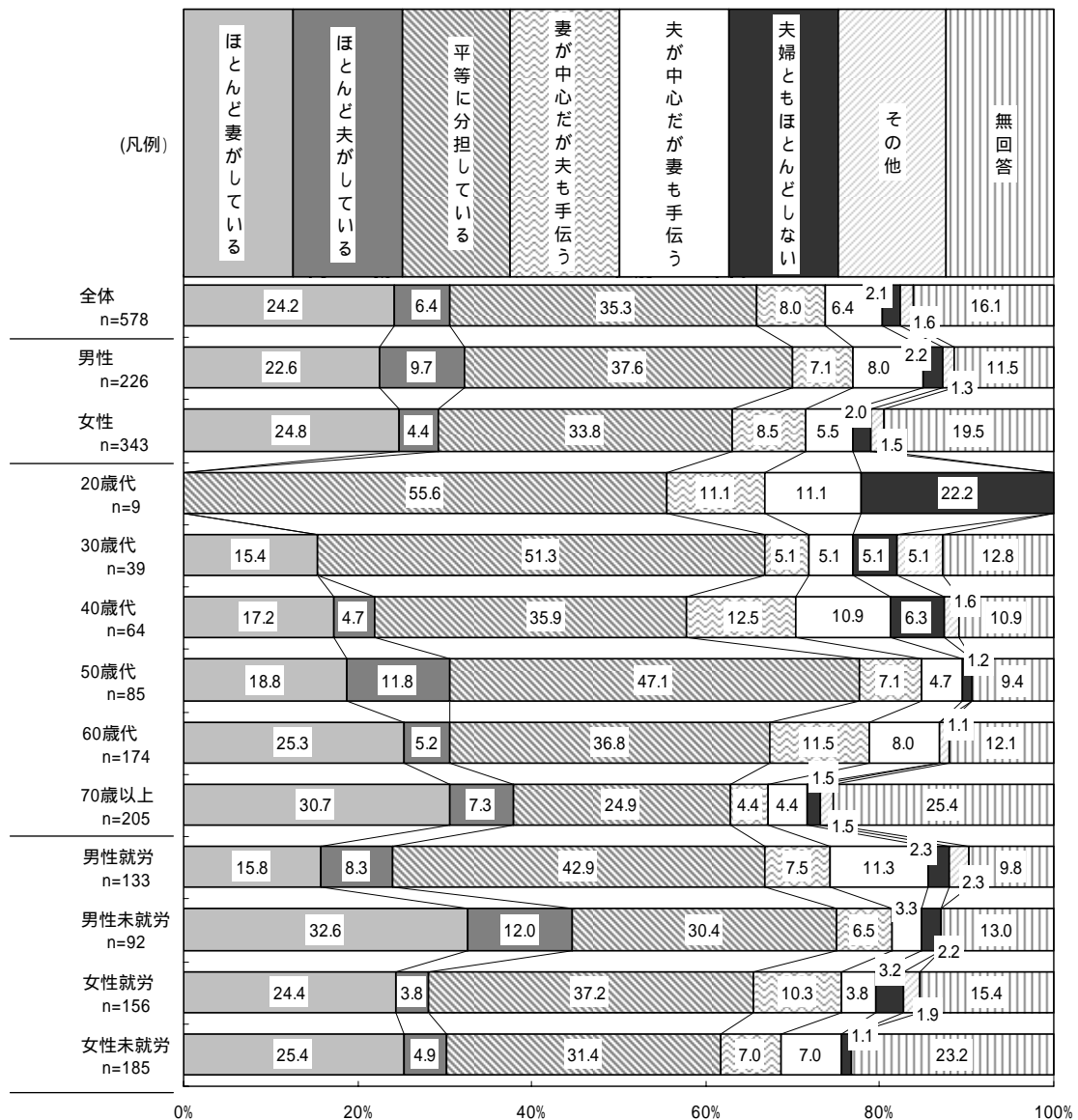
K PTAや地域の行事参加



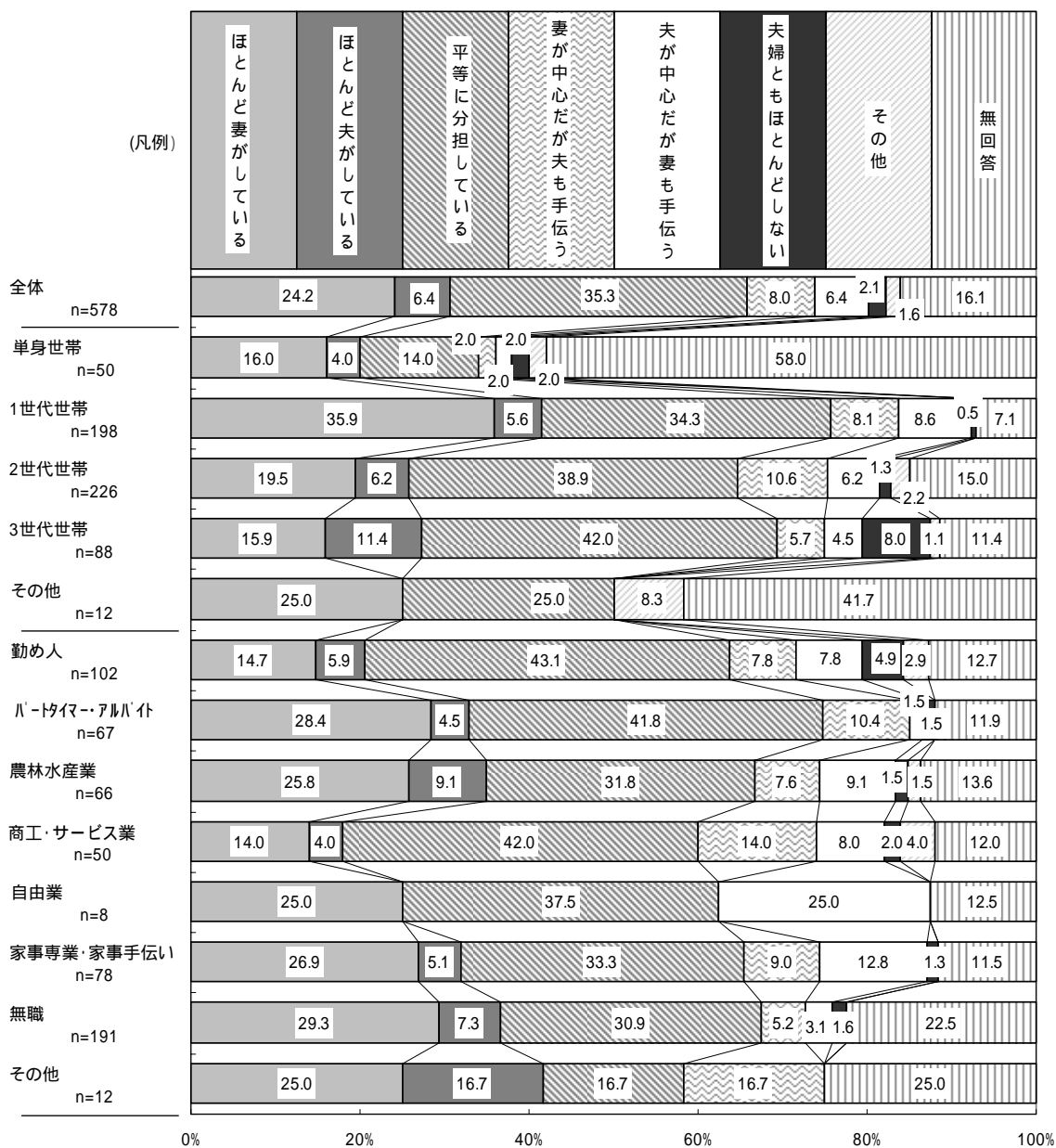
【L 親戚とのつきあい】

- 「平等に分担している」が35.3%と最も高く、次いで「ほとんど妻がしている」(24.2%)である。
- 年齢別では、70歳以上を除くいずれの年齢層でも「平等に分担している」が最も高い。また、年齢層が上がるほど「ほとんど妻がしている」の割合が高くなっている。
- 性別・就労別では、男性就労者は「平等に分担している」が42.9%と、男性未就労者(30.4%)に比べ12.5ポイント高い。一方、「ほとんど妻がしている」は、男性未就労者(32.6%)が男性就労者(15.8%)より16.8ポイント高い。
- 世帯別では、1世代世帯は「ほとんど妻がしている」が35.9%と特に高い。
- 職業別では、勤め人や商工・サービス業は「平等に分担している」が、それぞれ43.1%、42.0%と高く、「ほとんど妻がしている」が、それぞれ14.7%、14.0%と低い。

L 親戚とのつきあい



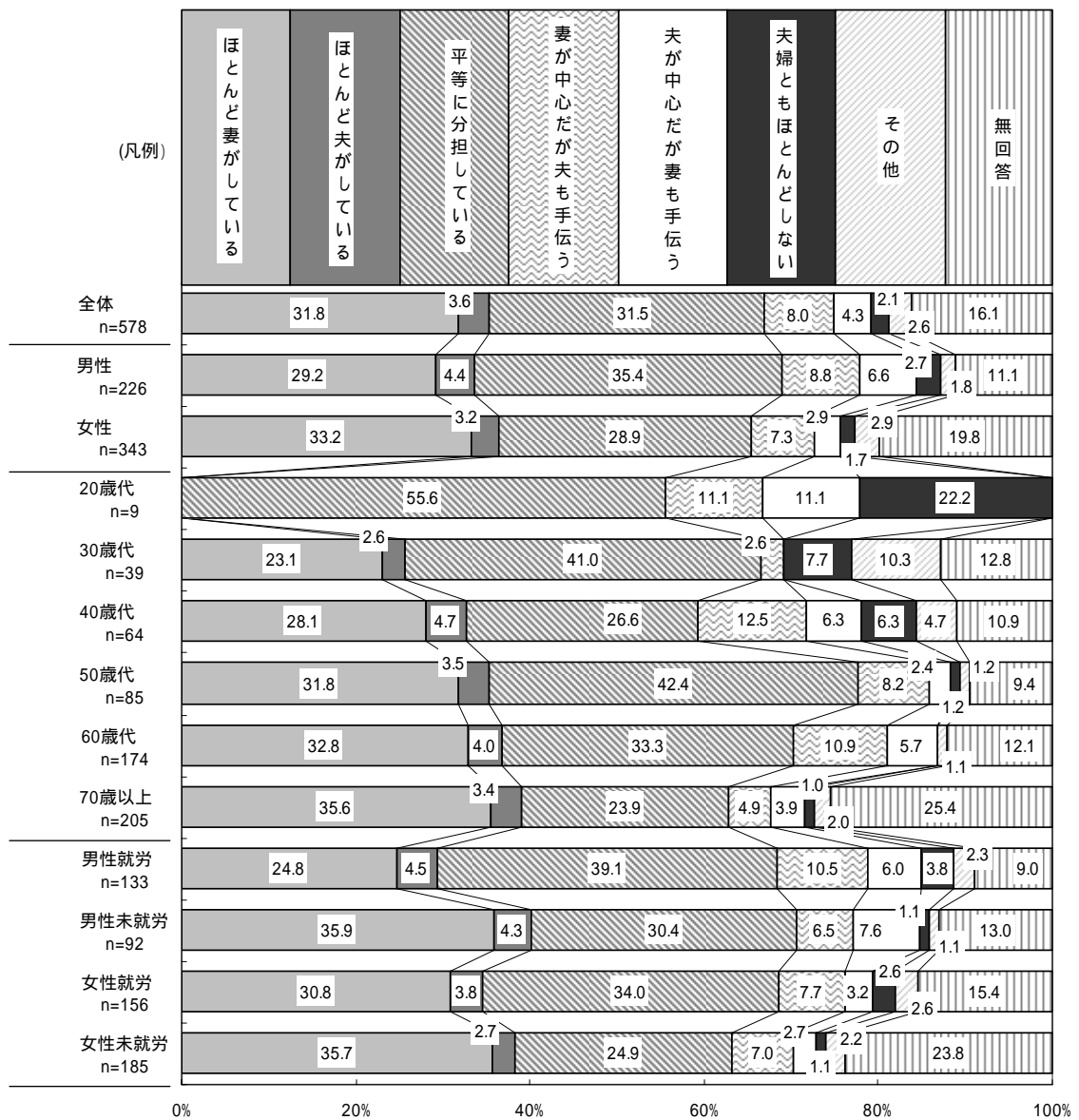
L 親戚とのつきあい



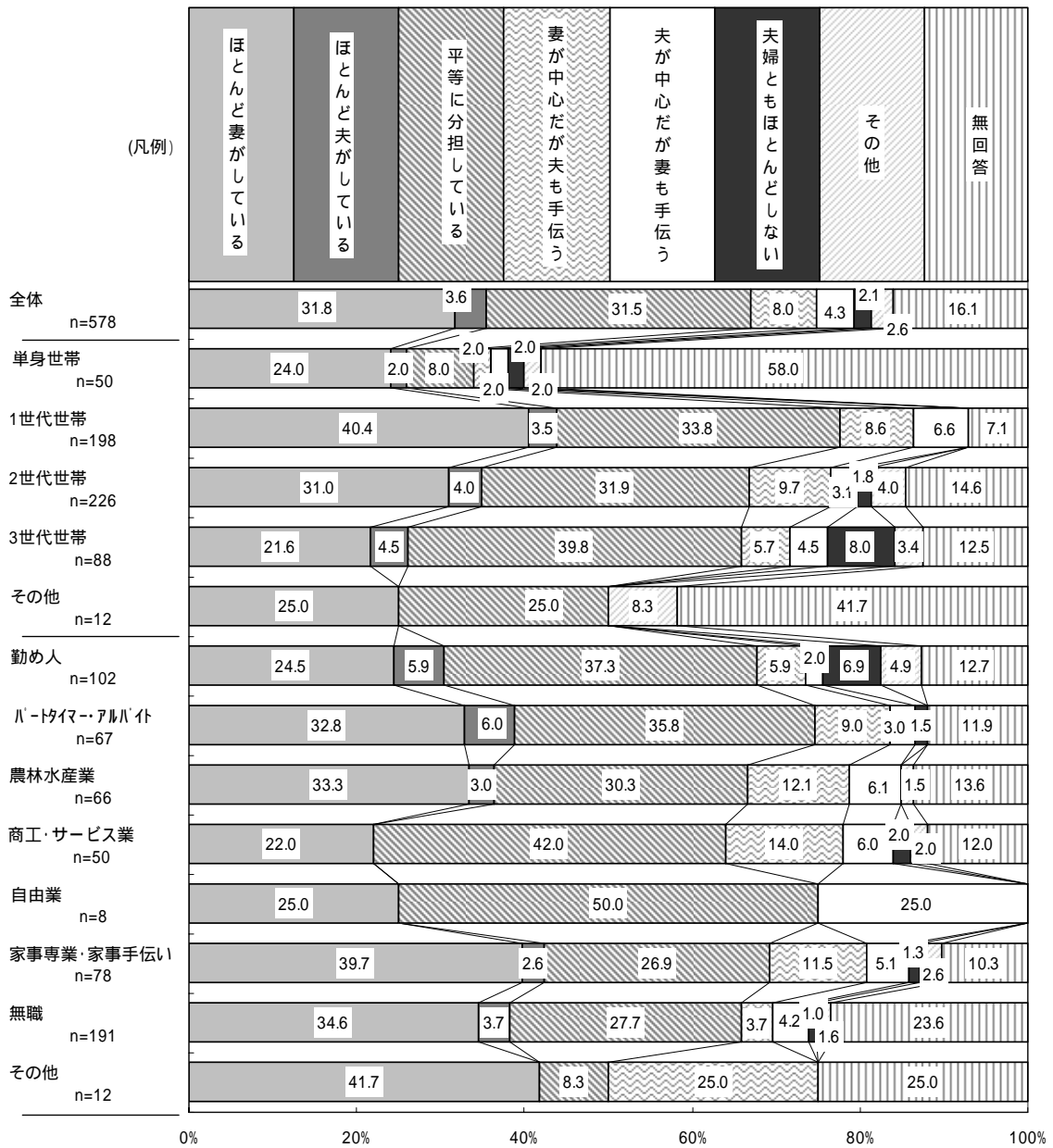
【M 近所とのつきあい】

- 「ほとんど妻がしている」が31.8%と最も高く、次いで「平等に分担している」(31.5%)である。
- 性別では、男性は「平等に分担している」が35.4%と女性(28.9%)よりも高い。
- 年齢別では、年代が上がるほど「ほとんど妻がしている」の割合が高い。
- 世帯別では、1世代世帯は「ほとんど妻がしている」が40.4%と高い。
- 職業別では、商工・サービス業は「平等に分担している」が42.0%と高く、「ほとんど妻がしている」が22.0%と低い。

M 近所とのつきあい



M 近所とのつきあい



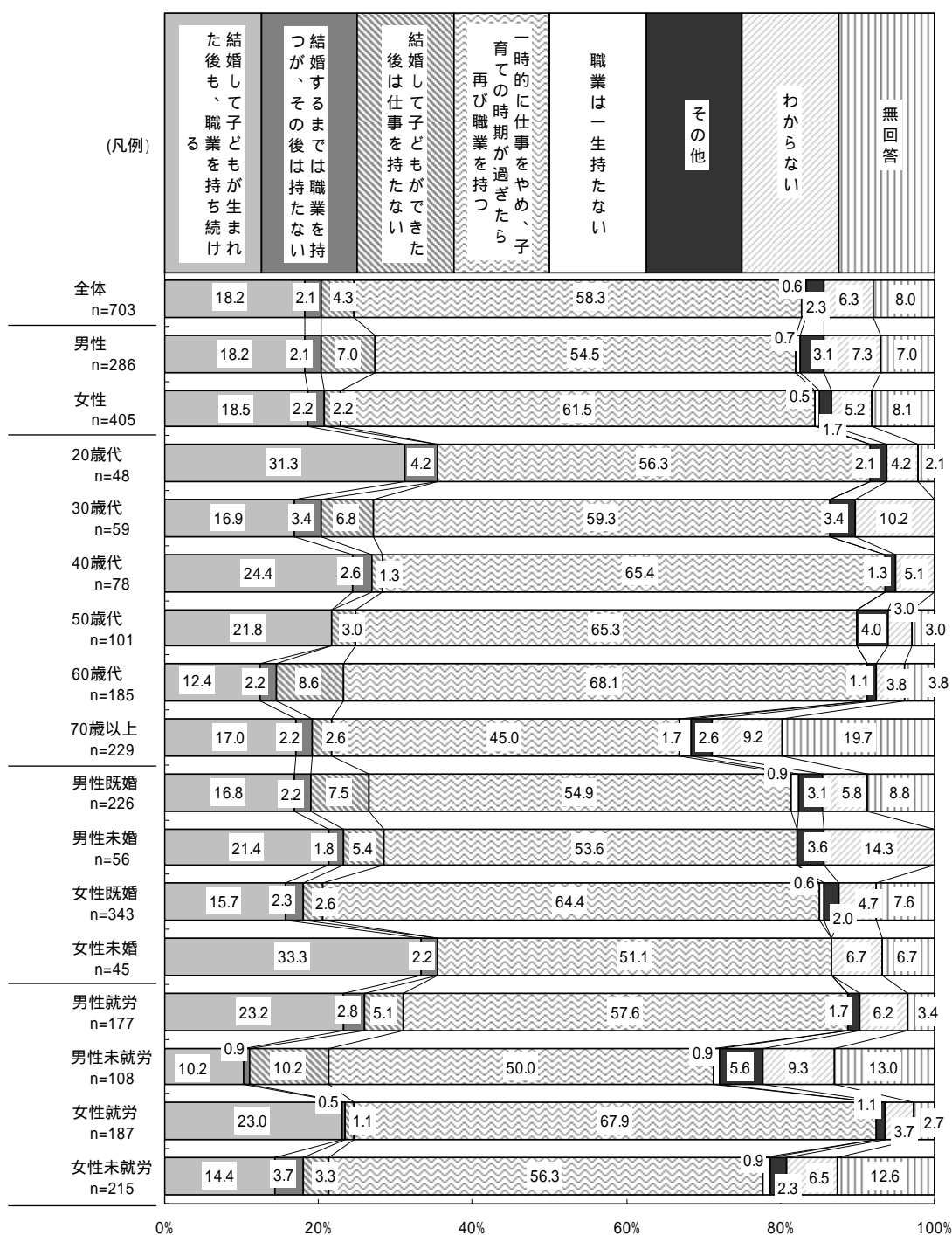
3 職業生活について

(1) 女性の職業で望ましい形態

問10. 女性の職業へのかかり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。

- 「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が58.3%と過半数を占め、次いで「結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける」(18.2%)となっている。
- 年齢別では、70歳以上は「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が45.0%と低い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける」の割合が33.3%と高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が67.9%と特に高い。

女性の職業で望ましい形態

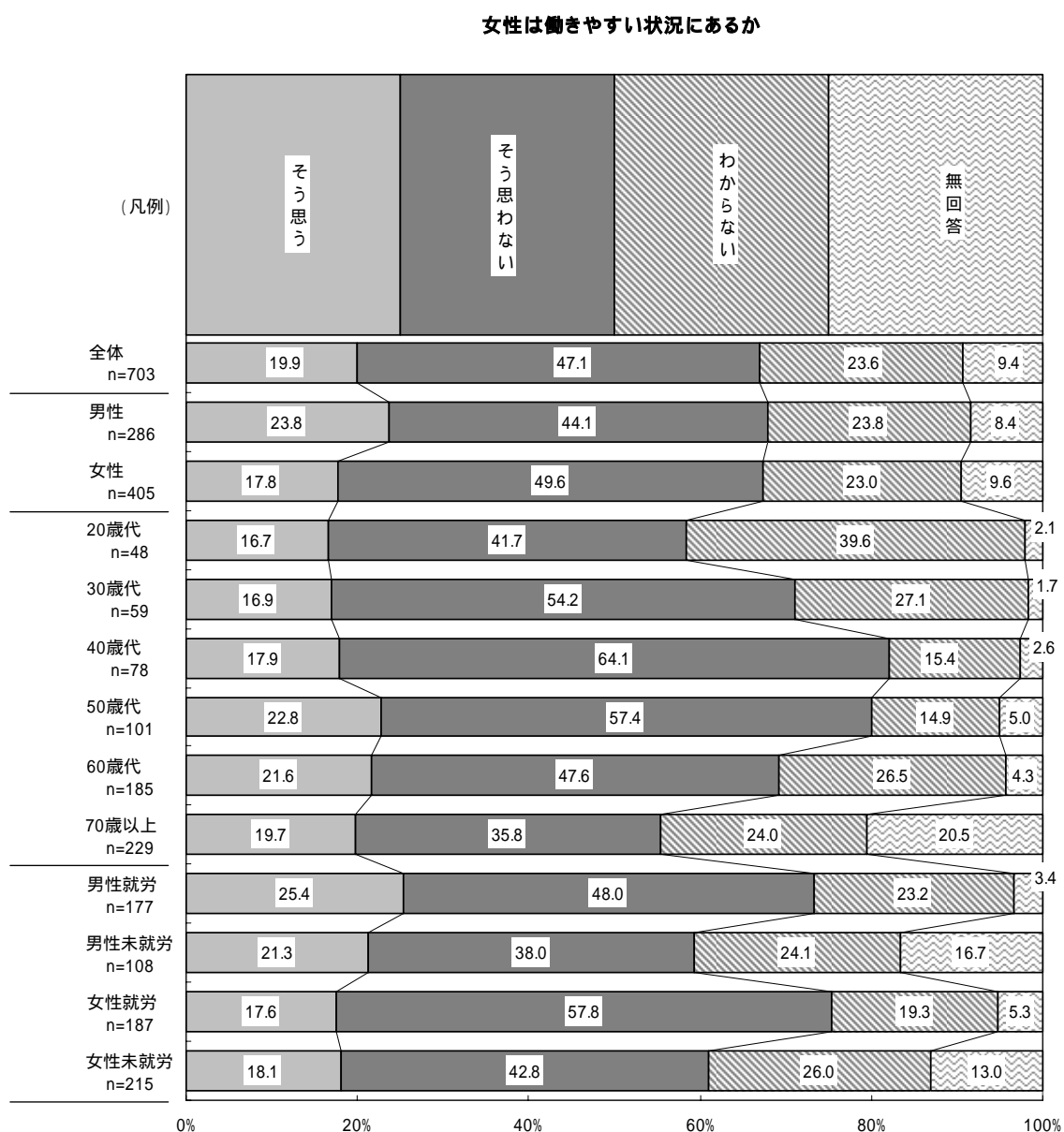


		女性の職業で望ましい形態(%)								
		全体	結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける	結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない	結婚して子どもができた後は仕事を持たない	一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ	職業は一生持たない	その他	わからない	無回答
全体		703	128	15	30	410	4	16	44	56
		100.0	18.2	2.1	4.3	58.3	0.6	2.3	6.3	8.0
男性計		286	52	6	20	156	2	9	21	20
		100.0	18.2	2.1	7.0	54.5	0.7	3.1	7.3	7.0
20歳代		20	6	1	-	10	-	1	2	-
		100.0	30.0	5.0	-	50.0	-	5.0	10.0	-
30歳代		27	4	1	3	13	-	-	6	-
		100.0	14.8	3.7	11.1	48.1	-	-	22.2	-
40歳代		27	7	1	-	17	-	-	2	-
		100.0	25.9	3.7	-	63.0	-	-	7.4	-
50歳代		41	12	-	3	22	-	2	1	1
		100.0	29.3	-	7.3	53.7	-	4.9	2.4	2.4
60歳代		75	8	2	10	48	-	2	2	3
		100.0	10.7	2.7	13.3	64.0	-	2.7	2.7	4.0
70歳以上		95	15	1	4	45	2	4	8	16
		100.0	15.8	1.1	4.2	47.4	2.1	4.2	8.4	16.8
女性計		405	75	9	9	249	2	7	21	33
		100.0	18.5	2.2	2.2	61.5	0.5	1.7	5.2	8.1
20歳代		28	9	1	-	17	-	-	-	1
		100.0	32.1	3.6	-	60.7	-	-	-	3.6
30歳代		32	6	1	1	22	-	2	-	-
		100.0	18.8	3.1	3.1	68.8	-	6.3	-	-
40歳代		48	12	1	-	32	-	1	2	-
		100.0	25.0	2.1	-	66.7	-	2.1	4.2	-
50歳代		60	10	-	-	44	-	2	2	2
		100.0	16.7	-	-	73.3	-	3.3	3.3	3.3
60歳代		110	15	2	6	78	-	-	5	4
		100.0	13.6	1.8	5.5	70.9	-	-	4.5	3.6
70歳以上		127	23	4	2	56	2	2	12	26
		100.0	18.1	3.1	1.6	44.1	1.6	1.6	9.4	20.5

(2) 女性は働きやすい状況にあるか

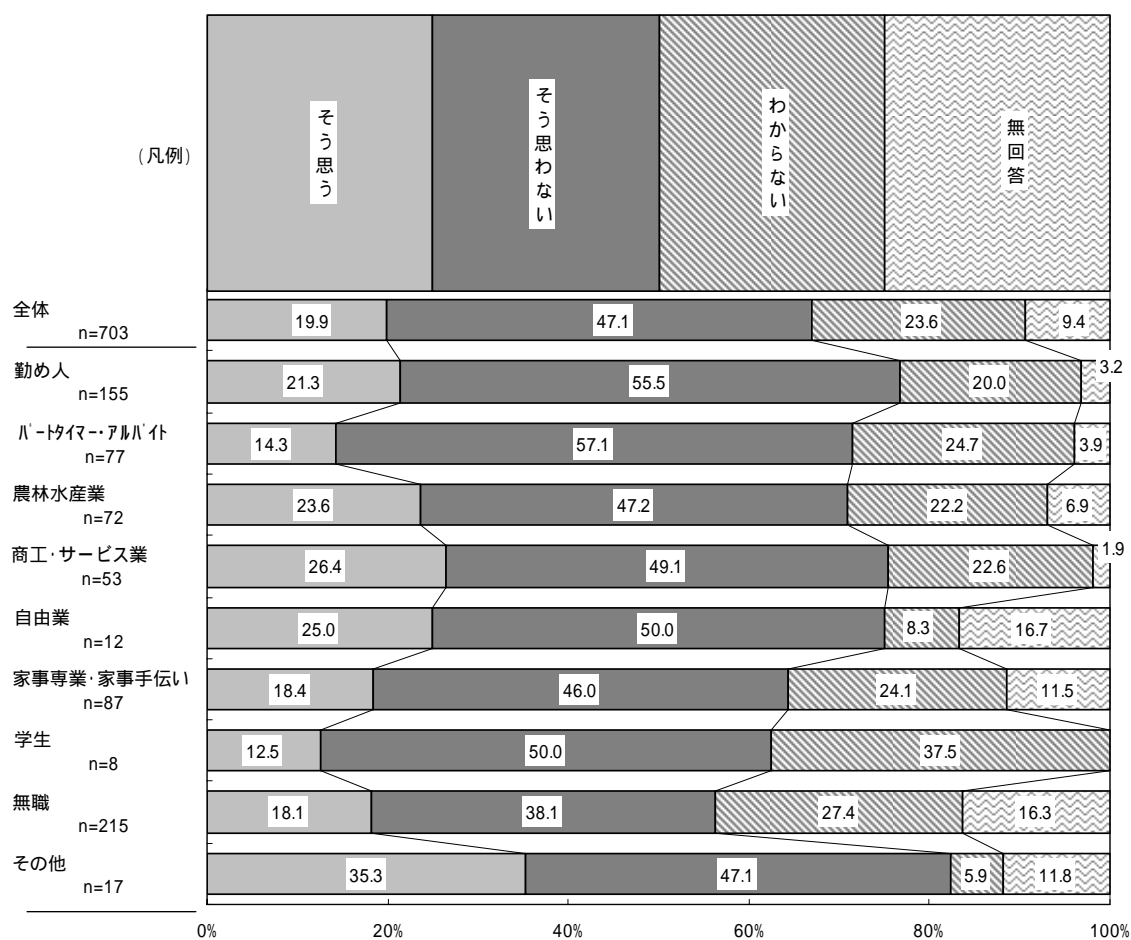
問11. あなたは、現在の女性は働きやすい状況にあると思いますか。

- 「そう思う」は19.9%にとどまり、「そう思わない」が47.1%となっている。
- 年齢別では、「そう思わない」は40歳代で64.1%と高い。「そう思う」は50歳代が22.8%となっている。
- 性別・就労別では、「そう思わない」が女性就労者は57.8%と特に高く、男性未就労者は38.0%と低い。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイト、勤め人は「そう思わない」がそれぞれ57.1%、55.5%と高くなっている。



		女性は働きやすい状況にあるか[%]				
		全体	そう思う	そう思わない	わからない	無回答
全体		703	140	331	166	66
		100.0	19.9	47.1	23.6	9.4
性 年 齢 別	男性計	286	68	126	68	24
		100.0	23.8	44.1	23.8	8.4
	20歳代	20	3	8	9	-
		100.0	15.0	40.0	45.0	-
	30歳代	27	6	11	9	1
		100.0	22.2	40.7	33.3	3.7
	40歳代	27	6	13	8	-
		100.0	22.2	48.1	29.6	-
	50歳代	41	16	17	6	2
		100.0	39.0	41.5	14.6	4.9
	60歳代	75	14	39	19	3
		100.0	18.7	52.0	25.3	4.0
	70歳以上	95	23	37	17	18
		100.0	24.2	38.9	17.9	18.9
	女性計	405	72	201	93	39
		100.0	17.8	49.6	23.0	9.6
	20歳代	28	5	12	10	1
		100.0	17.9	42.9	35.7	3.6
	30歳代	32	4	21	7	-
		100.0	12.5	65.6	21.9	-
40歳代	48	8	34	4	2	
	100.0	16.7	70.8	8.3	4.2	
50歳代	60	7	41	9	3	
	100.0	11.7	68.3	15.0	5.0	
60歳代	110	26	49	30	5	
	100.0	23.6	44.5	27.3	4.5	
70歳以上	127	22	44	33	28	
	100.0	17.3	34.6	26.0	22.0	

女性は働きやすい状況にあるか



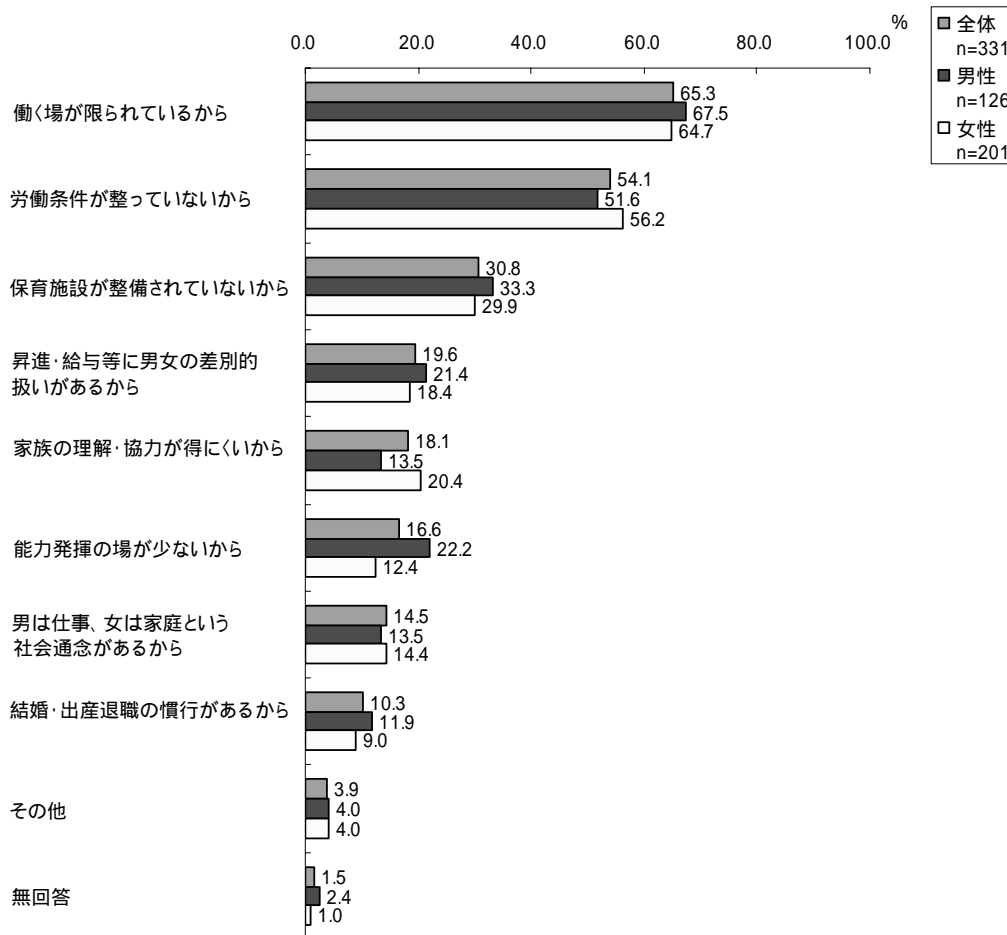
自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

(3) 働きやすい理由

問11-1. そう思わない理由はなんですか。

- 「働く場が限られているから」が65.3%と最も高く、以下「労働条件が整っていないから」(54.1%)、「保育施設が整備されていないから」(30.8%)、「昇進・給与等に男女の差別的扱いがあるから」(19.6%)である。
- 性別では、「家庭の理解・協力が得にくいから」は女性が20.4%と男性(13.5%)を6.9ポイント上回る。一方、「能力発揮の場が少ないから」は男性(22.2%)が女性(12.4%)を9.8ポイント上回っている。

働きやすい理由(複数回答)

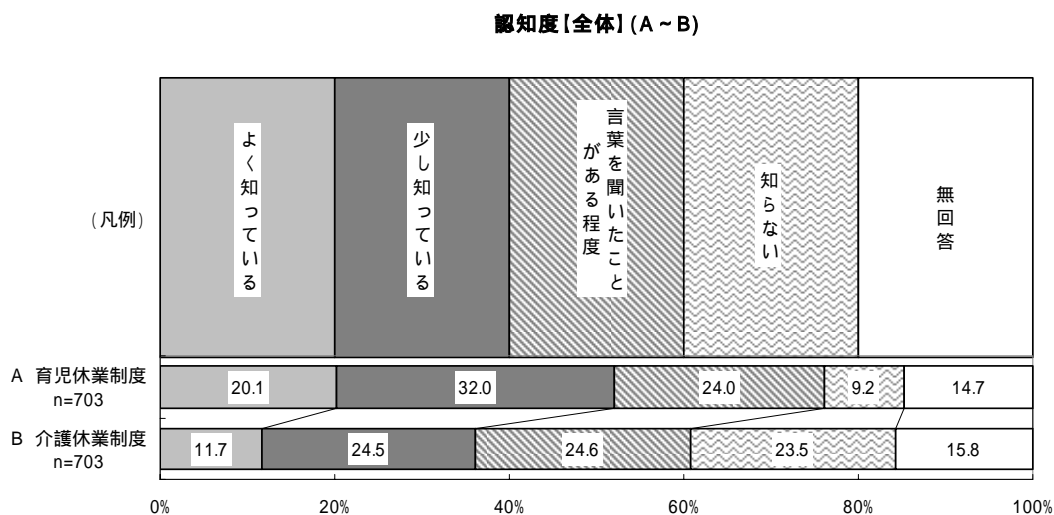


(4) 制度の認知状況及び取得状況

問12. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。

【全体】(A・B 認知度)

- 『知っている』は「A 育児休業制度」が52.1%、「B 介護休業制度」が36.2%である。

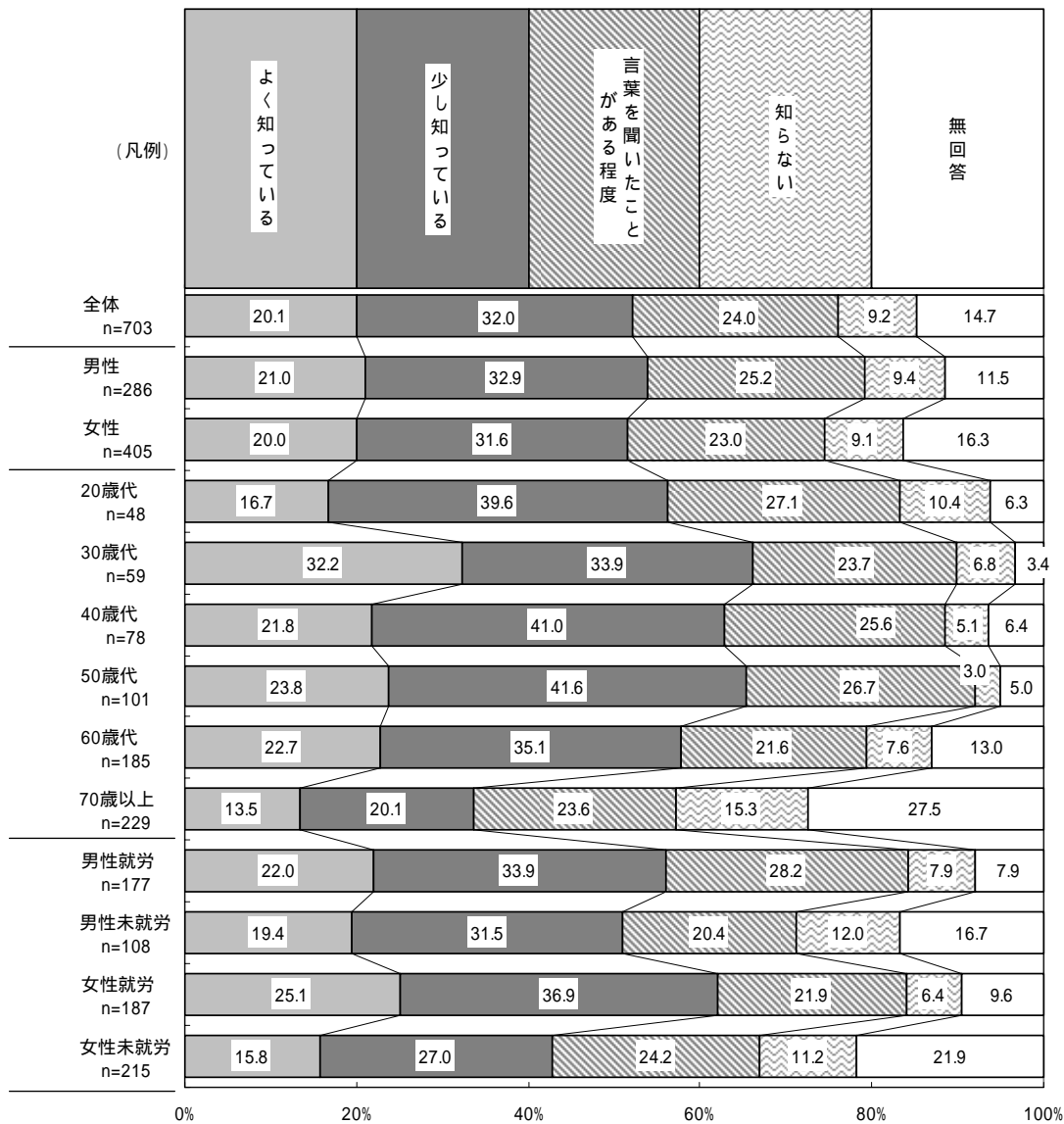


『知っている』は、本来の選択肢の「よく知っている」と「少し知っている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 育児休業制度（認知度）】

- 「少し知っている」が 32.0%と最も高く、以下「言葉を聞いたことがある程度」(24.0%)、「よく知っている」(20.1%)、「知らない」(9.2%)と続く。なお、『知っている』は52.1%である。
- 年齢別では、30歳代から50歳代の6割以上が『知っている』と回答している。30歳代は「よく知っている」の割合が32.2%と高い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は『知っている』の割合が42.8%と低い。

A 育児休業制度(認知度)

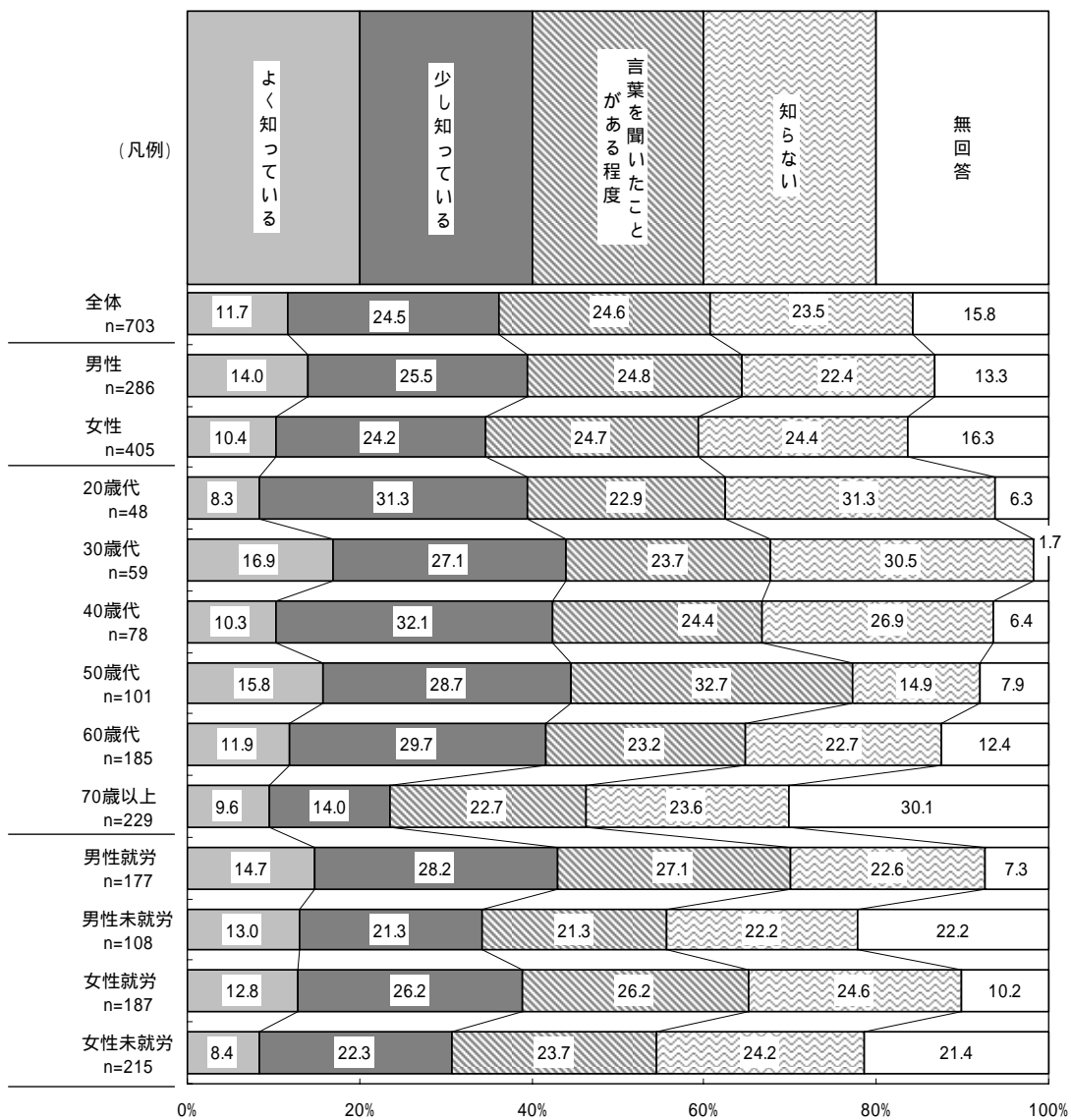


		A 育児休業制度(認知度)(%)					
		全体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	
全体		703	141	225	169	65	103
		100.0	20.1	32.0	24.0	9.2	14.7
性 年 齢 別	男性計	286	60	94	72	27	33
		100.0	21.0	32.9	25.2	9.4	11.5
	20歳代	20	4	6	6	2	2
		100.0	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0
	30歳代	27	7	9	6	4	1
		100.0	25.9	33.3	22.2	14.8	3.7
	40歳代	27	4	16	6	1	-
		100.0	14.8	59.3	22.2	3.7	-
	50歳代	41	9	15	15	1	1
		100.0	22.0	36.6	36.6	2.4	2.4
	60歳代	75	19	24	18	6	8
		100.0	25.3	32.0	24.0	8.0	10.7
	70歳以上	95	17	24	20	13	21
		100.0	17.9	25.3	21.1	13.7	22.1
	女性計	405	81	128	93	37	66
		100.0	20.0	31.6	23.0	9.1	16.3
	20歳代	28	4	13	7	3	1
		100.0	14.3	46.4	25.0	10.7	3.6
	30歳代	32	12	11	8	-	1
		100.0	37.5	34.4	25.0	-	3.1
40歳代	48	13	15	12	3	5	
	100.0	27.1	31.3	25.0	6.3	10.4	
50歳代	60	15	27	12	2	4	
	100.0	25.0	45.0	20.0	3.3	6.7	
60歳代	110	23	41	22	8	16	
	100.0	20.9	37.3	20.0	7.3	14.5	
70歳以上	127	14	21	32	21	39	
	100.0	11.0	16.5	25.2	16.5	30.7	

【B 介護休業制度（認知度）】

- 「言葉を聞いたことがある程度」が 24.6%と最も高く、以下「少し知っている」(24.5%)、「知らない」(23.5%)、「よく知っている」(11.7%)と続く。なお、『知っている』は 36.2%となっており、前述の【育児休業制度】よりも『知っている』割合が 15.9ポイント低い。
- 年齢別では、70歳以上は『知っている』が 23.6%と特に低い。また、50歳代は「知らない」の割合が 14.9%と最も低い。
- 性別・就労別では、『知っている』は男性就労者が 42.9%とやや高く、女性未就労者で 30.7%と低い。

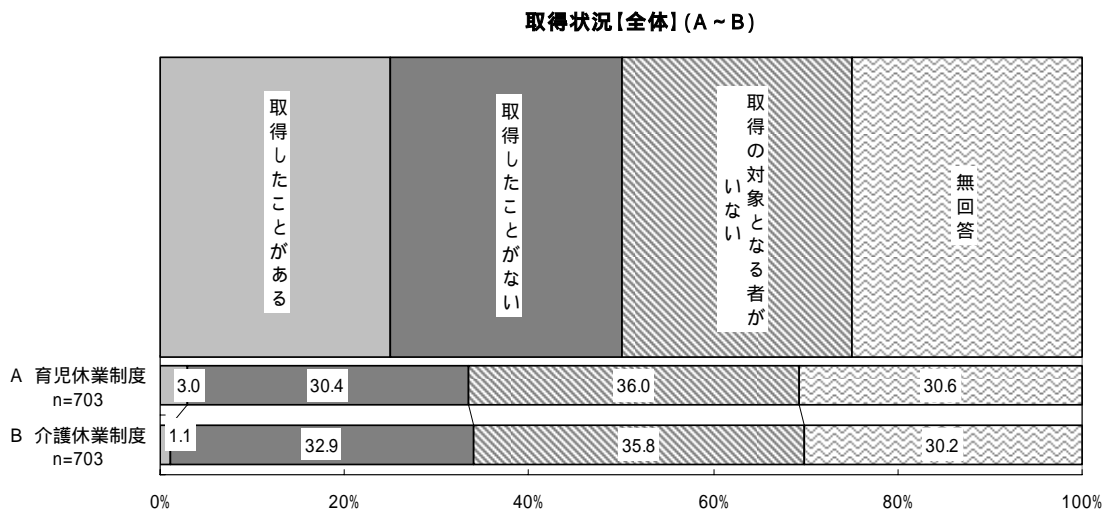
B 介護休業制度(認知度)



		B 介護休業制度(認知度)(%)					
		全体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	
全体		703	82	172	173	165	111
		100.0	11.7	24.5	24.6	23.5	15.8
性 年 齢 別	男性計	286	40	73	71	64	38
		100.0	14.0	25.5	24.8	22.4	13.3
	20歳代	20	3	5	4	6	2
		100.0	15.0	25.0	20.0	30.0	10.0
	30歳代	27	5	6	5	11	-
		100.0	18.5	22.2	18.5	40.7	-
	40歳代	27	2	11	9	5	-
		100.0	7.4	40.7	33.3	18.5	-
	50歳代	41	8	11	16	4	2
		100.0	19.5	26.8	39.0	9.8	4.9
	60歳代	75	10	22	16	17	10
		100.0	13.3	29.3	21.3	22.7	13.3
	70歳以上	95	12	18	20	21	24
		100.0	12.6	18.9	21.1	22.1	25.3
	女性計	405	42	98	100	99	66
		100.0	10.4	24.2	24.7	24.4	16.3
	20歳代	28	1	10	7	9	1
		100.0	3.6	35.7	25.0	32.1	3.6
	30歳代	32	5	10	9	7	1
		100.0	15.6	31.3	28.1	21.9	3.1
40歳代	48	6	13	9	15	5	
	100.0	12.5	27.1	18.8	31.3	10.4	
50歳代	60	8	18	17	11	6	
	100.0	13.3	30.0	28.3	18.3	10.0	
60歳代	110	12	33	27	25	13	
	100.0	10.9	30.0	24.5	22.7	11.8	
70歳以上	127	10	14	31	32	40	
	100.0	7.9	11.0	24.4	25.2	31.5	

【全体】(A・B 取得状況)

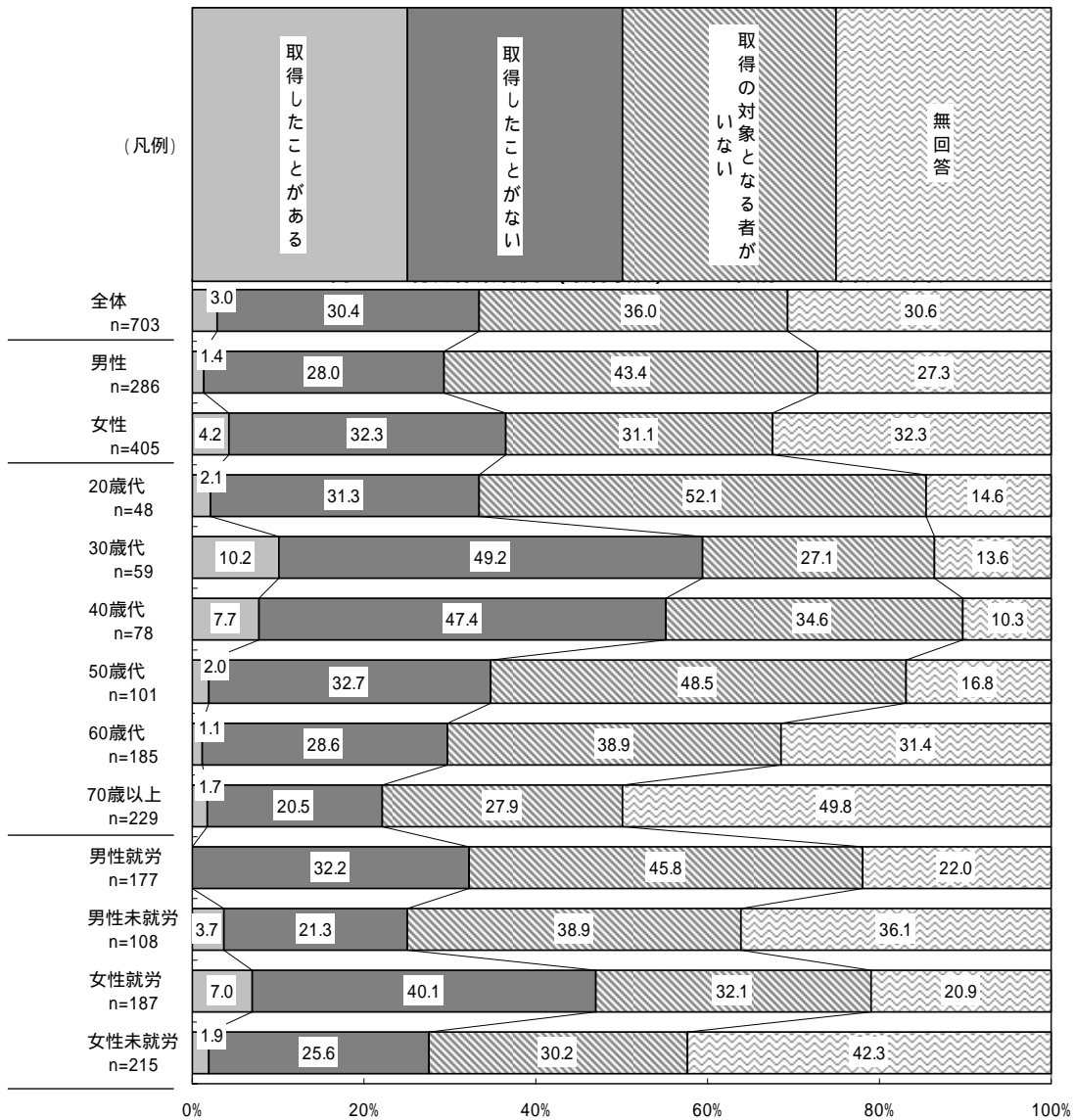
- 「取得したことがある」は、「A 育児休業制度」が3.0%、「B 介護休業制度」が1.1%であり、取得率はいずれにおいても非常に低い。



【A 育児休業制度（取得状況）】

- 「取得したことがある」は3.0%と低い。また、「取得の対象となる者がいない」が36.0%、「取得したことがない」が30.4%である。
- 性別では、「取得したことがある」は女性が4.2%、男性が1.4%である。
- 年齢別では、「取得したことがある」は30歳代が10.2%とやや高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「取得したことがある」が7.0%とやや高い。

A 育児休業制度（取得状況）

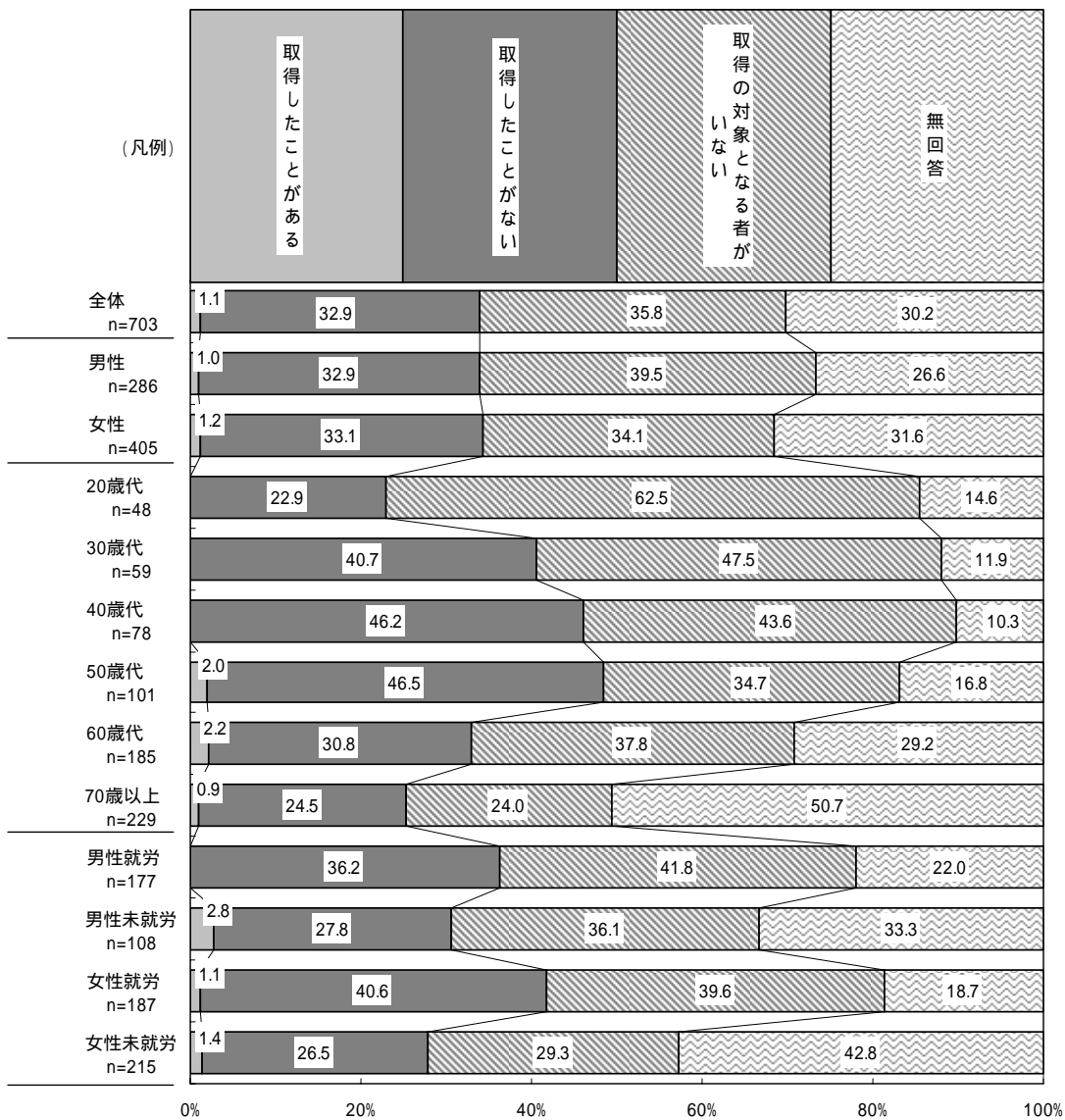


		A 育児休業制度(取得状況)(%)				
		全体	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象となる者がいない	無回答
全体		703	21	214	253	215
		100.0	3.0	30.4	36.0	30.6
性 年 齢 別	男性計	286	4	80	124	78
		100.0	1.4	28.0	43.4	27.3
	20歳代	20	-	3	12	5
		100.0	-	15.0	60.0	25.0
	30歳代	27	1	12	9	5
		100.0	3.7	44.4	33.3	18.5
	40歳代	27	-	13	13	1
		100.0	-	48.1	48.1	3.7
	50歳代	41	-	10	27	4
		100.0	-	24.4	65.9	9.8
	60歳代	75	1	21	30	23
		100.0	1.3	28.0	40.0	30.7
	70歳以上	95	2	21	33	39
		100.0	2.1	22.1	34.7	41.1
	女性計	405	17	131	126	131
		100.0	4.2	32.3	31.1	32.3
	20歳代	28	1	12	13	2
		100.0	3.6	42.9	46.4	7.1
	30歳代	32	5	17	7	3
		100.0	15.6	53.1	21.9	9.4
	40歳代	48	6	22	13	7
		100.0	12.5	45.8	27.1	14.6
	50歳代	60	2	23	22	13
		100.0	3.3	38.3	36.7	21.7
60歳代	110	1	32	42	35	
	100.0	0.9	29.1	38.2	31.8	
70歳以上	127	2	25	29	71	
	100.0	1.6	19.7	22.8	55.9	

【B 介護休業制度（取得状況）】

- 「取得したことがある」は1.1%と極めて低い。
- 年齢別では、「取得したことがある」は60歳代(2.2%)、50歳代(2.0%)、70歳以上(0.9%)である。
- 性別・就労別では、「取得したことがある」は男性未就労者が2.8%、女性未就労者が1.4%である。男性就労者は「取得の対象となる者がいない」が41.8%と高く、「取得したことがある」が0%である。

B 介護休業制度(取得状況)



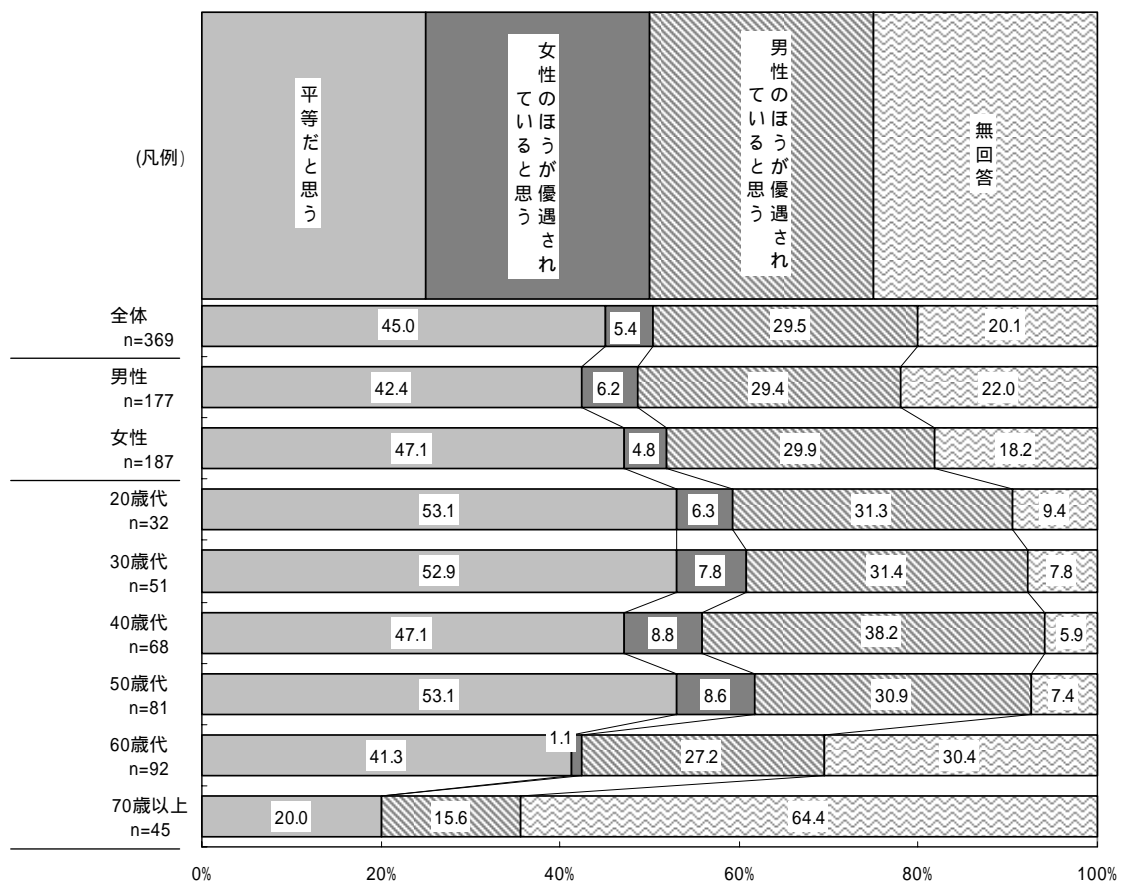
		B 介護休業制度(取得状況)(%)				
		全体	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象となる者がいない	無回答
全体		703	8	231	252	212
		100.0	1.1	32.9	35.8	30.2
性 年 齢 別	男性計	286	3	94	113	76
		100.0	1.0	32.9	39.5	26.6
	20歳代	20	-	2	13	5
		100.0	-	10.0	65.0	25.0
	30歳代	27	-	13	10	4
		100.0	-	48.1	37.0	14.8
	40歳代	27	-	12	14	1
		100.0	-	44.4	51.9	3.7
	50歳代	41	-	16	20	5
		100.0	-	39.0	48.8	12.2
	60歳代	75	2	22	29	22
		100.0	2.7	29.3	38.7	29.3
	70歳以上	95	1	29	27	38
		100.0	1.1	30.5	28.4	40.0
	女性計	405	5	134	138	128
		100.0	1.2	33.1	34.1	31.6
	20歳代	28	-	9	17	2
		100.0	-	32.1	60.7	7.1
	30歳代	32	-	11	18	3
		100.0	-	34.4	56.3	9.4
	40歳代	48	-	21	20	7
		100.0	-	43.8	41.7	14.6
	50歳代	60	2	31	15	12
		100.0	3.3	51.7	25.0	20.0
60歳代	110	2	35	41	32	
	100.0	1.8	31.8	37.3	29.1	
70歳以上	127	1	27	27	72	
	100.0	0.8	21.3	21.3	56.7	

(5) 職場での男女の地位
 現在、働いている方を対象

問 13. あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思いますか。

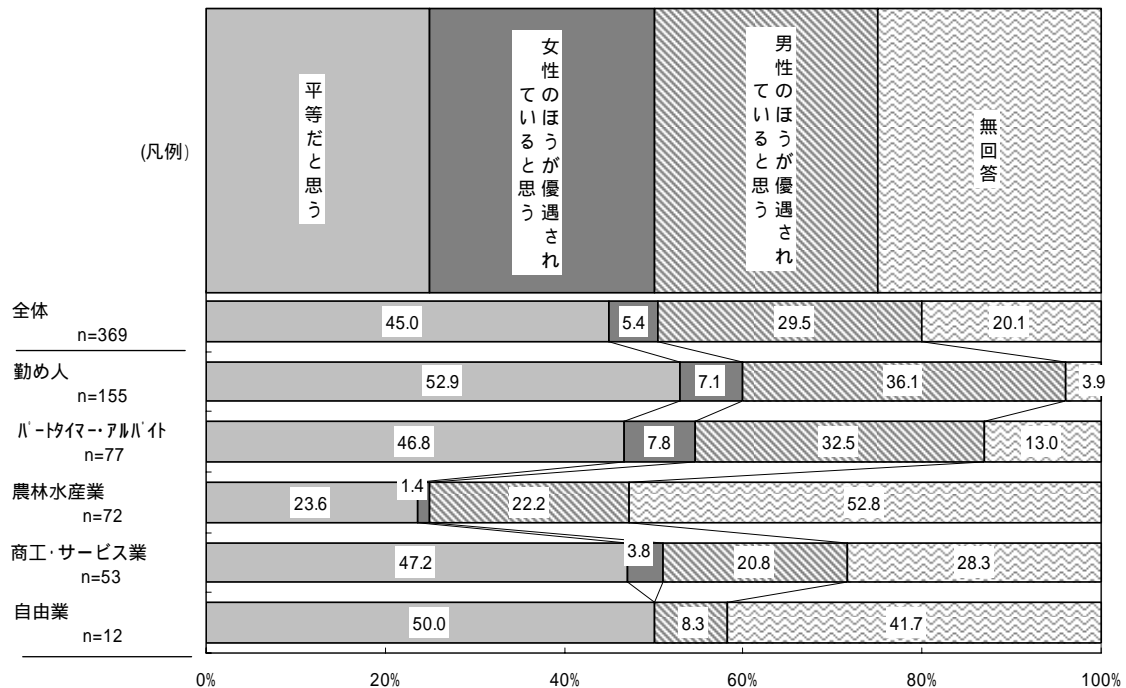
- 「平等だと思う」が 45.0%と最も高く、次いで「男性のほうが優遇されていると思う」が 29.5%となっている。
- 性別では、女性は「平等だと思う」が 47.1%と男性(42.4%)を 4.7ポイント上回る。
- 年齢別では、40歳代は「男性のほうが優遇されていると思う」が 38.2%と他の年代に比べてやや高い。
- 職業別では、勤め人は「平等だと思う」が 52.9%と高いが、「男性のほうが優遇されていると思う」も 36.1%とやや高くなっている。

職場での男女の地位



		職場での男女の地位 [%]				
		全体	平等だと思 う	女性のほう が優遇され ていると思 う	男性のほう が優遇され ていると思 う	無回答
全体		369	166	20	109	74
		100.0	45.0	5.4	29.5	20.1
性 年 齢 別	男性計	177	75	11	52	39
		100.0	42.4	6.2	29.4	22.0
	20歳代	17	9	1	6	1
		100.0	52.9	5.9	35.3	5.9
	30歳代	24	13	2	9	-
		100.0	54.2	8.3	37.5	-
	40歳代	26	14	3	8	1
		100.0	53.8	11.5	30.8	3.8
	50歳代	36	19	5	9	3
		100.0	52.8	13.9	25.0	8.3
	60歳代	46	17	-	14	15
		100.0	37.0	-	30.4	32.6
	70歳以上	28	3	-	6	19
		100.0	10.7	-	21.4	67.9
	女性計	187	88	9	56	34
		100.0	47.1	4.8	29.9	18.2
	20歳代	15	8	1	4	2
		100.0	53.3	6.7	26.7	13.3
	30歳代	27	14	2	7	4
		100.0	51.9	7.4	25.9	14.8
40歳代	39	16	3	17	3	
	100.0	41.0	7.7	43.6	7.7	
50歳代	45	24	2	16	3	
	100.0	53.3	4.4	35.6	6.7	
60歳代	46	21	1	11	13	
	100.0	45.7	2.2	23.9	28.3	
70歳以上	15	5	-	1	9	
	100.0	33.3	-	6.7	60.0	

職場での男女の地位



自由業の回答者は少数のため、分析から除いている。

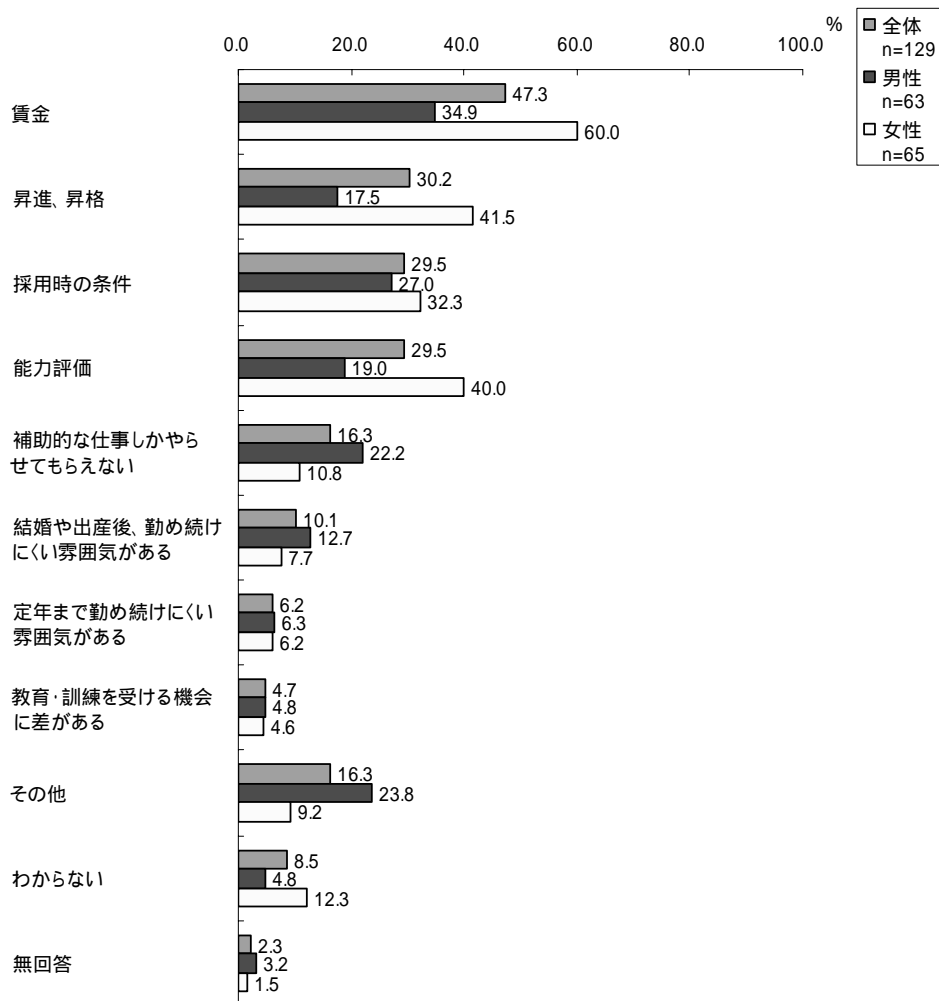
(6) 男女平等だと思わない理由

前問で「女性のほうが優遇されていると思う」若しくは「男性のほうが優遇されていると思う」と回答した方を対象

問 13 - 1. あなたの働いているところで男女が平等だと思わないのは、どのようなことですか。

- 「賃金」(47.3%) が最も高く、以下「昇進、昇格」(30.2%)、「採用時の条件」(29.5%)、「能力評価」(29.5%) である。
- 性別では、男性は「補助的な仕事しかやらせてもらえない」が 22.2% と女性 (10.8%) よりも 11.4 ポイント上回る。一方、「賃金」は女性 (60.0%) が男性 (34.9%) を 25.1 ポイントと大きく上回るほか、「昇進、昇格」、「能力評価」においても、女性が男性を 20 ポイント以上上回っている。

男女平等だと思わない理由(複数回答)

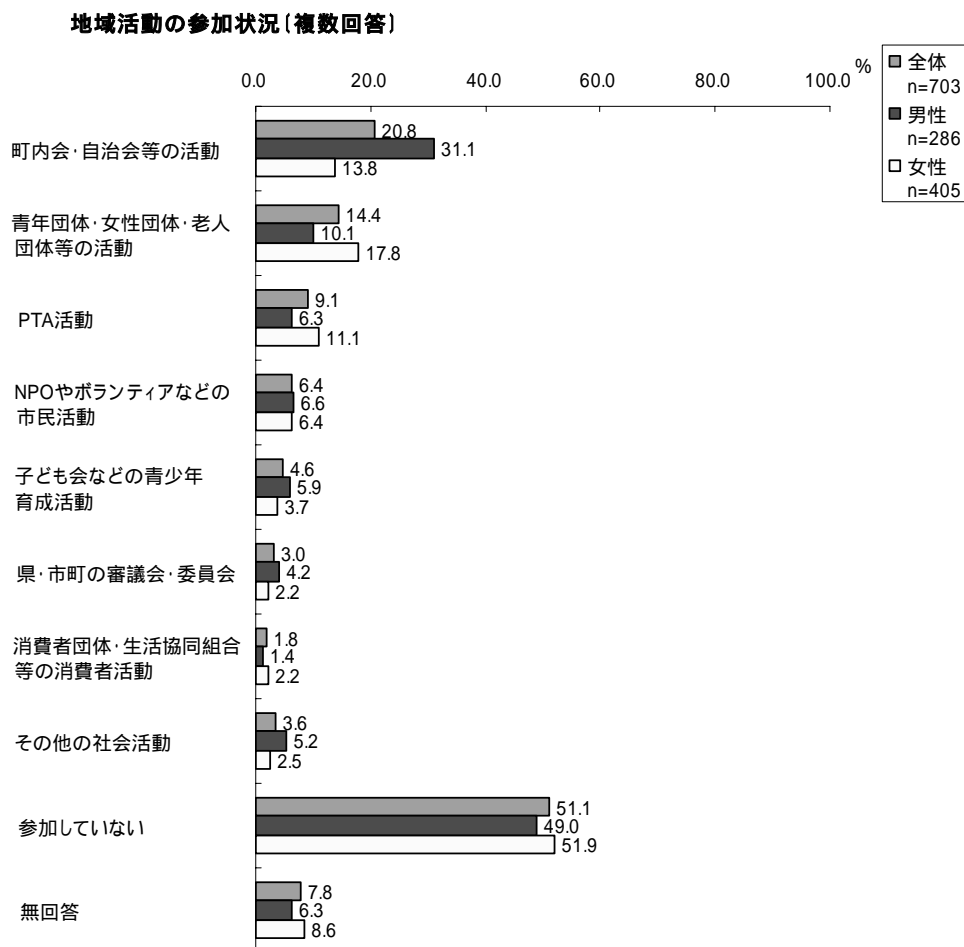


4 社会活動等について

(1) 地域活動の参加状況

問14. あなたは次のどのような活動をしていますか。

- 「参加していない」が51.1%と最も高いが、参加が多い地域活動としては、「町内会・自治会等の活動」(20.8%)、「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」(14.4%)、「PTA活動」(9.1%)である。
- 性別では、男性は「町内会・自治会等の活動」が31.1%と女性(13.8%)よりも17.3ポイント上回る。女性は「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」が17.8%と男性(10.1%)を上回る。

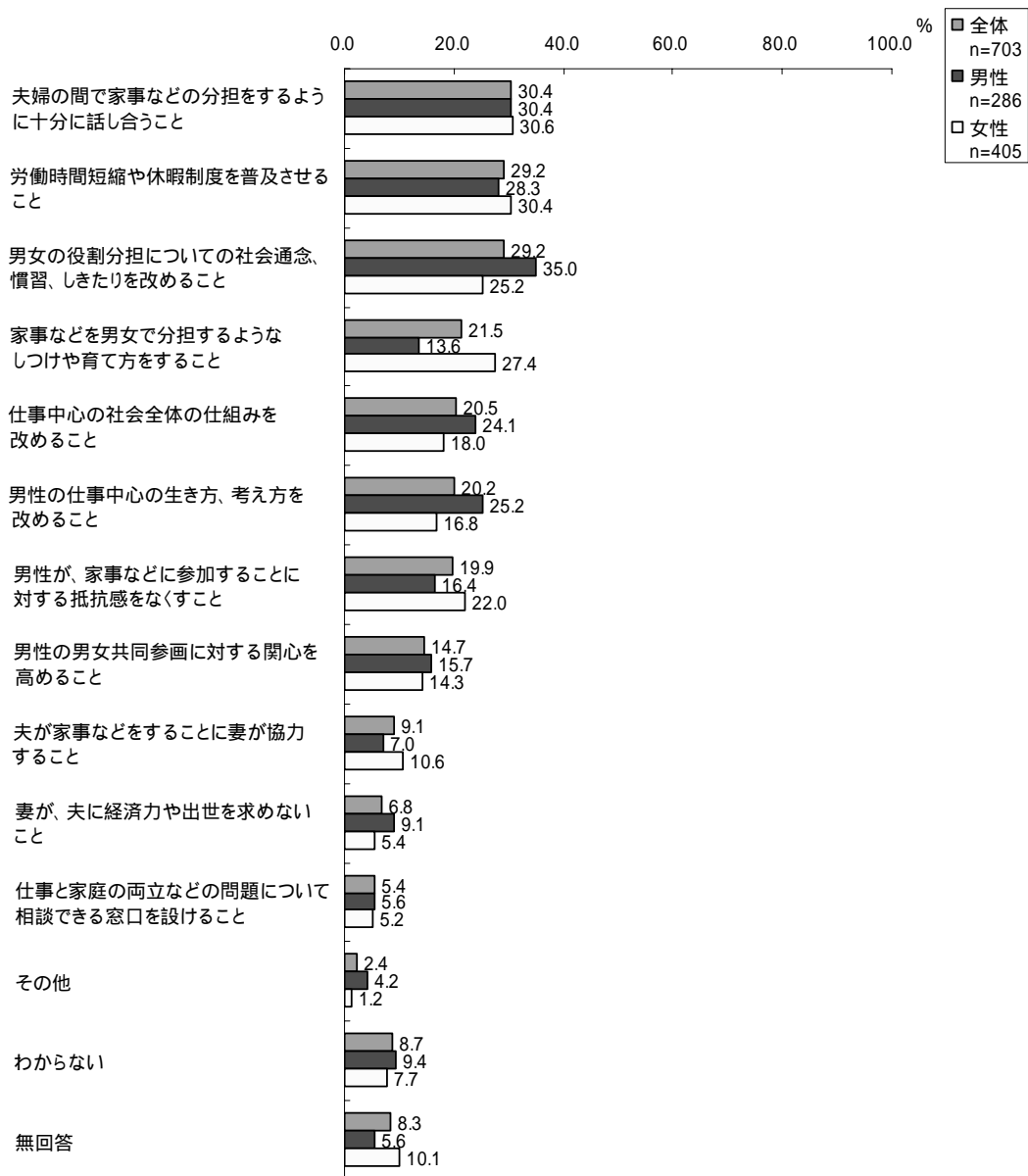


(2) 男性の参加促進に必要なこと

問15. 今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- 「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が30.4%と最も高く、以下「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」(29.2%)、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(29.2%)、「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること」(21.5%)、「仕事中心の社会全体の仕組みを改めること」(20.5%)、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」(20.2%)である。
- 性別では、男性は「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が35.0%と最も高い。また、「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること」は女性が27.4%となっており、男性(13.6%)を13.8ポイント上回る。

男性の参加促進に必要なこと(複数回答)

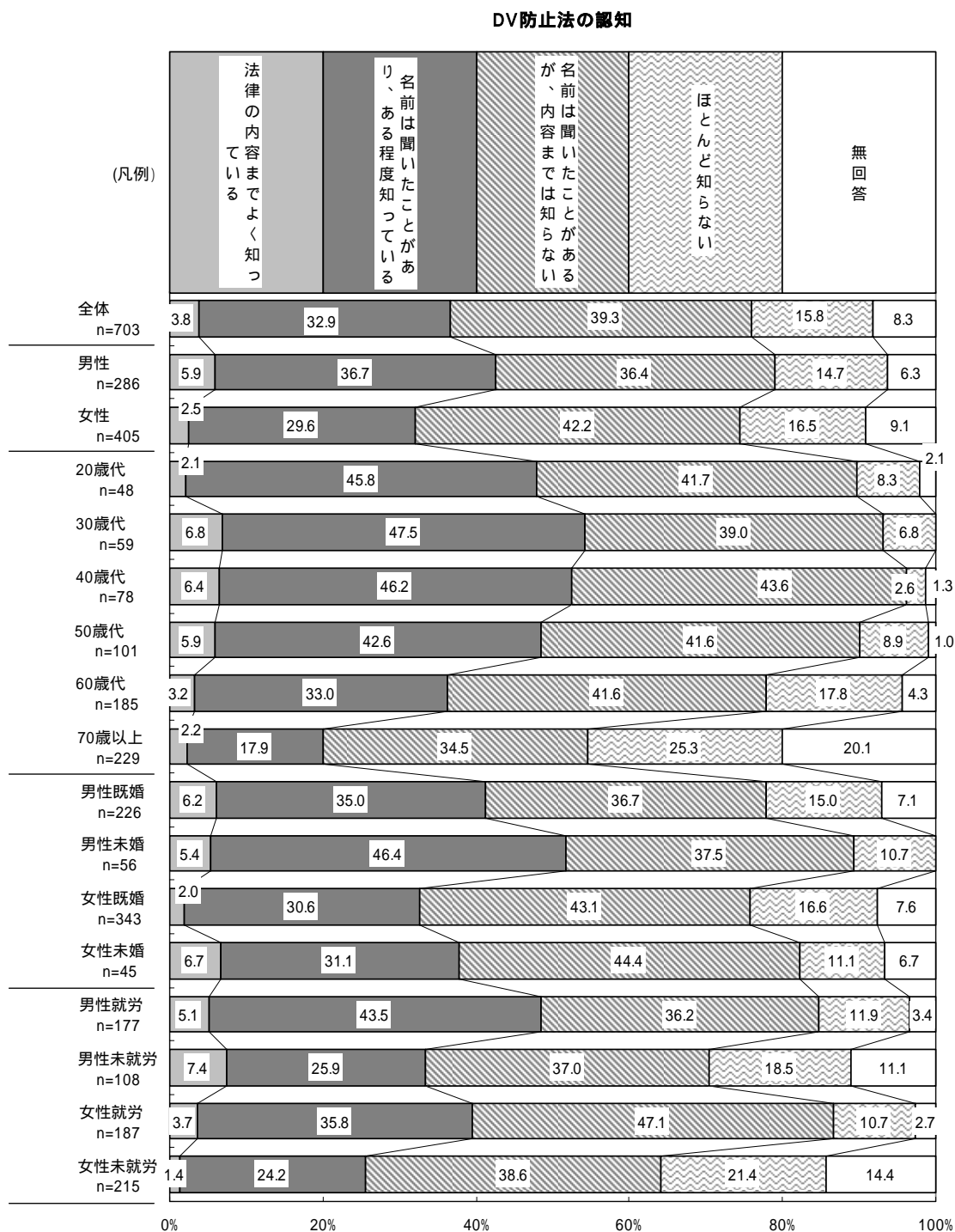


5 女性の人権、DVなどの男女間の暴力について

(1) DV防止法の認知

問16. あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(通称:DV防止法)をご存知ですか。

- 「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(39.3%)が最も高く、以下「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」(32.9%)、「ほとんど知らない」(15.8%)、「法律の内容までよく知っている」(3.8%)である。
- 年齢別では、30歳代、40歳代は『知っている』が5割を超えている。
- 性別・就労別では、女性未就労者は『知っている』が25.6%と低い。



『知っている』は、本来の選択肢の「法律の内容までよく知っている」と「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」の割合を合計したものである。

		DV防止法の認知〔%〕					
		全体	法律の内容 までよく知っ ている	名前は聞い たことがあ り、ある程 度知っている	名前は聞い たことがあ るが、内容 までは知ら ない	ほとんど知 らない	無回答
全体		703	27	231	276	111	58
		100.0	3.8	32.9	39.3	15.8	8.3
性 年 齢 別	男性計	286	17	105	104	42	18
		100.0	5.9	36.7	36.4	14.7	6.3
	20歳代	20	-	11	8	1	-
		100.0	-	55.0	40.0	5.0	-
	30歳代	27	2	12	9	4	-
		100.0	7.4	44.4	33.3	14.8	-
	40歳代	27	2	14	10	-	1
		100.0	7.4	51.9	37.0	-	3.7
	50歳代	41	5	17	15	4	-
		100.0	12.2	41.5	36.6	9.8	-
	60歳代	75	4	34	26	9	2
		100.0	5.3	45.3	34.7	12.0	2.7
	70歳以上	95	4	17	35	24	15
		100.0	4.2	17.9	36.8	25.3	15.8
	女性計	405	10	120	171	67	37
		100.0	2.5	29.6	42.2	16.5	9.1
	20歳代	28	1	11	12	3	1
		100.0	3.6	39.3	42.9	10.7	3.6
	30歳代	32	2	16	14	-	-
		100.0	6.3	50.0	43.8	-	-
40歳代	48	3	19	24	2	-	
	100.0	6.3	39.6	50.0	4.2	-	
50歳代	60	1	26	27	5	1	
	100.0	1.7	43.3	45.0	8.3	1.7	
60歳代	110	2	27	51	24	6	
	100.0	1.8	24.5	46.4	21.8	5.5	
70歳以上	127	1	21	43	33	29	
	100.0	0.8	16.5	33.9	26.0	22.8	

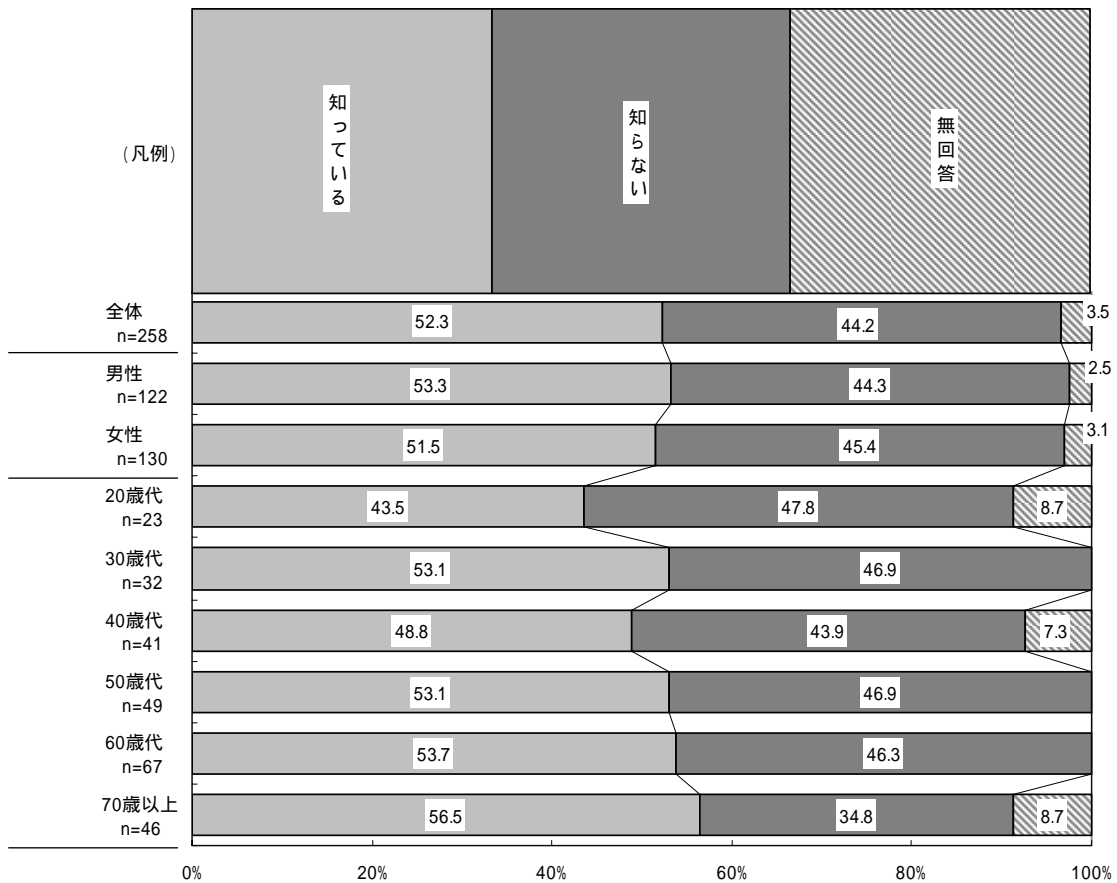
(2) 発見した際の通報の認知

前問で「法律の内容までよく知っている」若しくは「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」と回答した方を対象

問16-1. DV防止法では、配偶者からの暴力を受けている人を見つけた場合は配偶者暴力相談支援センター等へ通報するよう呼びかけていますが、このことをあなたはご存知ですか。

- 「知っている」が52.3%と、「知らない」(44.2%)よりもやや高い。
- 年齢別では、20歳代は「知っている」が43.5%とやや低くなっている。

発見した際の通報の認知



		発見した際の通報の認知(%)			
		全体	知っている	知らない	無回答
全体		258	135	114	9
		100.0	52.3	44.2	3.5
性 年 齢 別	男性計	122	65	54	3
		100.0	53.3	44.3	2.5
	20歳代	11	3	8	-
		100.0	27.3	72.7	-
	30歳代	14	8	6	-
		100.0	57.1	42.9	-
	40歳代	16	9	6	1
		100.0	56.3	37.5	6.3
	50歳代	22	13	9	-
		100.0	59.1	40.9	-
	60歳代	38	19	19	-
		100.0	50.0	50.0	-
	70歳以上	21	13	6	2
		100.0	61.9	28.6	9.5
	女性計	130	67	59	4
		100.0	51.5	45.4	3.1
	20歳代	12	7	3	2
		100.0	58.3	25.0	16.7
	30歳代	18	9	9	-
		100.0	50.0	50.0	-
40歳代	22	9	11	2	
	100.0	40.9	50.0	9.1	
50歳代	27	13	14	-	
	100.0	48.1	51.9	-	
60歳代	29	17	12	-	
	100.0	58.6	41.4	-	
70歳以上	22	12	10	-	
	100.0	54.5	45.5	-	

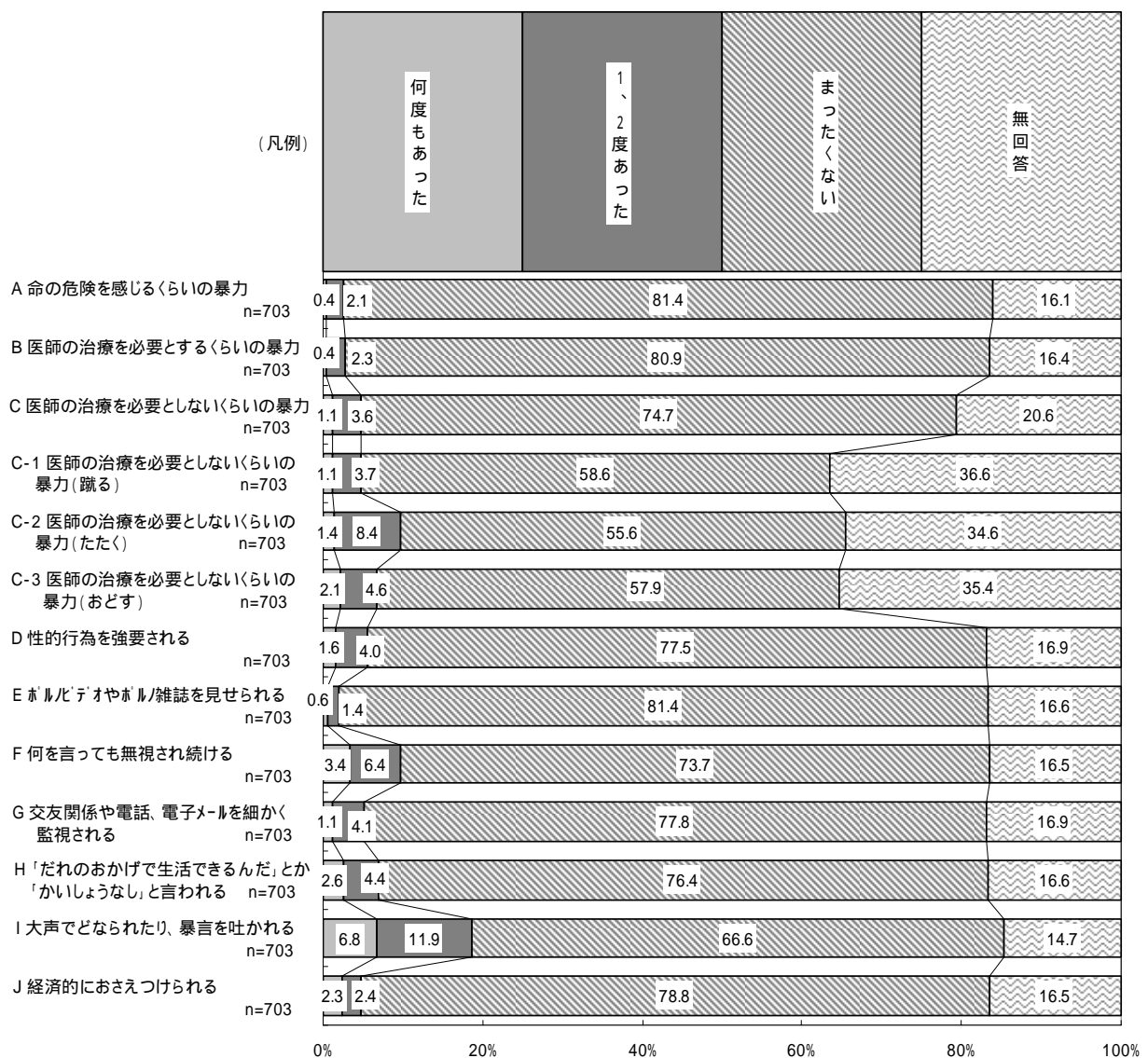
(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無及び暴力の内容

問17. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。

【全体】(A~J)

- A~Jの項目を比較すると、「I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる」では『経験がある』と答えた人の割合が18.7%と最も高い。以下「C 2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)」(9.8%)、「F 何を言っても無視され続ける」(9.8%)、「H だれのおかげで生活できるんだとかかいしようなしと言われる」(7.0%)、「C 3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)」(6.7%)、「D 性的行為を強要される」(5.6%)と続く。また、「A 命の危険を感じるくらいの暴力」は2.5%、「B 医師の治療を必要とするくらいの暴力」は2.7%となっている。

男女間の暴力を受けた経験【全体】(A~J)

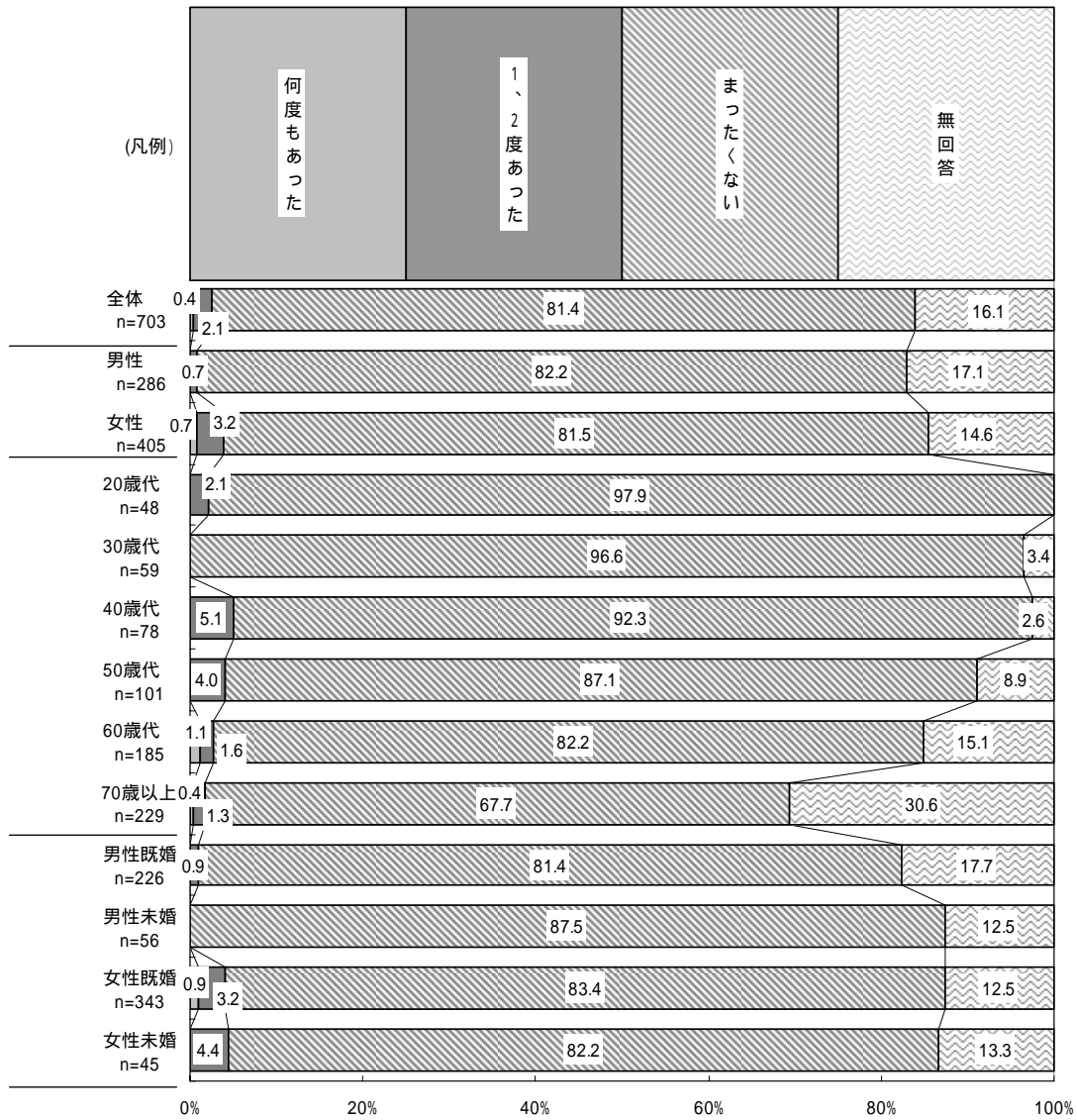


『経験がある』は本来の選択肢の「何度もあった」と「1、2度あった」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 命の危険を感じるくらいの暴力】

- 『経験がある』が2.5%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が3.9%、男性が0.7%である。そのうち「何度もあった」は女性が0.7%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が4.4%、女性既婚者が4.1%である。

A 命の危険を感じるくらいの暴力

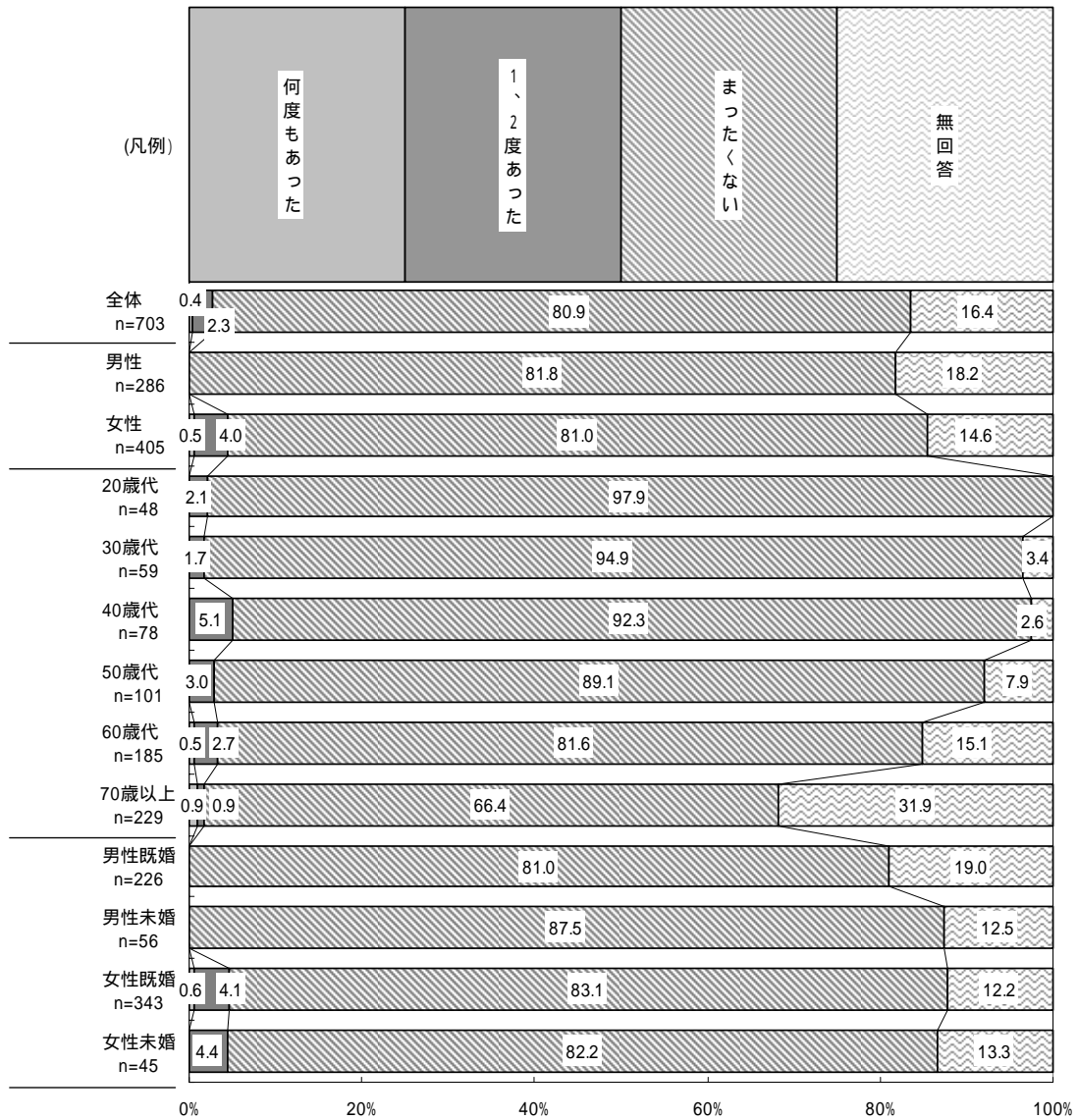


		A 命の危険を感じるくらいの暴力(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	3	15	572	113
		100.0	0.4	2.1	81.4	16.1
性 年 齢 別	男性計	286	-	2	235	49
		100.0	-	0.7	82.2	17.1
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	40歳代	27	-	-	25	2
		100.0	-	-	92.6	7.4
	50歳代	41	-	1	36	4
		100.0	-	2.4	87.8	9.8
	60歳代	75	-	-	62	13
		100.0	-	-	82.7	17.3
	70歳以上	95	-	1	65	29
		100.0	-	1.1	68.4	30.5
	女性計	405	3	13	330	59
		100.0	0.7	3.2	81.5	14.6
	20歳代	28	-	1	27	-
		100.0	-	3.6	96.4	-
	30歳代	32	-	-	31	1
		100.0	-	-	96.9	3.1
40歳代	48	-	4	44	-	
	100.0	-	8.3	91.7	-	
50歳代	60	-	3	52	5	
	100.0	-	5.0	86.7	8.3	
60歳代	110	2	3	90	15	
	100.0	1.8	2.7	81.8	13.6	
70歳以上	127	1	2	86	38	
	100.0	0.8	1.6	67.7	29.9	

【B 医師の治療を必要とするくらいの暴力】

- 『経験がある』が2.7%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が4.5%である。そのうち「何度もあった」は女性が0.5%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が4.7%、女性未婚者が4.4%である。

B 医師の治療を必要とするくらいの暴力

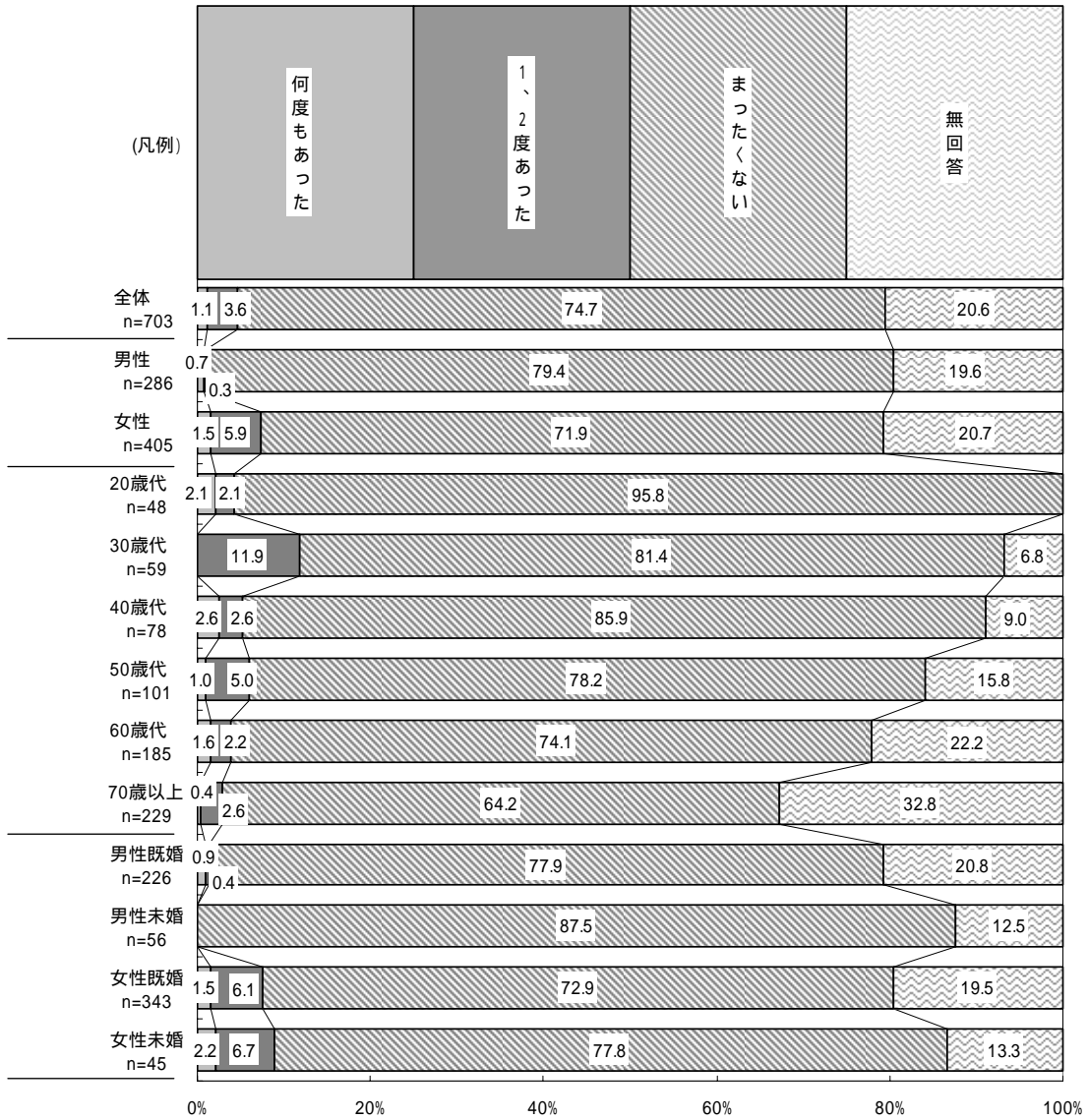


		B 医師の治療を必要とするくらいの暴力 [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	3	16	569	115
		100.0	0.4	2.3	80.9	16.4
性 年 齢 別	男性計	286	-	-	234	52
		100.0	-	-	81.8	18.2
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	40歳代	27	-	-	25	2
		100.0	-	-	92.6	7.4
	50歳代	41	-	-	37	4
		100.0	-	-	90.2	9.8
	60歳代	75	-	-	62	13
		100.0	-	-	82.7	17.3
	70歳以上	95	-	-	63	32
		100.0	-	-	66.3	33.7
	女性計	405	2	16	328	59
		100.0	0.5	4.0	81.0	14.6
	20歳代	28	-	1	27	-
		100.0	-	3.6	96.4	-
	30歳代	32	-	1	30	1
		100.0	-	3.1	93.8	3.1
40歳代	48	-	4	44	-	
	100.0	-	8.3	91.7	-	
50歳代	60	-	3	53	4	
	100.0	-	5.0	88.3	6.7	
60歳代	110	1	5	89	15	
	100.0	0.9	4.5	80.9	13.6	
70歳以上	127	1	2	85	39	
	100.0	0.8	1.6	66.9	30.7	

【C 医師の治療を必要としないくらいの暴力】

- 『経験がある』が4.7%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が7.4%、男性が1.0%である。そのうち「何度もあった」は女性が1.5%、男性が0.7%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が8.9%、女性既婚者が7.6%である。

C 医師の治療を必要としないくらいの暴力

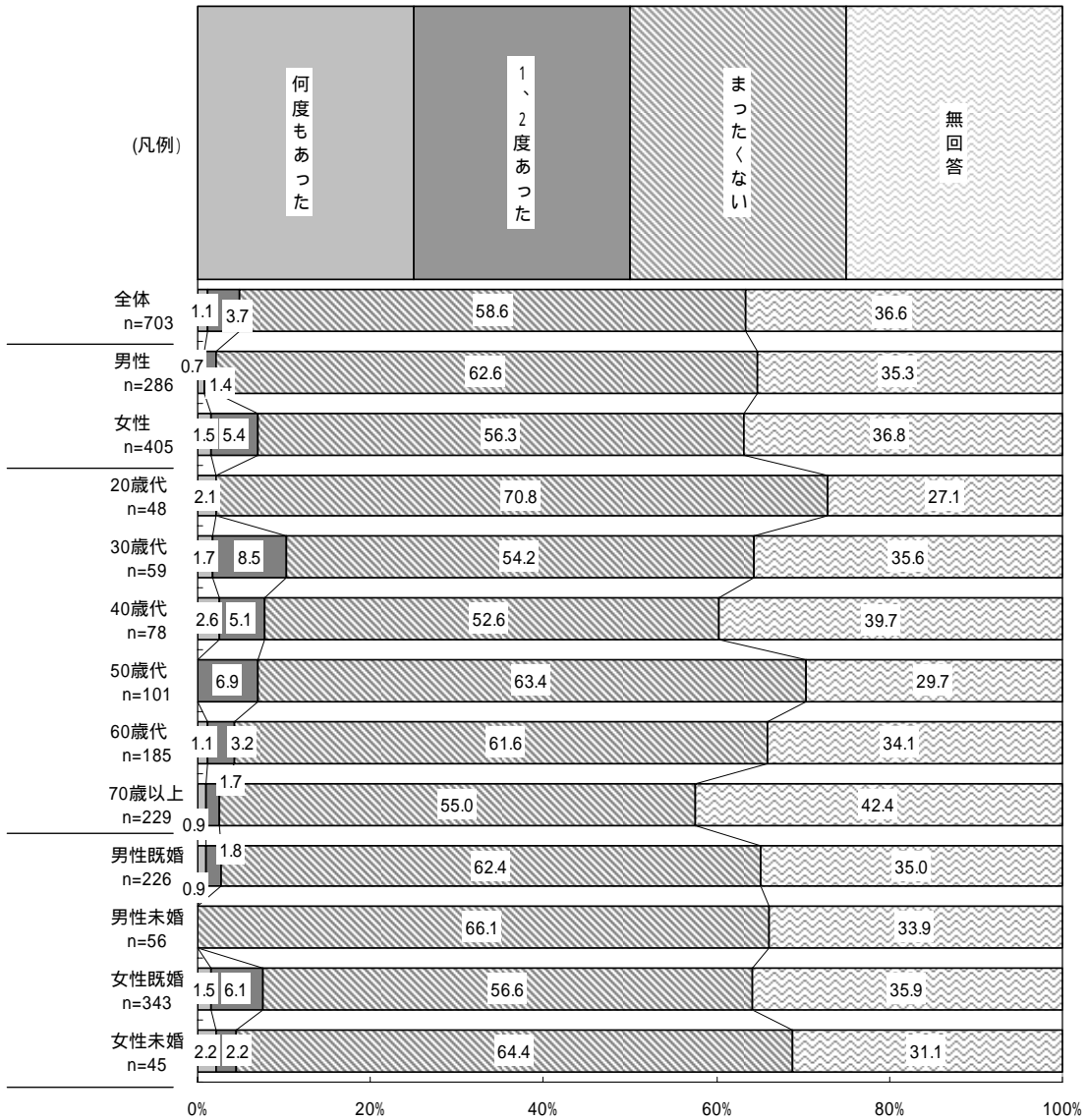


		C 医師の治療を必要としないくらいの暴力 (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	8	25	525	145
		100.0	1.1	3.6	74.7	20.6
性 年 齢 別	男性計	286	2	1	227	56
		100.0	0.7	0.3	79.4	19.6
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	40歳代	27	1	-	22	4
		100.0	3.7	-	81.5	14.8
	50歳代	41	-	-	36	5
		100.0	-	-	87.8	12.2
	60歳代	75	-	-	61	14
		100.0	-	-	81.3	18.7
	70歳以上	95	1	1	61	32
		100.0	1.1	1.1	64.2	33.7
	女性計	405	6	24	291	84
		100.0	1.5	5.9	71.9	20.7
	20歳代	28	1	1	26	-
		100.0	3.6	3.6	92.9	-
	30歳代	32	-	7	22	3
		100.0	-	21.9	68.8	9.4
40歳代	48	1	2	42	3	
	100.0	2.1	4.2	87.5	6.3	
50歳代	60	1	5	43	11	
	100.0	1.7	8.3	71.7	18.3	
60歳代	110	3	4	76	27	
	100.0	2.7	3.6	69.1	24.5	
70歳以上	127	-	5	82	40	
	100.0	-	3.9	64.6	31.5	

【C - 1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る)】

- 『経験がある』が4.8%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が6.9%、男性が2.1%である。そのうち「何度もあった」は女性が1.5%、男性が0.7%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が7.6%、女性未婚者が4.4%である。

C-1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る)

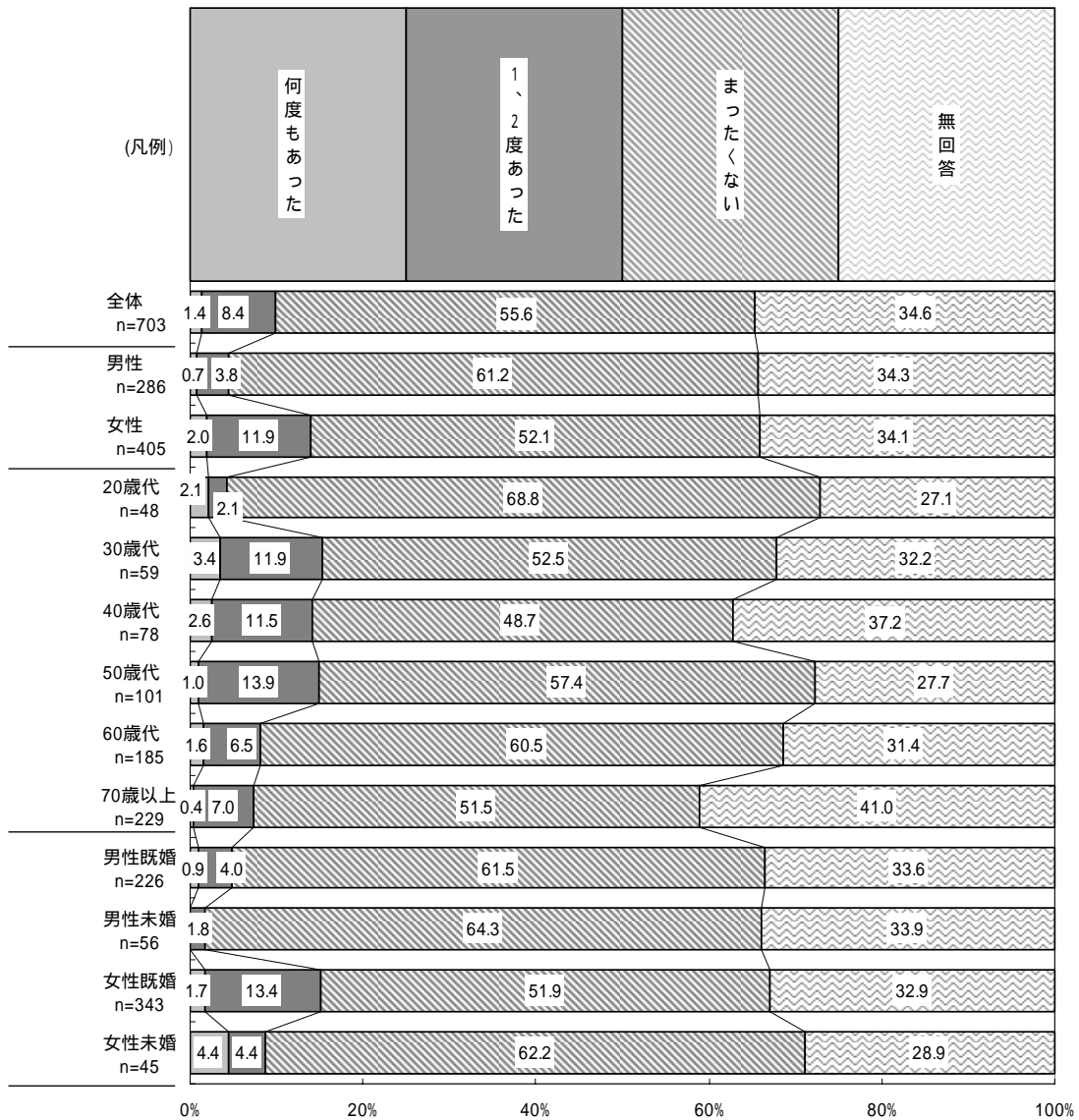


		C-1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る) [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	8	26	412	257
		100.0	1.1	3.7	58.6	36.6
性 年 齢 別	男性計	286	2	4	179	101
		100.0	0.7	1.4	62.6	35.3
	20歳代	20	-	-	13	7
		100.0	-	-	65.0	35.0
	30歳代	27	-	-	17	10
		100.0	-	-	63.0	37.0
	40歳代	27	1	1	18	7
		100.0	3.7	3.7	66.7	25.9
	50歳代	41	-	1	26	14
		100.0	-	2.4	63.4	34.1
	60歳代	75	-	1	52	22
		100.0	-	1.3	69.3	29.3
	70歳以上	95	1	1	52	41
		100.0	1.1	1.1	54.7	43.2
	女性計	405	6	22	228	149
		100.0	1.5	5.4	56.3	36.8
	20歳代	28	1	-	21	6
		100.0	3.6	-	75.0	21.4
	30歳代	32	1	5	15	11
		100.0	3.1	15.6	46.9	34.4
40歳代	48	1	3	22	22	
	100.0	2.1	6.3	45.8	45.8	
50歳代	60	-	6	38	16	
	100.0	-	10.0	63.3	26.7	
60歳代	110	2	5	62	41	
	100.0	1.8	4.5	56.4	37.3	
70歳以上	127	1	3	70	53	
	100.0	0.8	2.4	55.1	41.7	

【C - 2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)】

- 『経験がある』が9.8%となっている。
- 性別では、『経験がある』は、女性が13.9%、男性が4.5%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.0%、男性が0.7%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者(15.1%)が最も高く、男性既婚者(4.9%)を10.2ポイント上回る。また、女性未婚者は8.8%である。

C-2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)

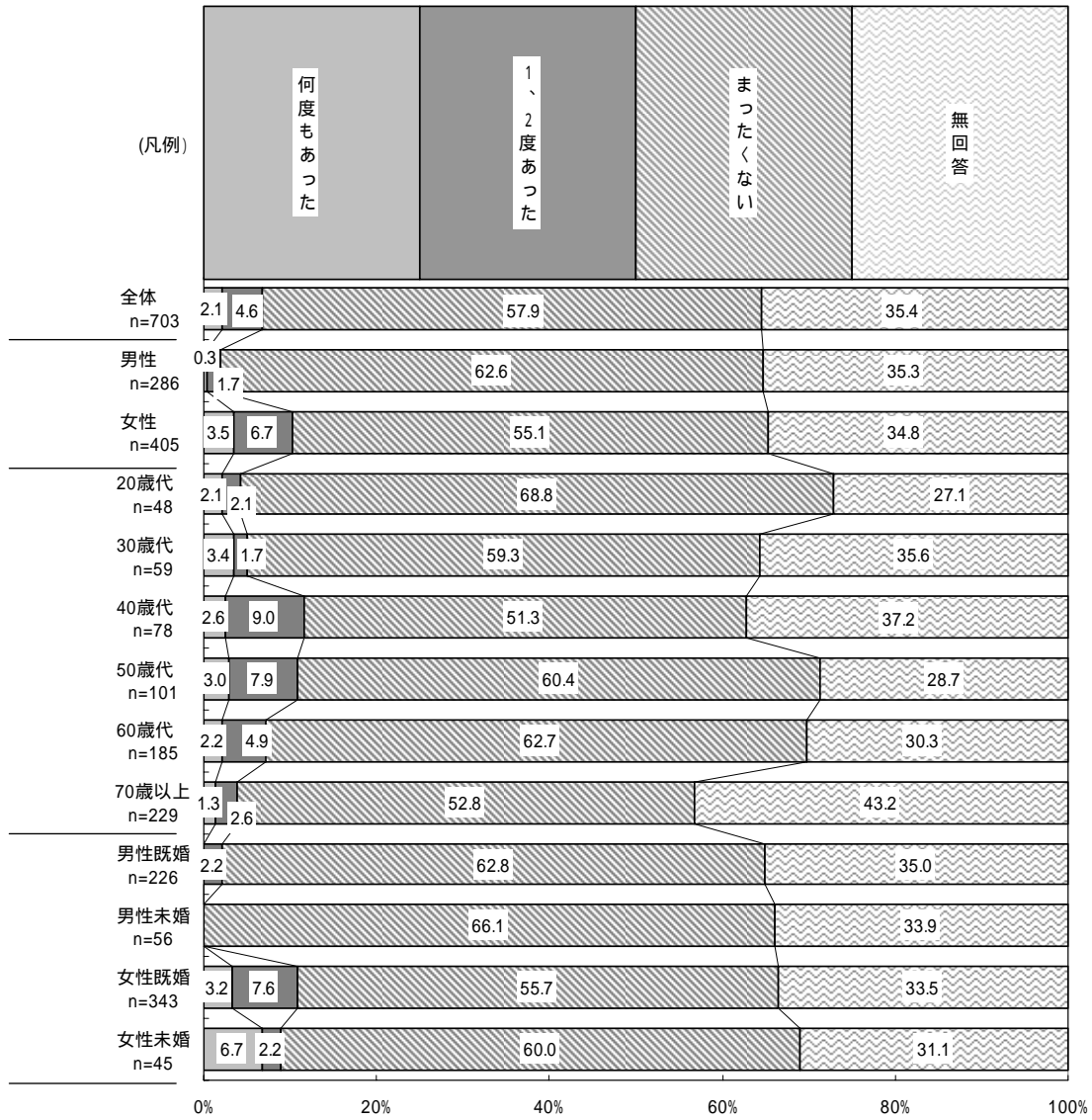


		C-2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたき) [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	10	59	391	243
		100.0	1.4	8.4	55.6	34.6
性 年 齢 別	男性計	286	2	11	175	98
		100.0	0.7	3.8	61.2	34.3
	20歳代	20	-	1	12	7
		100.0	-	5.0	60.0	35.0
	30歳代	27	-	-	17	10
		100.0	-	-	63.0	37.0
	40歳代	27	1	2	18	6
		100.0	3.7	7.4	66.7	22.2
	50歳代	41	-	1	26	14
		100.0	-	2.4	63.4	34.1
	60歳代	75	-	3	50	22
		100.0	-	4.0	66.7	29.3
	70歳以上	95	1	4	51	39
		100.0	1.1	4.2	53.7	41.1
	女性計	405	8	48	211	138
		100.0	2.0	11.9	52.1	34.1
	20歳代	28	1	-	21	6
		100.0	3.6	-	75.0	21.4
	30歳代	32	2	7	14	9
		100.0	6.3	21.9	43.8	28.1
40歳代	48	1	7	19	21	
	100.0	2.1	14.6	39.6	43.8	
50歳代	60	1	13	32	14	
	100.0	1.7	21.7	53.3	23.3	
60歳代	110	3	9	62	36	
	100.0	2.7	8.2	56.4	32.7	
70歳以上	127	-	12	63	52	
	100.0	-	9.4	49.6	40.9	

【C - 3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)】

- 『経験がある』が6.7%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が10.2%、男性が2.0%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.5%、男性が0.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が10.8%、女性未婚者が8.9%である。

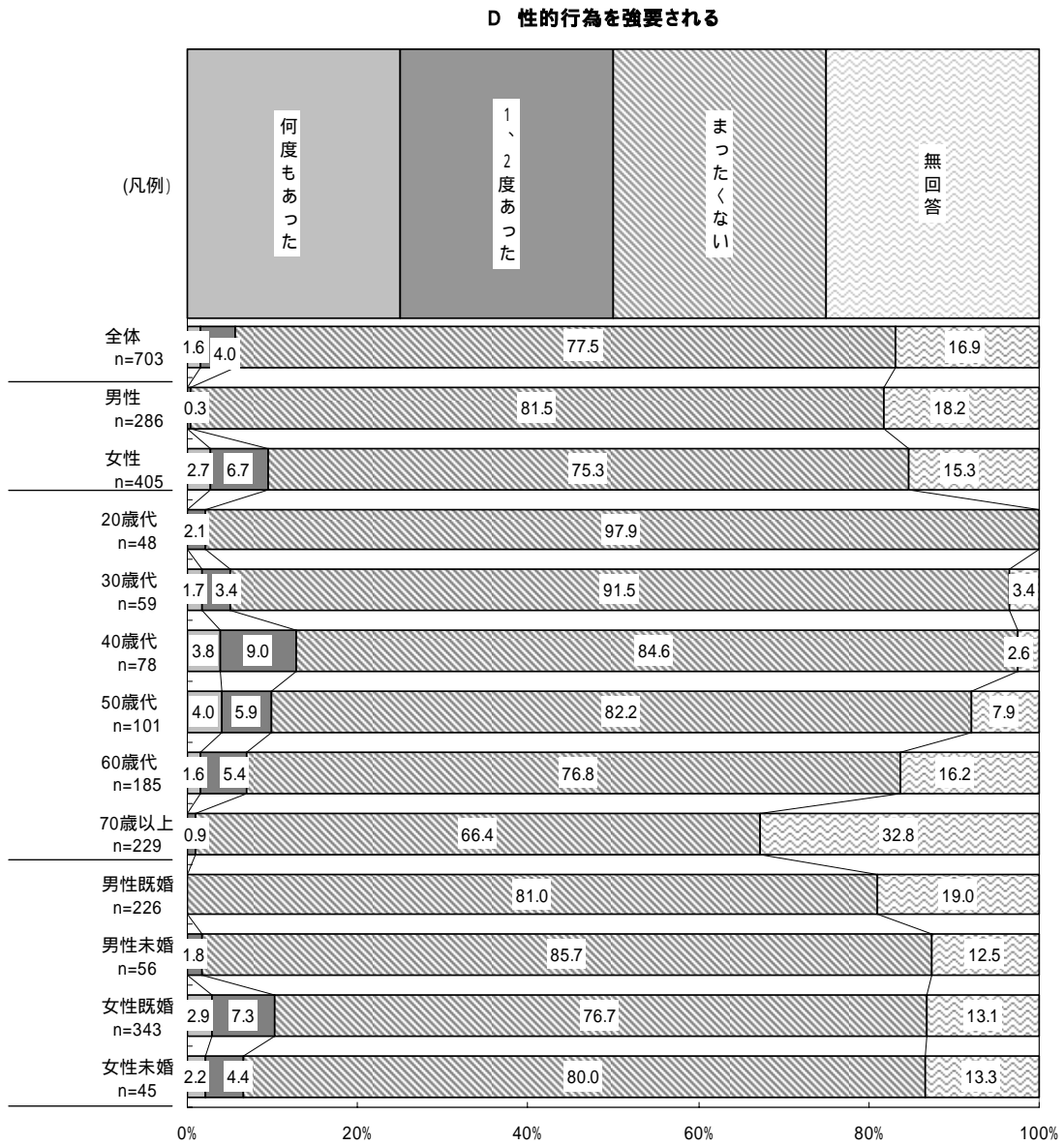
C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)



		C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす) (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	15	32	407	249
		100.0	2.1	4.6	57.9	35.4
性 年 齢 別	男性計	286	1	5	179	101
		100.0	0.3	1.7	62.6	35.3
	20歳代	20	-	-	13	7
		100.0	-	-	65.0	35.0
	30歳代	27	-	-	17	10
		100.0	-	-	63.0	37.0
	40歳代	27	-	1	19	7
		100.0	-	3.7	70.4	25.9
	50歳代	41	-	1	26	14
		100.0	-	2.4	63.4	34.1
	60歳代	75	-	1	52	22
		100.0	-	1.3	69.3	29.3
	70歳以上	95	1	2	51	41
		100.0	1.1	2.1	53.7	43.2
	女性計	405	14	27	223	141
		100.0	3.5	6.7	55.1	34.8
	20歳代	28	1	1	20	6
		100.0	3.6	3.6	71.4	21.4
	30歳代	32	2	1	18	11
		100.0	6.3	3.1	56.3	34.4
40歳代	48	2	6	20	20	
	100.0	4.2	12.5	41.7	41.7	
50歳代	60	3	7	35	15	
	100.0	5.0	11.7	58.3	25.0	
60歳代	110	4	8	64	34	
	100.0	3.6	7.3	58.2	30.9	
70歳以上	127	2	4	66	55	
	100.0	1.6	3.1	52.0	43.3	

【D 性的行為を強要される】

- 『経験がある』が5.6%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が9.4%、男性が0.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.7%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が10.2%、女性未婚者が6.6%である。

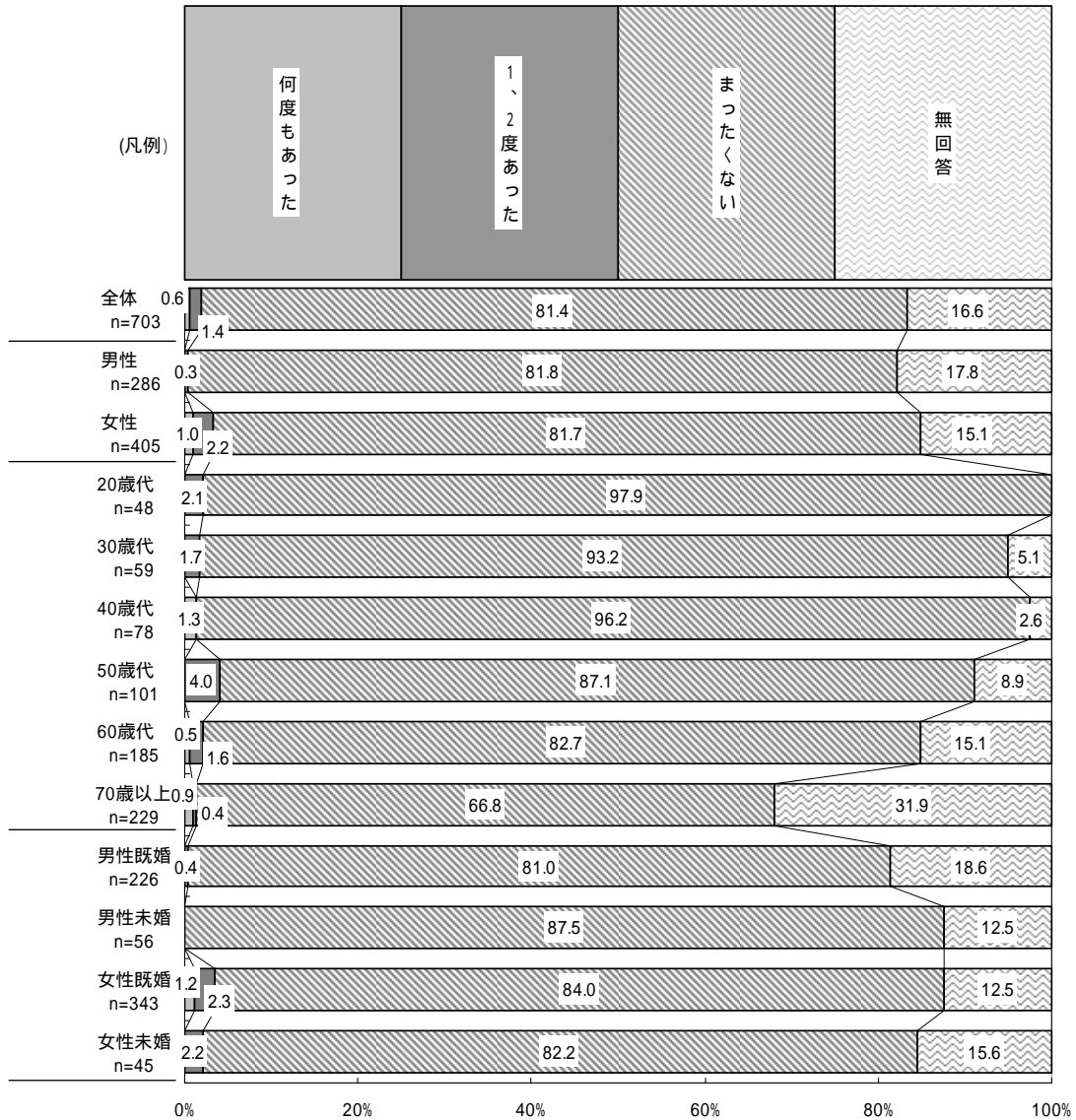


		D 性的行為を強要される(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	11	28	545	119
		100.0	1.6	4.0	77.5	16.9
性 年 齢 別	男性計	286	-	1	233	52
		100.0	-	0.3	81.5	18.2
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	40歳代	27	-	1	24	2
		100.0	-	3.7	88.9	7.4
	50歳代	41	-	-	37	4
		100.0	-	-	90.2	9.8
	60歳代	75	-	-	62	13
		100.0	-	-	82.7	17.3
	70歳以上	95	-	-	63	32
		100.0	-	-	66.3	33.7
	女性計	405	11	27	305	62
		100.0	2.7	6.7	75.3	15.3
	20歳代	28	-	1	27	-
		100.0	-	3.6	96.4	-
	30歳代	32	1	2	28	1
		100.0	3.1	6.3	87.5	3.1
40歳代	48	3	6	39	-	
	100.0	6.3	12.5	81.3	-	
50歳代	60	4	6	46	4	
	100.0	6.7	10.0	76.7	6.7	
60歳代	110	3	10	80	17	
	100.0	2.7	9.1	72.7	15.5	
70歳以上	127	-	2	85	40	
	100.0	-	1.6	66.9	31.5	

【E ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる】

- 『経験がある』が2.0%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が3.2%、男性が0.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が1.0%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が3.5%、女性未婚者が2.2%である。

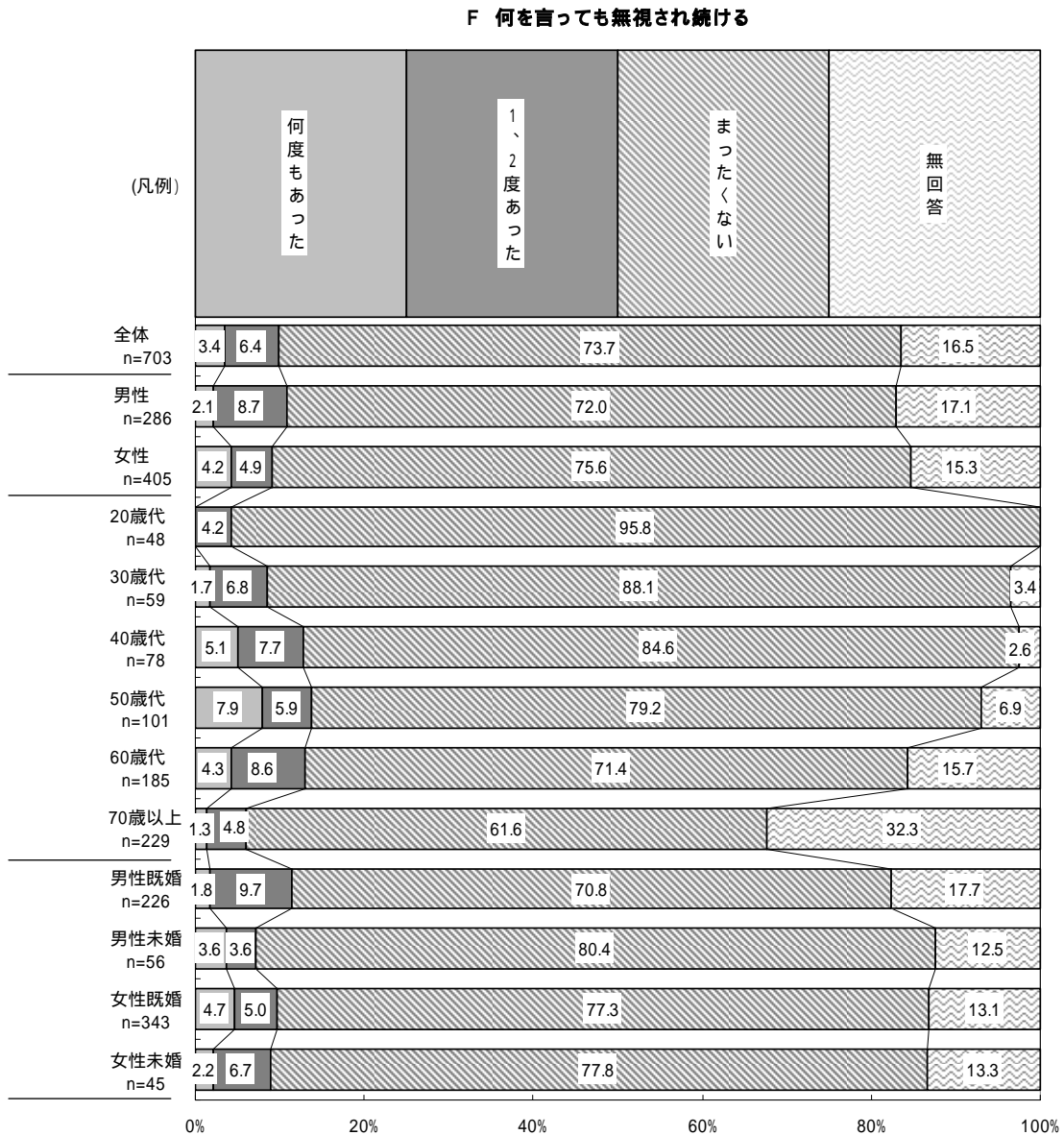
E ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる



		E ホルビデオやホル/雑誌を見せられる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	4	10	572	117
		100.0	0.6	1.4	81.4	16.6
性 年 齢 別	男性計	286	-	1	234	51
		100.0	-	0.3	81.8	17.8
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	-	26	1
		100.0	-	-	96.3	3.7
	40歳代	27	-	-	25	2
		100.0	-	-	92.6	7.4
	50歳代	41	-	-	37	4
		100.0	-	-	90.2	9.8
	60歳代	75	-	-	62	13
		100.0	-	-	82.7	17.3
	70歳以上	95	-	1	63	31
		100.0	-	1.1	66.3	32.6
	女性計	405	4	9	331	61
		100.0	1.0	2.2	81.7	15.1
	20歳代	28	-	1	27	-
		100.0	-	3.6	96.4	-
	30歳代	32	-	1	29	2
		100.0	-	3.1	90.6	6.3
40歳代	48	1	-	47	-	
	100.0	2.1	-	97.9	-	
50歳代	60	-	4	51	5	
	100.0	-	6.7	85.0	8.3	
60歳代	110	1	3	91	15	
	100.0	0.9	2.7	82.7	13.6	
70歳以上	127	2	-	86	39	
	100.0	1.6	-	67.7	30.7	

【F 何を言っても無視され続ける】

- 『経験がある』が9.8%となっている。
- 性別では、『経験がある』は男性が10.8%、女性が9.1%である。そのうち「何度もあった」は女性が4.2%、男性が2.1%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は男性既婚者が11.5%、男性未婚者が7.2%である。また、女性においても、既婚者(9.7%)が未婚者(8.9%)をやや上回る。

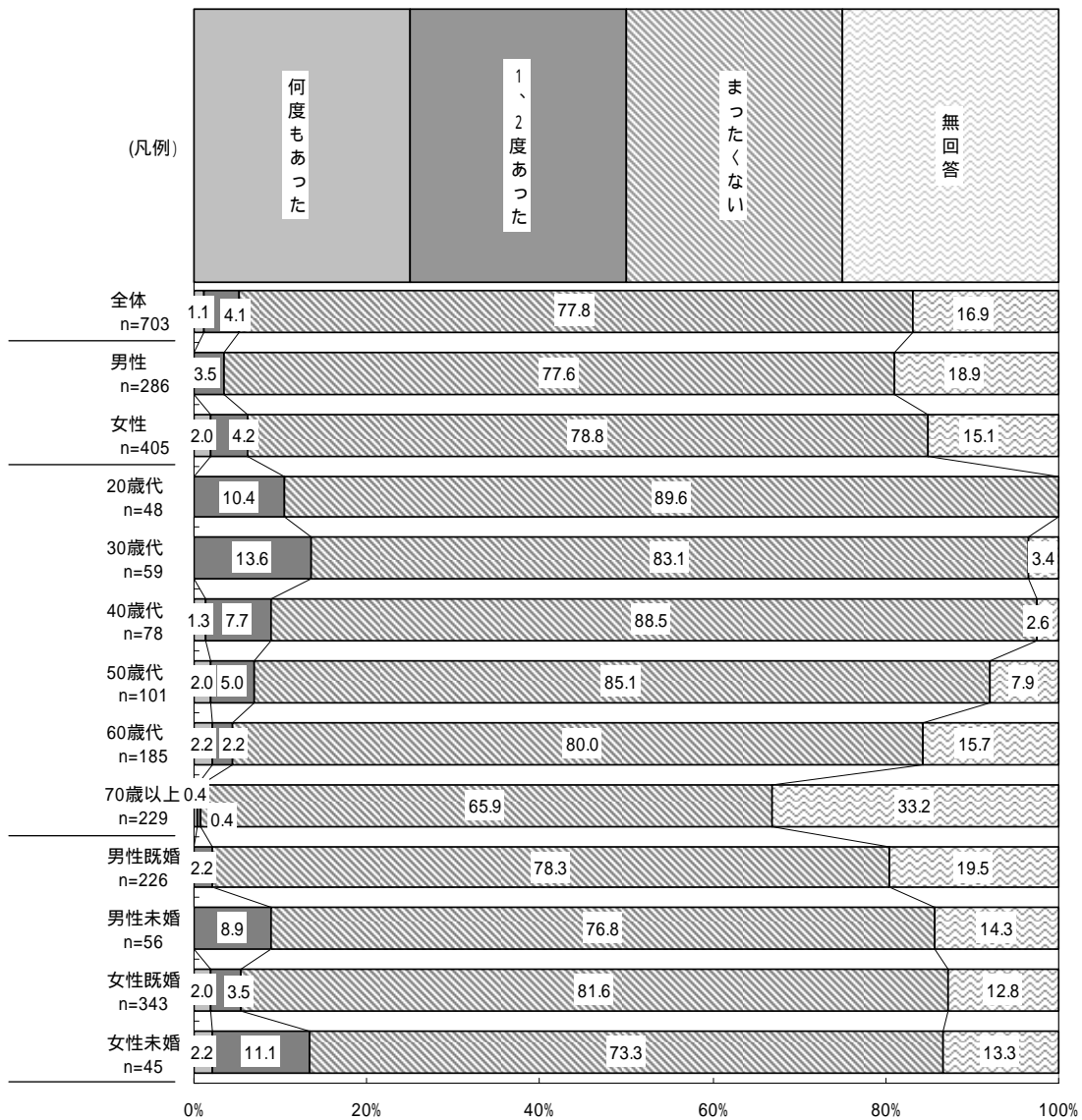


		F 何を言っても無視され続ける[%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	24	45	518	116
		100.0	3.4	6.4	73.7	16.5
性 年 齢 別	男性計	286	6	25	206	49
		100.0	2.1	8.7	72.0	17.1
	20歳代	20	-	1	19	-
		100.0	-	5.0	95.0	-
	30歳代	27	1	1	24	1
		100.0	3.7	3.7	88.9	3.7
	40歳代	27	3	2	20	2
		100.0	11.1	7.4	74.1	7.4
	50歳代	41	-	3	35	3
		100.0	-	7.3	85.4	7.3
	60歳代	75	1	8	53	13
		100.0	1.3	10.7	70.7	17.3
	70歳以上	95	1	10	54	30
		100.0	1.1	10.5	56.8	31.6
	女性計	405	17	20	306	62
		100.0	4.2	4.9	75.6	15.3
	20歳代	28	-	1	27	-
		100.0	-	3.6	96.4	-
	30歳代	32	-	3	28	1
		100.0	-	9.4	87.5	3.1
40歳代	48	-	4	44	-	
	100.0	-	8.3	91.7	-	
50歳代	60	8	3	45	4	
	100.0	13.3	5.0	75.0	6.7	
60歳代	110	7	8	79	16	
	100.0	6.4	7.3	71.8	14.5	
70歳以上	127	2	1	83	41	
	100.0	1.6	0.8	65.4	32.3	

【G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される】

- 『経験がある』が5.2%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が6.2%、男性が3.5%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.0%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が13.3%と最も高い。また、男性未婚者も8.9%となり、男女とも未婚者が既婚者を上回る。

G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される

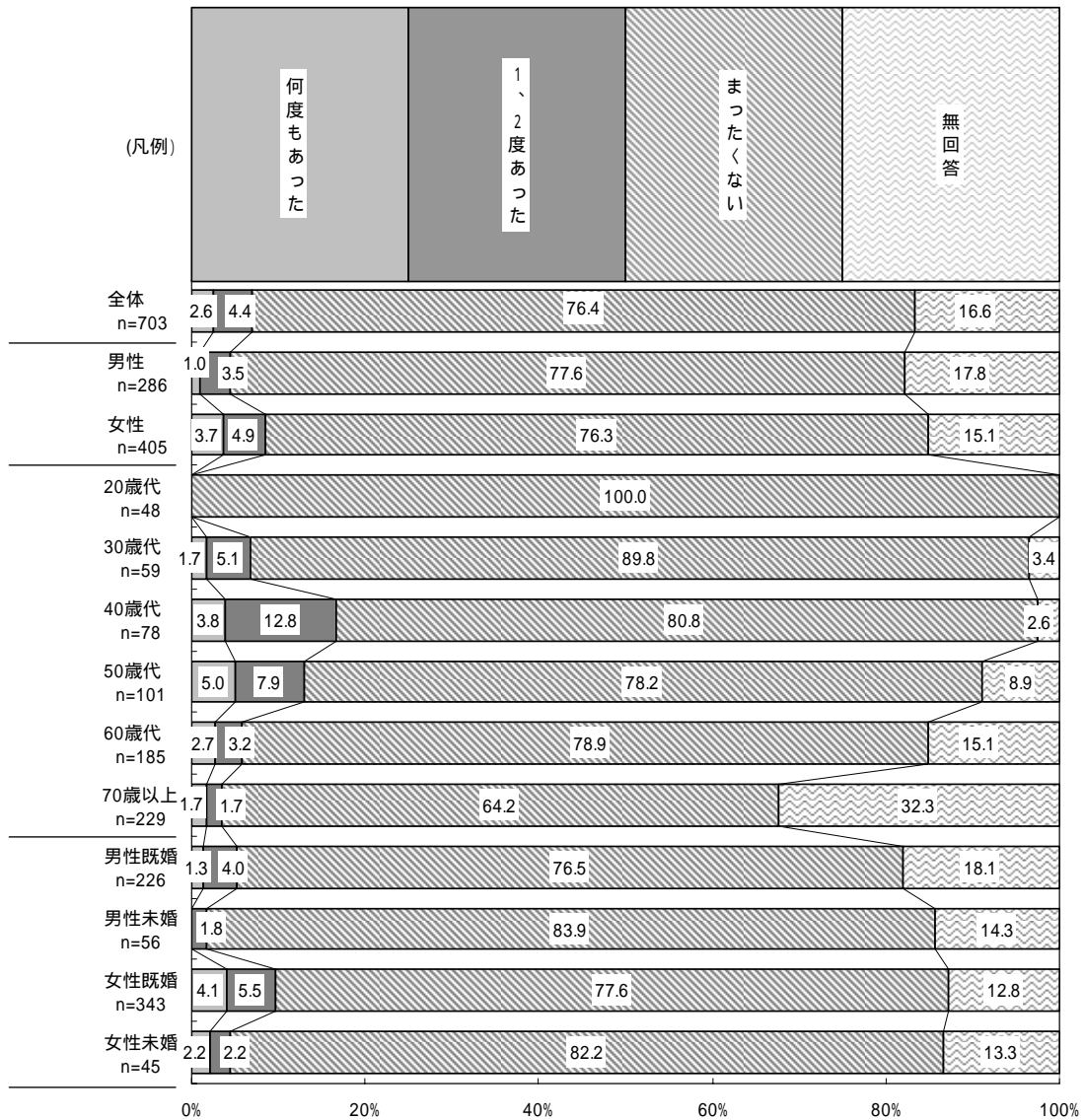


		G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	8	29	547	119
		100.0	1.1	4.1	77.8	16.9
性 年 齢 別	男性計	286	-	10	222	54
		100.0	-	3.5	77.6	18.9
	20歳代	20	-	2	18	-
		100.0	-	10.0	90.0	-
	30歳代	27	-	4	22	1
		100.0	-	14.8	81.5	3.7
	40歳代	27	-	1	24	2
		100.0	-	3.7	88.9	7.4
	50歳代	41	-	2	35	4
		100.0	-	4.9	85.4	9.8
	60歳代	75	-	-	61	14
		100.0	-	-	81.3	18.7
	70歳以上	95	-	1	61	33
		100.0	-	1.1	64.2	34.7
	女性計	405	8	17	319	61
		100.0	2.0	4.2	78.8	15.1
	20歳代	28	-	3	25	-
		100.0	-	10.7	89.3	-
	30歳代	32	-	4	27	1
		100.0	-	12.5	84.4	3.1
40歳代	48	1	3	44	-	
	100.0	2.1	6.3	91.7	-	
50歳代	60	2	3	51	4	
	100.0	3.3	5.0	85.0	6.7	
60歳代	110	4	4	87	15	
	100.0	3.6	3.6	79.1	13.6	
70歳以上	127	1	-	85	41	
	100.0	0.8	-	66.9	32.3	

【H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる】

- 『経験がある』が7.0%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が8.6%、男性が4.5%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.7%、男性が1.0%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者（9.6%）が最も高く、そのうち「何度もあった」は4.1%となっている。

H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる

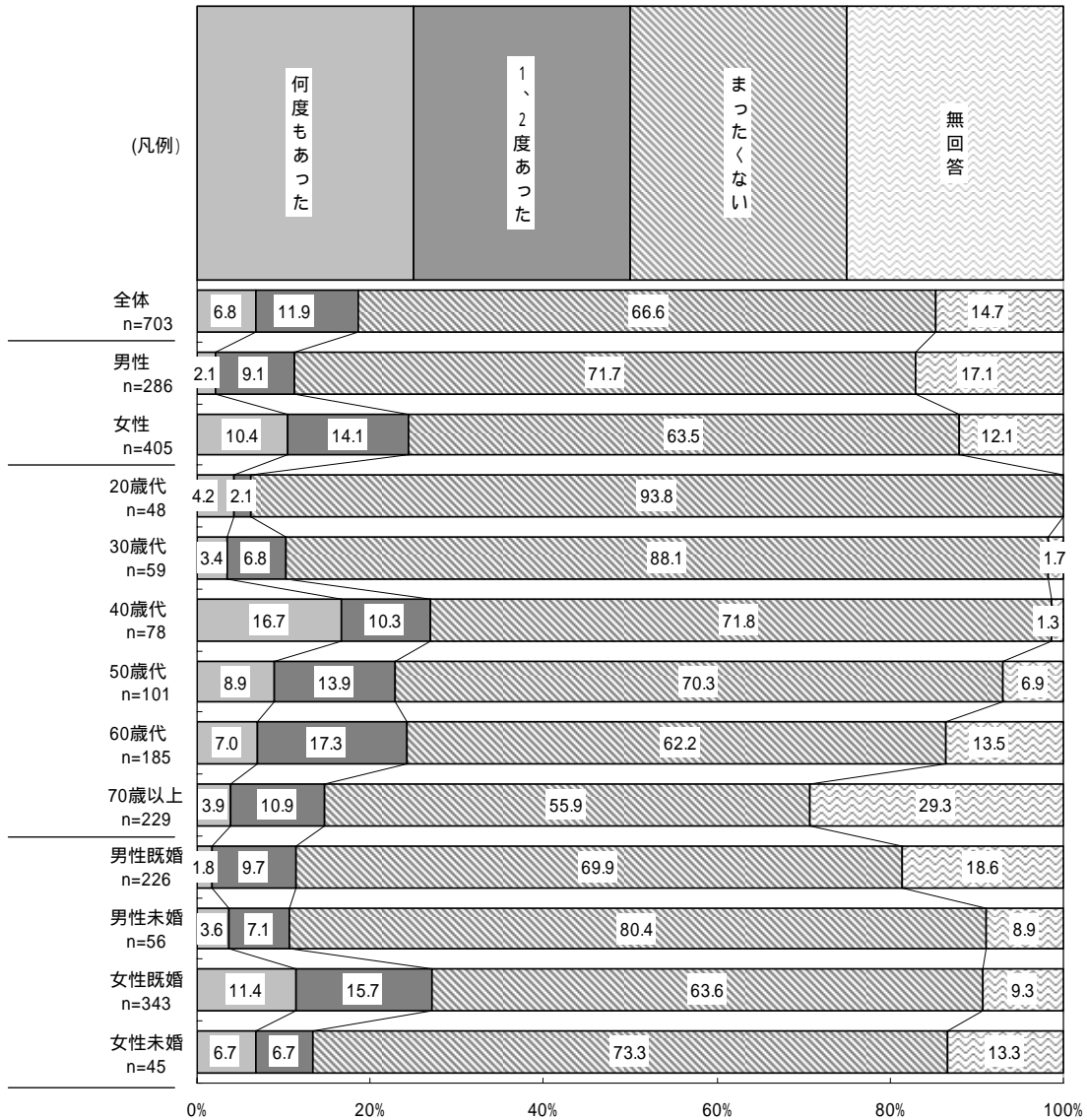


		H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか 「かいしようなし」と言われる (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	18	31	537	117
		100.0	2.6	4.4	76.4	16.6
性 年 齢 別	男性計	286	3	10	222	51
		100.0	1.0	3.5	77.6	17.8
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	1	25	1
		100.0	-	3.7	92.6	3.7
	40歳代	27	1	2	22	2
		100.0	3.7	7.4	81.5	7.4
	50歳代	41	-	2	35	4
		100.0	-	4.9	85.4	9.8
	60歳代	75	-	2	60	13
		100.0	-	2.7	80.0	17.3
	70歳以上	95	2	3	59	31
		100.0	2.1	3.2	62.1	32.6
	女性計	405	15	20	309	61
		100.0	3.7	4.9	76.3	15.1
	20歳代	28	-	-	28	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	32	1	2	28	1
		100.0	3.1	6.3	87.5	3.1
40歳代	48	2	7	39	-	
	100.0	4.2	14.6	81.3	-	
50歳代	60	5	6	44	5	
	100.0	8.3	10.0	73.3	8.3	
60歳代	110	5	4	86	15	
	100.0	4.5	3.6	78.2	13.6	
70歳以上	127	2	1	84	40	
	100.0	1.6	0.8	66.1	31.5	

【 I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる 】

- 『経験がある』が18.7%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が24.5%と男性(11.2%)を13.3ポイント上回る。また、「何度もあった」は女性が10.4%、男性が2.1%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者(27.1%)が最も高く、男性既婚者(11.5%)を15.6ポイント上回る。また、女性未婚者も13.4%と男性未婚者(10.7%)を上回る。

I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる

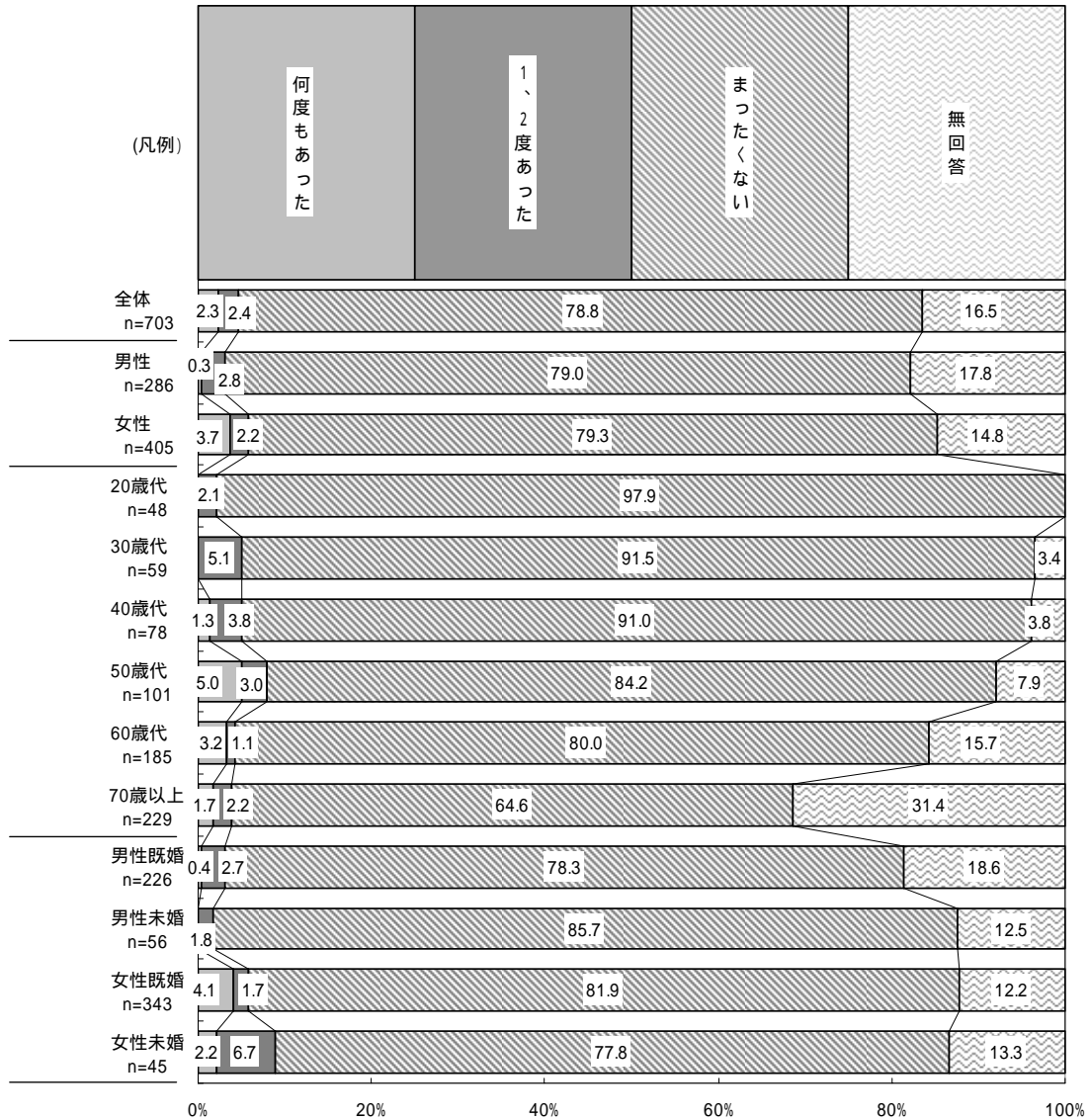


		I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる〔%〕				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	48	84	468	103
		100.0	6.8	11.9	66.6	14.7
性 年 齢 別	男性計	286	6	26	205	49
		100.0	2.1	9.1	71.7	17.1
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	1	26	-
		100.0	-	3.7	96.3	-
	40歳代	27	4	1	21	1
		100.0	14.8	3.7	77.8	3.7
	50歳代	41	-	6	31	4
		100.0	-	14.6	75.6	9.8
	60歳代	75	1	9	52	13
		100.0	1.3	12.0	69.3	17.3
	70歳以上	95	1	9	54	31
		100.0	1.1	9.5	56.8	32.6
	女性計	405	42	57	257	49
		100.0	10.4	14.1	63.5	12.1
	20歳代	28	2	1	25	-
		100.0	7.1	3.6	89.3	-
	30歳代	32	2	3	26	1
		100.0	6.3	9.4	81.3	3.1
40歳代	48	9	6	33	-	
	100.0	18.8	12.5	68.8	-	
50歳代	60	9	8	40	3	
	100.0	15.0	13.3	66.7	5.0	
60歳代	110	12	23	63	12	
	100.0	10.9	20.9	57.3	10.9	
70歳以上	127	8	16	70	33	
	100.0	6.3	12.6	55.1	26.0	

【J 経済的におさえつけられる】

- 『経験がある』が4.7%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が5.9%、男性が3.1%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.7%、男性が0.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が8.9%、女性既婚者が5.8%である。

J 経済的におさえつけられる



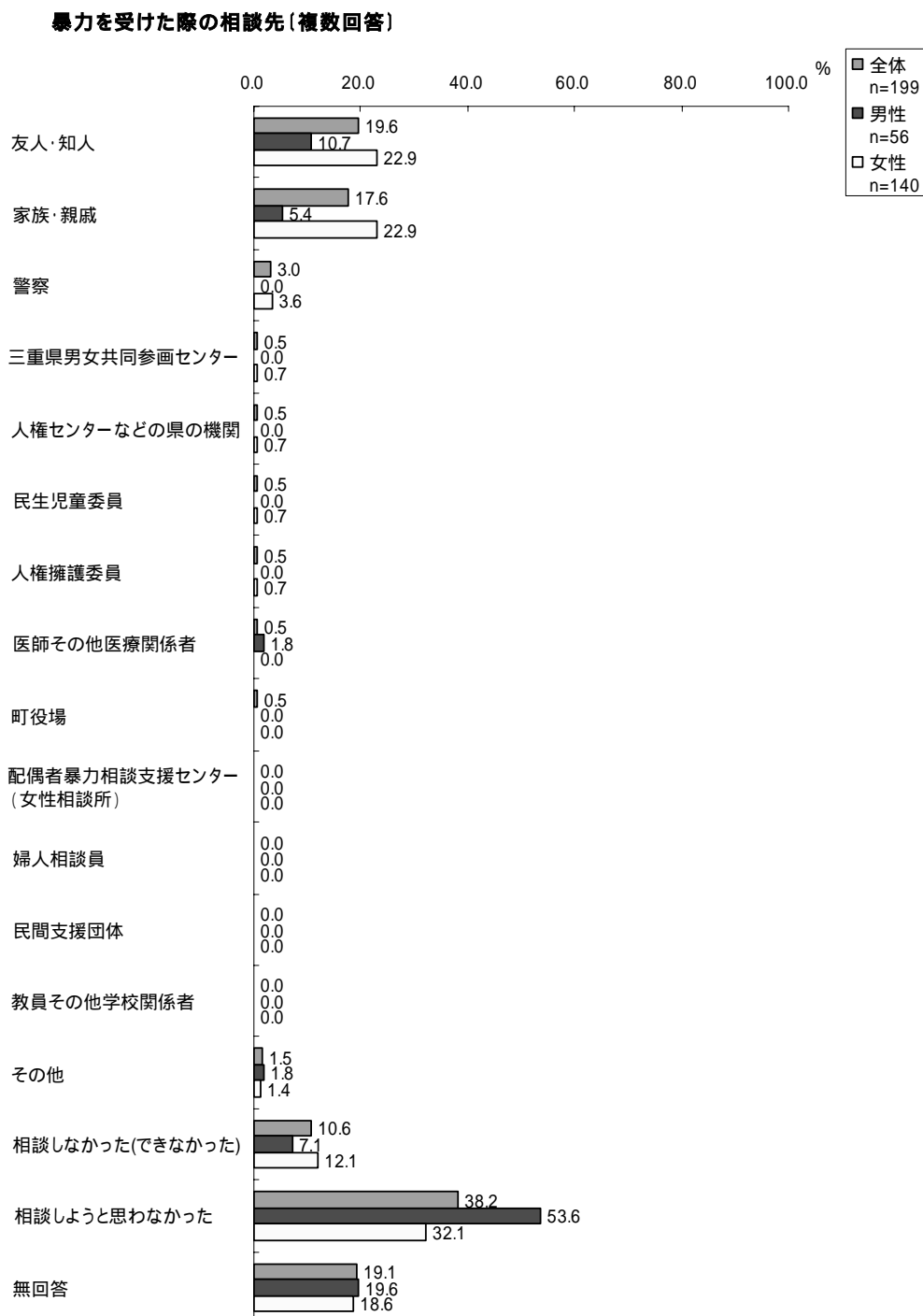
		J 経済的におさえつけられる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		703	16	17	554	116
		100.0	2.3	2.4	78.8	16.5
性 年 齢 別	男性計	286	1	8	226	51
		100.0	0.3	2.8	79.0	17.8
	20歳代	20	-	-	20	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	27	-	1	25	1
		100.0	-	3.7	92.6	3.7
	40歳代	27	1	1	22	3
		100.0	3.7	3.7	81.5	11.1
	50歳代	41	-	1	36	4
		100.0	-	2.4	87.8	9.8
	60歳代	75	-	-	62	13
		100.0	-	-	82.7	17.3
	70歳以上	95	-	5	60	30
		100.0	-	5.3	63.2	31.6
	女性計	405	15	9	321	60
		100.0	3.7	2.2	79.3	14.8
	20歳代	28	-	1	27	-
		100.0	-	3.6	96.4	-
	30歳代	32	-	2	29	1
		100.0	-	6.3	90.6	3.1
40歳代	48	-	2	46	-	
	100.0	-	4.2	95.8	-	
50歳代	60	5	2	49	4	
	100.0	8.3	3.3	81.7	6.7	
60歳代	110	6	2	86	16	
	100.0	5.5	1.8	78.2	14.5	
70歳以上	127	4	-	84	39	
	100.0	3.1	-	66.1	30.7	

(4) 暴力を受けた際の相談先

前問で「何度もあった」若しくは「1、2度あった」と回答した方を対象

問17-2. あなたはこれまでに、問17であげたような配偶者や恋人からの行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

- 「相談しようと思わなかった」が38.2%と最も高く、以下「友人・知人」(19.6%)、「家族・親戚」(17.6%)、「相談しなかった(できなかった)」(10.6%)となっている。
- 性別では、男性が「相談しようと思わなかった」が53.6%と女性(32.1%)を大きく上回っている。一方、女性は「友人・知人」(22.9%)、「家族・親戚」(22.9%)、「相談しなかった(できなかった)」(12.1%)が男性を上回っている。



(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由
前問で相談をしなかった方を対象

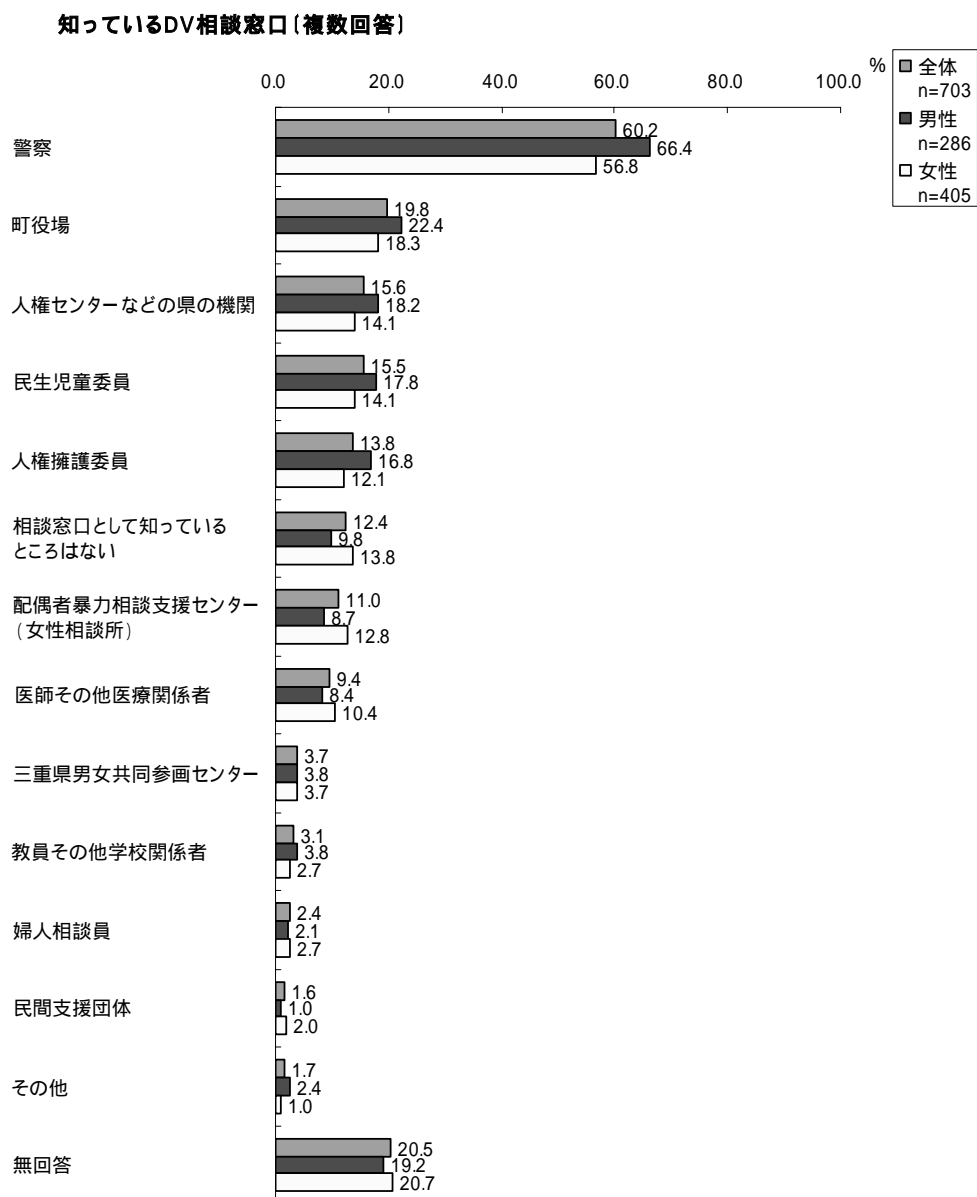
問17-3. 相談しなかった主な理由は何ですか。

	相談しなかった理由[%]													
	全体	誰に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかるかと、仕返しされると思ったから	相談相手の言動から不快な思いをすと思ったから	自分さえ我慢すれば、何とかやっけていけると思ったから	世間体が悪いと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	自分に悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答	
全体	97	4	7	24	6	3	21	6	9	22	59	4	0	
	100.0	4.1	7.2	24.7	6.2	3.1	21.6	6.2	9.3	22.7	60.8	4.1	0.0	
性 年 齢 別	男性計	34	1	2	8	2	2	8	1	4	7	23	1	-
		100.0	2.9	5.9	23.5	5.9	5.9	23.5	2.9	11.8	20.6	67.6	2.9	-
	20歳代	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	30歳代	4	-	1	1	1	-	1	1	1	1	3	1	-
		100.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	-
	40歳代	5	-	-	3	1	1	2	-	1	-	2	-	-
		100.0	-	-	60.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	40.0	-	-
	50歳代	5	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	80.0	-	-
	60歳代	6	1	-	1	-	-	1	-	-	1	4	-	-
		100.0	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	-	16.7	66.7	-	-
	70歳以上	13	-	1	3	-	1	4	-	1	4	9	-	-
		100.0	-	7.7	23.1	-	7.7	30.8	-	7.7	30.8	69.2	-	-
	女性計	62	3	5	16	4	1	13	5	5	15	35	3	-
		100.0	4.8	8.1	25.8	6.5	1.6	21.0	8.1	8.1	24.2	56.5	4.8	-
	20歳代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	33.3	-
	30歳代	6	-	2	2	1	-	2	1	1	1	4	-	-
		100.0	-	33.3	33.3	16.7	-	33.3	16.7	16.7	16.7	66.7	-	-
40歳代	13	2	-	4	1	1	2	-	-	4	7	-	-	
	100.0	15.4	-	30.8	7.7	7.7	15.4	-	-	30.8	53.8	-	-	
50歳代	10	1	1	4	1	-	-	1	2	5	4	1	-	
	100.0	10.0	10.0	40.0	10.0	-	-	10.0	20.0	50.0	40.0	10.0	-	
60歳代	22	-	2	5	1	-	7	3	2	2	10	-	-	
	100.0	-	9.1	22.7	4.5	-	31.8	13.6	9.1	9.1	45.5	-	-	
70歳以上	8	-	-	1	-	-	2	-	-	2	8	1	-	
	100.0	-	-	12.5	-	-	25.0	-	-	25.0	100.0	12.5	-	

(6) 知っているDV相談窓口

問18. 配偶者や恋人の間で、相手から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者のうち、知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

- 「警察」が60.2%と最も高く、以下「町役場」(19.8%)、「人権センターなどの県の機関」(15.6%)、「民生児童委員」(15.5%)である。



6 自由意見

自由意見のまとめ（多かった意見の上位7位）

順位	内容	件数
1位	男女の基本的な特性の相違を認め、男女がお互いを理解し助け合うことが大切	15
2位	子育て・介護支援の充実と運用改善（託児所の整備、父子家庭への支援、休暇取得しやすい雰囲気づくり、雇用側の理解など）	11
3位	多様な価値観、個々の生き方や生活の有様が受け入れられる社会になるよう整えるべき	6
4位	女性の地位向上や就業機会を増やすことが必要	5
5位	地域社会や町議会などで女性の役員や議員を増やすことが必要	4
5位	男性がもっとしっかりすべきであり、女性が強くなりすぎている	4
7位	アンケート結果の情報公開を望む	3
7位	地域では古い考え方が根強く男女平等の意識は薄い 年代間のギャップも大きい	3
7位	親が子育てをするのが最も望ましいことであり、育児は家庭と社会にとって重要な仕事である	3

- 男女共同参画に関することについて、ご意見・ご要望をお聞きしたところ、計 101 件(14.4%)の記入があった。